愛知淑徳大学

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

履修要覧 2024

食健康科学部

は じ め に

新入生へ

大学での学修計画は、自分自身で受講したい科目を選び、正確に履修登録することから始まります。各自が自身の興味・関心に基づいた時間割を作り、卒業に必要な単位を計画的に修得していくために、各種ガイダンスの内容は必ず確認してください。また、『履修要覧』・『シラバス』等をよく読んで無理のない履修計画を立て、間違いのないよう履修登録をしてください。

授業に出席していても、正しく履修登録されていなければ、試験を受けることも、単位を修得することもできません。履修登録後にCampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で必ず確認してください。

編入生へ

編入にあたり、本学入学前の既修得単位の認定が行われます。認定内容は、編入前の所属機関、編入後の所属学部・学科・専攻によって異なりますが、認定結果をもとに、卒業に必要な科目および単位数を確認して履修計画を立ててください。

２年生・３年生へ

３月、８月の成績発表時に、CampusSquareの「試験・成績」の「履修成績照会」から、これまでの修得単位数、必修科目・選択必修科目の履修状況と要件単位等をよく確認して、前期・後期の履修に臨んでください。

４年生へ

卒業の要件および資格科目の単位等を満たしているか、修得し忘れている科目がないか、よく確認してください。科目の中には修得しても卒業に必要な単位数に含まれないものもありますので、注意してください。

本冊子に記載されている内容は、2024年２月28日現在のものです。
最新の情報はCampusSquareもしくは掲示等で確認してください。

目　次

はじめに
目次
学年暦…… 4
履修にあたって…… 6
1　学生部の事務取扱い時間
2　掲示・連絡
3　問い合わせ
4　ガイダンス
5　進　　級
6　アドバイザー
7　教員研究室
8　学籍の異動（休学・復学・退学）
9　卒業延期制度
Ⅰ　授業科目の種類と単位…… 8
1　授業科目の種類
2　単　　位
Ⅱ　授　　業…… 10
1　授業時間
2　授業形態
3　休講と補講等
4　集中授業
5　オムニバス科目
6　授業の出欠席
7　キャンパス間の移動
8　テキスト購入
Ⅲ　履修登録…… 13
1　履修計画
2　カリキュラムマップおよびナンバリング
3　履修登録単位数の上限
4　時間割の作成方法
5　履修登録日程・登録および確認方法
6　履修登録上の注意事項
7　履修中止
Ⅳ　試験・成績評価…… 22
1　試験の実施
2　受験資格
3　受験上の注意
4　追試験
5　レポート提出上の注意
6　再試験
7　成績評価
8　GPA制度

9　成績発表
10　成績評価に関する質問
11　授業担当者に対する陳情等の禁止
12　卒業認定者の発表
Ⅴ　学修機会を拡大する制度…… 31
Ⅵ　学外修得単位の認定…… 32
Ⅶ　食健康科学部カリキュラムと卒業要件…… 33
1　ディプロマ・ポリシー（人材養成像）
2　カリキュラム・ポリシー（ディプロマ・ポリシーに整合し、それを保証するカリキュラムの体系性を記したもの）
3　アドミッション・ポリシー
4　卒業に必要な単位（卒業要件単位数）
5　履修上の注意（健康栄養学科）
6　カリキュラム表（健康栄養学科 専門教育科目）
7　履修上の注意（食創造科学科）
8　カリキュラム表（食創造科学科 専門教育科目）
Ⅷ　全学共通履修科目カリキュラム表…… 58
1　違いを共に生きる科目
2　日本語表現科目
3　アクティブラーニング科目
4　言語活用科目［英語］
5　言語活用科目［初めての外国語］
6　コンピュータ活用科目
7　教職課程科目
8　学芸員課程科目
9　司書課程科目
10　会計教育科目
Ⅸ　開放科目・単位互換科目…… 98
1　他学部・他学科開放科目
2　研究科開放科目
3　愛知学長懇話会単位互換科目
4　放送大学単位互換科目

参考資料

2024年度入学者　愛知淑徳大学 アドミッション・ポリシー

2024年度　前期学年暦（学部・大学院）

	日 (Sun.)		月 (Mon.)		火 (Tue.)		水 (Wed.)		木 (Thu.)		金 (Fri.)		土 (Sat.)	
			1		2	入学式	3		4		5		6	
4月 Apr.	7		8	履修１次登録確認 履修追加登録	9	履修１次登録確認 履修追加登録	10		11		12	① 前期授業開始 履修追加登録確認	13	
	14		15	①	16	①	17	① 履修取消	18	① 履修取消	19	②	20	
	21		22	②	23	②	24	②	25	②	26	③	27	
	28		29	③ **昭和の日**	30	③	1	③	2	③	3	**憲法記念日**	4	**みどりの日**
5月 May	5	**こどもの日**	6	**振替休日**	7	④	8	④	9	④	10	④	11	補講日
	12		13	④	14	⑤	15	⑤	16	⑤	17	⑤ 学園創立記念日	18	
	19		20	⑤	21	⑥	22	⑥	23	⑥	24	⑥	25	
	26		27	⑥	28	⑦	29	⑦	30	⑦	31	⑦	1	補講日
6月 Jun.	2		3	⑦	4	⑧	5	⑧	6	⑧	7	⑧	8	
	9		10	⑧	11	⑨	12	⑨	13	⑨	14	⑨	15	補講日
	16		17	⑨	18	⑩	19	⑩	20	⑩	21	⑩	22	
	23		24	⑩	25	⑪	26	⑪	27	⑪	28	⑪	29	
	30		1	⑪	2	⑫	3	⑫	4	⑫	5	⑫	6	補講日
7月 Jul.	7		8	⑫	9	⑬	10	⑬	11	⑬	12	⑬	13	補講日
	14		15	⑬ **海の日**	16	⑭	17	⑭	18	⑭	19	⑭	20	
	21		22	⑭	23	⑮	24	⑮	25	⑮	26	⑮	27	
	28		29	⑮	30	定期試験	31	定期試験	1	定期試験	2	定期試験	3	
8月 Aug.	4		5	定期試験	6	定期試験予備日	7		8		9	4/29振替休日	10	
	11	**山の日**	12	**振替休日** 夏季休業	13	夏季休業	14	夏季休業	15	夏季休業	16	夏季休業	17	夏季休業
	18		19	集中授業	20	集中授業	21	集中授業	22	集中授業	23	追試験	24	追試験
	25		26	集中授業	27	集中授業	28	集中授業	29	成績発表 集中授業	30	集中授業	31	
9月 Sep.	1		2		3		4		5		6	４年生再試験	7	
	8		9	履修１次登録	10	履修１次登録	11		12		13		14	
	15		16	**敬老の日**	17	履修１次登録確認 履修追加登録	18	履修１次登録確認 履修追加登録	19		20	９月卒業式(学部･大学院) 10月入学(大学院)入学式	21	
授業回数			15回		15回		15回		15回		15回			

■ は授業日

□ は定期試験日

［注］
・定期試験期間中に不測の事態（気象警報や公共交通機関の運行停止などによる全学的な休校措置）が発生し試験が実施できなかった場合は、定期試験予備日に当該試験を実施する。このため、定期試験予備日には、補講や集中授業、講演会などの行事は設定されない。
・集中授業は原則として上記の日程で行う。
・補講は上記補講日以外に授業担当者からの指示による場合もある。
・５月17日（金）学園創立記念日は授業日とする。
・４月29日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、８月９日（金）を休日とする。
・７月15日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、10月28日（月）を休日とする。

2024年度　後期学年暦（学部・大学院）

	日 (Sun.)		月 (Mon.)		火 (Tue.)		水 (Wed.)		木 (Thu.)		金 (Fri.)		土 (Sat.)	
9月 Sep.	22	**秋分の日**	23	① **振替休日** 後期授業開始 履修追加登録確認	24	①	25	①	26	① 履修取消	27	① 履修取消	28	
	29		30	②	1	②	2	②	3	②	4	②	5	
10月 Oct.	6		7	③	8	③	9	③	10	③	11	③	12	
	13		14	④ **スポーツの日**	15	④	16	④	17	④	18	④	19	
	20		21	⑤	22	⑤	23	⑤	24	⑤	25	大学祭前準備	26	大学祭
	27	大学祭	28	大学祭後片付け 7/15振替休日	29	9/23振替休日	30	10/14振替休日	31	11/4振替休日	1	⑤	2	
11月 Nov.	3	**文化の日**	4	⑥ **振替休日**	5	⑥	6	⑥	7	⑥	8	⑥	9	
	10		11	⑦	12	⑦	13	⑦	14	⑦	15	⑦	16	補講日
	17		18	⑧	19	⑧	20	⑧	21	⑧	22	⑧	23	**勤労感謝の日**
	24		25	⑨	26	⑨	27	⑨	28	⑨	29	⑨	30	
12月 Dec.	1		2	⑩	3	⑩	4	⑩	5	⑩	6	⑩	7	補講日
	8		9	⑪	10	⑪	11	⑪	12	⑪	13	⑪	14	補講日
	15		16	⑫	17	⑫	18	⑫	19	⑫	20	⑫	21	補講日
	22		23	⑬	24	⑬	25	⑬	26	⑬	27	⑬	28	
	29	冬季休業	30	冬季休業	31	冬季休業	1	**元日** 冬季休業	2	冬季休業	3	冬季休業	4	
1月 Jan.	5		6	⑭	7	⑭	8	⑭	9	⑭	10	⑭	11	補講日
	12		13	**成人の日**	14	⑮	15	⑮	16	⑮	17	⑮	18	
	19		20	⑮	21	定期試験	22	定期試験	23	定期試験	24	定期試験	25	
	26		27	定期試験	28	定期試験予備日	29		30		31		1	
2月 Feb.	2		3		4		5		6		7		8	
	9		10		11	**建国記念の日**	12	追試験	13	追試験	14		15	
	16		17	集中授業	18	集中授業	19	集中授業	20	成績発表 集中授業	21	集中授業	22	
	23	**天皇誕生日**	24	**振替休日**	25		26		27		28	4年生再試験	1	
3月 Mar.	2		3		4		5		6		7		8	
	9		10		11		12		13		14		15	
	16		17		18	卒業式(学部・大学院)	19		20	**春分の日**	21		22	
	23		24	在学生ガイダンス	25	履修1次登録	26	履修1次登録	27		28		29	
	30		31											
授業回数			**15回**		**15回**		**15回**		**15回**		**15回**			

は授業日

は定期試験日

［注］
- 定期試験期間中に不測の事態（気象警報や公共交通機関の運行停止などによる全学的な休校措置）が発生し試験が実施できなかった場合は、定期試験予備日に当該試験を実施する。このため、定期試験予備日には、補講や集中授業、講演会などの行事は設定されない。
- 集中授業は原則として上記の日程で行う。
- 補講は上記補講日以外に授業担当者からの指示による場合もある。
- 後期の補講及び追試験・再試験の日程は、入学試験日程により変更することがある。なお、大学入学共通テストの再試験が実施されることで補講日と重複した場合は、（星が丘キャンパスの授業であっても）補講は全て長久手キャンパスにて行う。
- 卒業式（学部・大学院）の会場や開始時間については、大学ホームページ及び掲示等により発表する。
- ７月15日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、10月28日（月）を休日とする。
- ９月23日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、10月29日（火）を休日とする。
- 10月14日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、10月30日（水）を休日とする。
- 11月４日（祝）は授業日とし、その振り替えとして、10月31日（木）を休日とする。

履修にあたって

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1　学生部の事務取扱い時間

学生部の事務取扱い時間は、下記のとおりである。時間外は取扱わない。

期　間	事務取扱い時間	証明書自動発行機稼動時間
授業日	9：00～18：30	9：00～18：30
授業日以外	9：00～17：00	9：00～17：00

ただし、土（補講日・集中授業を含む）・日・祝日および夏季・冬季休業期間は取扱わない。

2　掲示・連絡

学生への情報は、CampusSquareおよび掲示によって通知する。**緊急の情報もあるので、必ず情報を確認する**。情報の確認を怠ったことによる不利益は各自の責任とする。学生個人への授業に関する連絡は、CampusSquareで行われる。呼び出しがあった場合には早急に関係部署に連絡を取らなければならない。

3　問い合わせ

電話・メールによる各種問い合わせ（行事予定・休講・授業・試験・成績等）には対応できない。CampusSquareで確認するか、必要がある場合は、原則として関係事務室窓口に本人が出向き直接問い合わせる。

ただし、本人が感染症にかかり出校停止と判断されている場合は、この限りではない。

4　ガイダンス

新学期にあたり、学生の学習をサポートするために対面または遠隔による各種ガイダンスを実施している。

ガイダンスでは、学修計画の立て方、カリキュラム内容、資格取得上の注意、履修登録の方法等について、各担当者から詳細な説明がある。各種ガイダンスでの説明・注意事項に従った履修登録が必要となるので、自身が対象となるガイダンスは必ず出席または確認しなければならない。

ガイダンスの詳細な日程等は、CampusSquareで確認する（新年度ガイダンスの日程は１月頃に掲載予定）。

5 進　級

本学では、原則として修得単位数に関わらず、入学してから４年次まで順次進級する（休学の場合も同様）。ただし、卒業に必要な単位を満たしていなければ卒業が延期され、４年次留年となる。在学年数は、８年（休学期間は算入しない）を超えることはできない。編入学した学生の在学年数は、規程で定める在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えることはできない。

6 アドバイザー

本学では、各クラスごとあるいは、ゼミ（基礎演習、専門演習など）ごとにアドバイザーが決められている。学修指導、生活相談等にあたっているので、遠慮なく相談してほしい。詳細については『GUIDEPOST』のアドバイザーのページを参照する。

7 教員研究室

『GUIDEPOST』の研究室一覧のページを参照する。ここに記載のない教員は、授業日のみ来学しているので、連絡をとる場合は、原則として授業の前後に教室で行う。

8 学籍の異動（休学・復学・退学）

学則の規定により、やむを得ない事情がある場合は休学や退学を願い出ることができる。休学期間が満了した場合は、手続き無く復学となる。手続きについては、詳細を『GUIDEPOST』の学籍のページやホームページで確認したうえで、事前にアドバイザーや保証人と相談してすすめる。不明な点は学生事務室・教学事務室で確認する。

また、履修登録についての質問は、教務事務室・教学事務室で確認する。

9 卒業延期制度

学部４年生で、卒業要件を満たしているが、就職活動・国家試験・資格取得・副専攻プログラム修了等のため引き続き在学を希望する場合、卒業を延期し、在学を最長１年（半年も可）まで延長することができる。

詳細は学生事務室・教学事務室に問い合わせる。

I 授業科目の種類と単位

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1 授業科目の種類

（1）開講科目

- **専門教育科目**
- **文学部共通科目（文学部のみ開講）**
- **違いを共に生きる科目（基幹科目「違いを共に生きる・ライフデザイン」を含む）**
- **日本語表現科目（基幹科目「日本語表現1」を含む）**
- **アクティブラーニング科目**
- **言語活用科目（英語、初めての外国語）**
- **コンピュータ活用科目**
- **教職課程科目**
- **学芸員課程科目**
- **司書課程科目**
- **会計教育科目**
- **他学部・他学科開放科目**
- **研究科開放科目**

他大学等で開講している科目で、学内で履修申込手続きのできるものは、下記のとおりである。

- **愛知学長懇話会単位互換科目**
- **放送大学単位互換科目**

（2）必修科目と選択科目と主要授業科目

卒業までに必ず単位を修得しなければならない科目を**必修科目**、その他複数科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目を**選択必修科目**という。

適宜自由に選択して単位を修得する科目を、**選択科目**という。

学部のディプロマ・ポリシー（DP）で定めた学位を取得するに当たり、その学位のレベルと分野に応じて達成すべき能力を育成するために必要な科目群を**主要授業科目**という。

（3）通年科目と半期科目と1/4期科目

開講期間によって科目を区別することがあり、その場合、１年を通じて受講し、所定の単位を修得する科目を**通年科目**といい、半期で受講が完了する科目を**半期科目**、1/4期で受講が完了する科目を**1/4期科目**という。

2 単　位

（1）単　位

45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とした授業科目を１単位とし、授業の方法に応じ、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、定められた基準により単位数を計算する。

ひとつの授業科目を履修し、定められた回数以上の出席を確保し、試験等により評価を受け合格することで、単位が与えられる。

大学を卒業するためには、各学科・専攻ごとに定めている単位数以上を修得すること。

また、資格の取得には必要な単位数が定められており、その条件を満たさなければならない。

（2）単位計算の基準

本学では、講義科目、演習科目については15時間の授業をもって１単位とし、実験・実習・実技については、30時間の授業をもって１単位とする。１時限の授業時間は２時間（本学ではこれを１コマと呼び正味90分）として計算する。

ただし、学則第30条に「授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする」とあり、授業時間以外にも各自の学修時間が要求されている。

具体的には下記のとおりである。

授業の形態	単位数
講義・演習	半期科目は２単位。 ただし、科目によっては単位数の異なるものがある。
実験・実習・実技	半期科目は１単位。１週間に２コマ連続して行われる半期科目は２単位。 ただし、科目によっては単位数の異なるものがある。

卒業論文・卒業研究・卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮し、単位数を定める。

（3）卒業に必要な単位数を満たすための確認事項

1．卒業に必要な単位数を確認する。
2．カリキュラム表で４年間の履修計画を立てる。
3．授業内容については『シラバス』を参照する。
4．「履修上の注意」をよく読み、各自で時間割を作成する。
5．正しく履修登録をして授業に出席し、試験等に合格して、単位を修得する。

Ⅱ 授　業

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1 授業時間

年間を通じて、次のとおりとする。

第１限　9：30～11：00	第４限　15：10～16：40
第２限　11：10～12：40	第５限　16：50～18：20
第３限　13：30～15：00	第６限　18：30～20：00

グローバル・コミュニケーション学部の一部の専門教育科目のみ60分授業を行う（以下のとおり）。

第G１限　9：30～10：30
第G２限　10：40～11：40
第G３限　11：50～12：50
第G４限　13：50～14：50

2 授業形態

授業には、対面により行われる「面接授業」とオンデマンド（遠隔）により行われる「M科目」の２種類がある。

※オンデマンド授業では、授業担当者がインターネット配信した資料にもとづいて、学生が各自任意の時間で学習をすすめ取り組んだ課題を提出する。

（１）面接授業

対面での授業回数が全授業回数の半数を超える授業をいう。面接授業においても、全授業回数の半数を超えない範囲でオンデマンド授業が行われることがある。なお、授業は、原則として、面接授業で行われる。

（２）M科目（遠隔授業科目）

オンデマンドによる授業回数が全授業回数の半数を超える授業をいう。「○○［M］」のように、科目名の後ろに「［M］」と記載されている。M科目（遠隔授業科目）は、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限が定められているので、遠隔授業科目により修得した単位数を各自で把握し、在学期間を通して60単位を超えることのないよう注意する。

【注意事項】

学部における卒業要件単位数に含めることができる遠隔授業の単位数の上限は60単位である。(大学学則第30条２)

単位互換制度や入学前既修得単位認定制度などにより、他大学で修得した授業科目の単位を本学で修得したとみなす場合、当該科目が「遠隔授業」で実施されている科目であれば、その単位数も上記上限に含まれる。

3　休講と補講等

（1）休　　講

行事、天候、交通事情あるいは各科目の授業担当者のやむを得ない理由により、授業を休講にすることがある。その場合は、授業担当者からの連絡により事前に通知する。当日に連絡を受けることもあるので必ず登校時に情報を確認する。休講情報はCampusSquareで確認できる。

授業開始後30分が経過しても授業担当者から何の連絡もなく、授業がなされない場合は、教務事務室・教学事務室に問い合わせる。

（2）補　　講

授業担当者の都合等による休講のため、規定の授業時間数に満たない科目については、補講を行う。その場合は、授業担当者より授業日、時間、教室等の指示がある。補講情報はCampusSquareで確認できる。

なお、規定の授業時間数を満たしていても、授業内容および進度等を考慮して、授業担当者が臨時に補講を行うことがある。

（3）暴風警報・地震情報発表等緊急時の授業（名古屋市営交通機関のストライキを含む）

①愛知県全域または愛知県西部の尾張西部・尾張東部・西三河北西部・西三河南部・知多地域のうちのいずれかの地域に暴風警報が発表された場合および名古屋市営交通機関（地下鉄・バス）が停止した場合、原則として下記の措置をとる。

ただし、下記にかかわらず、気象状況・交通事情等を勘案し、状況に応じて別の措置をとる場合があるので、必ずホームページ・CampusSquareにて確認する。

＜内規より抜粋＞

発　表　状　況	措　　置
（1）午前７時以前に解除	第１限目より平常通り
（2）午前７時現在発表中	第１限目及び第２限目の授業を中止 第G１限目から第G３限目の授業を中止
（3）午前10時現在発表中	第３限目及び第４限目の授業を中止 第G４限目の授業を中止
（4）午後２時現在発表中	第５限目以降の授業を中止
（5）授業開始時以後に発表	発表時において登校していない学生については、（1）～（4）の例による。 登校している学生については、学生の安全及び交通事情を勘案し、状況に応じて授業等の教育活動を打ち切り、帰宅又は避難させる。

②南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、授業等の実施については大学からの指示に従う。

なお、試験については上記の取り扱いに準じて変更し、変更された試験の実施要項は後日公示する。

（4）教室変更

履修者数の増減または授業で使用する教材機器等の事情により、授業教室を変更することがある。その場合はCampusSquareによって通知する。

教室変更の内容については、臨時のものと常時のものがあるため注意する。

4 集中授業

集中授業とは、一定の期間を設けて集中的に行う授業である。前期は主に８月、後期は主に２月に実施される。

４年生への注意事項

４年生は、原則として後期の集中授業で開講される科目を履修することはできない（土曜日の集中授業は除く）。

卒業不認定のため、その年度の９月卒業を予定している学生は、前期の集中授業で開講される科目についても履修することができない（土曜日の集中授業は除く）。

ただし、通常授業で卒業要件を満たすことが困難であるため、あるいは資格取得のために履修が必要な場合は、事前に教務事務室・教学事務室に申し出る。この場合、該当する科目については、成績評価質問票の提出や追試験・再試験を受験することができないため注意する。

5 オムニバス科目

オムニバス科目とは、１科目を複数の授業担当者により行う科目である。

6 授業の出欠席

（１）授業の出欠席の取扱いについては、授業担当者に一任されている。本学には忌引や課外活動等のために欠席する場合の**公欠制度はない**。欠席する場合は、直接授業担当者に申し出て指示に従う。

（２）「学校保健安全法施行規則」に定める感染症に罹患した場合は、保健管理室に申し出て指示に従う。

7 キャンパス間の移動

所属キャンパス以外で開講される科目を受講する場合は、移動の時間を見込んで無理のない履修計画を立てる。

授業日に限り連絡バスが運行されるので、両キャンパス間の移動に利用することができる。利用に関することは、『GUIDEPOST』の通学のページを参照する。

8 テキスト購入

テキストは、前期および通年の授業用は4月に、後期の授業用は９月・10月に販売する。

取扱書店、購入方法、テキスト名、価格、販売期間等詳細についてはCampusSquareのリンクにある「テキスト一覧」で確認し、各自で購入する。追加・変更等の最新情報は、随時、「テキスト一覧」の中の「追加・変更一覧」で確認する。テキストに関する情報は随時更新されるため、必ずCampusSquareを確認すること。なお、『シラバス』に載っているテキストは予定であり、変更になることもある。「テキスト一覧」にないテキストについては、授業担当者に確認する。

テキストは、原則として最初の授業に持参する。ただし、受取方法が宅配の場合は、申し込み後、３～７日後に届けられるので、最初の授業に間に合わないことがあるが、その点については授業担当者に連絡済みである。また、**抽選科目の追加登録などで履修登録が確定していない場合は、履修登録確定後にテキストを購入する。**

テキストは必ず販売期間内に購入する。万が一、販売期間内に購入することができなかった場合は、「テキスト一覧」で購入方法を確認し、各自で購入する。テキストが届くまでに日数を要する場合があるので注意する。

授業の種類	購入時期	購入方法
前期および通年科目（集中授業も含む※）	４月	「テキスト一覧」で確認
後期科目（集中授業も含む※）	９月・10月	

※授業開始日に販売する場合もある（CampusSquareで確認）。

Ⅲ 履修登録

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

履修登録は、指定の期間内に各自が履修したい科目を決定し、自らの責任において登録するものである。

履修登録の手続きをしなかったり誤ったりした場合、その科目の履修は認められず、たとえ授業担当者から個別に口頭で履修を許可され、その授業に出席し試験を受けても、単位は認定されないので注意すること。

１次登録の確定時点で、開講最少履修者数に満たない授業科目は、閉講することがある。

開講最少履修者数（目安）は各カリキュラム表の記載のとおり。

1 履修計画

卒業に必要な単位数は、入学年度、学科・専攻により異なるので注意する。

履修計画を立てるにあたっては、年度当初のガイダンスの内容を必ず確認し、間違いのないように履修登録をする。授業を選択するにあたり、CampusSquareの「シラバス」を十分に活用する。

2 カリキュラムマップおよびナンバリング

カリキュラムマップとは、学部・学科の教育課程（全学共通履修科目を含む）を体系的に示したイメージ図のことを指し、すべての科目が示されている。ディプロマ・ポリシーとの関連性がわかるように表現されており、カリキュラムの順次性の把握が容易になり、計画的な履修が可能になる。新入生配付資料の中にA3サイズでカラー印刷されたカリキュラムマップが同封されているので参照する。

また、ナンバリングとは、各科目に対して授業内容やそのレベルに応じて特定の数字（4桁）が付与されており、これによりカリキュラムの順次性の把握が容易になる。本学では以下のとおり、4桁の番号で意味づけを行っている。

授業レベル……基礎的内容，語学等におけるBasic＝1
　　中級的内容，語学等におけるIntermediate＝2
　　発展的内容，語学等におけるAdvanced＝3
中分類……学問領域・学問分野（0 から9）
小分類……授業分野・授業形態等（中分類の下位カテゴリに相当するもの）（0～9）
使用言語……日本語での授業＝ 0
　　英語での授業＝ 1
　　日本語と英語のバイリンガル ＝ 2
　　その他言語 ＝ 3

1521　　**Basic Pronunciation Training**

（↑ナンバリングの4桁）　（↑科目名）

3　履修登録単位数の上限

この制度は、授業の予習・復習等に充てる時間を確保し、十分な学修効果をあげられるよう、無理のない履修計画を立てるために設けるものである。

大学の教育課程は単位制を基本としており、科目ごとに単位が設定されている。１単位を修得するためには、教室等で授業を受講する時間と、**授業時間外において予習・復習・課題解決等を行う自主学修時間とを合計して、45時間の学修を要する**。本学においては、原則として15時間（45分間をもって１時間と換算する）の授業時間をもって１単位と計算する。したがって、１回90分の講義・演習等の授業は半期で通例２単位となる。

この考え方によれば、半期に履修可能な授業科目数は10科目（20単位）程度となるが、本学では、各学部・学科等の教育課程編成方針、授業方法および教育効果等の特性を考慮して、半期に履修登録できる単位数の上限を各学科・専攻ごとに次ページ以降のとおり定める。なお、入学年度ごとに履修登録の上限単位数が異なる学科・専攻があるため、自身の入学年に該当する表を参照すること。

全学部　共通事項

・次の科目は**上限単位数から除外**する。

①文学部教員免許状取得プログラムにかかわる特定の科目（当該プログラム登録者に限る）	②総合英語学科専門教育科目 「海外セミナー（Cabin Crew Course）」 「長期海外セミナー１～８（前期）」 「長期海外セミナー１～８（後期）」	③人間情報学科専門教育科目 「海外フィールドスタディ」
④建築・インテリアデザイン専攻専門教育科目 「基礎数学」	⑤救急救命学専攻専門教育科目 「救急救命特別実習（海外）」	⑥食健康科学部専門教育科目 「基礎化学」 「基礎生物学」
⑦交流文化学科専門教育科目 「英語海外研修」 「中国語海外研修」 「フィールドスタディ言語１（アメリカ）」 「フィールドスタディ言語２（中国）」 「フィールドスタディ言語３（韓国）」 「フィールドスタディ交流１（歴史と文化）」 「フィールドスタディ交流２（開発と交流）」 「フィールドスタディ観光２（観光産業）」	⑧ビジネス学科専門教育科目 「OverseasICP（アジア・欧米）」	⑨国際交流センター開設科目 「英語海外セミナーⅠ［M］」 「英語海外セミナーⅡ」 「英語海外セミナーⅢ」 「中国語海外セミナーⅠ」 「韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ」 「海外アクティブラーニング研修」 「日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ」
⑩キャリアセンター開設科目 「インターンシップ研修」 「海外インターンシップ」	⑪言語活用科目（英語） 「Introduction to English」	⑫教職課程科目
⑬学芸員課程科目	⑭司書課程科目	⑮会計教育科目
⑯愛知学長懇話会単位互換科目	⑰放送大学単位互換科目	⑱研究科開放科目

ただし、⑫～⑮の科目のうち各学科が専門教育科目に指定している科目は上限単位数に含めることとする。

・成績優秀者（１次登録・追加登録の時点において最新の学期のGPAが2.5ポイント以上ある学生）については、半期につき４単位までの上限緩和が認められる。なお、直近の学期を休学していた場合は、上限緩和は認められない。

・復学者の上限単位数は、復学年次ではなく、在学期間を考慮して設定する。

・在学年数４年を超えた者は、所属学部（学科・専攻）を問わず上限単位数を設定しない。

・卒業延期制度許可者は、原則として半期10単位の範囲内で授業科目を履修することができる。

・通年科目はその単位数を２分割し、それぞれ半期科目に準ずるものとして換算する。

詳細については、教務事務室・教学事務室に確認する。

■ 1 年生（2024年度入学者）

学部・学科・専攻			履修登録の上限単位数							
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
文学部	国文学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	総合英語学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	教育学科		25	24	25	24	25	24	25	24
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		データサイエンス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
心理学部	心理学科		24	24	24	24	24	24	24	24
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		メディアプロデュース専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		建築・インテリアデザイン専攻	24	24	24	24	25	24	24	24
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	制限なし	制限なし	26	26	26	26	26	26
		視覚科学専攻	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	28	28	28	28
		理学療法学専攻	25	24	25	24	24	24	24	24
		臨床検査学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		救急救命学専攻	28	28	24	24	24	24	24	24
食健康科学部	健康栄養学科		25	24	24	24	24	24	24	24
	食創造科学科		24	24	24	24	24	24	24	24
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		子ども福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
		国際交流・観光専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
ビジネス学部	ビジネス学科		24	24	24	24	24	24	24	24
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		24	24	24	24	24	24	24	24

■ 2 年生（2023年度入学者）

学部・学科・専攻			履修登録の上限単位数							
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
文学部	国文学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	総合英語学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	教育学科		25	24	25	24	25	24	25	24
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		データサイエンス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
心理学部	心理学科		24	24	24	24	24	24	24	24
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		メディアプロデュース専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		建築・インテリアデザイン専攻	24	24	24	24	25	24	24	24
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	制限なし	制限なし	26	26	26	26	26	26
		視覚科学専攻	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	28	28	28	28
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		救急救命学専攻	28	28	24	24	24	24	24	24
	健康栄養学科		25	24	24	24	24	24	24	24
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		子ども福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
		国際交流・観光専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
ビジネス学部	ビジネス学科		24	24	24	24	24	24	24	24
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		24	24	24	24	24	24	24	24

■ 3 年生（2022年度入学者）

学部・学科・専攻			履修登録の上限単位数							
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
文学部	国文学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	総合英語学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	教育学科		25	24	25	24	25	24	25	24
人間情報学部	人間情報学科		24	24	24	24	24	24	24	24
心理学部	心理学科		24	24	24	24	24	24	24	24
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		メディアプロデュース専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		建築・インテリアデザイン専攻	24	24	24	24	25	24	24	24
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	制限なし	制限なし	26	26	26	26	26	26
		視覚科学専攻	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	28	28	28	28
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		救急救命学専攻	28	28	24	24	24	24	24	24
	健康栄養学科		25	24	24	24	24	24	24	24
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		子ども福祉専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
		国際交流・観光専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
ビジネス学部	ビジネス学科	現代ビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		グローバルビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		24	24	24	24	24	24	24	24

■ 4 年生（2021年度入学者）

学部・学科・専攻			履修登録の上限単位数							
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
文学部	国文学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	総合英語学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	教育学科		25	24	25	24	25	24	25	24
人間情報学部	人間情報学科		24	24	24	24	24	24	24	24
心理学部	心理学科		24	24	24	24	24	24	24	24
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		メディアプロデュース専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		建築・インテリアデザイン専攻	24	24	24	24	25	24	24	24
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	制限なし	制限なし	26	26	26	26	26	26
		視覚科学専攻	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	28	28	28	28
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		救急救命学専攻	28	28	24	24	24	24	24	24
	健康栄養学科		25	24	24	24	24	24	24	24
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	28	28	28	28	24	24	24	24
		子ども福祉専攻	28	28	28	28	24	24	24	24
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
		国際交流・観光専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
ビジネス学部	ビジネス学科	現代ビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		グローバルビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		24	24	24	24	24	24	24	24

■ 4 年生（2020年度入学者）

学部・学科・専攻			履修登録の上限単位数							
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
文学部	国文学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	総合英語学科		25	24	25	24	25	24	25	24
	教育学科		25	24	25	24	25	24	25	24
人間情報学部	人間情報学科		24	24	24	24	24	24	24	24
心理学部	心理学科		24	24	24	24	24	24	24	24
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		メディアプロデュース専攻	24	24	24	24	24	25	24	24
		建築・インテリアデザイン専攻	24	24	24	24	25	24	24	24
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	制限なし	制限なし	26	26	26	26	26	26
		視覚科学専攻	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	28	28	28	28
	スポーツ・健康医科学科		24	24	24	24	24	24	24	24
	健康栄養学科		28	28	24	24	24	24	24	24
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	28	28	28	28	24	24	24	24
		子ども福祉専攻	28	28	28	28	24	24	24	24
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
		国際交流・観光専攻	25	24	24	25	24	24	24	24
ビジネス学部	ビジネス学科	現代ビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
		グローバルビジネス専攻	24	24	24	24	24	24	24	24
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		24	24	24	24	24	24	24	24

4 時間割の作成方法

（1）最初に必修科目の開講曜日時限を「時間割表」で確認する。
（2）次に選択必修科目の開講曜日時限を「時間割表」で確認する。
（3）空いている曜日時限に、選択科目の中から履修を希望する科目を選ぶ。
（4）「時間割表」の開講年組の欄には、各科目の開講学年・指定クラス等の条件が記載されているので注意する。
クラス指定のある科目は、各自該当するクラスで履修登録を行う（他のクラスでの履修は認めない）。
（5）Web履修登録の指定の日時までに登録する科目を決め、履修登録の巻末に掲載の「履修希望時間割表」に記入してからWeb履修登録を行うこと。

時間割の変更

履修者数その他の事情により、曜日時限･教室･担当者が変更されることもある。その場合は、CampusSquareで発表する。特に学期の初めには変更が多いので、よく確認する。

5 履修登録日程・登録および確認方法

履修登録日程に従い、学外のPC、タブレット、スマートフォンからWebにより履修登録および確認を行う。
操作方法については「Web履修登録操作マニュアル」を参照すること。

前　期

行　事	学　年	日　程・時　間	登録および確認方法
1次登録	1年生・新編入生	4月3日(水)	**前期履修1次登録は、学内指定のコンピュータ教室で行う。詳細は「新入生のしおり」で確認。** 履修を希望する科目を1次登録で登録する。 科目によっては1次登録で履修者を制限する科目もある。
	新転学科生		履修を希望する科目を1次登録で登録する。 科目によっては1次登録で履修者を制限する科目もある。
	2～4年生	3月25日(月) 9：00 ～3月26日(火) 17：00	
1次登録確認 追加登録	全学年	4月8日(月) 9：00 ～4月9日(火) 17：00	○1次登録した科目について以下の確認をする。 ・希望した科目が正しく登録されているか ・抽選科目の当落結果 ＊落選した科目は表示されない。 ・クラス分けが行われる科目の担当者と教室 ・1次登録した科目の教室 ○科目の追加もしくは1次登録した科目の取り消しを希望する場合は、この期間に手続きをする。
追加登録確認	全学年	4月12日(金) 0：00～	○追加登録した科目について以下の確認をする。 （1次登録した科目も表示されている） ・希望した科目が正しく登録されているか ・抽選科目の当落結果 ＊落選した科目は表示されない。 ・クラス分けが行われる科目の担当者と教室 ・登録したすべての科目の教室
履修取消	全学年	4月17日(水) 9：00 ～4月18日(木) 17：00	○1次登録または追加登録で登録した科目の取り消しを希望する場合は、この期間に手続きをする。＊科目の追加登録は不可。 ○科目取り消し後の確認はこの期間中にする。

後　期

行　事	学　年	日　程・時　間	登録および確認方法
1次登録	全学年	9月9日(月) 9：00 ～9月10日(火)17：00	履修を希望する科目は1次登録で登録する。 科目によっては1次登録で履修者を制限する科目もある。
1次登録確認 追加登録	全学年	9月17日(火) 9：00 ～9月18日(水)17：00	○1次登録した科目について以下の確認をする。 ・希望した科目が正しく登録されているか ・抽選科目の当落結果 ＊落選した科目は表示されない。 ・クラス分けが行われる科目の担当者と教室 ・1次登録した科目の教室 ○科目の追加もしくは1次登録した科目の取り消しを希望する場合は、この期間に手続きをする。
追加登録確認	全学年	9月23日(月) 0：00～	○追加登録した科目について以下の確認をする。 （1次登録した科目も表示されている） ・希望した科目が正しく登録されているか ・抽選科目の当落結果 ＊落選した科目は表示されない。 ・クラス分けが行われる科目の担当者と教室 ・登録したすべての科目の教室
履修取消	全学年	9月26日(木) 9：00 ～9月27日(金)17：00	○1次登録または追加登録で登録した科目の取り消しを希望する場合は、この期間に手続きをする。＊科目の追加登録は不可。 ○科目取り消し後の確認はこの期間中にする。

※各行事の登録および登録確認の時間が、学部や学年ごとに指定される場合がある。履修登録日程が近づくと、詳細なスケジュールがCampusSquareでお知らせされるため、各自確認する。

※各行事後にはCampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で各自の登録状況を確認し、印刷したものを保管（登録画面を画像データで保存する場合は、必ず学籍番号や氏名を見えるように保存）しておく。

※履修の意志のない科目は「追加登録」期間あるいは「履修取消」期間に必ず取り消す。

※「追加登録」期間あるいは「履修取消」期間に訂正を行わなかった場合、いかなる理由があっても履修登録に関する変更・訂正は一切受付けられないので注意する。

※履修登録時の注意事項については、履修要覧を熟読するとともに、CampusSquareのリンク「履修登録の注意事項」で確認する。

※CampusSquareのお知らせや各種掲示等の確認を怠ったことによる不利益は各自の責任とする。

※履修登録結果に疑問のある場合は、速やかに教務事務室・教学事務室に問い合わせる。必要があれば履修登録時の「登録画面」を印刷したもの、および「履修（履修登録・登録状況照会）」を印刷して持参する。

6 履修登録上の注意事項

（1）履修登録は前期・後期それぞれ行う。ただし、通年科目は前期に登録する。
　　後期に通年科目を登録・取り消しをすることはできない。

（2）**抽選科目**

抽　選　科　目　と　は
「カリキュラム表」の定員等の欄に（抽選）と記載されている科目、人数が記載されている科目、定員ありと記載されている科目は抽選科目である。 ・　履修希望者が定員を上回った場合は、抽選により履修者を決定する。 ・　抽選科目は、履修したい科目を慎重に選んで登録する。 ・　**抽選科目の当落結果は、CampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で確認する**。登録した科目が記載されていれば当選、記載されていなければ落選である。 ・　**抽選科目は空席がある科目に限り追加登録することができる**。各科目の空席状況はCampusSquareのリンク「履修登録の注意事項」で発表する。 ・　追加登録の当落結果は、追加登録確認日以降にCampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で確認する。

（3）**指定クラス**

　同じ科目が複数の時限で開講されている場合、学科・学年・クラスが指定されていれば「時間割表」の学科・学年・クラスの指示に従って登録し、指定されていなければ、そのうち１時限を選択して登録する。

　前年度までの必修科目を再履修する際、再履修者用クラスが指定されている場合がある。「時間割表」の開講年組欄に「再履修者専用」の表示がある科目はその曜日時限で履修する。

（4）**履修できない科目**

▷　同学年の他クラスの科目
▷　上級年次対象の科目
▷　他学科・他専攻の科目（他学部・他学科開放科目を除く）
▷　同一科目
▷　同一曜日時限科目
▷　既に単位を修得した科目

（5）集中授業は、日程が１日でも重なると複数の科目を履修登録することができない。

（6）前提科目の単位を修得していないと履修できない科目があるので、「カリキュラム表」や「履修上の注意」をよく読み注意する。

（7）上級年次の学生は、下級年次対象科目を履修することができる。

（8）他学部・他学科・他専攻の開放科目は一部の科目を除き１次登録から登録できる。

（9）病気等やむを得ない理由により、所定の期間に履修登録が不可能な場合は、必ず事前に教務事務室・教学事務室へ相談し、指示を受ける。

7 履修中止

履修中の科目について、取消期間（前期：４月17・18日、後期：９月26・27日）を過ぎてから、病気等やむを得ない理由により学期の途中で履修を継続することが困難となった場合、以下のとおり履修中止を申請することができる。

１．申請できる事由

事　由	添付書類
Ⅰ　傷病により長期入院、長期加療が必要となった場合※	診断書（コピー不可）
Ⅱ　次の①～⑨の科目について、履修登録時に開講（実習）日が未定または開講（実習）日が変更されたため、予め履修登録した授業科目の開講日と重複した場合	
① 海外研修科目	海外研修募集要項等、日程が確認できるもの
② インターンシップ科目（単位認定科目に限る）	インターンシップ実施要項等、日程が確認できるもの
③ 集中授業科目	－
④ 学外実習 （心理学部・健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部）	－
⑤ 教育実習	－
⑥ 介護等体験	－
⑦ 図書館実習	－
⑧ 博物館実習	－
⑨ 学校教育体験	－
Ⅲ　図書館実習先・インターンシップ受け入れ先・学校体験先の確保が困難な場合	－
Ⅳ　学部長・研究科長等が特に履修中止の事由に値すると認めた場合	－

※　集中授業の履修について

①　傷病により加療が必要となった場合は、開講形態と診断書により判断する。

②　家族の忌引や危篤により欠席しなければならない場合、開講形態と当該者の火葬・埋葬許可書等又は診断書により判断する。

２．申請手続および提出期間

①　履修を中止したい事由が発生した場合、速やかに履修中止申請書に必要な書類を添付し、教務事務室・教学事務室へ提出する。提出期間は当該学期の履修登録期間終了後から授業終了日（前期：７月29日、後期：１月20日、集中授業は各授業科目の終了日）までとする。

②　申請手続きは原則として学生本人が行う。ただし、Ⅰの事由の場合に限り、代理人の申請も認める。
やむを得ない事情により提出期間内に提出できない場合は、あらかじめ教務事務室・教学事務室まで相談する。

所属学部の学部長の承認を得て履修中止が認められた場合、当該科目は成績評価対象外（GPA算出対象外）となり、次学期以降再度履修登録することができる。

Ⅳ 試験・成績評価

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1 試験の実施

定期試験は、各学期15回の授業の後、学年暦に定められた定期試験期間に実施する。また、定期試験期間における不測の事態（気象警報や公共交通機関の運行停止などによる全学的な休校措置）が発生した場合は、定期試験予備日に実施する。

試験の開始時間は、原則として通常の授業開始時間とする。試験時間は通常60分だが、科目によっては60分を超えて実施される場合がある。

授業担当者の判断により、課題を課し、そのレポートをもって試験に代えることがある。なお、授業の中で実施される試験については、授業担当者の指示に従うこと。

2 受験資格

授業担当者が実授業時数の３分の１を超えて欠席したと認めた場合は、受験資格を喪失する（「愛知淑徳大学履修及び試験規程」第12条参照）。

3 受験上の注意

学生証が無ければ、受験できない。紛失等により再発行が必要な場合は、学生事務室・教学事務室にて再発行の申請手続きを行うこと。申請から引渡しまで１週間程度を要するため、試験日に間に合うように、必ず学生証の有無を確認しておくこと。

（１）試験当日は、交通機関の混雑、遅延等により遅刻することのないよう、早めに登校する。
（２）定期試験は、指定された日時および教室で受験する。通常教室と異なる場合があるので定期試験時間割を確認する。試験時間割は、定期試験期間の２週間前よりCampusSquareで発表する。**日時・場所を間違えたことを理由に追試験を受験することはできない。**
（３）試験室では所持品はすべて鞄などに入れ、通路側でない足もとに置く。机の中には入れない。
（４）座席に指定がある場合は、指定された席に着席する。座席の指定が無い場合は、監督者の指示に従う。
（５）受験の際は、学生証を机上の通路側に置き、監督者の確認を受けなければならない。
（６）携帯電話やウェアラブル端末（時計機能のあるものも含む）の使用を禁止する。
（７）試験開始後20分以上遅刻した者は、試験室に入室できない。また、試験開始後30分以内は退室できない。
（８）受験した学生は、必ず答案を提出しなければならない。
（９）不正行為はもとより、文房具の貸借など紛らわしい行為を一切してはならない。**不正行為を行った者とその援助者は、当該科目を失格とし、「学生の懲戒処分等に関する規程」による懲戒処分を行う。**

4 追試験

（1）次の事由により定期試験を受験できなかった者に対して、追試験を行う。

欠　席　事　由	証　明　書　類　等
病気またはけが	医師の診断書（欠席日が明記されているもの） ＊コピー不可
２親等以内の忌引（法事を除く）（※１）	火葬・埋葬許可書、会葬礼状等告別式の日がわかるものの写し
教育実習・介護等体験	教務事務室・教学事務室で確認
博物館実習	
図書館実習	
「インターンシップ研修」（単位認定科目に限る）（キャリアセンター開設科目）	
学外実習（心理学部・健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部）	
交通機関の事故	交通機関の発行する遅延証明書
教員採用試験	受験票のコピー
就職試験（筆記試験・面接試験・内定手続・内定者研修）	受験先の証明書（キャリアセンターに所定用紙あり）
クラブ活動（大学公認団体の公式試合に限る）	学生事務室・教学事務室に問合せ、該当するか確認後、学生事務室・教学事務室から渡される「学外教育活動等届（学生部長承認済み）」を提出
裁判員として選任され、選任手続期日および審理・公判当日が試験時間と重なった場合	選任手続期日のお知らせ（呼出状）のコピー
その他、正当な事由と認められる場合（※２）	事由書（教務事務室・教学事務室に所定用紙あり）

※１　追試験が認められる忌引日数については、配偶者７日、父母４日、祖父母・兄弟姉妹２日とし、告別式またはその前日から計算した、連続した日数とする。

なお、遠隔地の場合は、忌引日数の他に目的地との往復に要する日程の加算を考慮する。

※２　個人的なボランティア、ホームステイ、個人の短期留学等は不可。申し出た事由を教務委員会で審議するため、あらかじめ教務事務室・教学事務室に問い合わせる。

（2）受験手続き

①　所定の日時（次ページのとおり）までに「追試験受験願」に（1）に規定する証明書類等を添付して、教務事務室・教学事務室の窓口に提出しなければならない（「愛知淑徳大学履修及び試験規程」第14条参照）。

②　病気等やむを得ない理由で、期限内に「追試験受験願」を提出できない場合は、ただちに教務事務室・教学事務室へ連絡し、指示を受ける。

（3）受験上の注意

前ページの**「3　受験上の注意」**に同じ。

（4）追試験を欠席した者に対する再度の追試験は行わない（「愛知淑徳大学履修及び試験規程」第14条参照）。

追試験の手続き方法

試験に欠席し、その科目の追試験を希望する。

↓

「追試験受験願」に証明する書類等を添付し、所定の期日までに提出する
（用紙の受取、提出は教務事務室・教学事務室の窓口）
［前期］　8月6日（火）　13：00まで
［後期］　1月28日（火）　13：00まで

↓

「追試験受験願」提出締切後、追試験受験資格を教務委員会で審議

↓

追試験が受験できるかどうかを「追試験時間割」により確認する（学生証持参）
（追試験時間割は教務事務室・教学事務室の窓口にて該当者に配付）

↓

追試験受験（学生証持参）

↓

追試験受験結果を確認する
追試験受験結果は、成績発表日にCampusSquareの
「試験・成績」の「履修成績照会」で確認する。

（注）　追試験の手続き等に関する日程は、各学期末の定期試験時間割発表と同時にCampusSquareに掲載する。

5 レポート提出上の注意

（1）提出期限は厳守しなければならない。

（2）レポートは、原則として授業担当者に提出する。指定のあった場合は、下記の場所に設置されているレポートボックスに提出する。レポートは各自コピーをとるなどし、手元に控を保管しておくこと。レポートボックスは原則として締切日の１週間前に設置されるので、利用時間内に該当のボックスに提出（下表参照）すること。

レポートの入れ間違いに注意する（レポートボックスを間違えない。違うレポートボックスに入れた場合は、提出したことにならない）。

（3）レポートのタイトル・内容・締切等については、授業担当者に確認する。

（4）レポートに表紙をつけるよう授業担当者から指示があった場合は、所定の表紙をつけ、必ずホチキス留めをしてレポートボックスに提出すること。

表紙は、長久手キャンパスはレポートボックス室に、星が丘キャンパスは印刷室２に用意されている。

キャンパス	レポートボックス設置場所	開室時間〔月～金〕	問合せ先
長久手キャンパス	３号棟１階 レポートボックス室	授業日：９：00～18：30 授業日以外：９：00～17：00	教務事務室
星が丘キャンパス	１号館２階 印刷室２	授業日：９：00～18：30 授業日以外：９：00～17：00	教学事務室

適切なレポートの書き方を『日本語表現１』（必修科目）等で学びましょう

レポートを作成する際に、書籍、ウェブサイトなどで入手した他人の資料や見解をあたかも自分のものであるかのように装ったものは、適切なレポートでないだけではなく、剽窃（ひょうせつ）と呼ばれる犯罪行為にあたる。このような不正行為を行った場合は、当該科目を失格とし、「学生の懲戒処分等に関する規程」により懲戒等の処分の対象となる。

また、他人にレポートを代筆させる行為や他人のレポートを代筆する行為はいずれも不正行為とみなし、懲戒等の処分の対象となる。

本学の『日本語表現１』（必修）・『日本語表現２』（学部ごとに必修または選択）では、これらの点も含めた「レポート作成上のルール」を学修するので、それを遵守すること。

ChatGPT等（生成系AI）の利用について

近年、ChatGPT等をはじめとする生成系人工知能（AI）技術は目覚ましい発展をとげ、社会に大きな影響を与えはじめています。その活用には大きなメリットがあると同時に、教育においては慎重な判断が必要と考えられます。安易な生成系AIの利用は、剽窃などの不正行為につながる可能性を生じさせます。本学では、現時点における学生の利用について、以下の通りとします。

レポートや論文、課題への取り組みにおいて、生成系AIを利用して作成することを原則として禁止する。ただし、授業担当者の指示により使用する場合、その使用範囲については授業担当教員の指示に従うこと。

6 再試験

再試験は４年生を対象とし、卒業年次の履修科目（当該学期のみ）に限り、前後期**各４単位**の範囲で不合格（成績評価F）科目について受験することができる。**成績評価「失」「欠」「否」は再試験の対象とならない**。再試験の成績評価は、C（合格）またはF（不合格）とする。

なお、集中授業等で再試験受験願提出期間までに成績評価が出ない科目も、再試験の対象にならない。

再試験の手続き方法

成績発表日に不合格科目を確認する

▼

不合格（成績評価F）科目の再試験を希望する

▼

「再試験受験願」を所定の期日までに提出する
（用紙の受取、提出は教務事務室・教学事務室の窓口）
［前期］　８月29日（木）　９：00～17：00、８月30日（金）　９：00～13：00
［後期］　２月20日（木）　９：00～17：00、２月21日（金）　９：00～13：00

▼

再試験時間割を確認する（学生証持参）
再試験時間割は教務事務室・教学事務室の窓口にて該当者に配付

▼

再試験受験（学生証持参）

▼

再試験受験結果を確認する
再試験受験結果を指定された日にCampusSquareの「試験・成績」の「履修成績照会」で確認する。

（注１）　再試験の手続き等に関する日程は、各学期末の定期試験時間割発表と同時にCampusSquareに掲載する。
（注２）　再試験を欠席した者に対する追試験は行わない。再試験の結果、不合格となった者に対する再度の再試験は行わない（「愛知淑徳大学履修及び試験規程」第15条参照）。

7 成績評価

成績は、授業担当者が定期試験・レポート・小テスト・平常の学修状況・実技実習等の評価方法等により、学修目標に対する到達結果をもって評価する。各科目の具体的な成績評価基準については、『シラバス』を参照する。

成績評価	評価点 (Grade Point)	単位	基準	説明
A+	4	認定	90%以上	到達目標に対して特に優秀な結果を残したと授業担当者が判断したもの
A	3		80%～89%	到達目標に対して優秀な結果を残したと授業担当者が判断したもの
B	2		70%～79%	到達目標をほぼ充足する結果を残したと授業担当者が判断したもの
C	1		60%～69%	到達目標に対して必要最低限については充足できたと授業担当者が判断したもの
合	－		－	合/否により成績が評価される授業において到達目標を達成したと授業担当者が判断したもの
認	－		－	到達目標を達成したと授業担当者が判断したもの（読み替えによる認定のみ）
F	0	不認定	59%以下	到達目標に到達できていないと授業担当者が判断したもの
失	0		－	失格：受験資格喪失
欠	0		－	欠席：定期試験欠席・定期試験に代わる課題の不提出
否	－		－	合/否により成績が評価される授業において到達目標を達成していないと授業担当者が判断したもの
W	－	成績評価対象外	－	履修中止：学部長の承認により、履修の取消しが行われたもの

（注） 休学、退学、除籍、長期の停学に伴い、学期途中で履修の継続が不可能となった場合は、当該科目の単位を認定しない（履修情報を削除する）。

食健康科学部専門教育科目　成績評価における評価項目・基準

◆レポート・課題

評価項目	評価基準	評価
形式	指定された条件や形式（文字数、用紙数、体裁など）が守られているか。	A＋～F
構成	課題の明示、仮説、目的、方法、結果、考察、結論などが述べられているか。	A＋～F
論理性	目的に応じた論理の展開が行われ、それを踏まえた結論が述べられているか。	A＋～F
独創性	自分の考え、問題提起などが述べられているか。剽窃等はないか。	A＋～F
引用・出典の明示	自分の説と他人の説を明確に区別しているか。	A＋～F

◆卒業研究報告・卒業論文

評価項目	評価基準	評価
形式	指定された条件や形式（文字数、用紙数、体裁など）が守られているか。	A＋～F
新規性	先行研究を踏まえた新規性・独創性（オリジナリティ）があるか。	A＋～F
学術的意義	研究内容について学術的または社会的意義があるか。	A＋～F
構成	研究背景、仮説、目的、方法、結果、考察、結論などが述べられているか。	A＋～F
論理性	目的に応じた論理の展開が行われ、それを踏まえた結論が述べられているか。	A＋～F
引用文献	適切な文献を引用しているか。	A＋～F

◆筆記試験・口述試験・実技試験

評価項目	評価基準	評価
シラバスに記載されている「到達目標」への到達度	授業の到達目標を充足し、特に優秀であると認めた場合。	A＋
	授業の到達目標を充足し、優秀であると認めた場合。	A
	授業の到達目標を充足し、良好であると認めた場合。	B
	授業の到達目標を必要最低限のレベルに達したと認めた場合。	C
	授業の到達目標に到達できなかった場合。	F

8 GPA制度

成績評価の明確化および学生の学修意欲の向上を目的として、2006年度よりGPA（Grade Point Average）制度を導入している。GPAとは各成績評価に対して定められたポイントをもとに算出された、１単位当たりの成績の平均値のことである。

GPA制度により、修得単位数という“量”の学修成果に加えて、成績評価に基づく学修の“質”を判断し、学生一人ひとりが、学修に対する意欲とその成果を総合的かつ客観的に確認することができる。

GPAは成績通知書および成績証明書に記載し、成績通知書には通算GPAに加え、各学期のGPAを記載する。これにより、学期ごとの学修成果とその推移を学生自ら把握し、学修意欲の向上につなげるとともに、適正な学修時間を確保し、無理な履修計画や安易な履修登録を避けることが期待される。GPAはこの他、学生一人ひとりに対し適切な学修指導を行うための資料や各種選考資料として利用する。

GPAの算出方法は、次のとおり。

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔（履修登録した科目の単位数）×（その科目の評価点）〕の総和}}{\text{（履修登録した科目の単位数）の総和}}$$

GPAは履修した科目のうちGPA算出対象科目について、それぞれの科目の成績を表す評価点（GradePoint）に、単位数を掛けたものを総合計し、該当科目の総単位数で割ることにより算出する。したがって、F（不合格）、失（失格）、欠（欠席）が多い場合や、一旦は登録したものの履修継続意志を失った科目について追加登録または取消期間中に履修の取り消しをしなかった場合には、GPAの値は低くなる。

履修の意志がありながら、学期の途中で病気等のやむを得ない理由が生じた場合は、履修を取り消すことができる。この場合、教務事務室・教学事務室に申し出て、所定の手続きをとる。履修中止制度（W）についての詳細は履修中止のページを参照。

〔GPA の算出例〕

授業科目名	単位数	成績	評価点(GP)	単位数×評価点(GP)
日本国憲法	2	A+	4	8
English 3（TOEIC 1）	2	A	3	6
Basic English 1	2	F	0	0
コンピュータリテラシーⅠ	2	B	2	4
ネットワークリテラシー	2	欠	0	0
初級簿記（３級程度）	4	C	1	4
教職入門	2	失	0	0
計	16	−	−	22

（単位数×評価点(GP)の合計）	÷	（単位数の合計）	=	GPA
22	÷	16	=	1.375
当該学期のGPA			=	1.38※

※小数点以下第三位を四捨五入

※　成績評価が「認」「合」「否」「W」の科目は、GPA算出対象から除外される。

9 成績発表

（1）成績はCampusSquareの「試験・成績」の「履修成績照会」から「画面に表示する」または「PDF出力」を選択して確認する。「PDF出力」を選択すると成績通知書を出力することができる（成績通知書の出力期限は、前期：2024年12月31日まで、後期：2025年６月30日まで）。ただし、正式な書類を希望する場合は、証明書発行機で成績証明書を購入する。

成績発表日時は、以下のとおり。ただし、再試験受験願・成績評価質問票は、所定の期間内に教務事務室・教学事務室の窓口に提出する。成績発表日時点で未評価の科目については、成績が確定次第、CampusSquareの全学掲示板で通知される。

また、保証人宛に、２～４年生の前年度後期までの成績通知書を４月中旬頃に、１～４年生の今年度前期までの成績通知書を９月中旬頃に、今年度後期までの成績通知書を３月中旬頃に郵送する。

	成績発表日時
前　期	2024年８月29日（木）　9：00～
後　期	2025年２月20日（木）　9：00～

（2）通年科目の成績は、後期に発表される。

10 成績評価に関する質問

成績評価に関して質問等がある場合は、以下の期間内に「成績評価質問票」を教務事務室・教学事務室に提出する。

	受　付　日　時
前　期	８月29日（木）～９月４日（水）　9：00～17：00
後　期	２月20日（木）～２月27日（木）　9：00～17：00

※　ただし、土・日・祝日は除く

（1）「成績評価質問票」には、授業の出席、提出物、小テスト等の状況をできるだけ詳細に記入するとともに、質問内容を明確に記入する。

（2）成績評価に関する陳情は禁止されている。評価を上げてほしい等の要望になっている場合、提出は認められない。

（3）成績は学修目標の到達結果をもって評価される。F＝出席状況（欠席）による評価ではない。

（4）「成績評価質問票」は、教務事務室・教学事務室を経由して授業担当者に渡される。授業担当者からの回答が届き次第、CampusSquareにより連絡するので、学生証を呈示し教務事務室・教学事務室で受取る。

なお、授業担当者からの回答に質問等がある場合は、教務事務室・教学事務室に申し出ることができる。この場合の質問等については、学部教務委員会等が授業担当者からヒアリングをしたうえ回答する。

11 授業担当者に対する陳情等の禁止

成績評価に関して質問等がある場合は、必ず、前述の「成績評価に関する質問」に従って「成績評価質問票」を提出すること。本学では、成績発表後に、成績評価に関する質問を、学生が授業担当者に対して、直接、メールや電話等で行うことを禁止している。また、授業期間中、成績発表後などその時期に関わらず、学生が授業担当者に対して、陳情を行うことを禁止している。授業担当者は、学生からの以下のような陳情には、一切対応しない。禁止行為となっている陳情を繰り返し行う学生に対しては、学部教務委員会等による指導を行う。

<table>
<tr><th></th><th>具　体　例</th><th>授業期間中</th><th>成績発表後</th></tr>
<tr><td rowspan="2">質　問</td><td>・授業を○回欠席したが、受験資格はあるか。
・小テストを受けなかったが、大丈夫か。</td><td>授業担当者に直接質問する。</td><td></td></tr>
<tr><td>・授業に全回出席したのに評価が「失」なのはなぜか。
・レポートを提出した（試験を受けた）のに評価が「欠」なのはなぜか。
・出席回数もレポートの完成度も友人とほぼ同じだと思うが、成績が異なるのはなぜか。</td><td></td><td>期間内に提出された「成績評価質問票」による質問のみ受け付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">陳　情</td><td rowspan="2">・この授業の単位がないと卒業できない。
・就職先が決まっているので、この授業の単位が欲しい。
・追加でレポート課題を出してもらえれば提出するので、単位をください。</td><td colspan="2">時期を問わず陳情には一切対応しない</td></tr>
<tr><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

＜適切ではない質問の例＞

・授業に全回出席したのに評価が「F」なのはなぜか。

・レポートを期限内に提出したのに評価が「F」なのはなぜか。

【解説】

成績は学修目標に対する到達結果をもって評価される。特に以下の点に注意すること。

・授業に出席することによって「出席点」が得られることはない。

・レポートを期限内に提出したからといって、必ず単位が認定される訳ではない。

成績評価に関する質問をする際には、以上の点を踏まえ、自分が一定の評価に値する内容のレポート等を提出していたかを確認する。今後の学習に生かすために自分に何が足らなかったかを知りたい場合は、その旨を具体的に成績評価質問票に記入する。

12 卒業認定者の発表

卒業認定者は、３月中旬（９月卒業の場合は９月中旬）にCampusSquareで発表する。

V 学修機会を拡大する制度

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

以下の５つの制度は、本学に学ぶ意欲的で優秀な学生の学修機会の拡大と一層の学修意欲の向上をねらいとして設けられたプログラムである。

各制度の詳細は、別冊子を参照する。

①　複数専攻制度（副専攻プログラム）

所属する学部・学科（専攻）のカリキュラムを履修しながら、学部・学科（専攻）の枠を越えて異分野の科目を体系的・重点的に学ぶことができる制度である。単なる他学部履修とは異なり、所属する学部・学科（専攻）以外の学部・学科（専攻）から提供される体系的な副専攻プログラムを履修し、所定の単位を修得した学生に、副専攻の修了を証明するものである。

（別冊子『複数専攻制度（副専攻プログラム）と複数学位取得制度のご案内』参照）

②　複数学位取得制度

副専攻プログラムおよび他学部・他学科開放科目の履修実績を基盤として、所属学部を卒業した後に、副専攻プログラムを修了した学部・学科（専攻）の４年次に編入学し、最短５年で２つの学位を取得することを目指す制度である。

（別冊子『複数専攻制度（副専攻プログラム）と複数学位取得制度のご案内』参照）

③　学部・大学院５年修了プログラム

学部・研究科間の相互履修を促進し、より専門性の高い学修と学位を望む学生に大学院進学の機会を与えるために設けられたプログラムで、飛び入学により早期に大学院へ進学する方法、または、学部４年次に研究科開放科目を履修し卒業後直ちに大学院に進学して１年間で修了する方法により、学部入学後５年間で学部を卒業し（飛び入学の場合は中途退学）、大学院博士前期（修士）課程の修了を目指すプログラムである。

（別冊子『学部・大学院の連携』参照）

④　海外の大学（協定校）との複数学位取得制度

多様化する社会的ニーズに応えるため、海外の大学（協定校）と連携することでさらなる専門教育の充実を図るとともに、国際的視野を養うために設けられたプログラムである。愛知淑徳大学と海外の大学（協定校）の双方に学籍を持ち、原則として２年間を愛知淑徳大学で学んだ後、残りの２年間を留学先の大学（協定校）で学び、合計４年間（最短）で２つの学位を取得することを目指す制度である。

（別冊子『海外留学ハンドブック』参照）

⑤　星が丘キャンパスモデル

星が丘キャンパスを拠点とする３学部の学生が、学部を越えて専門科目やゼミを履修することで興味のある分野についての視野を広げ、専門領域をさらに深く学習するために設けられた制度が「星が丘キャンパスモデル」である。具体的には３つの制度から構成されている。

（『履修要覧2024　ビジネス学部』『履修要覧2024　交流文化学部』『履修要覧2024　グローバル・コミュニケーション学部』参照）

Ⅵ 学外修得単位の認定

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

本学では、入学前もしくは入学後の他大学等において修得した単位（既修得単位）を、本学での履修により修得した単位として認定する制度がある。単位認定を受けようとする科目が、入学前に修得したものか、在学中に修得したものかによって手続きが異なるので注意する。

（1）入学前の既修得単位の認定（大学学則第34条）

① 入学前における既修得単位が、次のいずれかに該当する場合、単位認定を受けることができる。

・ 他大学等に籍を置き修得した単位

・ 科目等履修生として修得した単位

② 単位認定を希望する場合は、指定する提出期間中に次の書類を提出する。

提　出　書　類	提　出　先	提　出　期　間
「単位認定申請書」※1 当該科目の成績証明書 当該科目のシラバス（授業概要等）	教務事務室・教学事務室	入学年度の前期授業開始日から1週間 4月12日（金）～4月18日（木） ただし、土・日曜日は除く

※1 「単位認定申請書」は教務事務室・教学事務室窓口で受取る。

③ 認定単位数の上限……**60単位以内ⓐ**

④ 科目別単位認定の条件

・ 読み替え可能な科目は、所属する学部・学科の専門教育科目等として認定される。

・ 上記以外の科目は、読み替え不可能な科目を含め本学の全学共通履修科目として包括的に認定される。

⑤ 認定単位の確認

単位の認定は、教務委員会、教授会の議を経て行われる。ただし教授会で審査の結果、認定されない場合もある。認定の可否については、CampusSquareの「試験・成績」の「履修成績照会」から各自で確認する。

（2）入学後の他大学等での修得単位の認定（大学学則第33条）

① 単位認定を希望する場合は、指定する提出期間中に次の書類を提出する。

提　出　書　類	提　出　先	提　出　期　間
「単位認定申請書」※1 当該科目の成績証明書 当該科目のシラバス（授業概要等）	教務事務室・教学事務室	授業開始日から1週間 前期：4月12日（金）～4月18日（木） ただし、土・日曜日は除く 後期：9月23日（月）～9月27日（金）

※1 「単位認定申請書」は教務事務室・教学事務室窓口で受取る。

② 認定単位数の上限……**60単位以内ⓑ**

③ 科目別単位認定の条件

・ 読み替え可能な科目は、所属する学部・学科の専門教育科目等として認定される。

・ 上記以外の科目は、読み替え不可能な科目を含め本学の全学共通履修科目として包括的に認定される。

・ 留学生派遣規程に基づく海外留学による単位認定は、別途内規による。

・ 休学期間中に他大学等で修得した単位の認定を希望することも可能である。ただし、休学前に指導教員と十分相談し、指導を受けること。特に、留学の場合、その教育機関の種類、授業内容、授業時間数等で認定されない場合もある。

④ 単位認定の確認

単位の認定は、教務委員会、教授会の議を経て行われる。ただし、教授会で審査の結果、認定されない場合もある。認定の可否については、CampusSquareの「試験・成績」の「履修成績照会」から各自で確認する。

上記ⓐとⓑの合計が60単位を超えない範囲で認定する（大学学則第34条）。

Ⅶ 食健康科学部カリキュラムと卒業要件

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1 ディプロマ・ポリシー（人材養成像）

食健康科学部は、人の健康の保持、増進における食や栄養の関わりについての知識を修得し、「食」と「栄養」の専門家として、実社会の食品、健康に関する諸問題に論理的かつ科学的根拠に基づき対処ができ、すべての人々の生活の質を向上させることに貢献できる人材の育成を目標にしている。この教育目標を達成するために、以下の能力を習得した学生に学位を授与する。

健康栄養学科

① 管理栄養士として必要な幅広い教養と、専門的かつ科学的知識、高度な実践能力を有し、人々の健康の保持・増進、生活の質の向上を通して健康長寿社会に貢献していく高い志を有する者（知識・技能）。

② 強い使命感と判断力、豊かなコミュニケーション能力を有し、各ライフステージおよび人々の状況に対応した適切な栄養管理を、他職種と協調しながら遂行できる者（意欲・判断力・コミュニケーションスキル）。

③ 「健康」と「栄養」、「食」に関する問題を自ら発見し、問題解決に向け、科学的根拠に基づいて実証的に分析し、論理的に思考する能力を有する者（創造的・科学的思考力）。

食創造科学科

① 食創造科学領域における専門知識を深め、食と健康分野において必要な総合力を培い、豊かな食生活と健康社会に貢献するために必要な知識と技能を有する者（知識・技能）。

② 修得した知識をもとに食に関する諸問題に対し、自ら考え、解決策を見いだし、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業に貢献できる「食」の専門家として行動できる者（判断・関心・行動）。

③ 食に関する問題に対し、科学的根拠に基づいて実証的に分析し、他者と協調・協働して新たな食品の創造・創生の提案ができる能力を有する者（創造的・科学的思考力）。

2　カリキュラム・ポリシー(ディプロマ・ポリシーに整合し、それを保証するカリキュラムの体系性を記したもの)

食健康科学部

食健康科学部は２学科（健康栄養学科、食創造科学科）で構成され、カリキュラムは「食健康科学分野で「食」と「栄養」の専門家として社会貢献する人材、さらにすべての人の生活の質を向上させることに貢献し得る人材」を育成するために不可欠な基礎的知識とスキルを身につける目的で設定された「学部基礎科目」と、それぞれの学科のディプロマ・ポリシーにもとづいて編成された学科ごとの「専門教育科目」によって構成する。

健康栄養学科

本学科は、管理栄養士養成課程であるため、法令に適合した専門基礎分野および専門分野からなる科目編成を基本としている。教育内容は、管理栄養士として必要な幅広い教養と、専門的かつ科学的知識、高度な実践能力を有し、人々の健康の保持・増進、生活の質の向上を通して健康長寿社会に貢献していく知識・技能を有する人材養成を達成するために、必要な科目を体系的に編成する。

教育内容としては、１年次を中心に、「専門基礎科目」と「学科基礎科目」を導入し、管理栄養士の社会的役割について理解を深めながら、学びに対する動機付けと将来に向けた目標設定を促すための科目（「管理栄養士概論」、「早期体験学習」）を配置する。２年次・３年次は、主として管理栄養士として必要な高度な専門知識を身につけるための「専門中心科目」を配置する。このうち３年次の臨地実習とその事前・事後学修のための科目、在宅を含む対象者への適切な栄養管理が実践できるための知識と技術を修得するための科目（「対人技術演習」、「栄養総合演習Ⅰ」）などを配置して、強い使命感と判断力、豊かなコミュニケーション能力を有し、各ライフステージおよび人々の状況に対応した適切な栄養管理を、他職種と協調しながら遂行できる人材養成を図る。３年次・４年次では、これまでの学びの集大成として、積み上げてきた各分野における知識と技能を融合させながら、少数で構成されるゼミナールによる卒業研究指導科目、および各専任教員の専門領域に関する演習科目などの「専門中心科目」や「学科発展科目」を配置して「健康」と「栄養」、「食」に関する問題を自ら発見し、問題解決に向け、科学的根拠にもとづいて実証的に分析し、論理的に思考する能力を有する人材養成を図る。

これらの教育内容を効果的に学修できるように、「専門基礎科目」、「専門中心科目」および「学科発展科目」などの学修方法は、講義に加え、実験・実習・演習も組み入れながら、基礎的な知識と実践的な技能の修得を図る。

学修の成果は、学期ごとの定期的な成績評価と、３年次の臨地実習評価、４年次の総合演習および卒業研究に対する評価によって確認し、最終的にディプロマ・ポリシーの到達状況を判断する。

食創造科学科

食創造科学科では、豊かな食生活と健康社会に貢献し、創造性や先見性を有した食創造力により食健康科学分野で貢献できる人材を育成するため、幅広い教養と科学的かつ多角的な視点を有し、積極的に地域社会へ関わる姿勢を身につけるため、食創造科学の６領域である食品学領域、調理学領域、健康学領域、栄養学領域、食文化領域、食創生領域のそれぞれの「専門基礎科目」を経て、「専門中心科目」へと体系的に学修する。

教育内容としては、１年次は学びに対する動機付けと将来に向けた目標設定を促すための科目を配置する。食創造力を培うための食創造科学６領域である「専門基礎科目」を配置し、各領域の主となる科目を必修とし、各領域の実験・実習科目を選択必修とする。実験・実習科目はそれぞれに対応する講義科目の単位取得後に履修することを条件とする。また、食創造科学６領域の「専門中心科目」により実践的な食創造力を養成する専門科目を配置する。２年次は食健康科学分野での食創造科学の役割を各領域の専門分野の概論から学修する「学科基礎科目」を配置する。そして、食科学コース、食・健康創造コースの履修モデルや各種資格取得のための学修モデルを理解し、選択科目である各領域の「専門中心科目」を修得する。また、１年次後期と２年次前期では、少数で構成されるゼミナールにより食創造科学各分野の学修段階で修得した知識と技能を実践するため、文献講読や専門基礎オリジナル研究を遂行し、食創造力とコミュニケーション力を高める「食創造科学基礎演習」、「専門基礎演習Ⅰ」を配置する。さらに２年次後期に「専門基礎演習Ⅱ」で食創造科学の各分野のゼミナールを選択し、３年次から卒業研究を遂行するための基礎研究能力を

培う「食創造科学研究Ⅰ～Ⅳ」を配置する。また、３年次は食産業や健康産業で活躍できるキャリアスキルを身に着けさせる必修科目を配置する。３年次・４年次はこれまでの学びの集大成として、積み上げてきた各分野における知識と技能を融合させながら、少数で構成されるゼミナールによる卒業研究指導科目、および各専任教員の専門領域に関する演習科目などを配置して食健康科学分野に関する問題を自ら発見し、問題解決に向け、科学的根拠にもとづいて実証的に分析し、論理的に思考する能力を有する人材養成を図る。

これらの教育内容を効果的に学修できるように、「専門基礎科目」、「専門中心科目」および「学科発展科目」の学修方法は、講義に加え、実験・実習・演習も組み入れながら、基礎的な知識と実践的な技能の修得を図る。学修の成果は、学期ごとの定期的な成績評価と、４年次の卒業研究に対する評価によって確認し、最終的にディプロマ・ポリシーの到達状況を判断する。

3　アドミッション・ポリシー

食健康科学部

本学部は、食健康科学の知識を有し、「食」と「栄養」の専門家として食品分野や健康分野の現場で活躍する人材の養成を目指している。この目標を達成するために、入学者には次の３点を期待する。

①　学生に期待すること

健康維持や疾病予防における食と栄養の係わりに関して高い関心を有し、将来、「食」と「栄養」の専門家として社会に貢献する強い意志を有していること。

②　学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する新しい知識や技能の修得に積極的で向学心が高く、科学的思考力、論理的思考力を修得することに積極的であること。

③　入学前学習として推奨すること

人間関係において、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を有していること、あるいは、それらを修得し、向上させることに積極的であること。

健康栄養学科

①　学生に期待すること

「栄養」、「食」の科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、管理栄養士の現場にふれる中で保健・医療・福祉への関心と豊かな人間性を養い、社会の現場において自己実現できる人材となることを期待する。

②　学生募集に際して重視すること

保健・医療・福祉に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢、社会情勢や当該分野に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、自らの健康だけでなく、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③　入学前学習として推奨すること

高等学校で学ぶ生物、化学の基礎的な知識を身に付けておくことに加え、「健康」、「栄養」、「食」に関する分野の図書や雑誌、新聞記事などを読んでおくこと。

食創造科学科

①　学生に期待すること

食健康科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業、健康産業に貢献する人材となることを期待する。

②　学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する専門知識と創造性に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢を有し、「食」や「健康」に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③　入学前学習として推奨すること

高校卒業レベルの基礎的な知識だけでなく、図書や、雑誌、新聞記事などのマスメディアから、「食」、「栄養」、「健康」に関する分野の知識を意欲的に吸収し、自ら考える習慣を身に付けていることが望まれる。

4 卒業に必要な単位（卒業要件単位数）

本学の食健康科学部を卒業するためには、４年以上在学（休学期間は含まない）し、健康栄養学科および食創造科学科とも124単位以上を修得しなければならない。その内訳は次の表のとおりである。

なお、健康栄養学科は言語活用科目（英語）の「Introduction to English」、学科基礎科目「基礎化学」「基礎生物学」、学芸員課程科目、司書課程科目および研究科開放科目は、卒業に必要な単位数に算入しない。

食創造科学科は言語活用科目（英語）の「Introduction to English」、学科基礎科目「基礎化学」「基礎生物学」、司書課程科目および研究科開放科目は、卒業に必要な単位数に算入しない。

健康栄養学科

■　１年生（2024年度以降入学者）

授業科目の種類			卒業要件単位 健康栄養学科
専門教育科目（注１）		学部基礎科目	必修７単位
		学科基礎科目	必修５単位
		専門基礎科目	必修38単位
		専門中心科目	44単位以上 （必修43単位、選択必修１単位を含む）
		学科発展科目	必修16単位
		資格取得科目	０単位以上
		教職科目	０単位以上
全学共通履修科目	基幹科目	違いを共に生きる科目	４単位以上 （「違いを共に生きる・ライフデザイン」 「日本語表現１」の合計必修４単位を含む）
		日本語表現科目	
	アクティブラーニング科目	国際交流センター開設科目	２単位以上
		CCC開設科目	
		キャリアセンター開設科目	
		ダイバーシティ共生センター開設科目	
	スキル科目	言語活用科目（英語）	４単位以上 （必ず言語活用科目（英語）４単位を含む）
		言語活用科目（初めての外国語）	
		コンピュータ活用科目	２単位以上
	資格教育科目	教職課程科目	０単位以上
		会計教育科目	
学部認定科目	他学部・他学科開放科目		０単位以上
	愛知学長懇話会単位互換科目（上限10単位）		
	放送大学単位互換科目（上限10単位）		
合　　計			124単位以上

（注１）専門教育科目の卒業要件単位の詳細はカリキュラム表を参照する。

食創造科学科

■　１年生（2024年度以降入学者）

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">授業科目の種類</th><th colspan="2">卒業要件単位</th></tr>
<tr><th colspan="2">食創造科学科</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">専門教育科目（注１）</td><td>学部基礎科目</td><td>必修７単位</td><td rowspan="5">90単位
以上</td></tr>
<tr><td>学科基礎科目</td><td>必修３単位</td></tr>
<tr><td>専門基礎科目</td><td rowspan="2">64単位以上
（必修20単位、選択必修 実験科目から
１単位、実習科目から１単位含む）
（注２）</td></tr>
<tr><td>専門中心科目</td></tr>
<tr><td>学科発展科目</td><td>必修16単位</td></tr>
<tr><td rowspan="13">全学共通履修科目</td><td rowspan="2">基幹科目</td><td>違いを共に生きる科目</td><td colspan="2" rowspan="2">４単位以上
（「違いを共に生きる・ライフデザイン」
「日本語表現１」の合計必修４単位を含む）</td></tr>
<tr><td>日本語表現科目</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アクティブ
ラーニング科目</td><td>国際交流センター開設科目</td><td colspan="2" rowspan="4">２単位以上</td></tr>
<tr><td>CCC開設科目</td></tr>
<tr><td>キャリアセンター開設科目</td></tr>
<tr><td>ダイバーシティ共生センター開設科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">スキル科目</td><td>言語活用科目（英語）</td><td colspan="2" rowspan="2">４単位以上</td></tr>
<tr><td>言語活用科目（初めての外国語）</td></tr>
<tr><td>コンピュータ活用科目</td><td colspan="2">２単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="3">資格教育科目</td><td>教職課程科目</td><td colspan="2" rowspan="3">０単位以上</td></tr>
<tr><td>学芸員課程科目</td></tr>
<tr><td>会計教育科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学部認定科目</td><td colspan="2">他学部･他学科開放科目</td><td colspan="2" rowspan="3">０単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">愛知学長懇話会単位互換科目（上限10単位）</td></tr>
<tr><td colspan="2">放送大学単位互換科目（上限10単位）</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="2">124単位以上</td></tr>
</table>

（注１）専門教育科目の卒業要件単位の詳細はカリキュラム表を参照する。
（注２）実験科目・実習科目の詳細はカリキュラム表欄外の脚注を参照する。

5　履修上の注意（健康栄養学科）

【全般的な注意】

1. 卒業に必要な単位数について

・卒業に必要な単位数（卒業要件単位数）は124単位である。内訳については、該当ページを熟読し、履修計画を立てること。

2. 必修科目について

・必修科目は指定された履修年次で履修すること。
・時間割において、同一の時間帯に複数の科目が開講されていて、そこに必修科目が含まれている場合は、必修科目を優先して履修すること。
・全学共通履修科目は、できるだけ早い学年で履修し、卒業要件単位を確保するよう努めるのが望ましい。ただし、配当学年、履修クラスは指定に従うこと。
・学科の専門教育科目（学部基礎科目、学科基礎科目、専門基礎科目、専門中心科目など）は、カリキュラム表に従って履修すること。所属する学科の専門教育科目と他学部・他学科の開放科目が重複した場合は、所属する学科の専門教育科目を優先して履修すること。

3. 履修年次について

・各科目は履修年次が指定されているので、カリキュラム表で確認すること。
・上級年次開講の科目は履修することができないが、下級年次開講の科目は履修することができる。
・履修して不合格となった科目は、次期に再度履修することができる。

4. 抽選科目について

・カリキュラム表の「定員等」欄に「(抽選)」と記述のある科目は抽選科目である。
・受講希望者が定員を超えた場合は、抽選にて履修者が決定される。
・抽選の結果はCampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で確認すること。

5. 卒業研究ゼミナールについて

・３年前期から４年後期にかけて「健康栄養学研究Ⅰ～Ⅳ」は学科に所属する学生全員が必ず履修すること。ゼミナールの選択は２年後期に行う。

【履修すべき科目について】

1. 学部基礎科目

学部基礎科目は、食健康科学部を構成する各分野の専門教育において、各分野の専門的な学修の基盤となる知識・技能として、共通に修得すべき内容を含む科目群である。食健康科学部の学生は全員必修科目であるため、当該学年で開講されている科目は、すべて履修すること。

2. 学科基礎科目

学科基礎科目は、本学科の教育理念や専門教育への導入、管理栄養士の社会的役割などについての理解を深めるための科目群である。全科目必修科目であるため、当該学年で開講されている科目は、すべて履修すること。

3. 専門基礎科目

専門基礎科目は、管理栄養士として必要な専門的知識、技術を修得するための基盤となる科目群であり、「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」で構成されている。すべて管理栄養士国家試験の出題範囲であり、また、全科目必修科目であるため、当該学年で開講されている科目は、すべて履修すること。

4. 専門中心科目

専門中心科目は、高度な専門知識と技術を修得するための科目群であり、「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」、「総合演習」、「臨地実習」の各分野の科目によって構成されている。専門中心科目は、栄養評価・判定に基づいた企画、実施、評価の総合的なマネジメントなど、管理栄養士として必要な高度な実践能力を養うための重要な科目群である。全科目必修科目であるため、当該学年で開講されている科目は、すべて履修すること。

5. 学科発展科目

学科発展科目は、これまでの学びの集大成として、各専門分野を横断した事例学修など、総合的な学びと、少数ゼミナール方式による卒業研究と論文執筆などに関する科目で構成されている。全科目必修科目であるため、当該学年で開講されている科目は、すべて履修すること。

6. 資格取得科目

資格取得科目は、食品衛生監視員および食品衛生管理者の任用資格、健康運動実践指導者の受験資格取得のために必要な知識を身に付けるための科目である。

7. 教職科目

栄養教諭一種免許状取得のための免許法施行規則に定められた「栄養に係る教育に関する科目」である。

【単位について】

本学科では、講義および講義中心の演習については、15時間の授業をもって１単位とし、実技または討論・発表などが中心の演習については、30時間の授業をもって１単位とする。

また、実験および実習については、45時間の授業をもって１単位とする。

【履修および単位認定に関する規程】

本学科では、管理栄養士国家試験受験資格取得のため、履修計画が厳しく設定されている。従って、いずれの科目も再履修しなければならないような事態に陥ることのないよう、出席、課題提出、試験対策には万全を期し、単位修得に真剣に取り組むことが求められる。

このような理由から、本学科では、管理栄養士国家試験に係る「専門基礎科目」および「専門中心科目」については、履修、単位認定に関して以下の規程を定める。

1) 学生は、開講される授業回数すべてに出席することが求められるが、やむを得ず欠席する場合、その回数は、原則として15回開講される科目は３回、８回開講される科目は１回を限度とする。この回数を超えた者は「不合格（Fまたは否）」とする。
2) 学外実習で欠席した場合、専任教員が担当する科目については、授業以外の空き時間に補講をおこなう。また、非常勤および本学本学科以外の教員が担当する科目については、該当授業に関するレポート課題を提示し、添削指導もしくは口頭試問などをおこなう。なお、成績評価の時点で、補講もしくはレポート課題による指導が完了していない学生は「不合格（Fまたは否）」とする。
3) 遅刻は授業開始15分後までとし、15分を超過した場合は欠席とする。遅刻は２回で１回の欠席とする。また、学外実習においては一切の遅刻・欠席は認めない。
4) 授業中の私語、居眠り、他授業の勉強など、積極的に授業に参加しない態度が見られた学生に対し途中退出を求めることができ、欠席扱いとする。
5) 「専門基礎科目」および「専門中心科目」のうち、筆記試験にて成績が基準に至らない学生に対しては、担当教員による補習再試験がおこなわれることがある。補習再試験に合格した場合に単位認定（C判定）される。

【臨地実習に関する規程】

臨地実習は、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価、判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の機会を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技術を修得することを目的としている。臨地実習は通常３年次に履修する。

臨地実習の履修には、学内での講義、演習、実験・実習で学んだ知識や技能などが、臨地実習に必要な水準まで達していることが必要である。従って、以下に定める基準を満たしていない場合は、原則として「臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）」～「臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）」を履修することができない。

１）それぞれの臨地実習科目について、下表に示す履修要件科目の単位を修得していること
２）専門基礎科目のうち、26単位以上修得していること
３）専門中心科目のうち、23単位以上修得していること
４）２年後期終了時点で、累積GPAが2.0以上であること
５）平素の出席状況および学習態度が良好で、臨地実習に臨む学生として相応しい行動がとれること

臨地実習履修要件科目一覧

<table>
<tr><th>臨地実習科目</th><th colspan="2">履修要件科目</th></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）</td><td rowspan="5">管理栄養士概論
早期体験学習
給食経営管理論
給食経営管理演習
給食経営管理実習
栄養教育論Ⅰ
栄養教育論Ⅱ
栄養カウンセリング論
栄養教育論実習Ⅰ
臨床栄養学
栄養アセスメント論</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅱ（臨床栄養学）</td></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）</td></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）*</td></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）*</td><td>公衆栄養学
食事調査法演習</td></tr>
</table>

＊選択必修科目

【管理栄養士国家試験の受験資格および栄養士資格の取得について】

1. 管理栄養士

管理栄養士とは、栄養士法第１条２項に規定されている国家資格であり、「厚生労働大臣の免許を受けて、管理栄養士の名称を用いて、傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導、個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門的知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行うことを業とする者をいう」とされている。

管理栄養士国家試験の受験資格は、管理栄養士学校指定規則別表第１に定められた単位数を修得し、本学の卒業要件を満たした場合に与えられる。

2. 栄養士

栄養士は、管理栄養士と同様に国家資格であり、栄養士法第１条第１項に「栄養士とは都道府県知事の免許を受けて、栄養士の名称を用いて栄養の指導に従事することを業とする者をいう」と規定されている。資格取得にあたっては、栄養士法施行規則別表第１に定められた単位数を修得し、本学の卒業要件を満たした場合、居住地の都道府県知事より免許が与えられる。

管理栄養士受験資格に必要な授業科目

１年生（2024年度以降入学者）

区分		授業科目	管理栄養士学校指定規則 別表第一（第二条第一号関係）に 定められている単位数		単位数	
			講義又は演習	実験又は実習	講義又は演習 （単位数）	実験又は実習 （単位数）
専門基礎分野	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ	6	10	講義（2）	
		公衆衛生学Ⅱ			講義（2）	
		社会福祉概論			講義（2）	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	微生物学	14		講義（2）	
		解剖生理学Ⅰ			講義（2）	
		解剖生理学Ⅱ			講義（2）	
		解剖生理学実験Ⅰ				実験（1）
		解剖生理学実験Ⅱ				実験（1）
		生化学Ⅰ			講義（2）	
		生化学Ⅱ			講義（2）	
		生化学実験Ⅰ				実験（1）
		生化学実験Ⅱ				実験（1）
		病理学総論			講義（2）	
		病理学各論			講義（2）	
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	8		講義（2）	
		食品学Ⅱ			講義（2）	
		食品学実験Ⅰ				実験（1）
		食品学実験Ⅱ				実験（1）
		食品衛生学			講義（2）	
		食品衛生学実験				実験（1）
		調理学			講義（2）	
		調理学実験				実験（1）
		調理学実習Ⅰ				実習（1）
		調理学実習Ⅱ				実習（1）
	小　計　①		28	10	28	10

区分		授業科目	管理栄養士学校指定規則 別表第一（第二条第一号関係）に 定められている単位数		単位数	
			講義又は演習	実験又は実習	講義又は演習 （単位数）	実験又は実習 （単位数）
専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	2	8	講義（2）	
		栄養学実習				実習（1）
	応用栄養学	応用栄養学	6		講義（2）	
		母子栄養学			講義（2）	
		中高年栄養学			講義（2）	
		応用栄養学実習				実習（1）
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	6		講義（2）	
		栄養教育論Ⅱ			講義（2）	
		栄養教育論実習Ⅰ				実習（1）
		栄養教育論実習Ⅱ				実習（1）
		栄養カウンセリング論			講義（2）	
	臨床栄養学	臨床栄養学	8		講義（2）	
		栄養アセスメント論			講義（2）	
		臨床栄養管理論			講義（2）	
		医療・福祉・介護と栄養ケア			講義（2）	
		臨床栄養学実習				実習（1）
		在宅栄養管理実習				実習（1）
	公衆栄養学	公衆栄養学	4		講義（2）	
		食事調査法演習			演習（2）	
		公衆栄養学実習				実習（1）
	給食経営管理論	給食経営管理論	4		講義（2）	
		給食経営管理演習			演習（2）	
		給食経営管理実習				実習（1）
	総合演習	栄養総合演習Ⅰ	2		演習（1）	
		栄養総合演習Ⅱ			演習（1）	
	臨地実習	臨地実習Ⅰ （給食経営管理論）		4		実習（1）
		臨地実習Ⅱ （臨床栄養学）				実習（1）
		臨地実習Ⅲ （臨床栄養学）				実習（1）
		臨地実習Ⅳ （臨床栄養学）				実習（1）※
		臨地実習Ⅴ （公衆栄養学）				実習（1）※
	小　計　②		32	12	32	12
合　計（小　計　①　＋　小　計　②）			60	22	60	22

※選択必修

栄養士免許証授与の所要資格に必要な授業科目

１年生（2024年度以降入学者）

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">授業科目</th><th colspan="2">栄養士法施行規則
別表第一（第九条関係）に
定められている単位数</th><th colspan="2">単位数</th></tr>
<tr><th>講義又は演習</th><th>実験又は実習</th><th>講義又は演習
（単位数）</th><th>実験又は実習
（単位数）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">社会生活と健康</td><td>公衆衛生学Ⅰ</td><td rowspan="3">4</td><td rowspan="20">4</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>公衆衛生学Ⅱ</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>社会福祉概論</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">人体の構造と機能</td><td>微生物学</td><td rowspan="6">8</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>解剖生理学Ⅰ</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>解剖生理学実験Ⅰ</td><td></td><td>実験（1）</td></tr>
<tr><td>生化学Ⅰ</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>生化学実験Ⅰ</td><td></td><td>実験（1）</td></tr>
<tr><td>病理学総論</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">食品と衛生</td><td>食品学Ⅰ</td><td rowspan="5">6</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>食品学Ⅱ</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>食品学実験Ⅰ</td><td></td><td>実験（1）</td></tr>
<tr><td>食品衛生学</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>食品衛生学実験</td><td></td><td>実験（1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計　①</td><td>18</td><td>4</td><td>20</td><td>4</td></tr>
<tr><td rowspan="8">栄養と健康</td><td>基礎栄養学</td><td rowspan="8">8</td><td rowspan="20">10</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>栄養学実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>応用栄養学</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>応用栄養学実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>臨床栄養学</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>栄養アセスメント論</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>臨床栄養学実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>在宅栄養管理実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">栄養の指導</td><td>栄養教育論Ⅰ</td><td rowspan="6">6</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>栄養教育論Ⅱ</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>栄養教育論実習Ⅰ</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>栄養教育論実習Ⅱ</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>公衆栄養学</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>公衆栄養学実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">給食の運営</td><td>給食経営管理演習</td><td rowspan="5">4</td><td>演習（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>給食経営管理実習</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td>調理学</td><td>講義（2）</td><td></td></tr>
<tr><td>調理学実習Ⅰ</td><td></td><td>実習（1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">小　計　②</td><td>18</td><td>10</td><td>18</td><td>10</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計　（　小計　①　＋　小計　②　）</td><td>36</td><td>14</td><td>38</td><td>14</td></tr>
</table>

【その他の資格取得について】

1. 栄養教諭

栄養教諭は、学校教育法で、「児童の栄養に関する指導及び管理をつかさどる」と規定されており、主な職務は、成長期にある児童・生徒の食に関する指導や、給食管理など食育の中心的な役割を果たしながら健やかな成長を支援することである。

所定の科目を履修することにより、栄養教諭一種免許が取得できる。履修方法の詳細は、「教員免許状取得の手引き　教職課程便覧」を参照すること。

2. 食品衛生監視員

食品衛生監視員は、全国の主要な海・空港の検疫所において、輸入食品の安全監視および指導（輸入食品監視業務）、輸入食品などに係る微生物検査と理化学検査(検査業務)、検疫感染症の国内への侵入防止（検疫衛生業務）の業務に従事する国家公務員と、地方自治体の保健所に勤務し、食品の検査や食中毒の調査、食品製造業や飲食店の監視・指導をおこなう地方公務員に分けられる。いずれも公務員試験に合格し、当該施設に任用された際に生かすことができる資格（任用資格）である。

3. 食品衛生管理者

食品衛生管理者は、食品衛生法第48条の製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とする食品又は添加物（粉乳類、食肉製品、食用油脂、食品添加物など）の製造又は加工をおこなう事業所は、専任の食品衛生管理者を置かなければならないという規定に基づき配置される。当該事業所に就職して、食品衛生管理者として任用された際に生かすことができる資格（任用資格）である。

食品衛生監視員・食品衛生管理者資格取得のために単位を修得しなければならない科目

科目番号	科　　目	学年	学　期	備　　考
291065	化学概論	1	前期	
291066	食品加工学	2	前期	
291067	食品加工学実習	2	後期	

4. 健康運動実践指導者

健康運動実践指導者は、基礎的な医学、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能などを持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて実践指導をおこなうことができる者をいう。当初は、厚生労働省の認定事業として推進されてきたが、現在では、公益財団法人健康・体力づくり事業財団に認定業務が移管されている。本学科必修科目に加え、以下の所定の科目を履修することによって、毎年11月から実施される認定試験の受験資格が取得できる。本学では3年次での受験が可能である。

健康運動実践指導者認定試験の受験資格取得のために単位を修得しなければならない科目

科目番号	科　　目	学年	学　期	備　　考
291070	スポーツ実技Ⅰ	1	前期	定員40名（超過した場合は抽選）
291071	スポーツ実技Ⅱ	1	後期	
291068	運動生理学	2	後期	
291069	健康スポーツ科学演習	2	後期	定員40名（超過した場合は抽選）
291072	スポーツ実技Ⅲ	2	前期	
291073	スポーツ実技Ⅳ	2	前期	
291074	健康医科学演習	2	前期	

6 カリキュラム表（健康栄養学科 専門教育科目）

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学部基礎科目		1030	DP1	○	290001	食健康科学基礎演習	2		1	1 1 1 1 1 1 1 1 1		小久保友貴 武山英麿 岩崎祐子 植村和正 榎裕美 高清ゆうみ 東山幸恵 持丸由香 山本博之 百合草誠	定員あり	1	7単位（必修）	
学部基礎科目		1000	DP1	○	290002	食健康科学概論	1		1	1		武山英麿 三宅義明 山本博之	定員あり	1	7単位（必修）	オムニバス科目 1/4期科目
学部基礎科目		2030	DP1		290003	統計学演習	2		3					1	7単位（必修）	
学部基礎科目		2030	DP2		290004	対人技術演習	1		3					1	7単位（必修）	1/4期科目
学部基礎科目		2000	DP2		290005	キャリアデザイン	1		3					1	7単位（必修）	オムニバス科目 1/4期科目 成績は「合」「否」により評価
学科基礎科目		1000	DP2	○	291001	管理栄養士概論	1		1	1		武山英麿		1	5単位（必修）	1/4期科目
学科基礎科目		1030	DP2	○	291002	早期体験学習	2		1		1	榎裕美 岩崎祐子 高清ゆうみ 東山幸恵		1	5単位（必修）	オムニバス科目
学科基礎科目		2000	DP1		291003	実践統計学	2		3					1	5単位（必修）	
専門基礎科目	社会・環境と健康	2100	DP1		291004	公衆衛生学Ⅰ	2		3					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	社会・環境と健康	2100	DP1		291005	公衆衛生学Ⅱ	2		3					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	社会・環境と健康	2100	DP1		291006	社会福祉概論	2		4					1	38単位（必修）	
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1		291007	微生物学	2		1	2		立野一郎		1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1	○	291008	解剖生理学Ⅰ	2		1	2		百合草誠		1	38単位（必修）	（健）（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1	○	291009	解剖生理学Ⅱ	2		1		2	植村和正		1	38単位（必修）	（健）（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2110	DP1		291010	解剖生理学実験Ⅰ	1		2					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2110	DP1		291011	解剖生理学実験Ⅱ	1		2					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1	○	291012	生化学Ⅰ	2		1	2		山本博之		1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1	○	291013	生化学Ⅱ	2		1		2	山本博之		1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2110	DP1		291014	生化学実験Ⅰ	1		1		2	小野廣紀		1	38単位（必修）	3時限続き隔週開講 （食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2110	DP1		291015	生化学実験Ⅱ	1		2					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1		291016	病理学総論	2		2					1	38単位（必修）	（食）
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2100	DP1		291017	病理学各論	2		3					1	38単位（必修）	（食）

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
専門基礎科目	食べ物と健康	2100	DP1	○	291018	食品学Ⅰ	2		1	2		担当者未定		1		（健）（食）
		2100	DP1	○	291019	食品学Ⅱ	2		1		2	担当者未定		1		（健）（食）
		2110	DP1	○	291020	食品学実験Ⅰ	1		1		2	担当者未定		1		３時限続き隔週開講 （食）
		2110	DP1		291021	食品学実験Ⅱ	1		2					1		（食）
		2100	DP1		291022	食品衛生学	2		2					1		（食）
		2110	DP1		291023	食品衛生学実験	1		2					1		（食）
		2100	DP1	○	291024	調理学	2		1	2		持丸由香		1		
		2110	DP1		291025	調理学実験	1		2					1		
		2120	DP1		291026	調理学実習Ⅰ	1		1	2		水野洋子		1		３時限続き隔週開講
		2120	DP1		291027	調理学実習Ⅱ	1		1		2	高清ゆうみ		1		３時限続き隔週開講
専門中心科目	基礎栄養学	2200	DP1	○	291028	基礎栄養学	2		1		2	山本博之		1	44単位以上（必修を含む　ただし、臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）および臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）より1単位以上）	（食）
		2220	DP1	○	291029	栄養学実習	1		1		2	山本博之 小久保友貴		1		オムニバス科目 ３時限続き隔週開講 （食）
	応用栄養学	2200	DP2		291030	応用栄養学	2		2					1		（健）（食）
		2200	DP2		291031	母子栄養学	2		2					1		
		2200	DP2		291032	中高年栄養学	2		2					1		（健）
		2220	DP2		291033	応用栄養学実習	1		3					1		（食）
	栄養教育論	2200	DP2		291034	栄養教育論Ⅰ	2		2					1		
		2200	DP2		291035	栄養教育論Ⅱ	2		2					1		
		2220	DP2		291036	栄養教育論実習Ⅰ	1		3					1		（食）
		3220	DP2		291037	栄養教育論実習Ⅱ	1		3					1		
		2200	DP2		291038	栄養カウンセリング論	2		2					1		（健）
	臨床栄養学	2200	DP2		291039	臨床栄養学	2		2					1		
		2200	DP2		291040	栄養アセスメント論	2		2					1		
		2200	DP2		291041	臨床栄養管理論	2		3					1		
		3200	DP2		291042	医療・福祉・介護と栄養ケア	2		3					1		
		2220	DP2		291043	臨床栄養学実習	1		3					1		
		3220	DP2		291044	在宅栄養管理実習	1		4					1		オムニバス科目
	公衆栄養学	2200	DP2		291045	公衆栄養学	2		2					1		（健）
		2230	DP2		291046	食事調査法演習	2		2					1		
		3220	DP2		291047	公衆栄養学実習	1		4					1		
	給食経営管理論	2200	DP2	○	291048	給食経営管理論	2		1		2	持丸由香		1		
		2230	DP2		291049	給食経営管理演習	2		2					1		
		3220	DP2		291050	給食経営管理実習	1		2					1		
	総合演習	3230	DP2		291051	栄養総合演習Ⅰ	1		3					1		オムニバス科目
		3230	DP2		291052	栄養総合演習Ⅱ	1		4					1		オムニバス科目
	臨地実習	3220	DP2		291053	臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）	1		3					1		
		3220	DP2		291054	臨地実習Ⅱ（臨床栄養学）	1		3					1		
		3220	DP2		291055	臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	1		3					1		
		3220	DP2		291056	臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）		1	3					1		
		3220	DP2		291057	臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）		1	3					1		

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学科発展科目	3330	DP3		291058	健康栄養学研究Ⅰ	2		3					1	16単位（必修）	
	3330	DP3		291059	健康栄養学研究Ⅱ	2		3					1		
	3330	DP3		291060	健康栄養学研究Ⅲ	2		4					1		
	3330	DP3		291061	健康栄養学研究Ⅳ	2		4					1		
	3330	DP3		291062	卒業論文	4		4					1		
	3300	DP2		291063	管理栄養士特論Ⅰ	2		4					1		オムニバス科目
	3300	DP2		291064	管理栄養士特論Ⅱ	2		4					1		オムニバス科目
資格取得科目	1400	DP1		291065	化学概論		2	1	1		田中晶善		10	0単位以上	（食）
	2400	DP1		291066	食品加工学		2	2					10		（食）
	2410	DP1		291067	食品加工学実習		1	2					5		（食）
	2400	DP1		291068	運動生理学		2	2					10		（健）
	2430	DP1		291069	健康スポーツ科学演習		1	2				40（抽選）	5		（健）
	1420	DP1		291070	スポーツ実技Ⅰ		1	1	1		島　典広	40（抽選）	5		（健）
	1420	DP1		291071	スポーツ実技Ⅱ		1	1		1	島　典広	40（抽選）	5		（健）
	1420	DP1		291072	スポーツ実技Ⅲ		1	2				40（抽選）	5		（健）
	1420	DP1		291073	スポーツ実技Ⅳ		1	2				40（抽選）	5		（健）
	2430	DP1		291074	健康医科学演習		1	2				40（抽選）	5		（健）
教職科目	2400	DP1		291075	学校栄養教育論		2	3					1	0単位以上	（教）
	2400	DP1		291076	学校栄養指導法		2	3					1		（教）

（食）食品衛生監視員・食品衛生管理者（任用資格）取得必修科目
（健）健康運動実践指導者受験資格取得必修科目
（教）栄養教諭免許取得必修科目

●卒業に必要な単位に算入されない科目

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学部基礎科目	1000	DP1		290006	基礎化学		2	1	1		井澤　誠		1		
	1000	DP1		290007	基礎生物学		2	1	1		西郷　孝		1		

7 履修上の注意（食創造科学科）

【全体的な注意事項】

1. 卒業に必要な単位数について

・卒業に必要な単位数（卒業要件単位数）は124単位である。内訳については、該当ページを熟読し、履修計画を立てること。

2. 必修科目について

・必修科目は指定された履修年次で履修すること。
・時間割において、同一の時間帯に複数の科目が開講されていて、そこに必修科目が含まれている場合は、必修科目を優先して履修すること。
・全学共通履修科目は、できるだけ早い学年で履修し、卒業要件単位を確保するよう努めるのが望ましい。ただし、配当学年、履修クラスは指定に従うこと。

3. 履修年次について

・各科目は履修年次が指定されているので、カリキュラム表で確認すること。
・上級年次開講の科目は履修することができないが、下級年次開講の科目は履修することができる。
・履修して不合格となった科目は、次期に再度履修することができる。

4. 抽選科目について

・カリキュラム表の「定員等」欄に「教室の座席による（抽選）」と記載のある科目は抽選科目である。
・受講希望者が定員を超えた場合は、抽選にて履修者が決定される。
・抽選の結果はCampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で確認すること。

5. 卒業研究ゼミナールについて

・２年後期から４年後期にかけて「専門基礎演習Ⅱ」および「食創造科学研究Ⅰ～Ⅳ」は学科に所属する学生全員が必ず履修すること。ゼミナールの選択は２年前期に行う。

【履修すべき科目について】

1. 学部基礎科目

学部基礎科目は、食健康科学部を構成する２学科（健康栄養学科、食創造科学科）の専門教育において、食健康科学部の教育目標を達成し、各分野の専門的な学修の基盤となる知識・技能として共通して修得すべき内容を修得する科目群である。以下の５科目は指定された履修年次に必ず履修すること。

「食健康科学基礎演習」、「食健康科学概論」、「統計学演習」、「キャリアデザイン」、「対人技術演習」。

「基礎化学」、「基礎生物学」の２科目は大学教育を受けるにあたって不足している基礎学力を補うための学習支援科目である。卒業要件には含まれないので注意すること。

2. 学科基礎科目

学科基礎科目は、本学科の教育理念や専門教育への導入、学びに対する動機付けと将来に向けた目標設定を促すための科目群である。食創造科学の専門教育への導入のための「食創造科学概論」、自己の職業的人生の方向性を導くため食創造科学と食産業との係わりを学修する「食産業キャリア演習」の２科目によって構成される。指定された履修年次に必ず履修すること。

3. 専門基礎科目

専門基礎科目は、食創造科学６領域である「食品学領域」、「調理学領域」、「健康学領域」、「栄養学領域」、「食文化領域」、「食創生領域」の専門的知識、技術を修得するための基盤となる科目群である。「食品加工学」、「食品学Ⅰ」、「食品衛生学」、「基礎調理科学」、「生体の化学」、「健康の科学」、「健康栄養学」、「ライフステージ栄養学」、「食文化論」、「社会と健康」の10科目は各領域の導入のための必修科目であるため、指定された履修年次に必ず履修すること。

実験４科目（「食品学実験」、「食品衛生学実験」、「食品分析学実験」、「調理科学実験」）と実習４科目（「食品加工学実習」、「調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）」、「調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）」、「食空間・コーディネート実習」）は選択必修科目である。実験科目および実習科目のそれぞれから１単位以上を必ず履修すること。

4. 専門中心科目

専門中心科目は、専門基礎科目と同じく「食品学領域」、「調理学領域」、「健康学領域」、「栄養学領域」、「食文化領域」および「食創生領域」の各６領域に対応した科目によって構成され、実践的な食創造力を養成する専門科目を配置する。

5. 学科発展科目

食創造科学分野の課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断するスキルを養いながら研究を展開し、卒業論文を執筆する科目で構成されている。少数ゼミナール方式での講義に加え、実験・実習・演習も組み入れながら、基礎的な知識と実践的な技能の修得を図る。

１年次後期の「食創造科学基礎演習」、２年次前期の「専門基礎演習Ⅰ」の２科目の終了後、学科生全員が特定の教員のゼミを選択し、所属ゼミナールを決定する。２年次後期の「専門基礎演習Ⅱ」より学生自ら選択した食創造科学の各分野のゼミナールにおいて、卒業研究を遂行するための基礎研究能力を培う。２年半の一貫した研究活動を行い、卒業論文を執筆する事が望ましい。

具体的な授業科目の名称、単位数、配当年次、卒業要件は以下の通りである【表１】。全科目必修科目であるため、指定された履修年次に必ず履修すること。

表１　食創造科学科「学科発展科目」一覧

科目番号	授業科目名	単位数	開講時期	
292064	食創造科学基礎演習	1	１後	16単位
292065	専門基礎演習Ⅰ	1	２前	
292066	専門基礎演習Ⅱ	2	２後	
292067	食創造科学研究Ⅰ	2	３前	
292068	食創造科学研究Ⅱ	2	３後	
292069	食創造科学研究Ⅲ	2	４前	
292070	食創造科学研究Ⅳ	2	４後	
292071	卒業論文	4	４通	

【実験・実習科目における履修登録の前提条件について】

実験・実習科目の基礎となる授業科目（講義）の単位修得または科目履修を当該実験・実習科目履修の前提条件とし、講義の内容を実験・実習を通じて、より深めることができるように設定している。

表２　実験・実習科目における履修登録の前提条件　一覧

区分	授業科目名	単位数	開講時期	履修登録の前提条件について	卒業要件
実験科目	食品学実験	1	１後	「食物の科学」単位修得	１単位以上
	食品衛生学実験	1	２前	「食品衛生学」単位修得	
	食品分析学実験	1	２前	「食品分析学」単位修得	
	調理科学実験	1	１後	「応用調理科学」単位修得または科目履修中	
実習科目	食品加工学実習	1	１後	「食品加工学」単位修得	１単位以上
	調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）	1	１後	「基礎調理科学」単位修得	
	調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）	1	２前	「基礎調理科学」単位修得	
	食空間・コーディネート実習	1	２後	「食空間・コーディネート論」単位修得	

【演習科目における事前履修推奨科目について】

以下の科目の理解を深めるため、事前の履修が推奨されている科目を示す。

表３　演習科目における事前履修推奨科目　一覧

授業科目名	単位数	開講時期	事前履修推奨科目
食品の官能検査・識別演習	2	３前	「応用調理科学」単位修得
食卓美学演習	2	４前	「食空間・コーディネート論」単位修得
栄養情報活用演習（栄養疫学演習）	2	２後	「公衆栄養学」、「ライフステージ栄養学」単位修得
食文化演習	2	２後	「食文化論」単位修得
地域食開発演習	2	３後	「地域食論」「食マーケティング論」単位修得
テーブルマナー演習	2	３後	「食空間・コーディネート論」単位修得

【資格取得について】

1. 食品衛生監視員

食品衛生監視員は、全国の主要な海・空港の検疫所において、輸入食品の安全監視および指導（輸入食品監視業務）、輸入食品などに係る微生物検査と理化学検査（検査業務）、検疫感染症の国内への侵入防止（検疫衛生業務）の業務に従事する国家公務員と、地方自治体の保健所に勤務し、食品の検査や食中毒の調査、食品製造業や飲食店の監視・指導をおこなう地方公務員に分けられる。いずれも公務員試験に合格し、当該施設に任用された際に生かすことができる資格（任用資格）である。

2. 食品衛生管理者

食品衛生管理者は、食品衛生法第48条の製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とする食品又は添加物（粉乳類、食肉製品、食用油脂、食品添加物など）の製造又は加工をおこなう事業所は、専任の食品衛生管理者を置かなければならないという規定に基づき配置される。当該事業所に就職して、食品衛生管理者として任用された際に生かすことができる資格（任用資格）である。

表４　「食品衛生監視員」および「食品衛生管理者」資格取得のために単位修得しなければならない科目

科目番号	授業科目名	単位数	配当年次	
292003	食物の科学	2	１前	28単位
292004	化学概論	2	１前	
292007	食品分析学	2	１後	
292008	食品学実験	1	１後	
292009	食品加工学実習	1	１後	
292011	食品衛生学実験	1	２前	
292012	食品分析学実験	1	２前	
292019	人体の構造と機能（解剖生理学）	2	１前	
292021	生化学	2	２前	
292022	微生物学	2	２前	
292024	栄養化学	2	１後	
292032	食品機能学	2	２後	
292034	食品バイオテクノロジー学	2	３前	
292037	食品製造学Ⅰ	2	３後	
292048	栄養情報活用演習（栄養疫学演習）	2	２後	
292056	公衆衛生学	2	２前	

この科目以外に専門基礎科目の必修科目６科目の単位修得も資格取得条件に含まれる。カリキュラム表の備考欄を確認すること。

【コース（履修モデル）について】

「食科学コース」は、必要科目の単位を修得することにより任用資格である「食品衛生監視員」および「食品衛生管理者」を取得の履修モデルを示す。その他、食関係の資格試験の出題範囲の学修が可能である。

「食・健康創造コース」は、「食品衛生監視員」および「食品衛生管理者」を取得しないコースで食関係の資格取得に向けて資格試験の出題範囲を学修する履修モデルを示す。詳細は別途学科の提示する資料を確認すること。

8 カリキュラム表（食創造科学科 専門教育科目）

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学部基礎科目		1030	DP1, DP2, DP3	○	290001	食健康科学基礎演習	2		1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		加藤友紀 安藤聡 礒永美奈 加藤憲 菅野友美 小松一 玉田葉月 西澤早紀子 野田雅子 三宅義明 吉田久美	定員あり	1	7単位（必修）	
		1000	DP1, DP2, DP3	○	290002	食健康科学概論	1		1	1		三宅義明		1		1/4期科目
		2030	DP1, DP2, DP3		290003	統計学演習	2		1		2	箕浦哲嗣	定員あり	1		
		2030	DP1, DP2, DP3		290004	対人技術演習	1		3					1		1/4期科目
		2000	DP1, DP2, DP3		290005	キャリアデザイン	1		3					1		オムニバス科目 1/4期科目 成績は「合」「否」により評価
学科基礎科目		1000	DP1, DP2, DP3		292001	食創造科学概論	2		2					1	3単位（必修）	オムニバス科目
		2030	DP1, DP2, DP3		292002	食産業キャリア演習	1		3					1		オムニバス科目 1/4期科目
専門基礎科目	食品学領域	1100	DP1, DP2, DP3	○	292003	食物の科学		2	1	1		三宅義明		10	80単位以上（必修36単位、選択必修2単位（注1）（注2）含む）	（食）
		1100	DP1, DP2, DP3		292004	化学概論		2	1	1		田中晶善		10		（食）
		1100	DP1, DP2, DP3	○	292005	食品加工学	2		1	1		菅野友美		1		（食）
		1100	DP1, DP2, DP3	○	292006	食品学Ⅰ	2		1		1	三宅義明		1		（食）
		1100	DP1, DP2, DP3	○	292007	食品分析学		2	1		1	吉田久美		10		（食）
		1110	DP1, DP2, DP3	○	292008	食品学実験		1	1		2	三宅義明	教室の座席による（抽選）	5		2時限連続授業 （食） 「食物の科学（292003）」の単位を修得した学生のみ履修可
		1120	DP1, DP2, DP3	○	292009	食品加工学実習		1	1		2 1	玉田葉月 礒永美奈	教室の座席による（抽選）	5		2時限連続授業 （食） 「食品加工学（292005）」の単位を修得した学生のみ履修可

（注1）実験科目：「食品学実験」、「食品衛生学実験」、「食品分析学実験」、「調理科学実験」から1単位以上を選択必修とする。
（注2）実習科目：「食品加工学実習」、「調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）」、「調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）」、「食空間・コーディネート実習」から1単位以上を選択必修とする。

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
専門基礎科目	食品学領域	1100	DP1, DP2, DP3	○	292010	食品衛生学	2		1		1	安藤　聡		1		（食）
		1110	DP1, DP2, DP3		292011	食品衛生学実験		1	2				教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 （食） 「食品衛生学（292010）」の単位を修得した学生のみ履修可
		1110	DP1, DP2, DP3		292012	食品分析学実験		1	2				教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 （食） 「食品分析学（292007）」の単位を修得した学生のみ履修可
	調理学領域	1200	DP1, DP2, DP3	○	292013	基礎調理科学	2		1	1		西澤早紀子		1		
		1220	DP1, DP2, DP3	○	292014	調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）		1	1		2 1	西澤早紀子 礒永美奈	教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 「基礎調理科学（292013）」の単位を修得した学生のみ履修可
		1200	DP1, DP2, DP3	○	292015	応用調理科学		2	1		1	菅野友美		10		
		1210	DP1, DP2, DP3	○	292016	調理科学実験		1	1		2	菅野友美	教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 「応用調理科学（292015）」の単位を修得済みまたは同時履修の学生のみ履修可
		1220	DP1, DP2, DP3		292017	調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）		1	2				教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 「基礎調理科学（292013）」の単位を修得した学生のみ履修可
	健康学領域	1300	DP1, DP2, DP3	○	292018	生体の化学	2		1	1		吉田久美		1		（食）
		1300	DP1, DP2, DP3		292019	人体の構造と機能（解剖生理学）		2	1	1		前野信久		10		（食）
		1300	DP1, DP2, DP3	○	292020	健康の科学	2		1		1	小松　一		1		
		1300	DP1, DP2, DP3		292021	生化学		2	2					10		（食）
		1300	DP1, DP2, DP3		292022	微生物学		2	2					10		（食）
	栄養学領域	1400	DP1, DP2, DP3	○	292023	健康栄養学	2		1		1	加藤友紀		1		（食）
		1400	DP1, DP2, DP3	○	292024	栄養化学		2	1		1	玉田葉月		10		（食）
		1400	DP1, DP2, DP3		292025	ライフステージ栄養学	2		2					1		（食）
	食文化領域	1500	DP1, DP2, DP3		292026	食文化論	2		2					1		
		1500	DP1, DP2, DP3		292027	食空間・コーディネート論		2	2					10		
		1520	DP1, DP2, DP3		292028	食空間・コーディネート実習		1	2				教室の座席による（抽選）	5		２時限連続授業 「食空間・コーディネート論（292027）」の単位を修得した学生のみ履修可

（注１）実験科目：「食品学実験」、「食品衛生学実験」、「食品分析学実験」、「調理科学実験」から１単位以上を選択必修とする。
（注２）実習科目：「食品加工学実習」、「調理学実習Ⅰ（和食と伝統料理）」、「調理学実習Ⅱ（世界の郷土料理）」、「食空間・コーディネート実習」から１単位以上を選択必修とする。

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
専門基礎科目	食創生領域	1600	DP1, DP2, DP3	○	292029	社会と健康	2		1		1	加藤　憲		1		
専門基礎科目	食創生領域	1600	DP1, DP2, DP3		292030	衛生管理学（食品衛生と食品製造）		2	2					10		
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292031	食品学Ⅱ		2	2					10		
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292032	食品機能学		2	2					10		（食）
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292033	発酵食品学		2	3					10		
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292034	食品バイオテクノロジー学		2	3					10		（食）
専門中心科目	食品学領域	2130	DP1, DP2, DP3		292035	食品の官能検査・識別演習		2	3				教室の座席による（抽選）	5		
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292036	食品学Ⅲ		2	3					10		
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292037	食品製造学Ⅰ		2	3					10		（食）
専門中心科目	食品学領域	2100	DP1, DP2, DP3		292038	食品製造学Ⅱ		2	4					10		
専門中心科目	調理学領域	2230	DP1, DP2, DP3		292039	食卓美学演習		2	4				教室の座席による（抽選）	5		
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292040	健康政策学		2	2					10		
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292041	運動と栄養		2	2					10		
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292042	医療総論		2	3					10		オムニバス科目
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292043	薬理概論		2	3					10		
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292044	健康マネジメント論		2	3					10		
専門中心科目	健康学領域	2300	DP1, DP2, DP3		292045	医食同源論		2	3					10		
専門中心科目	栄養学領域	2400	DP1, DP2, DP3		292046	公衆栄養学		2	2					10		
専門中心科目	栄養学領域	2400	DP1, DP2, DP3		292047	臨床栄養学		2	2					10		
専門中心科目	栄養学領域	2430	DP1, DP2, DP3		292048	栄養情報活用演習（栄養疫学演習）		2	2				教室の座席による（抽選）	5		（食）

集…集中授業

科目群		ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
専門中心科目	食文化領域	2500	DP1, DP2, DP3		292049	現代食生活論		2	2					10		
		2530	DP1, DP2, DP3		292050	食文化演習		2	2					5		
		2500	DP1, DP2, DP3		292051	民俗食生活学		2	2					10		
		2500	DP1, DP2, DP3		292052	東洋食生活論		2	2					10		
		2500	DP1, DP2, DP3		292053	フードスペシャリスト論		2	3					10		
		2500	DP1, DP2, DP3		292054	フードコーディネート論		2	3					10		
	食創生領域	2600	DP1, DP2, DP3		292055	食品流通・消費学		2	2					10		
		2600	DP1, DP2, DP3		292056	公衆衛生学		2	2					10		（食）
		2600	DP1, DP2, DP3		292057	食品表示・法規論		2	2					10		
		2600	DP1, DP2, DP3		292058	食マーケティング論		2	3					10		
		2600	DP1, DP2, DP3		292059	地域食論		2	3					10		
		2600	DP1, DP2, DP3		292060	知的財産管理論		2	3					10		
		2600	DP1, DP2, DP3		292061	商品開発論		2	3					10		
		2630	DP1, DP2, DP3		292062	地域食開発演習		2	3				教室の座席による（抽選）	5		
		2630	DP1, DP2, DP3		292063	テーブルマナー演習		2	3				教室の座席による（抽選）	5		

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学科発展科目	3730	DP1, DP2, DP3	○	292064	食創造科学基礎演習	1		1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	加藤友紀 安藤聡 礒永美奈 加藤憲 菅野友美 小松一 玉田葉月 西澤早紀子 野田雅子 三宅義明 吉田久美	定員あり	1		1/4期科目
	3730	DP1, DP2, DP3		292065	専門基礎演習Ⅰ	1		2				定員あり	1		1/4期科目
	3730	DP1, DP2, DP3		292066	専門基礎演習Ⅱ	2		2				定員あり	1		
	3730	DP1, DP2, DP3		292067	食創造科学研究Ⅰ	2		3				定員あり	1		
	3730	DP1, DP2, DP3		292068	食創造科学研究Ⅱ	2		3				定員あり	1		
	3730	DP1, DP2, DP3		292069	食創造科学研究Ⅲ	2		4				定員あり	1		
	3730	DP1, DP2, DP3		292070	食創造科学研究Ⅳ	2		4				定員あり	1		
	3730	DP1, DP2, DP3		292071	卒業論文	4		4				定員あり	1		

（食）食品衛生監視員・食品衛生管理者（任用資格）取得必修単位

●卒業に必要な単位に算入されない科目

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	卒業要件	備考
学部基礎科目	1000	DP1		290006	基礎化学		2	1	1		井澤誠		1		
	1000	DP1		290007	基礎生物学		2	1	1		西郷孝		1		

Ⅷ 全学共通履修科目カリキュラム表

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

ディプロマ・ポリシー（人材養成像）

大学の理念である「違いを共に生きる」を理解・修得し、専門教育への学修の基盤となる幅広い教養を修得するとともに、地域、国および国際社会に貢献し得る人材としての基礎的な能力を身につける。

全学共通履修科目の基本方針

大学の理念である「違いを共に生きる」を理解・修得し、専門教育への学修の基盤となる幅広い教養を修得するとともに、地域、国および国際社会に貢献し得る人材としての基礎的な能力を身につけるために、学部の専門性にとらわれない本学の理念と基本的な学修姿勢を学ぶ基幹科目や知識を実生活に活かすためのアクティブラーニング科目、外国語やコンピュータなどのスキル科目、資格取得にかかわる資格教育科目を設置し、講義や演習、実技など多様な授業形態により、学生の主体的な学修を促進することを目指す。

全学共通履修科目開設の趣旨と開設科目

学部・学科（専攻）の設置の趣旨・目的にそった専門的な知識・技能を学ぶと共に、総合的・学際的な学問、基礎的な教養や技術、志望や能力に応じた科目を全学部の学生を対象に開設し、学生の多様なニーズや学修意欲に応えるために、次の６領域科目を開設する。

（１）違いを共に生きる科目、（２）日本語表現科目、（３）アクティブラーニング科目（国際交流センター開設科目、コミュニティ・コラボレーションセンター開設科目、キャリアセンター開設科目、ダイバーシティ共生センター開設科目）、（４）言語活用科目（英語、初めての外国語）、（５）コンピュータ活用科目、（６）資格教育科目（教職、学芸員、司書、会計）

なお、考え方や生き方、価値観が違う人々が同時に暮らす現代社会において、違いを認め合う精神の重要さを改めて学び、多様な価値観が共存する社会でゆるぎない自分の姿を見出すための「違いを共に生きる・ライフデザイン」（違いを共に生きる科目）、そして、社会で必要な日本語運用スキルを身に付ける「日本語表現１」（日本語表現科目）は本学の基幹科目とし、全学部生必修科目としている。

全学共通履修科目は原則として、両キャンパス（長久手・星が丘）でそれぞれ開講しているので、所属キャンパスにて履修すること。

2024年度カリキュラム変更に伴う全学共通履修科目の履修上の注意（2023年度以前入学者）

●2023年度まで開講していた「教養教育科目」「スポーツ科目」「言語活用科目［中国語］」「言語活用科目［韓国・朝鮮語］」はなくなるが、2023年度以前入学者が下記の科目を修得した場合、卒業要件単位数の算入先は下記の読替表のとおりとなる。

●2023年度以前カリキュラムで既に単位を修得済みの科目については、2024年度以降カリキュラムで読替となっている科目を履修することはできないので、下記の読替表に基づき注意して履修する。

《読替表》

2024年度以降カリキュラム			2023年度以前カリキュラム		2023年度以前入学者の卒業要件単位数の算入先
開講主体	科目番号	科目名	科目番号	科目名	
違いを共に生きる科目	101145	違いを共に生きる・ライフデザイン	101145	違いを共に生きる・ライフデザイン	教養教育科目
	101150	探究・違いを共に生きるⅠ	101150	探究・違いを共に生きるⅠ	
	101151	探究・違いを共に生きるⅡ	101151	探究・違いを共に生きるⅡ	
アクティブラーニング科目	110409	キャリアの形成	101134	キャリアの形成	
	110601	日常生活とダイバーシティ	101101	ジェンダーと社会	
	110602	大学生のためのダイバーシティ入門	101102	女性学・男性学	
	110603	ダイバーシティ研究法概論			
	110604	ダイバーシティ研究法演習			
	110605	ダイバーシティ関係行政論［M］			
	110606	ダイバーシティ表現演習Ⅰ	101146	ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅰ	
	110607	ダイバーシティ表現演習Ⅱ	101147	ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅱ	
	110608	セクシュアリティとメディア	101148	セクシュアリティとメディア	
	110609	思想としてのフェミニズム	101149	思想としてのフェミニズム： 性の多様性に至る系譜を学ぶ	
教職課程科目	023001	日本国憲法	101123	日本国憲法	
	023002	スポーツと文化	101139	スポーツと文化	
	023003	スポーツ科学	107001	スポーツ科学	スポーツ科目
	023004	健康と運動	107002	健康と運動	
言語活用科目［初めての外国語］	106007	初めての外国語７（中国語）	103001	中国語読解1A	言語活用科目［中国語］
			103003	中国語会話1A	
	106008	初めての外国語８（韓国・朝鮮語）	105001	韓国・朝鮮語入門	言語活用科目［韓国・朝鮮語］

2024年度　全学共通履修科目の廃止科目

開講主体	科目コード	科目名
教養教育科目	101103	比較文化
教養教育科目	101104	東アジアの生活と文化
教養教育科目	101105	国際交流
教養教育科目	101106	手話・点字
教養教育科目	101107	生涯学習
教養教育科目	101108	日本の歴史
教養教育科目	101112	伝統芸能
教養教育科目	101113	書道
教養教育科目	101116	映像文化
教養教育科目	101117	数学の世界
教養教育科目	101118	生き物の世界
教養教育科目	101119	生命の科学
教養教育科目	101120	食品の科学
教養教育科目	101121	生活の化学
教養教育科目	101122	環境の保護
教養教育科目	101126	入門法律学
教養教育科目	101128	入門心理学
教養教育科目	101129	入門文化人類学
教養教育科目	101131	現代のマナー
教養教育科目	101136	ライフサイクルと健康
教養教育科目	101137	メンタルヘルス
教養教育科目	101138	健康とくすり
スポーツ科目	107003	スポーツ特殊講座
アクティブラーニング科目	110007	Get Together and Talk Ⅰ
アクティブラーニング科目	110008	Get Together and Talk Ⅱ
アクティブラーニング科目	110406	プロジェクト・ベースト・ラーニング
言語活用科目（英語）	102363	TOEIC Training Ⅱc(Speaking & Writing)
言語活用科目（英語）	102364	TOEIC Training Ⅱd(Speaking & Writing)
言語活用科目（英語）	102365	Advanced English Ⅰa
言語活用科目（英語）	102366	Advanced English Ⅰb
言語活用科目（中国語）	103005	中国語読解２
言語活用科目（中国語）	103006	中国語会話２
言語活用科目（中国語）	103025	HSK２級対策講座
言語活用科目（中国語）	103009	中国語読解３
言語活用科目（中国語）	103010	中国語会話３
言語活用科目（中国語）	103026	HSK３級対策講座
言語活用科目（中国語）	103027	HSK３級実践トレーニング
言語活用科目（中国語）	103013	中国語読解４
言語活用科目（中国語）	103014	中国語会話４
言語活用科目（中国語）	103028	HSK４級対策講座
言語活用科目（中国語）	103029	HSK４級実践トレーニング
言語活用科目（中国語）	103030	HSK５級対策講座
言語活用科目（中国語）	103031	HSK５級実践トレーニング
言語活用科目（中国語）	103032	HSK６級対策講座
言語活用科目（中国語）	103033	HSK６級実践トレーニング
言語活用科目（中国語）	103034	スピーチ中国語
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105002	韓国・朝鮮語読解１
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105003	韓国・朝鮮語会話１
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105004	韓国語能力試験対策１
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105005	韓国・朝鮮語読解２
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105006	韓国・朝鮮語会話２
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105007	韓国語能力試験対策２
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105008	韓国・朝鮮語読解３
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105009	韓国・朝鮮語会話３
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105010	韓国語能力試験対策３
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105040	韓国・朝鮮語実務翻訳
言語活用科目（韓国・朝鮮語）	105041	韓国・朝鮮語映像翻訳
コンピュータ活用科目	104124	ネットワークリテラシー
コンピュータ活用科目	104126	プログラミングⅠ（Visual Basic）
コンピュータ活用科目	104131	基本情報技術者対策講座Ⅰ
コンピュータ活用科目	104132	基本情報技術者対策講座Ⅱ
コンピュータ活用科目	104133	基本情報技術者対策講座Ⅲ

1　違いを共に生きる科目

2023年度以前入学者が履修する場合は、教養教育科目の単位に算入する。

基幹科目「違いを共に生きる・ライフデザイン」は、１年次全学必修科目である。愛知淑徳大学の理念「違いを共に生きる」とは何かを、一人一人が自分事として見つめ、考えることを通して、愛知淑徳大学生としてのアイデンティティを持ち、４年間の大学生活と学修を最大限充実したものにできるようにする。

また、現代社会には、国籍、言葉、文化、性別、年齢、障がいの有無など、多種多様な違いが存在する。実社会でこれらの違いと密接に関わりのある６つの分野（「公共哲学」「多文化共生」「地域づくり」「子育て支援」「労働教育」「防災」）を取り上げ、各分野の専門家を招聘し講義を聴く。その上で、今を生きる当事者として各自がそれぞれの課題について考え、アクティブ・ラーニング（参加型学修）によって自らの価値観や考えを他者と交換し合いながら、新たな視点や気づきを得ることで、生涯にわたるライフデザインの形成につなげていく。

本講義での学びを通して、本学理念「違いを共に生きる」の理解を深めながら、10年先20年先の将来を見据え、自ら積極的に人生を送るための人間的基盤を築くことが目的である。

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。

○「探究・違いを共に生きるⅠ」と「探究・違いを共に生きるⅡ」の履修順は不問とし、同時履修は可。

「違いを共に生きる・ライフデザイン」について

○必修科目である。

○１年次（前期）に履修する。

1年生

○各学科指定の曜日時限で履修する。

2・3・4年生

○前期に、各自の所属学科（専攻）別に指定されたクラスで履修する。

○万一、前期に単位が修得できなかった場合には、３・４年生に限り、後期に開講しているクラスの履修を可能とする。

違いを共に生きる科目（2024年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考
基幹科目	1110	DP0	○	101145	違いを共に生きる・ライフデザイン	2	1	1		中村佑衣 吉田竜也 二村慎一		1	国文学科、総合英語学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		鈴木崇夫 二村慎一 野井未加			総合英語学科、教育学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		早野実花 天野成昭 森博子			人間情報学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		鈴木崇夫 小川一美			心理学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		中村佑衣 角田達朗 清水裕二			創造表現学科創作表現専攻、建築・インテリアデザイン専攻対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		鈴木崇夫 村上泰介			創造表現学科メディアプロデュース専攻対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		鈴木崇夫 佐藤厚 望月浩志 鳥山喜之 前野信久			医療貢献学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		猪狩英美 安藤富士子 小野木堂人			スポーツ・健康医科学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		猪狩英美 武山英麿 加藤友紀			健康栄養学科、食創造科学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
								1		早野実花 瀧誠			福祉貢献学科対象 オムニバス科目 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
							3･4		1	鈴木崇夫			未修得者対象 全学部必修 成績は「合」「否」により評価
違いを共に生きる	2110	DP0		101150	探究・違いを共に生きるⅠ	2	1		1 1	猪狩英美 鈴木崇夫	各30（抽選）	8	「違いを共に生きる・ライフデザイン」の単位修得者のみ履修可
	2110	DP0		101151	探究・違いを共に生きるⅡ	2	1		1 1	猪狩英美 鈴木崇夫	各30（抽選）	5	

△2023年度以前入学者が履修した場合は教養教育科目の単位に算入する。

●文学部の学生は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●人間情報学部は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●心理学部は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●創造表現学部 創作表現専攻およびメディアプロデュース専攻は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から６単位以上修得する。
●創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から６単位以上修得する。
●健康医療科学部 視覚科学専攻および理学療法学専攻および臨床検査学専攻は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●食健康科学部は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●福祉貢献学部は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。

2　日本語表現科目

本科目群は、大学における学修や大学生としてふさわしい社会生活の営みに必要な日本語運用スキルを総合的に養成する目的で開講されている。本科目では、基礎から着実に日本語力を高めていくことができるよう、レベル１（基礎）からレベル３（発展）までの体系的・段階的なカリキュラムが整えられている。本学学生として身に付けておくべき最低限のレベル（基礎）は、全学部必修で開講し、より高度で実践的なレベル（応用・発展）は、各自の興味や関心に応じて自由に選択することができる。

なお、本科目群の特徴は小規模のクラス編成による実践演習の充実にある。理論と実践との相乗効果によって、短期間で高度な日本語運用スキルの定着が可能である。

日本語表現科目の３つのレベルと科目構成（2022年度以降入学者対象）

レベル	概要	科目名	必修・選択の別
基礎	大学における学修に円滑に移行するために必要な日本語の「読む・書く・話す・聞く」の基礎的技術を総合的に学ぶ。特に、大学の学修に欠かせない論理的かつ他者意識を伴った文章を書く力を身につける。	「日本語表現１」	必修
応用	「日本語表現１」の学修を踏まえ、大学における学修に不可欠な日本語の「読む・書く・話す・聞く」技術を総合的に身につけるため、レポートの書き方とプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶ。	「日本語表現２」	文学部、創造表現学部（建築・インテリアデザイン専攻の2024年度入学者は除く）、言語聴覚学専攻、交流文化学部（2024年度以降入学者）、グローバル・コミュニケーション学部は必修 それ以外は選択
発展	「日本語表現１」「日本語表現２」の学修を踏まえ、より発展的な学修や、大学生にふさわしい社会生活の営み、さらに卒業後の進路の実現に不可欠な日本語の「読む・書く・話す・聞く」技術を実践的に学ぶ。	「日本語表現３」	選択

日本語表現科目の３つのレベルと科目構成（2010～2021年度入学者対象）

レベル	概要	科目名	必修・選択の別
レベル１ （基礎）	（T）テクニカルコース 大学における学修に円滑に移行するために必要な日本語の「読む・書く・話す・聞く」の基礎的技術を総合的に学ぶ。特に、大学の学修に欠かせない論理的かつ他者意識を伴った文章を書く力を身につける。	「日本語表現T１」	必修
レベル２ （応用）	（T）テクニカルコース 「日本語表現T１」の学修を踏まえ、大学における学修に不可欠な日本語の「読む・書く・話す・聞く」技術を総合的に身につけるため、レポートの書き方とプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶ。	「日本語表現T２」	文学部、創造表現学部、言語聴覚学専攻、グローバル・コミュニケーション学部は必修 それ以外は選択
レベル３ （発展）	（A）アカデミックコース 専門分野を学修する上で欠かせないレポートの書き方、論文の読解方法、論理的かつ効率的なディスカッション・ディベートの方法など、学術的な日本語表現のスキルを実践的に学ぶ。	「日本語表現A１（ライティング）」 「日本語表現A２（スピーキング）」 「日本語表現A３（リーディング）」	選択
	（B）ビジネスコース 大学生としてふさわしい社会生活の営みや、卒業後の進路を実現するために、手紙文・E-mail・公用文書等の書き方、敬語表現、報告・連絡・交渉の方法、電話応対などの日本語表現のスキルを実践的に学ぶ。	「日本語表現B１（ライティング）」 「日本語表現B２（スピーキング）」	
	（C）クリエイティブコース 文章作品の創造性や独創性および表現技法を実作に生かしたり、朗読・アナウンスなどを通して創造的な音声言語技術を工夫したりしながら、他者意識を伴った豊かで創造的な日本語表現のスキルを実践的に学ぶ。	「日本語表現C１（ライティング）」 「日本語表現C２（スピーキング）」	

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。

○本科目は、「基礎」→「応用」→「発展」の順に段階を踏んで履修することを原則とする。

○「日本語表現１」は、全学部学科（専攻）の必修科目である。

○「日本語表現２」は、文学部、創造表現学部（建築・インテリアデザイン専攻の2024年度入学者は除く）、医療貢献学科言語聴覚学専攻、交流文化学部（2024年度以降入学者）およびグローバル・コミュニケーション学部の必修科目である。

○「日本語表現１」は、大学の学修に必要な日本語スキルを養成する目的があるので、１年次（前期）に履修する。

○「日本語表現２」は、大学の学修に必要な日本語スキルを養成する目的があるので、１年次（後期）に履修する。

○「日本語表現１」および「日本語表現２」（必修学部）は、時間割表の「開講年組」欄の指定に従って履修する。

○「日本語表現２」を選択科目とする学部のクラスは、受講希望者が定員数を超えた場合、抽選で履修者を決定する場合がある。

○「日本語表現１」および「日本語表現２」（必修学部）の単位を指定の開講期に修得できなかった者（以下「未修得者」という）は、原則として単位未修得者専用クラス（以下「未修得クラス」という）で履修する。ただし、時間割の都合上、未修得クラスでの受講が困難な場合に限り、所属学科（専攻）別に指定された曜日時限の範囲内で履修する。なお、グローバル・コミュニケーション学部の「日本語表現２」単位未修得者は、所属キャンパスで未修得クラスが開講されないため、後期に開講される所属学科別に指定された曜日時限の範囲内で履修する。

○「日本語表現３」は、「日本語表現１」の単位を修得していることを履修の条件とする。なお、これに加え、「日本語表現２」の単位を修得していることが望ましい。

○「日本語表現３」は、受講希望者が定員数を超えた場合、抽選で履修者を決定する場合がある。なお、抽選は、「日本語表現２」の単位を修得している者を優先する。

○「日本語表現３」は、担当教員によってシラバスの内容が異なるため、担当教員ごとのシラバスを確認したのちに、履修する授業を選択すること。

［2010～2021年度入学者］

○2023年度より「日本語表現A1, A2, A3, B1, B2, C1, C2」の７科目は、すべて同じ「日本語表現３」の１科目として開講されるため、2022年度までに「日本語表現A1, A2, A3, B1, B2, C1, C2」のいずれか１つでも単位を修得した学生は、「日本語表現３」を履修することはできない。

日本語表現科目（2022年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考
基幹科目	1120	DP0		108003	日本語表現１	2	1	9		久保田一充	各30	1	全学部必修 時間割表の「開講年組」欄の指定に従って登録する。
								8		川村祐斗			
								2		中村佑衣			
								10		松原久子			
								10		松本明日香			
								2		石田莉奈			
								2		伊藤真希			
								2		遠藤美里			
								7		小椋愛子			
								4		久保田樹			
								5		富中佑輔			
								3		中西由香里			
								2		服部一宏			
							1-4		1	松原久子	各30（抽選）	1	未修得者に限る。
									2	松本明日香			
							2-4	1		川村祐斗			
応用	2120	DP0		108004	日本語表現２	2	1		8	久保田一充	各30（抽選）	1(必修学部) 5(選択学部)	一部必修学部あり（非抽選） 必修学部は、時間割表の「開講年組」欄の指定に従って登録する。
									7	川村祐斗			
									4	中村佑衣			
									6	松原久子			
									7	松本明日香			
									2	遠藤美里			
									1	久保田樹			
							2-4	1		森本俊之		1	必修学部の未修得者に限る。
									1	小椋愛子			
発展	3120	DP0		108005	日本語表現３	2	2･3	1	1	久保田一充	各30（抽選）	5	「日本語表現１」の単位修得者のみ履修可。 なお、これに加え「日本語表現２」の単位を修得していることが望ましい。
								1	1	川村祐斗			
								1	1	松原久子			
								1	1	松本明日香			
								2	1	高宮貴代美			
								1	1	萩原千恵			
								2	2	樋口貴子			
								1	1	森本俊之			
								1		安田朋江			
								1	1	吉田智美			

●文学部の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
なお、「日本語表現１」「日本語表現２」の科目を履修した場合には、専門教育科目の単位に算入する。「日本語表現１」「日本語表現２」は必修科目である。
●人間情報学部の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●心理学部の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●創造表現学部 創作表現専攻およびメディアプロデュース専攻の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から６単位以上、
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。なお、「日本語表現１」「日本語表現２」は必修科目である。
●創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から４単位以上（「日本語表現１」「日本語表現２」の必修科目を含む）修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から６単位以上、2023年度以前入学者は、
日本語表現科目の中から４単位以上修得する。なお、「日本語表現１」「日本語表現２」は必修科目である。
●健康医療科学部 視覚科学専攻の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●健康医療科学部 理学療法学専攻および臨床検査学専攻は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●健康医療科学部 健康栄養学科は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。
●食健康科学部は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
●福祉貢献学部の2024年度入学者は、違いを共に生きる科目、日本語表現科目の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、日本語表現科目の中から２単位以上修得する。

日本語表現科目（2010～2021年度入学者対象）

集…集中授業

科目群	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数		担当者	定員等	開講最少履修者数	備　考	読替科目		
					前	後					科目番号	科目	開講先
基幹科目	108001	日本語表現T1	2	1						全学部必修 読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	108003	日本語表現 1	日本語表現（2022年度以降入学者用）
	108002	日本語表現T2	2	1						読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	108004	日本語表現 2	日本語表現（2022年度以降入学者用）
	108011	日本語表現A1（ライティング）	2	2･3						読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	108005	日本語表現 3	日本語表現（2022年度以降入学者用）
	108012	日本語表現A2（スピーキング）	2	2･3									
	108013	日本語表現A3（リーディング）	2	2･3									
	108021	日本語表現B1（ライティング）	2	2･3									
	108022	日本語表現B2（スピーキング）	2	2･3									
	108031	日本語表現C1（ライティング）	2	2･3									
	108032	日本語表現C2（スピーキング）	2	2･3									

●文学部の学生が「日本語表現T1」「日本語表現T2」の科目を履修した場合には、専門教育科目の単位に算入する。「日本語表現T1」「日本語表現T2」は必修科目である。
●人間情報学部は、「日本語表現T1」は必修科目である。
●心理学部は、「日本語表現T1」は必修科目である。
●創造表現学部は、「日本語表現T1」「日本語表現T2」は必修科目である。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、「日本語表現T1」「日本語表現T2」は必修科目である。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、「日本語表現T1」は必修科目である。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科および健康栄養学科は、「日本語表現T1」は必修科目である。
●福祉貢献学部は、「日本語表現T1」は必修科目である。

3 アクティブラーニング科目

■国際交流センター開設科目

国際交流センターでは、学生の外国語コミュニケーション能力と異文化コミュニケーション能力の向上を目的とする様々な授業を開設している。

現地の学生との交流やホームステイなどを通して、それぞれの国や地域の文化や生活、歴史などを学び、異文化理解を深めることを目的とするのが「海外セミナー科目」（英語圏、中国語圏、韓国語圏）である。海外のNPO・NGOや各種ボランティア団体、学校、企業などでインターンシップをおこなうのが「海外アクティブラーニング研修」である。この科目は、実践的な経験を通して、異文化コミュニケーション能力と情報発信能力、問題解決能力などの向上を目的とするものであり、学生の将来のキャリアを形成する上でも絶好の機会となるプログラムである。

なお、世界に進出する企業の第一線で活躍している人をゲストスピーカーとして迎える「Globalization and Society」と、日本の伝統芸能や伝統文化に携わる人をゲストスピーカーとして招く「Traditional Arts in Japan」の２科目は、自らの社会や文化を理解し、発信力へとつながる知識を得ることを目的として開講している。

また、英語圏へ交換留学をする場合に必要なTOEFL iBTのスコアアップを目的とした「English for Study Abroad Ⅰ」「English for Study Abroad Ⅱ」の２科目を開講している。

日本語非母語話者対象に開講されているのが「日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ」である。実用的な文章作成練習や演習を通して、自らの考えを適切な日本語で表現したり、論理的で説得力のあるレポートや論文の書き方を身につける。

履修上の注意

○原則として、所属するキャンパスにて履修する。
○科目により履修条件があるので、カリキュラム表の備考欄および授業概要を確認する。
○海外プログラム科目の履修希望者は、後日CSの指示に従って、説明会に参加し、別途申込をする。履修を認められた者の履修登録は教務事務室・教学事務室が行うので各自での登録は不要である。原則、取消不可とする。

■コミュニティ・コラボレーションセンター開設科目

コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）は、「地域に根ざし、世界に開く」という姿勢で、学生の実践力を育む「教育」と、学生の自主活動を支える「支援」に取り組んでいる。学生のさまざまなコミュニティと連携を強め、地域社会と大学の活性化を図ること、そして、これから社会へ羽ばたく学生たちの視野を広げ、人間力や社会に貢献できる人材になるための力、生きる力を育むことを目指している。

CCCでは、地域と連携して取り組む社会貢献活動に、学生が段階的にチャレンジできるようCCC開設科目として、ボランティアの基礎知識や様々な事例を学ぶことで社会的課題の発見と解決力を育む「知識系科目」、仲間と一緒に活動を起こす際に必要となる手法や考え方を学ぶ「スキル系科目」、社会が抱える問題の解決に向けて実際にアクションを起こすプロジェクト型の「実践系科目」を開設している。多様な科目構成で実際の活動や将来に役立つ知識やスキルの修得をめざす。

履修上の注意

○原則として、所属するキャンパスにて履修する。
○科目により履修条件があるので、カリキュラム表の備考欄および授業概要を確認する。
○ビジネス学部の2021年度以降入学者は「企画立案の基礎」を履修できない。ビジネス学部の専門科目である「ビジネスプランニング入門」を履修する。
○ビジネス学部の学生は「ファシリテーター養成講座」を履修できない（2024年度以降）。ビジネス学部の専門科目である「ファシリテーター入門」を履修する。

■キャリアセンター開設科目

2023年度以前入学者が「キャリアの形成」を履修する場合は、教養教育科目の単位に算入する。

キャリアセンターでは、学生が各自の生き方や働き方を考えるとともに、大学で学んだことを社会でどのように活用するかを考えることを目的として、さまざまな「キャリア教育」に関する科目を開設している。キャリアセンターが開設するキャリア教育科目の中には、過去・現在の自分と、職業・仕事について理解し、キャリアを形成するうえで必要となる基本的事項について学ぶ「キャリアの形成」や、国内でのインターンシップの事前研修として行う「インターンシップ概論」、国内の企業や団体でインターンシップを行う「インターンシップ研修」、海外でインターンシップを行う「海外インターンシップ」などがある。さらに、就職活動時に必要となる数学的思考力を鍛えるための「キャリアに役立つ数学力」や、社会人として必要な知識や技能を習得する「ビジネスの世界」、「新社会人の基礎」などの授業も開講している。本学では、こうした「キャリア教育」に関する科目や各学科・専攻等が開講するキャリアデザイン科目を、就職に関する各種セミナーやガイダンス、経験豊かなキャリアアドバイザーが行う個別面談などの「キャリア支援」と有機的に組み合わせることによって、入学から卒業までの４年間を通じた段階的かつ体系的な教育・支援体制を構築している。

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。
○科目により履修条件があるので、カリキュラム表の備考欄および授業概要を確認する。

■ダイバーシティ共生センター開設科目

2023年度以前入学者が履修する場合は、教養教育科目の単位に算入する。

ダイバーシティ共生センターでは、ジェンダー、国籍、信条、世代などの違いや障がいの有無などの多様性（ダイバーシティ）を理解し、社会に出てからも科学的、多角的視点を持ちながら問題を解決、および社会貢献をしていける人物の育成を目指している。

初学者向けに基礎を学び知識を身に付ける科目として「大学生のためのダイバーシティ入門」、「日常生活とダイバーシティ」、「ダイバーシティ研究法概論」、発展的科目として「ダイバーシティ関係行政論［M］」、「セクシュアリティとメディア」、「思想としてのフェミニズム」が用意されている。また演習科目として「ダイバーシティ表現演習Ⅰ・Ⅱ」や「ダイバーシティ研究法演習」が用意され、学生自らが問題を見つけ解決していく過程を通してダイバーシティについて学修できる。

なお、本センターはダイバーシティを体系的に学べる「ダイバーシティ共生プログラム」を実施している。本センターが開設する科目に加えて、各学部から指定された科目を履修することで、プログラムの修了が認定される。体系的にダイバーシティについて学ぶことでその知識を就職活動や社会に出てからも活かしてほしい。

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。
○科目により履修条件があるので、カリキュラム表の備考欄および授業概要を確認する。

アクティブラーニング科目（2016年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備　考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
国際交流センター	1211	DP0		110014	英語海外セミナーⅠ［M］	2	1·2	集1		熊澤友紀子	20	5	長久手・星が丘合同履修希望者は、後日掲示の指示に従って、説明会に参加し、別途申込をする。履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要。原則、取消不可。			
	1211	DP0		110002	英語海外セミナーⅡ	2	1·2	集1		熊澤友紀子	20	5				
	1211	DP0		110003	英語海外セミナーⅢ	2	1·2		集1	熊澤友紀子	20	5				
	1213	DP0		110015	中国語海外セミナーⅠ	2	1·2		集1	馮　富榮	20	10				
	1213	DP0		110016	韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ	2	1·2	集1		金　文姫	20	10				
	1210	DP0		110017	海外アクティブラーニング入門	2	1·2		1 =星が丘	熊澤友紀子	20	10	所属キャンパス以外での履修も可			
	2211	DP0		110018	海外アクティブラーニング研修	2	1·2		集1	熊澤友紀子	20	10	長久手・星が丘合同「海外アクティブラーニング入門」の単位を修得済み または同時履修中の学生のみ履修可。履修希望者は、後日掲示の指示に従って、説明会に参加し、別途申込をする。履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要。原則、取消不可。			
	1212	DP0		110019	Globalization and Society	1	1		1	熊澤友紀子 二村慎一 若山真幸	150（抽選）	10	オムニバス科目 1/4期科目（前半）			
	1212	DP0		110010	Traditional Arts in Japan	1	1		1	熊澤友紀子 二村慎一 若山真幸	150（抽選）	10	オムニバス科目 1/4期科目（後半）			
	2212	DP0		110020	English for Study Abroad Ⅰ	2	1·2	1 =星が丘		外部講師 ※1	15（抽選）	5	所属キャンパス以外での履修も可			
	2212	DP0		110021	English for Study Abroad Ⅱ	2	1·2		1 =星が丘	外部講師 ※1	20（抽選）	5				
				110001	英語海外セミナーⅠ	2	1·2						読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	110014	英語海外セミナーⅠ［M］	アクティブラーニング
				110005	中国語海外セミナーⅠ（中国）	2	1·2							110015	中国語海外セミナーⅠ	
				110006	韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ（韓国）	2	1·2							110016	韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ	
				110013	米国NPOインターンシッププログラム概論	2	1·2							110017	海外アクティブラーニング入門	
				110004	米国NPOインターンシッププログラム	2	1·2							110018	海外アクティブラーニング研修	
				110009	Central Japan	1	1							110019	Globalization and Society	
				110011	TOEFL iBTトレーニングⅠ（Speaking & Writing）	2	2							110020	English for Study Abroad Ⅰ	
				110012	TOEFL iBTトレーニングⅡ（Listening & Reading）	2	1·2							110021	English for Study Abroad Ⅱ	

アクティブラーニング科目（2016年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
国際交流センター	1210	DP0		110055	入門日本語A	4	1	1 =星が丘		小川満梨奈 梶川しのぶ	各15	5	日本語の初学者のみ履修可 学部生履修不可 週２回の授業 所属キャンパス以外での履修も可			
									1 =星が丘	小川満梨奈 梶川しのぶ						
	1210	DP0		110056	入門日本語B	4	1	1 =星が丘		小川満梨奈 鈴木かおり	各15	5				
									1 =星が丘	小川満梨奈 鈴木かおり						
	2210	DP0		110053	日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ	2	1	1 =星が丘	1 =星が丘	中林律子 本間　妙	各15	5	日本語非母語話者のみ履修可 所属キャンパス以外での履修も可			
	2210	DP0		110054	日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅡ	2	1	1 =星が丘	1 =星が丘	中林律子	各15	5				
コミュニティ・コラボレーションセンター	1220	DP0		110201	CCCスタートアップ講座	2	1	1 1	1	梅原　聡 岡田守弘	各50（抽選）	10				
	1220	DP0		110202	ボランティア	2	1･2	1	1 1	梅原　聡 岡田守弘	各50（抽選）	10				
	1220	DP0		110203	障がい者支援ボランティア	2	1･2		1	荒賀博志	50（抽選）	10				
	1220	DP0		110204	企画立案の基礎	2	1	1		藤井　勉	各50（抽選）	5	ビジネス学部の2021年度以降入学者は履修不可			
				110205	まちづくりマーケティング	2	1						読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	110209	まちづくりと地域活動	アクティブラーニング
	1220	DP0		110209	まちづくりと地域活動	2	1		1	梅原　聡	70（抽選）	10				
	2220	DP0		110206	ファシリテーター養成講座	2	2	1	1	梅原　聡 岡田守弘	各30（抽選）	5	ビジネス学部生は履修不可			
	2220	DP0		110207	CCCキズナプロジェクトA	2	2	1		梅原　聡	20（抽選）	5				
	2220	DP0		110208	CCCキズナプロジェクトB	2	2		1 =星が丘	岡田守弘	20（抽選）	5	所属キャンパス以外での履修も可			

アクティブラーニング科目（2016年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
キャリアセンター	1230	DP0		110409	キャリアの形成	2	1	2 1	2 1	阿部　夢 樋口貴子	各100（抽選）	10	教養教育科目「キャリアの形成」を修得済みの学生は履修不可。（2023年度以前入学者が履修した場合は教養教育科目の単位に算入する。）			
	1230	DP0		110401	キャリアに役立つ数学力（基礎）	2	1·2	2	2	外部講師 ※2	各100（抽選）	10				
	2230	DP0		110402	キャリアに役立つ数学力（実践）	2	1·2	2	2	外部講師 ※2	各100（抽選）	10				
	2230	DP0		110403	インターンシップ概論	2	2·3	1 1 1 1	1 1 1 1	阿部　夢 菊池美由紀 上本裕子 三井裕美	各80（抽選）	10	「キャリアの形成」を履修済み または同時履修することが望ましい。			
	3230	DP0		110404	インターンシップ研修	2	2·3	集1	集1	阿部　夢 菊池美由紀	各200	5	長久手・星が丘合同 「インターンシップ研修」は、「インターンシップ概論」の単位を修得済み または同時履修中の学生のみ履修可。 履修希望者は、後日掲示の指示に従って、説明会に参加し、別途申込をする。 履修登録の手続きはキャリアセンターが行うため、各自での履修登録は不要。 成績は「合」「否」により評価。			
	3232	DP0		110405	海外インターンシップ	2	2·3	集1	集1	阿部　夢 菊池美由紀	各30	5				
	3230	DP0		110407	ビジネスの世界	1	3	2		浅井敬一朗 三浦克人	各100（抽選）	10	オムニバス科目 1/4期科目			
	3230	DP0		110408	新社会人の基礎	1	4		2	上本裕子	各100（抽選）	10	1/4期科目			
ダイバーシティ共生センター△	1240	DP0		110601	日常生活とダイバーシティ	2	1	1 2	1 2	石河敦子 中村奈津子	各100（抽選）	10	教養教育科目「ジェンダーと社会」を修得済みの学生は履修不可			
	1240	DP0		110602	大学生のためのダイバーシティ入門	2	1	1 1	1 1	菅野　淑 反橋一憲 中島美幸	各100（抽選）	10	教養教育科目「女性学・男性学」を修得済みの学生は履修不可			
	1240	DP0		110603	ダイバーシティ研究法概論	2	1	1	1	菅野　淑 反橋一憲	各100（抽選）	10				
	2240	DP0		110604	ダイバーシティ研究法演習	2	1		1	反橋一憲 坂田陽子	各30（抽選）	5	オムニバス科目 「ダイバーシティ研究法概論」の単位を修得済み または同時履修することが望ましい。			
	1240	DP0		110605	ダイバーシティ関係行政論［M］	2	1	1	1	森　絵里	各200（抽選）	10				

アクティブラーニング科目（2016年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手） 前	開講コマ数（長久手） 後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備　考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
ダイバーシティ共生センター△	2240	DP0		110606	ダイバーシティ表現演習Ⅰ	2	1	1		反橋一憲 刈馬カオス ニノキノコスター 山田珠実	30（抽選）	5	オムニバス科目「ダイバーシティ表現演習Ⅰ」と「ダイバーシティ表現演習Ⅱ」は同時履修となる。再履修者で片方のみ単位を修得した学生は、もう片方の単独の履修可。 教養教育科目「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅰ」「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅱ」を修得済みの学生は履修不可。			
	2240	DP0		110607	ダイバーシティ表現演習Ⅱ	2	1	集1		反橋一憲 刈馬カオス ニノキノコスター 山田珠実	30（抽選）	5				
	1240	DP0		110608	セクシュアリティとメディア	2	1	1		藤井誠二	100（抽選）	10	教養教育科目「セクシュアリティとメディア」を修得済みの学生は履修不可			
	1240	DP0		110609	思想としてのフェミニズム	2	1		1	綾部六郎	100（抽選）	10	教養教育科目「思想としてのフェミニズム：性の多様性に至る系譜を学ぶ」を修得済みの学生は履修不可			

※1 アルクエデュケーション　※2 Gakken

△科目群「ダイバーシティ共生センター」の科目を2023年度以前入学者が履修した場合は教養教育科目の単位に算入する。

●国文学科の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
●総合英語学科の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上、2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
なお、「Globalization and Society」「海外アクティブラーニング研修」「Traditional Arts in Japan」「インターンシップ概論」「インターンシップ研修」「海外インターンシップ」を履修した場合には、専門教育科目の単位に算入する。
●教育学科の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。ただし、スポーツ科目から2単位以上修得する。
●人間情報学部の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から6単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
なお、2022年度以前入学者が「インターンシップ概論」を履修した場合には、専門教育科目の単位に算入する。
●心理学部の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
●創造表現学部の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上、2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
なお、「日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ」は卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 視覚科学専攻の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上、2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から4単位以上修得する。
なお、「日本語非母語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ」は卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 理学療法学専攻および臨床検査学専攻は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
なお、「日本語非母国語話者のためのアカデミック・ライティングⅠ・Ⅱ」は卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。
●健康医療科学部 健康栄養学科は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から6単位以上修得する。
●食健康科学部は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
●福祉貢献学部の2024年度入学者は、アクティブラーニング科目の中から2単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、教養教育科目、スポーツ科目、アクティブラーニング科目の中から8単位以上修得する。

4 言語活用科目［英語］

社会の急速な国際化・情報化に伴い、世界の共通語としての英語の役割は不動のものとなり、その運用能力の育成が急がれている。本学では早くから英語コミュニケーション能力の育成を全学の英語教育の共通目標とし、学生は、年２回の学内TOEIC IP テストを無料（受験料大学負担）で受験する機会が与えられ、各自の英語運用能力を客観的に把握することができるようになっている。

また、2013年度より、一から英語の基礎を学び直す必要のある新入生を対象とした「Introduction to English」を開講した。再度しっかりと土台を固めてから、基礎力養成、そしてさらに対話力養成の科目群へとステップアップしてほしい。

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。

○備考欄に記載されている履修条件としてのTOEICスコアは、最新のスコアではなく、登録時における今までのベストスコアである。学内TOEIC IP テストの結果は受験ごとに更新されるが、学外で受験したTOEIC公開テストの結果は、自己申告となる。特に、ベストスコアが変更になった場合は、スコアを国際交流センターに提出すること（提出方法・時期については別途掲示するので指示に従うこと）。提出がない場合は、学内TOEIC IP テストのベストスコアが、登録時の各自のスコアとなるので、注意すること。

○履修できる科目は、TOEICテストのスコアや単位を修得した科目の種類により異なるので、各科目の履修条件をカリキュラム表にて確認すること。ただし、TOEICテストのスコアによる履修条件が優先される。例えば、「Basic English 1」の単位を修得していても、登録時においてTOEICスコアが400点以上ある者が、「English 1」または「English 2」を履修することはできない。

○各学期の１次登録期間の前に各自のTOEICベストスコアを学内からCampusSquareの「学生カルテ」で必ず確認する。

○テキストは授業担当者ごとに異なるので、CampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で受講クラス（授業担当者・教室）を確認してから購入する。

○抽選科目のため、受講希望者が定員数を超えた場合は、抽選にて履修者が決定される。当落の結果は、CampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で確認する。

○１次登録で定員に達しなかった科目のみ追加登録を認める。空席状況はCampusSquareのリンク「履修登録の注意事項」で発表する。追加登録希望者が空席数を超えた場合は、抽選にて追加登録の当落が決定される。追加登録の当落の結果は追加登録確認期間以降、CampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で各自結果を確認する。

○総合英語学科の学生は「English 3～6」を履修できない。総合英語学科の専門科目である「Elementary English 3，4」「Intermediate English 3，4」を履修する。

「Introduction to English」について

○卒業に必要な単位に算入されないので注意すること。また、履修登録の上限単位数から除外する。

○時間割表で同じ時間割コードに複数の教員名が記載されている場合は、履修登録すると、受講クラスが自動的に決定される。登録した科目のクラス分けの結果（授業担当者・教室）は、CampusSquareの「履修登録・登録状況照会」で確認する。

言語活用科目［英語］（2013年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
基礎力養成	1312	DP0		102331	Basic English 1	2	1	1		磯村香里	各20（抽選）	5	※TOEICスコア245～295点の取得者を対象とする。または、「Introduction to English」の単位を修得している学生も履修対象者とする。			
									1	内田脩平						
									1	笠井俊宏						
								1		河合利江						
								2		河口和子						
								3	3	東海林明美						
								1		山田久美子						
									1	吉枝　恵						
	1312	DP0		102332	Basic English 2	2	1		1	BAILEY Mark	各20（抽選）	5				
								1	1	笠井俊宏						
								1	3	河合利江						
								2	1	河口和子						
									1	服部有紀						
								1		山田久美子						
	1312	DP0		102333	English 1（Listening）	2	1-4	5	1	ARRIETA Lovely	各20（抽選）	5	※TOEICスコア300～395点の取得者を対象とする。または、「Basic English 1」、「Basic English 2」のどちらかの単位を修得している学生も履修対象者とする。			
									1	BILODEAU Isabelle						
								1	1	LACEY Charles F.						
								1	1	井土康仁						
									1	内田脩平						
								2	1	笠井俊宏						
								2	3	河合利江						
								2	1	河口和子						
								1	1	半井尚美						
									1	服部有紀						
									2	水野友貴						
	1312	DP0		102334	English 2（Reading）	2	1-4		3	ARRIETA Lovely	各20（抽選）	5				
								1	1	BAILEY Mark						
								1	1	LACEY Charles F.						
								1		LEAF David H.						
								2	2	相川由美						
								1	1	石河敦子						
								2	2	井土康仁						
								2	2	内田脩平						
								1	1	笠井俊宏						
								1		河合利江						
								1	1	河口和子						
								1	1	半井尚美						
								2		水野友貴						
	1312	DP0		102335	English 3（TOEIC 1）	2	1-4	1		BILODEAU Isabelle	各20（抽選）	5	※TOEICスコア400点以上の取得者を対象とする。または、「English 1」、「English 2」のどちらかの単位を修得している学生も履修対象者とする。 総合英語学科は履修不可。			
								1	1	PUDWILL Larry A.						
								3	2	内田脩平						
								1	1	太田晶子						
								3	1	笠井俊宏						
								1	2	河合利江						
									3	河口和子						
								1		服部有紀						
								2	2	花木由子						
								2	2	水野友貴						
								3	3	山田久美子						

言語活用科目［英語］（2013年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考	読替科目 科目番号	読替科目 科目	読替科目 開講先
基礎力養成	1311	DP0		102336	English 4（Speaking 1）	2	1-4	3 3 1 1 1	4 2 1 1 2 1	ARRIETA Lovely BAILEY Mark BILODEAU Isabelle CHEW Hui Yan LEAF David H. PUDWILL Larry A.	各20（抽選）	5	※TOEICスコア400点以上の取得者を対象とする。または、「English 1」、「English 2」のどちらかの単位を修得している学生も履修対象者とする。 総合英語学科は履修不可。			
	1312	DP0		102337	English 5（TOEIC 2）	2	1-4	3 1 2 1 1	3 1 2 2 1 2 2	内田脩平 太田晶子 笠井俊宏 河口和子 半井尚美 山田久美子 吉枝　恵	各20（抽選）	5				
	1311	DP0		102338	English 6（Speaking 2）	2	1-4	1	2 1	LEAF David H. CHEW Hui Yan	各20（抽選）	5				
対話力養成	2312	DP0		102357	TOEIC Training Ⅰa（Listening & Reading）	2	1-4	3 1 1		太田晶子 服部有紀 山田幸代	各20（抽選）	5	※TOEICスコア500点以上の取得者を対象とする。または、「English 3」と「English 5」の２科目の単位を修得している学生も履修対象者とする。			
	2312	DP0		102358	TOEIC Training Ⅰb（Listening & Reading）	2	1-4		3 2 1	太田晶子 服部有紀 山田幸代						
	2312	DP0		102359	TOEIC Training Ⅰc（Listening & Reading）	2	1-4	1		服部有紀	各20（抽選）	5	※TOEICスコア600点以上の取得者を対象とする。または、「TOEIC Training Ⅰa」、「TOEIC Training Ⅰb」のどちらかの単位を修得している学生も履修対象者とする。			
	2312	DP0		102360	TOEIC Training Ⅰd（Listening & Reading）	2	1-4		1	太田晶子						
	2311	DP0		102361	TOEIC Training Ⅱa（Speaking & Writing）	2	1-4	1		BILODEAU Isabelle	各20（抽選）	5	※TOEICスコア500点以上の取得者を対象とする。または、「English 3」と「English 5」の２科目の単位を修得している学生も履修対象者とする。			
	2311	DP0		102362	TOEIC Training Ⅱb（Speaking & Writing）	2	1-4		1	BILODEAU Isabelle						
				102367	Advanced English Ⅱa	2	1-4						読替（履修を希望する学生は、読替先科目として右欄の科目を履修する）	102369	Advanced English A	言活（英語）
				102368	Advanced English Ⅱb	2	1-4							102370	Advanced English B	言活（英語）
	3311	DP0		102369	Advanced English A	2	1-4	1		KABARA Thomas	各20（抽選）	5	※TOEICスコア600点以上の取得者を対象とする。または、「English 4」と「English 6」の２科目の単位を修得している学生も履修対象者とする。			
	3311	DP0		102370	Advanced English B	2	1-4		1	KABARA Thomas						

●卒業に必要な単位に算入されない科目

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）		担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考	読替科目		
								前	後					科目番号	科目	開講先
入門	1312	DP0		102400	Introduction to English	2	1	2	1	内田脩平	各20	1	※TOEICスコア240点以下の取得者を対象とする。 成績は「合」「否」により評価			
								1		太田晶子						
								3		笠井俊宏						
								2		河合利江						
								1		河口和子						
								1		服部有紀						
									1	山田久美子						
								1		吉枝　恵						

●国文学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●総合英語学科生が「TOEIC Training Ⅰa・Ⅰb・Ⅰc・Ⅰd」を履修した場合には、専門教育科目の単位に算入する。
●教育学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●人間情報学部は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●心理学部は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●創造表現学部 創作表現専攻およびメディアプロデュース専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上、2022年度以前入学者は６単位以上修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、言語活用科目［英語］の中から、2024年度入学者は４単位以上、2023年度以前入学者は２単位以上修得する。
●健康医療科学部 理学療法学専攻および臨床検査学専攻は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 健康栄養学科は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●食健康科学部 健康栄養学科は、言語活用科目［英語］の中から４単位以上修得する。
●食健康科学部 食創造科学科は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●福祉貢献学部の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。

5 言語活用科目［初めての外国語］

2023年度以前入学者が、「初めての外国語７（中国語）」を履修する場合は言語活用科目［中国語］の単位に、「初めての外国語８（韓国・朝鮮語）」を履修する場合は言語活用科目［韓国・朝鮮語］の単位に算入する。

全学共通履修科目の言語活用科目のうち、英語は特別プログラムを編成しているが、その他の外国語に関しても、入門・基礎レベルの知識を修得し、より多くの外国語への関心を高めることを目的として開設している。

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。

言語活用科目［初めての外国語］

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考
国際交流センター	1323	DP0		106001	初めての外国語１（ドイツ語）	2	1	2 1	2 1	平岩英恵 吉田敬	各40（抽選）	5	
	1323	DP0		106002	初めての外国語２（フランス語）	2	1	2 1	3	清水ベアトリックス 田崎明子			
	1323	DP0		106003	初めての外国語３（ロシア語）	2	1	1	1	水野晶子 佐藤規祥			
	1323	DP0		106004	初めての外国語４（スペイン語）	2	1	2	2	GUTIERREZ CERVANTES Lenin			
	1323	DP0		106005	初めての外国語５（イタリア語）	2	1	2	2	柴田有香			
	1323	DP0		106006	初めての外国語６（ポルトガル語）	2	1	2	2	瀧藤千恵美			
	1323	DP0		106007	初めての外国語７（中国語）	2	1	3 1 2 2 2 1 2	2 1 3 2 1	袁莉萍 王麗英 華イ 周先民 曹志偉 巣宇燕 陳惠貞 鄧秀 王岩			2023年度以前入学者が履修した場合は言語活用科目［中国語］の単位に算入する。また、「中国語読解1A」「中国語会話1A」を修得済みの学生は履修不可。
	1323	DP0		106008	初めての外国語８（韓国・朝鮮語）	2	1	2 2	2 2	金文姫 キムソヨン			2023年度以前入学者が履修した場合は言語活用科目［韓国・朝鮮語］の単位に算入する。また、「韓国・朝鮮語入門」を修得済みの学生は履修不可。

●国文学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●教育学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●創造表現学部 創作表現専攻およびメディアプロデュース専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●創造表現学部 建築・インテリアデザイン専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上、2022年度以前入学者は６単位以上修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●食健康科学部 食創造科学科は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
●福祉貢献学部の2024年度入学者は、言語活用科目［英語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。
2023年度以前入学者は、言語活用科目［英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語］の中から４単位以上修得する。

6 コンピュータ活用科目

（1）カリキュラム・ポリシー

コンピュータ活用科目は、愛知淑徳大学の「違いを共に生きる」という教育理念を具現化する柱の一つである「役立つものと変わらないもの」を踏まえ、自らの責任で必要な知識や技能を修得し、自らの価値観と対応能力を内省できる、創造的で確かな情報基盤力を身に付けた人材の養成を目標としている。また、明日に「役立つもの」としての資格取得も重んじ、目まぐるしく変化する国際化・情報化の時代において、自己の責任で問題解決するための情報活用の実践力を養っていく。

（2）コンピュータ活用科目の３つのステージと科目構成

コンピュータ活用科目は、①基礎、②資格支援の２つのステージ、計７科目から構成される。

ステージ	ステージの概要	科 目
① 基礎	大学における学修で求められるコンピュータスキルの基礎を習得する。ワードとエクセルを駆使し、論文やレポートを独力で作成できることを目標とする基礎力育成ステージ。	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ
② 資格支援	将来に役立つ情報関連の資格修得を目指す。基礎ステージで身に付けた力を「資格」という形で「見える化」することを目標とする実践力育成ステージ。	ITパスポート対策講座Ⅰ ITパスポート対策講座Ⅱ 情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ 情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅱ ウェブデザイン技能検定対策講座

（3）サポート体制

コンピュータ活用科目では、情報活用能力を高め、情報処理技術に関連する資格取得をバックアップするため、下記のようなサポート体制を提供している。開催日程等、詳細は情報教育センター（長久手：８号棟３階、星が丘：３号館５・６階）の掲示等で発表する。

学習クリニック （個別相談）	対 象	全学生
	目 的	学習上の不安や疑問点について個別に対応し、履修モデルや学習方法の提示、資格取得アドバイスなどについて積極的に対応する

（4）各種情報処理技術に関連する資格試験の検定料補助と成績ランクアップ

資格支援ステージの科目はITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、ウェブデザイン技能検定の資格取得を目指す科目である。

本学では、情報処理技術に関連する資格をできるだけ多くの学生が取得することを推進し、情報活用の実践力を習得させることを目的としており、検定試験に合格した際には、検定試験料を大学が全額補助する。また、指定する科目の成績評価が「B」「C」「F」であった場合は、「A」にランクアップされる。詳細は、別途情報教育センター（長久手：８号棟３階、星が丘：３号館６階）で案内する。

※コンピュータ活用科目、および情報教育センターについては下記のホームページも参照のこと。

〈コンピュータ活用教育ホームページ〉
https://www.aasa.ac.jp/com_education/

〈情報教育センターホームページ〉
https://www.aasa.ac.jp/institution/iec/

履修上の注意

○所属するキャンパスにて履修する。

○「情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ・Ⅱ」は履修条件があるので、カリキュラム表を確認する。

○「ITパスポート対策講座Ⅰ・Ⅱ」「情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ・Ⅱ」「ウェブデザイン技能検定対策講座」においては、成績評価ランクアップが行われた際に、同一科目を再履修している場合、再履修中の科目は登録取り消しとなる。

「コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ」について

【2024年度入学者】

○各学科指定の曜日時限で履修する。

【2023年度以前入学者】

・「コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ」（2014～2023年度入学者）

○これらの科目を履修したことがない学生は「通常授業」（2024年度入学者用）を履修する。

※クラスについては学科指定されているが、学科を問わず履修できる。ただし、１年生が優先されるため、抽選となる場合がある。

○これらの科目の再履修者（以前に履修したが、成績評価がF・失格・欠席のため単位を修得できなかった学生）は「前期集中授業」（再履修者専用）を履修する。

※長久手キャンパスのみで開講されるため星が丘キャンパスの再履修者は長久手キャンパスで受講する。

※学科・専攻の必修科目・選択必修科目および資格科目と重複する場合には、当該学生についてのみ通常授業で履修することを認める場合がある。

コンピュータ活用科目（2014年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数（長久手）前	開講コマ数（長久手）後	担当者（長久手）	定員等	開講最少履修者数	備考
基礎	1330	DP0		104121	コンピュータリテラシーⅠ	2	1	2		中村勇太朗	教室の席数による	5	時間割表の「開講年組」欄の指定に従って登録する
								34		外部講師 ※1			
								集1		外部講師 ※1			再履修者に限る
	1330	DP0		104122	コンピュータリテラシーⅡ	2	1		2	中村勇太朗	教室の席数による（抽選）	5	必修科目となっている学科は非抽選 時間割表の「開講年組」欄の指定に従って登録する
									26	外部講師 ※1			
								集1		外部講師 ※1			再履修者に限る
資格支援	2330	DP0		104129	ITパスポート対策講座Ⅰ	2	1	3	4	外部講師 ※2	教室の席数による（抽選）	5	
	2330	DP0		104130	ITパスポート対策講座Ⅱ	2	1	3	4	外部講師 ※2	教室の席数による（抽選）	5	
	2330	DP0		104135	情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅰ	2	2	1	1	戸谷英司	教室の席数による（抽選）	5	ITパスポート資格取得者レベル
	2330	DP0		104136	情報セキュリティマネジメント試験対策講座Ⅱ	2	2	1	1	戸谷英司	教室の席数による（抽選）	5	
	2330	DP0		104134	ウェブデザイン技能検定対策講座	2	2	1	1	大嶽麻里子	教室の席数による（抽選）	5	

※1 パナソニックソリューションテクノロジー株式会社　※2 名古屋大原学園

●国文学科は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。「コンピュータリテラシーⅠ」は必修科目である。
●総合英語学科は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。（「コンピュータリテラシーⅠ」「コンピュータリテラシーⅡ」の中から2単位以上含む）
●教育学科は、コンピュータ活用科目の中から4単位以上修得する。「コンピュータリテラシーⅠ」「コンピュータリテラシーⅡ」は必修科目である。
●人間情報学部は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●心理学部は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。（「コンピュータリテラシーⅠ」「コンピュータリテラシーⅡ」の中から2単位以上含む）
●創造表現学部は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、コンピュータ活用科目の中から2024年度入学者は2単位以上、2023年度以前入学者は4単位以上修得する。
●健康医療科学部 理学療法学専攻および臨床検査学専攻は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科は、コンピュータ活用科目の中から4単位以上修得する。
●健康医療科学部 健康栄養学科は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●食健康科学部は、コンピュータ活用科目の中から2単位以上修得する。
●福祉貢献学部は、コンピュータ活用科目の中から4単位以上修得する。

7 教職課程科目

教職課程科目は、中学校、高等学校および栄養教諭の教員免許状取得・学校インターンシップ・教員採用試験対策を目的とした科目である。

教育職員免許状（教員免許状）取得・教職課程科目履修のためには、『教員免許状取得の手引き 教職課程便覧2024』を熟読し、自分に該当する必要な対面または遠隔によるガイダンスすべてに必ず出席する。遠隔のガイダンスの場合は資料を確認する。

1．履修上の注意

（1）教職課程科目を履修する場合、対面または遠隔の教職課程科目ガイダンスに出席し、「教職課程履修希望登録票」を教職・司書・学芸員教育センターまたは教学事務室に提出する。

（2）原則として、所属キャンパスで履修する。

（3）学科専門教育科目などで同じまたは類似した名称の科目があるが、これらを履修しても中学校、高等学校および栄養教諭の教員免許状取得のための単位に算入できないため、注意する（一部、単位を流用することができる科目があるが、詳細は、７月に対面または遠隔で開催される他学科免許状取得ガイダンスで説明）。

（4）教育実習を次年度に実施予定の学生および４年生で、履修すべき科目の曜日時限が重複した場合は、履修登録期間中に教務事務室または教学事務室で相談する。

（5）「教科教育法」は取得する免許状の種類・教科に応じて履修し、単位を修得する。取得する免許状の教科に対応したものでない「教科教育法」を履修する場合、卒業要件単位として算入されるが、取得する免許状の単位としては認められない。

例：国語の免許状を取得する場合、「英語科教育法」を履修すると、卒業要件単位として算入されるが、国語の免許状取得のための単位としては認められない。

（6）「教育実習指導」は、教育実習（中・高）の事前指導として位置づけられた必修科目である。次年度に教育実習（中・高）を実施予定の学生は、必ず履修する。

（7）「教育実習指導」「教職実践演習（中・高）」「教職実践演習（栄養教諭）」科目は、取得希望の免許状の種類により、履修する科目を正しく把握し、各自所定の開講年次に必ず履修登録する。

（8）「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習（栄養教諭）」「介護等体験」「教職プレパレーション」は事前の教育実習および介護等体験の履修願登録の内容に基づき教務事務室が履修登録を行う。学生自身による履修登録は不要であるが、正しく登録されているかを履修登録期間中に必ず確認する。

（9）「教職プレパレーション」「教職教養Ⅰ」「教職教養Ⅱ」は、教員免許状取得に必要な単位には算入できない。

（10）抽選科目は、受講希望者が定員数を超えた場合、抽選にて履修者を決定する。

（11）以下の①～③に該当する学生は、履修１次登録日に教職・司書・学芸員教育センターに申し出る（申し出方法の詳細は履修登録の注意事項で確認する）。

①教員免許状取得を目指す教育学科２年生および全学部３・４年生のうち、「日本国憲法」の単位を修得できていない学生

②教員免許状取得を目指す全学部３・４年生のうち、「スポーツ科学」、「健康と運動」のどちらの単位も修得できていない学生

③保育士資格の取得を目指す３・４年生のうち、「スポーツ科学」、「スポーツと文化」の単位を修得できていない学生

（12）教育学科１年生が「日本国憲法」を履修する場合、指定された曜日時限で履修する（曜日時限の指定は前期のみ）。

（13）教育学科２年生が「スポーツ科学」を履修する場合、指定された曜日時限で履修する。

（14）「スポーツ科学」および「健康と運動」の実施スポーツ種目については、「授業概要（シラバス）」を参照し、種目に適した服装・シューズを各自で準備する。詳細については担当教員の指示に従う。

(15) 屋外種目については、雨天時やコンディションの悪い時は屋内体育施設、教室で授業を行うので、掲示（体育館１階：掲示板）を確認する（長久手キャンパスのみ）。

(16) 2023年度以前の入学者が「日本国憲法」、「スポーツと文化」を履修した場合は、「教養教育科目」の卒業要件単位として算入する。

(17) 2023年度以前の入学者が「スポーツ科学」、「健康と運動」を履修した場合は、「スポーツ科目」の卒業要件単位として算入する。

(18) 2024年度より「スポーツと文化」は言語聴覚学専攻、子ども福祉専攻対象科目として開講する。ただし、2023年度以前の入学者は教養教育科目として履修可。

２．履修条件について

以下の科目については、履修条件があるため注意する。

（１）2024年度より「日本国憲法」、「スポーツ科学」、「健康と運動」は教員免許状取得を目指す学生を対象に開講するため、教育学科、子ども福祉専攻を除く2024年度以降入学者には以下の履修条件がある。ただし、2023年度以前の入学者には適用しない。

科目番号	科目名	履修条件
023001	日本国憲法	（１・２年生） 「教職入門」「教育原理」「教育制度」のいずれかの単位を修得済または履修中であること。 （３・４年生） 「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、３科目の単位を修得済または履修中であること。
023003	スポーツ科学	
023004	健康と運動	

（２）「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」は、「教育実習指導」の単位を修得した学生のみ履修を認める。

（３）「教職実践演習（中・高）」「教職実践演習（栄養教諭）」を履修するためには次の条件を満たさなければならない。

①教育実習（中・高・栄養）を履修中または単位修得済みであること。

②教職課程が指定した期間に「教職履修カルテ」を提出し、教員との面談を行っていること。

なお、「教職実践演習（中・高）」「教職実践演習（栄養教諭）」の単位が認定される学生は、「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」または「教育実習（栄養教諭）」の単位が認定された学生であることを原則とする。

（４）「教職インターンシップⅠ」「教職インターンシップⅡ」は、事前（履修前年度３月頃）のガイダンスに出席し、教員との面談において許可を得た学生のみ、履修をすることができる。履修を認められた者は追加登録期間に各自指定されたクラスで履修登録する。

（５）教科教育法および教育実習に関連する科目は、科目の性質上、以下の履修条件がある。

①以下の科目については、「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、３科目を単位修得済もしくは履修中に限り履修登録を認める。

科目番号	科目名	科目番号	科目名
023239	国語科教育法Ⅰ	023263	保健体育科教育法Ⅲ
023240	国語科教育法Ⅱ	023264	保健体育科教育法Ⅳ
023241	国語科教育法Ⅲ	023245	商業科教育法Ⅰ
023260	国語科教育法Ⅳ	023246	商業科教育法Ⅱ
023258	地歴・社会科教育法Ⅰ	023250	情報科教育法Ⅰ
023259	地歴・社会科教育法Ⅱ	023251	情報科教育法Ⅱ
023230	公民・社会科教育法Ⅰ	023242	英語科教育法Ⅰ
023231	公民・社会科教育法Ⅱ	023249	英語科教育法Ⅱ
023283	数学科教育法Ⅰ	023243	英語科教育法Ⅲ
023284	数学科教育法Ⅱ	023244	英語科教育法Ⅳ
023285	数学科教育法Ⅲ	023238	教育実習指導
023286	数学科教育法Ⅳ	023269	教職教養Ⅰ
023261	保健体育科教育法Ⅰ	023270	教職教養Ⅱ
023262	保健体育科教育法Ⅱ	023282	教育とICT活用

②以下の科目については、「教育実習」「介護等体験」の履修願の登録、または科目履修に係るガイダンスに出席して科目履修を認められた学生のみ履修登録を認める。

科目番号	科目名	科目番号	科目名
023271	教職プレパレーション	023266	介護等体験
023222	教育実習Ⅰ	023265	教職実践演習（中・高）
023226	教育実習Ⅱ	023276	教職実践演習（栄養教諭）
023275	教育実習（栄養教諭）		

3．2021年度以前入学者の教育職員免許状取得について

教育職員免許法施行規則等の一部改正に伴い、2022年度より教員免許状取得のための科目が追加された。2021年度以前の入学者が卒業と同時に教育職員免許状を取得する場合は経過措置が適用されるが、卒業後に大学院への進学や科目等履修生制度を利用して教員免許状取得を目指す場合、在学中の単位の修得状況によっては新規科目の追加履修が必要になるため、できるだけ早い時期に教職・司書・学芸員教育センターに相談する。

4．2018年度以前入学者の教育職員免許状取得について

2019年度より、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則の改正に伴い、教員免許状取得のための履修方法や科目が変更された。

2018年度以前の入学者で、卒業後（2019年度以降）に、本学大学院への進学や科目等履修生制度を利用して教員免許状取得を目指したい場合は、できるだけ早い時期に教職・司書・学芸員教育センターまたは教学事務室に相談する。

教職課程科目

（2019年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
健康と社会	1410	DP0		023001	日本国憲法		2	1	3 集1 =星が丘	2	西尾林太郎 漆畑貴久	各100（抽選）	1	中高一種免必修 栄一種免必修	2024年度以降入学者（教育学科･子ども福祉専攻除く）は以下の履修条件がある。 １・２年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」のいずれかの単位を修得または履修中であること。 ３・４年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、３科目の単位を修得または履修中であること。 2023年度以前入学者が履修した場合は教養教育科目の単位に算入する。
健康と社会	1410	DP0		023002	スポーツと文化		2	1	1	1	門間　博	各100（抽選）	1		2024年度以降入学者は子ども福祉専攻・言語聴覚学専攻対象 2023年度以前入学者が履修した場合は教養教育科目の単位に算入する。
健康と社会	1410	DP0		023003	スポーツ科学		2	1	6 4 2 2 2		門間　博 山口瑞生 加藤恵子 神谷知里 瀧川寛子	各30（抽選）	1	中高一種免選択必修 栄一種免選択必修	2024年度以降入学者（教育学科･子ども福祉専攻除く）は以下の履修条件がある。 １・２年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」のいずれかの単位を修得または履修中であること。 ３・４年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、３科目の単位を修得または履修中であること。 2023年度以前入学者が履修した場合はスポーツ科目の単位に算入する。
健康と社会	1410	DP0		023004	健康と運動		2	1		7 4 2 1 2	門間　博 山口瑞生 加藤恵子 小柳竜太 瀧川寛子	各30（抽選）	1	中高一種免選択必修 栄一種免選択必修	2024年度以降入学者（教育学科･子ども福祉専攻除く）は以下の履修条件がある。 １・２年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」のいずれかの単位を修得または履修中であること。 ３・４年生は「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、３科目の単位を修得または履修中であること。 2023年度以前入学者が履修した場合はスポーツ科目の単位に算入する。
教育の基礎的理解に関する科目等	1410	DP0		023090	教育原理	2		1	2 集1 =星が丘 1 2		小口　功 小口　功 佐藤実芳 三和義武	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
教育の基礎的理解に関する科目等	2410	DP0		023221	教育思想史		2	2･3	1		西脇明美	教室の席数による	1	中高一種免選択 栄一種免選択	

教職課程科目（2019年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	1410	DP0		023210	教職入門	2		1	2･集1 3		澤田喜之 武藤洋子	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
	1410	DP0		023140	教育制度	2		1		1 集1 =星が丘 4	佐藤実芳 佐藤実芳 三和義武	教室の席数による	1		
	2410	DP0		023232	学級経営		2	3･4	1		江坂栄子	教室の席数による	1	中高一種免選択 栄一種免選択	
	1410	DP0		023223	教育心理学Ⅰ	2		2	1･集1	2 集1 =星が丘	濱島秀樹 濱島秀樹	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
	2410	DP0		023224	教育心理学Ⅱ		2	3･4	1		濱島秀樹	教室の席数による	1	中高一種免選択 栄一種免選択	
	2410	DP0		023280	特別支援と生徒理解	2		3	1･集1 2		佐藤賢 板倉寿明	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
	1410	DP0		023227	教育課程	2		2		7 集1 =星が丘	澤田喜之 織部秀明	教室の席数による	1		
	1410	DP0		023120	道徳指導法		2	1		2 2 2	鈴木章夫 柴田八重子 山田真紀	教室の席数による	1	中一種免必修 栄一種免必修	中一種免・栄一種免のみ「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位として算入できる
	2410	DP0		023279	総合的な学習の時間の指導法	2		3	1 1	1 集1 =星が丘	織部秀明 鈴木章夫	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
	1410	DP0		023110	特別活動指導法	2		1	1 2 5	集1 =星が丘	鈴木章夫 市来ちさ 不破民由	教室の席数による	1		
	1410	DP0		023233	教育方法	2		2	集1 4	3	鈴木章夫 楠元町子	教室の席数による	1		
	2410	DP0		023282	教育とICT活用	1		3	2	2･集1 2	神谷政和 内木晃	30名（目安）	1	中高一種免必修	2022年度以降入学者対象科目 1/4期科目 「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可 2021年度入学者のカリキュラム適用の編入生で、教免取得のために履修が必要な場合は教職・司書・学芸員教育センターに申し出る。
	1410	DP0		023235	生徒・進路指導	2		2	2 1･集1 1	2	神谷政和 梅藤仁志 山田知子	教室の席数による	1		
	1410	DP0		023274	生徒指導	2		2	1		神谷政和	教室の席数による	1	栄一種免必修	

教職課程科目（2019年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	1410	DP0		023236	教育相談Ⅰ	2		2	2	1 1 2 集1 =星が丘 1	神谷政和 江坂栄子 小池理穂 小池理穂 濱島秀樹	教室の席数による	1	中高一種免必修 栄一種免必修	
	2410	DP0		023248	教育相談Ⅱ		2	3･4		1	山本圭子	教室の席数による	1	中高一種免選択 栄一種免選択	
	2410	DP0		023238	教育実習指導	2		3		2 1 1 1 2 集1 =星が丘	織部秀明 澤田喜之 鈴木章夫 内木晃 梅藤仁志 山田知子	教室の席数による	1	中高一種免必修	「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可
	3410	DP0		023222	教育実習Ⅰ		4	4	1		神谷政和	教室の席数による	1	中一種免必修 高一種免選択必修	別途申込みにより2024年度教育実習履修願登録をし、「教育実習指導」の単位を修得した者のみ履修可 履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要
	3410	DP0		023226	教育実習Ⅱ		2	4	1		澤田喜之	教室の席数による	1	高一種免選択必修	
	3410	DP0		023275	教育実習（栄養教諭）	2		4	1		澤田喜之 林紫	教室の席数による	1	栄一種免必修	別途申込みにより2024年度教育実習履修願登録をした者のみ履修可 履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要
	3410	DP0		023265	教職実践演習（中・高）	2		4		1	神谷政和 小川裕之 織部秀明 澤田喜之 鈴木章夫 内木晃 梅藤仁志 武藤洋子 山田知子	教室の席数による	1	中高一種免必修	オムニバス科目 「教育実習Ⅰ」または「教育実習Ⅱ」を履修中もしくは単位修得済みで、教職履修カルテを提出し、教員との面談を行った学生のみ履修可
	3410	DP0		023276	教職実践演習（栄養教諭）	2		4		1	織部秀明 林紫	教室の席数による	1	栄一種免必修	オムニバス科目 「教育実習（栄養教諭）」を履修中または単位修得済みで、教職履修カルテを提出し、教員との面談を行った学生のみ履修可
教科及び教科の指導法に関する科目	1410	DP0		023239	国語科教育法Ⅰ		2	2		1 2	梅藤仁志 佐々木亜紀子	教室の席数による	1	中高一種免(国語)必修	「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可
	2410	DP0		023240	国語科教育法Ⅱ		2	3	2		梅藤仁志	教室の席数による	1	中一種免(国語)必修 高一種免(国語)選択	
	2410	DP0		023241	国語科教育法Ⅲ		2	3		1 1	梅藤仁志 小池秀男	教室の席数による	1	中高一種免(国語)必修	
	2410	DP0		023260	国語科教育法Ⅳ		2	3		2	小池秀男	教室の席数による	1	中一種免(国語)必修 高一種免(国語)選択	

教職課程科目（2019年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	1410	DP0		023283	数学科教育法Ⅰ		2	2				教室の席数による	1	2024年度以降入学者に適用 中高一種免(数学)必修	
	2410	DP0		023284	数学科教育法Ⅱ		2	2				教室の席数による	1	2024年度以降入学者に適用 中一種免(数学)必修 高一種免(数学)選択	
	2410	DP0		023285	数学科教育法Ⅲ		2	3				教室の席数による	1	2024年度以降入学者に適用 中一種免(数学)必修 高一種免(数学)選択	
	2410	DP0		023286	数学科教育法Ⅳ		2	3				教室の席数による	1	2024年度以降入学者に適用 中高一種免(数学)必修	「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可
	1410	DP0		023261	保健体育科教育法Ⅰ		2	2	2		鈴木一成	教室の席数による	1	中高一種免(保健体育)必修	
	2410	DP0		023262	保健体育科教育法Ⅱ		2	2		2	高嶋香苗	教室の席数による	1	中一種免(保健体育)必修 高一種免(保健体育)選択	
	2410	DP0		023263	保健体育科教育法Ⅲ		2	3	2		高嶋香苗	教室の席数による	1	中一種免(保健体育)必修 高一種免(保健体育)選択	
	2410	DP0		023264	保健体育科教育法Ⅳ		2	3		2	鈴木一成	教室の席数による	1	中高一種免(保健体育)必修	
	1410	DP0		023250	情報科教育法Ⅰ		2	3	1		吉田　聡	教室の席数による	1	高一種免(情報)必修	「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可 「情報科教育法Ⅱ」は「情報科教育法Ⅰ」を履修していることが望ましい
	2410	DP0		023251	情報科教育法Ⅱ		2	3		1	吉田　聡	教室の席数による	1	高一種免(情報)必修	
	1410	DP0		023242	英語科教育法Ⅰ		2	2	2		織部秀明	教室の席数による	1	中高一種免(英語)必修	
	2410	DP0		023249	英語科教育法Ⅱ		2	2		2	神谷政和	教室の席数による	1	中一種免(英語)必修 高一種免(英語)選択	「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可
	2410	DP0		023243	英語科教育法Ⅲ		2	3	2		神谷政和	教室の席数による	1	中一種免(英語)必修 高一種免(英語)選択	
	2412	DP0		023244	英語科教育法Ⅳ		2	3		2	織部秀明	教室の席数による	1	中高一種免(英語)必修	
大学が独自に設定する科目	2410	DP0		023277	教職インターンシップⅠ		4	2-4	2 1 1 2 1		澤田喜之 市来ちさ 小川裕之 梅藤仁志 山田知子	教室の席数による	1	中高一種免選択	成績は「合」「否」により評価
	3410	DP0		023278	教職インターンシップⅡ		4	3·4	1 1 1		澤田喜之 梅藤仁志 山田知子	教室の席数による	1		「教職インターンシップⅠ」の単位修得者のみ履修可 成績は「合」「否」により評価
	2410	DP0		023281	情報モラル教育		2	2·3	1		神田久恵	教室の席数による	1		
	1410	DP0		023120	道徳指導法		2	1		2 2 2	鈴木章夫 柴田八重子 山田真紀	教室の席数による	1	高一種免選択	高一種免のみ「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる

教職課程科目（2019年度以降入学者対象）

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
介護等体験	2410	DP0		023266	介護等体験		0	3	1		梅藤仁志	教室の席数による	1	中一種免必修	中一種免取得希望者で別途申込みにより2024年度介護等体験履修願登録をした者のみ履修可 履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要 成績は「合」「否」により評価
教職教養	3410	DP0		023269	教職教養Ⅰ		2	3	1		梅藤仁志 小川裕之 織部秀明 神谷政和 澤田喜之 鈴木章夫 勢力麻未 内木　晃 武藤洋子 山田知子	教室の席数による	3		「教職入門」「教育原理」「教育制度」「道徳指導法」「特別活動指導法」のうち、3科目の単位を修得または履修中の学生のみ履修可 オムニバス科目 成績は「合」「否」により評価 中学・高等学校教員採用試験受験者対象科目（詳細は教職課程便覧等で確認すること）
	3410	DP0		023270	教職教養Ⅱ		2	3		1	梅藤仁志 小川裕之 織部秀明 神谷政和 澤田喜之 鈴木章夫 勢力麻未 内木　晃 武藤洋子 山田知子	教室の席数による	3		
	2410	DP0		023271	教職プレパレーション	1		4	集1		鈴木章夫 小川裕之 織部秀明 神谷政和 澤田喜之 内木　晃 梅藤仁志 馬場ひとみ 樋口貴子 堀　英太郎 武藤洋子 山田知子	教室の席数による	1		別途申込みにより教育実習実施が認められた者のみ履修可 履修を認められた者の履修登録は教務事務室が行うので各自で登録は不要 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」または「教育実習（栄養教諭）」と同時に履修すること オムニバス科目 1／4期科目 成績は「合」「否」により評価

●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、2024年度入学者は「スポーツと文化」以外の科目を、2023年度以前入学者はすべての科目を卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 理学療法学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 臨床検査学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。

8 学芸員課程科目

学芸員資格取得のための科目

学芸員の資格は、博物館法並びに同法施行規則によって、学士の学位を有するとともに所定の科目および単位を修得した者に授与される。

学芸員資格取得・学芸員課程科目履修のためには、「司書・学芸員課程便覧 資格取得の手引き」も参照の上、ガイダンス資料を必ず確認する。

（学則第39条）

博物館法施行規則 第１条の科目	単位	本学で開設している授業科目および単位数	
		必修科目	単位
博物館概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2
博物館実習	3	博物館実習	3
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2

計19単位

履修上の注意

1. 学芸員課程科目を履修する場合、履修開始年度には学芸員課程の登録を行う。課程登録方法等、履修に関する情報はCampusSquareに掲載される学芸員課程ガイダンス資料を確認する。なお、課程未登録者の履修登録は認めない。
2. 学芸員資格の取得を取りやめる場合は、科目履修登録手続きとは別に、教職・司書・学芸員教育センター（長久手キャンパス）または教学事務室（星が丘キャンパス）に申し出て、学芸員課程登録の取り下げを行う。
3. 連絡事項等については、CampusSquareおよび長久手・星が丘各キャンパスの学芸員課程掲示板で確認する。
4. 科目により履修条件があるため、カリキュラム表の備考欄を確認する。
5. 「博物館資料論」は、定員があることに留意する。学芸員資格の取得を目指す者で、追加登録でも抽選にはずれた場合は、直ちに教務事務室・教学事務室に申し出る。なお、２年次までに履修しておくべき学芸員課程科目のすべてを履修（「失格」の場合は履修不可）または同時履修していない者は、「博物館資料論」の履修を認めない。
6. 「博物館実習」を履修するには、３年次の11～12月頃に行われる「博物館実習ガイダンス」に必ず出席する。ガイダンスに無断で欠席した者は、「博物館実習」の履修を認めない。
7. 「博物館実習」は、原則として「博物館資料論」と同一担当者で、同一曜日・時限の講義を履修する。また、やむを得ない理由で変更を希望する者は、担当教員と教務事務室・教学事務室に申し出る。なお、３年次までに履修しておくべき学芸員課程科目のすべてを履修（「失格」の場合は履修不可）していない者は、「博物館実習」の履修を認めない。
8. 「博物館実習」は、大学での講義、実習（前期）に加えて、各博物館での実習、見学や研修（通年）を実施するため、別途、実習費を徴収する。「博物館実習」を履修登録後に、学芸員資格の取得を取りやめる場合は、ただちに学芸員課程登録の取り下げを行う。登録の取り下げを行わない場合、博物館実習費が徴収されるため注意する。詳細は、「博物館実習ガイダンス」において説明する。
9. 学芸員課程科目は、長久手・星が丘の両キャンパスにおいて開講されているが、原則として所属するキャンパスにて履修する。
10. 大学院生については、履修について別途説明があるため、履修予定の年度開始前に教務事務室・教学事務室に申し出る。
11. 学芸員課程科目以外の科目との時間割重複により履修できない科目が生じた場合でも、学芸員課程科目の時間割変更は行わない。履修計画について疑問がある場合は、教職・司書・学芸員教育センターに相談する。

学芸員資格を取得するにあたり、以下のことに注力する。

① 学士の学位を有することが必要であるため、履修登録時は自身の卒業要件を必ず確認する。
② ４年次の「博物館実習」では、土曜日に年６回程度、県内の美術館や博物館の施設見学や展覧会を鑑賞する。また、夏季休暇中に各博物館に依頼した館務実習や、海外・県外研修を実施するため、いずれか１つに必ず参加する。
③ 学芸員としての資質を培うため、所定の科目以外に、専門とすべき科目をつとめて履修しておく。

学芸員課程科目

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備　考
	1420	DP0		025120	博物館概論	2	1	3		日比野光敏		1	全科目必修	
	2420	DP0		025121	博物館経営論	2	1		3	日比野光敏		1		「博物館概論」の単位を修得した学生のみ履修可
	3420	DP0		025122	博物館資料論	2	3		4 3	日比野光敏 土山公仁	各20（抽選）	1		２年次までに履修しておくべき学芸員課程科目すべてを履修した、あるいは履修中の学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	3420	DP0		025123	博物館実習	3	4	4 3		日比野光敏 土山公仁		1		通年科目 「博物館資料論」と同一担当者で同一曜日・時限の講義を履修する ３年次までに履修しておくべき学芸員課程科目すべてを履修した、あるいは履修中の学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	1420	DP0		025070	生涯学習概論	2	3	2	1	杉本正博	各100（抽選）	1		
	2420	DP0		025124	博物館資料保存論	2	3	1	1	岩月真由子 田中青樹		1		「博物館経営論」の単位を修得または同時履修の学生のみ履修可
	2420	DP0		025125	博物館展示論	2	2	2		松村淳子		1		「博物館概論」の単位を修得または同時履修の学生のみ履修可
	2420	DP0		025126	博物館情報・メディア論	2	2	2		井上喜久男		1		「博物館概論」の単位を修得または同時履修の学生のみ履修可
	2420	DP0		025127	博物館教育論	2	2		2	松村淳子		1		「博物館概論」の単位を修得した学生のみ履修可

●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 理学療法学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 臨床検査学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 救急救命学専攻は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●健康医療科学部 健康栄養学科は、卒業に必要な単位数に算入しない。
●食健康科学部 健康栄養学科は、卒業に必要な単位数に算入しない。

9 司書課程科目

司書資格取得のための科目

司書の資格は、図書館法並びに同法施行規則によって、学士の学位を有するとともに所定の科目および単位を修得した者に授与される。

司書資格取得・司書課程科目履修のためには、「司書・学芸員課程便覧 資格取得の手引き」も参照の上、ガイダンス資料を必ず確認する。

全学部（2022年度以前入学の人間情報学部以外）対象

科目区分	図書館法施行規則第１条の科目	本学で開設している授業科目及び単位数			備考
		科目名	必修単位	選択単位	
甲群全科目必修	生涯学習概論	生涯学習概論 ［注１］	2		学部により履修可能な科目が異なるため注意する
	図書館概論	図書館概論	2		
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2		
	図書館情報技術論	図書館情報技術論 ［注２］	2		
		情報処理論 ［注３］	2		
	図書館サービス概論	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	情報サービス概論	2		
	児童サービス論	児童サービス論	2		
	情報サービス演習	情報サービス演習Ⅰ ［注２］	2		
		情報サービス演習Ⅱ ［注２］	2		
		情報検索演習 ［注３］	2		
		オープンデータ活用基礎 ［注３］	2		
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	情報資源組織論 ［注２］	2		
		メタデータ ［注３］	2		
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	2		
		情報資源組織演習Ⅱ	2		
乙群二科目選択必修	図書・図書館史	図書・図書館史		2	
	図書館実習	図書館実習		2	
	図書館サービス特論	図書館サービス特論		2	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論		2	
	図書館基礎特論	開講せず			
	図書館施設論	開講せず			
	図書館総合演習	開講せず			

［注１］ 学芸員課程科目　［注２］司書課程科目　［注３］ 人間情報学部専門教育科目（人間情報学部以外の学生は履修不可）

履修上の注意

2022年度以前入学の人間情報学部の学生で司書資格取得を希望する者は、学部専門教育科目の履修上の注意およびカリキュラム表を確認する。

全学部共通

1．修得した単位は、卒業に必要な単位に算入されない（「生涯学習概論」および人間情報学部専門教育科目を除く）。
2．司書課程科目を履修する場合、全単位修得まで毎年度必ずCampusSquareに掲載される司書課程履修者ガイダンス資料を確認する。

3．履修開始年度時には、司書課程の登録を行う。登録方法の詳細は司書課程履修者ガイダンス資料を確認する。なお、課程未登録者の履修登録は認めない。
また、司書資格の取得を取りやめる場合は、科目履修登録手続きとは別に、教職・司書・学芸員教育センター（長久手キャンパス）または教学事務室（星が丘キャンパス）に申し出て、司書課程登録の取り下げを行う。登録の取り下げを行わない場合、オンライン検索実習費が徴収されるため注意する。
4．効果的な演習科目運営のために、別途オンライン検索実習費を徴収する。詳細は、司書課程履修者ガイダンス資料を確認する。
5．連絡事項等については、CampusSquareおよび長久手・星が丘各キャンパスの司書課程掲示板で確認する。
6．学部により履修条件や履修可能な科目が異なるため、カリキュラム表の備考欄を確認する。
7．「図書館実習」（３・４年生対象）の履修を希望する学生は、「図書館実習履修前ガイダンス」に必ず出席する（履修登録期間中の登録不可、ガイダンスでの指示に従う）。なお、希望者が定員を超過する場合は選抜を行う。「図書館実習」を履修登録した学生からは、後日実習費を徴収する。
8．「生涯学習概論」と「図書館概論」は、長久手・星が丘の両キャンパスにおいて開講されているが、原則として所属キャンパスにて履修する。なお、「生涯学習概論」の時間割は『時間割表』の「全学共通履修科目（司書）」には掲載されていないため、「全学共通履修科目（学芸員）」の欄を確認する。
9．２年生以上の在学生で新規に履修を希望する者および大学院生については、履修について別途説明があるため、履修予定の年度開始前に教務事務室・教学事務室に申し出る。
10．司書課程科目以外の科目との時間割重複により履修できない科目が生じた場合でも、司書課程科目の時間割変更は行わない。履修計画について質問等がある場合は、教職・司書・学芸員教育センターに相談する。

人間情報学部（2023年度以降入学者）

「情報処理論」「オープンデータ活用基礎」「情報検索演習」「メタデータ」は専門教育科目に算入される。

なお、上記４科目の時間割は『時間割表』の「全学共通履修科目（司書）」には掲載されていないため、「人間情報学部 人間情報学科」の欄を確認する。

司書課程科目
［全学部（2022年度以前入学の人間情報学部以外）対象］

集…集中授業

科目群	科目番号	科目	必修単位	選択単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数	取得要件	備考
甲群	025070	生涯学習概論	2		3·4	2	1	杉本正博	各100（抽選）	1	全科目必修（学部により履修可能な科目が異なるため、右の備考欄を確認する）	学芸員課程科目 時間割表の学芸員課程科目のページを見て履修登録する。
	026015	図書館概論	2		1	1		廣田慈子		1		
	026018	図書館制度・経営論	2		2·3	集1		豊田高広		1		
	026019	図書館情報技術論	2		2·3		集1	伊藤真理		1		人間情報学部以外対象 人間情報学部の学生は、「情報処理論」を履修する。
	211021	情報処理論	2		1		1 1 1 1	佐藤朝美 浦尾彰 加藤央昌 佐藤好幸	教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部対象 時間割表の人間情報学部専門教育科目のページを見て履修登録する。 人間情報学部以外の学生は、「図書館情報技術論」を履修する。
	026016	図書館サービス概論	2		1		1	廣田慈子		1		
	026020	情報サービス概論	2		2	1		廣田慈子		1		「図書館概論」を履修した学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	026021	児童サービス論	2		2·3		1	中西由香里		1		
	026029	情報サービス演習Ⅰ	2		2	1	1	廣田慈子	教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部以外対象 人間情報学部の学生は「情報検索演習」を履修する。 「情報サービス概論」を履修した学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	026030	情報サービス演習Ⅱ	2		3	1	1	廣田慈子	教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部以外対象 人間情報学部の学生は「オープンデータ活用基礎」を履修する。 「情報サービス演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	211005	情報検索演習	2		1		1 2 1	池田光雪 神田久恵 中西由香里	各35 または 教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部対象 時間割表の人間情報学部専門教育科目のページを見て履修登録する。 人間情報学部以外の学生は「情報サービス演習Ⅰ」を履修する。
	215101	オープンデータ活用基礎	2		2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部対象 時間割表の人間情報学部専門教育科目のページを見て履修登録する。 人間情報学部以外の学生は「情報サービス演習Ⅱ」を履修する。
	026017	図書館情報資源概論	2		1		1	廣田慈子		1		
	026023	情報資源組織論	2		2	1		廣田慈子		1		人間情報学部以外対象 人間情報学部の学生は「メタデータ」を履修する。 「図書館概論」「図書館情報資源概論」を履修した学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	215210	メタデータ	2		2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1		人間情報学部対象 時間割表の人間情報学部専門教育科目のページを見て履修登録する。 人間情報学部以外の学生は「情報資源組織論」を履修する。
	026031	情報資源組織演習Ⅰ	2		2	集2		廣田慈子	教室の席数による（抽選）	1		「情報資源組織論」（人間情報学部の学生は「メタデータ」）を履修したあるいは履修中の学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	026032	情報資源組織演習Ⅱ	2		2		2	廣田慈子	教室の席数による（抽選）	1		「情報資源組織論」（人間情報学部の学生は「メタデータ」）を履修した学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
乙群	026025	図書・図書館史		2	3·4	集1		藤野寛之		1	二科目選択必修	
	026026	図書館実習		2	3·4	集1		廣田慈子	50（抽選）	15		「生涯学習概論」以外の甲群の全科目を履修したあるいは履修中の学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可） 履修希望者は図書館実習履修前ガイダンスに出席すること（履修登録期間中の登録不可）
	026027	図書館サービス特論		2	3·4		1	小曽川真貴	教室の席数による（抽選）	1		「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」（人間情報学部の学生は「情報検索演習」「オープンデータ活用基礎」）および「情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱ」を履修したあるいは履修中の学生のみ履修可（ただし「失格」の場合は履修不可）
	026028	図書館情報資源特論		2	3·4		1	間宮和人		1		

10 会計教育科目

簿記・会計は、ビジネスを語る上で欠かすことのできないコミュニケーション・ツールであり、その技能は業種・職種を問わずあらゆるビジネスシーンで必要とされている。このため、簿記・会計における基礎から応用までの知識と技術の取得を目指し、積極的な支援を行うことで、簿記検定試験（日本商工会議所主催）の合格をサポートしていく。

日商簿記検定の等級レベルに応じ、初級簿記（３級程度)、中級簿記（２級程度)、上級簿記（１級程度）の３講座が開講され、各自の実力にあわせて履修することができる。

履修者は、大学が指定する検定試験日の試験を、各級につき１回に限り無料で受験することができる。さらに、合格した際には、検定試験に先立って履修していた該当級の科目の成績評価が「B」「C」「F」であった場合は、「A」の成績評価にランクアップされる（ただし、**再履修者は対象外**)。なお、学部・大学院の最終年次の学生については、簿記検定試験の合格発表が卒業・修了直前になる場合、成績のランクアップは行わない。

１．履修上の注意

○科目により履修条件があるので、**カリキュラム表の「備考」欄を確認する。**

○「初級簿記」は前後期とも両キャンパスで開講されるので、所属するキャンパスにて履修する。ただし、長久手キャンパスでのみ後期に開講される２月検定を目標とする「初級簿記」（３．履修スケジュール③）については、所属するキャンパスに関わらず長久手キャンパスで開講される授業を履修する。また、「中級簿記」「上級簿記」「初級簿記演習」「中級簿記演習」は、星が丘キャンパスでのみ開講されるので、所属するキャンパスに関わらず星が丘キャンパスで開講される授業を履修する。

○両キャンパスをまたがって、連続する時間帯の科目を履修することはできない（例：長久手キャンパスで4限目を履修している場合、星が丘キャンパスで５・６限に開講される科目を履修することはできない)。

２．再受験者への支援

日商簿記検定試験３級もしくは２級の再チャレンジを目指す学生のために、通常科目とは別に演習科目（「初級簿記演習」「中級簿記演習A」「中級簿記演習B」）を設け、検定試験合格に向けてのさらなる支援を行う。これらの科目の履修者に対しても、受験料の免除と成績評価のランクアップを同様に行う。**（各ガイダンスに必ず出席する。）**

3．履修スケジュール

各級とも、目標とする検定試験に向けた履修スケジュールを組み、効率的かつ集中的な授業を展開している。今年度開講科目のスケジュールについては、以下のとおり。

					2024年									2025年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
簿記試験日 ［6月・9月：団体試験　11月・2月：統一試験］							2級 3級			2級 3級		1級			2級 3級	
Ⅰ	①	初級簿記（3級程度） 6月検定目標	（基礎総合）	4単位	（通常変則授業）											
	②	初級簿記（3級程度） 2月検定目標	（基礎総合）	4単位								（通常変則授業）				
	③	初級簿記（3級程度） 2月検定目標	（基礎総合）	4単位							（通常授業）					
	④	中級簿記（2級程度） 9月検定目標	A（商業簿記）	4単位	（通常変則授業）											
			B（工業簿記）	4単位			（通常変則授業）									
			C（実践）	4単位			（通常変則＋集中授業）									
	⑤	中級簿記（2級程度） 2月検定目標	A（商業簿記）	4単位							（通常変則授業）					
			B（工業簿記）	4単位								（通常変則授業）				
			C（実践）	4単位								（通常変則＋集中授業）				
	⑥	上級簿記（1級程度） 11月検定目標	A（商業簿記・会計学①）	4単位		（通常授業）										
			B（商業簿記・会計学②）	4単位			（集中授業）									
			C（工業簿記・原価計算①）	4単位			（集中授業）									
			D（工業簿記・原価計算②）	4単位		（通常授業）										
			E（実践）	4単位							（通常変則授業）					

●「①・②・③初級簿記（３級程度）」

「初級簿記」は1科目のみの開設であり、学生は当該科目を履修し、直後に行われる検定試験（①は6月、②・③は２月）をそれぞれ受験する。

●「④・⑤中級簿記（2級程度）」

「中級簿記」は④のA～Cもしくは⑤のA～Cの３科目セットとして扱う。④のセットを履修した学生は９月に行われる検定試験を受験し、⑤のセットを履修した学生は2月に行われる検定試験を受験する。

前期に履修した「中級簿記A」「中級簿記B」「中級簿記C」の成績評価が「F」だった学生が、後期の「中級簿記A」「中級簿記B」「中級簿記C」を再履修中に９月の検定試験に合格した場合、前期に履修した科目の成績評価を「A」にランクアップし、後期に履修中の科目の登録は取り消される。

●「⑥上級簿記（１級程度）」

「上級簿記」はA～Eの５科目セットとして扱い、4月から11月にかけて開講される。学生は、前期通常授業のAおよびDから履修を開始し、前期集中授業のBおよびCを経て、後期変則授業のEで履修を完了することとし、11月に行われる検定試験を受験する。

					2024年									2025年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
簿記試験日							2級 3級			2級 3級		1級			2級 3級	
Ⅱ	⑦	初級簿記演習　9月検定試験目標		2単位					→ （集中授業）							
Ⅱ	⑧	中級簿記演習 6月・2月検定目標	A（商業簿記）	2単位	→ （通常変則授業）								→ （通常変則授業）			
Ⅱ	⑧	中級簿記演習 6月・2月検定目標	B（工業簿記）	2単位	→ （通常変則授業）								→ （通常変則授業）			

●「⑦初級簿記演習」

「初級簿記演習」は「初級簿記」の単位認定試験を受験済み（失格・欠席を除く）で、簿記検定試験の再受験を希望する学生が履修できる。履修した学生は直後に行われる９月の検定試験を受験する。

●「⑧中級簿記演習」

「中級簿記演習」はA・Bの２科目セットとして扱い、前後期開講される。「中級簿記A」または「中級簿記B」の単位を修得済みで、簿記検定試験の再受験を希望する学生が履修できる。履修した学生は６月・２月に行われる検定試験を受験する。

■目標とする検定試験（大学が受験料を負担する試験）

	履修科目	受験級	目標の検定試験
Ⅰ	①初級簿記（３級程度）	３級	2024年６月（団体試験）
Ⅰ	②初級簿記（３級程度）	３級	2025年２月（統一試験）
Ⅰ	③初級簿記（３級程度）	３級	2025年２月（統一試験）
Ⅰ	④中級簿記（２級程度）Ａ・Ｂいずれかの履修者	２級	2024年９月（団体試験）
Ⅰ	⑤中級簿記（２級程度）Ａ・Ｂいずれかの履修者	２級	2025年２月（統一試験）
Ⅰ	⑥上級簿記（１級程度）Ａ～Ｄいずれかの履修者	１級	2024年11月（統一試験）
Ⅱ	⑦初級簿記演習	３級	2024年９月（団体試験）
Ⅱ	⑧中級簿記演習Ａ・Ｂいずれかの履修者	２級	2024年６月（団体試験）または2025年２月（統一試験）

＜備考＞

・大学が受験料を負担するのは、Ⅰ、Ⅱそれぞれにつき、各級ごとに大学が指定した上記検定試験（２級については、初めて「中級簿記Ｃ」を履修した時の目標とする検定試験）の受験１回限りとする。その際、大学窓口を通して受験申し込みを行うことが条件である。成績評価のランクアップは、この場合に限り対象とする。

・目標とする検定試験に受験することを前提とするため、受験の延期は認めない。

・なお、目標とする６月、９月、２月の検定試験は本学で実施する予定である。

・個人申し込みおよびネット試験はランクアップの対象としない。

※　ランクアップ・受験料負担の詳細については、会計教育部門ホームページ（https://www.aasa.ac.jp/institution/kaikei/）を確認する。

会計教育科目

集…集中授業

科目群	ナンバリング	DP番号	主要授業科目	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	履修者数	開講最少	備考	
資格取得支援	1430	DP0		113001	初級簿記（３級程度） ＊基礎総合	4	1	1	1	授業担当者：外部講師 ※1 コーディネーター：会計教育部門の運営委員	各120（抽選）	1		所属するキャンパスで受講する ２時限連続の授業を週２回の1/4期科目	
	1430								1			1		２時限連続の授業を週１回の1/2期科目	
	2430	DP0		113002	中級簿記（２級程度）A ＊商業簿記	4	1･2	1 =星が丘	1 =星が丘		教室の席数による（抽選）	1		日商簿記検定３級レベルの力を有する者を対象とする ２時限連続の授業を週２回の1/4期科目	中級簿記A～Cまで１セットとして履修することが望ましい。
	2430	DP0		113003	中級簿記（２級程度）B ＊工業簿記	4	1･2	1 =星が丘	1 =星が丘			1			
	2430	DP0		113004	中級簿記（２級程度）C ＊実践（試験直前対策）	4	1･2	集1 =星が丘	集1 =星が丘			1		中級簿記AまたはBの履修者を対象とする	
	3430	DP0		113005	上級簿記（１級程度）A ＊商業簿記・会計学①	4	1･2	1 =星が丘				1		日商簿記検定２級レベルの力を有する者を対象とする 上級簿記A・Dは２時限連続の授業を週２回の1/2期科目	上級簿記A～Eまで１セットとして履修することが望ましい。
	3430	DP0		113006	上級簿記（１級程度）B ＊商業簿記・会計学②	4	1･2	集1 =星が丘				1			
	3430	DP0		113007	上級簿記（１級程度）C ＊工業簿記・原価計算①	4	1･2	集1 =星が丘				1			
	3430	DP0		113008	上級簿記（１級程度）D ＊工業簿記・原価計算②	4	1･2	1 =星が丘				1			
	3430	DP0		113009	上級簿記（１級程度）E ＊実践（試験直前対策）	4	1･2		1 =星が丘			1		上級簿記A～Dの４科目の中から１科目以上を履修した学生を対象とする ２時限連続の授業を週２回の1/4期科目	
再受験支援	1430	DP0		113010	初級簿記演習	2	1･2	集1 =星が丘				1		初級簿記の単位を修得または単位認定試験を受験した学生（失格・欠席を除く）で、簿記検定試験の再受験を希望する学生のみ履修可	・履修希望者は、後日掲示の指示に従って説明会に参加し、別途申込をする。 ・履修を認められた者の履修登録は教学事務室が行うので各自で登録は不要。原則、取消不可。
	2430	DP0		113011	中級簿記演習A ＊商業簿記	2	1･2	1 =星が丘	1 =星が丘			1		中級簿記AまたはBの単位を修得した学生で、簿記検定試験の再受験を希望する学生のみ履修可 ２時限連続の1/4期科目	・前期開講履修希望者は通常の履修登録の方法で履修登録する。 ・後期開講履修希望者は、後日掲示の指示に従って説明会に参加し、別途申込をする。 ・履修を認められた者の履修登録は教学事務室が行うので各自で登録は不要。原則、取消不可。 ・中級簿記演習A・Bを１セットとして履修することが望ましい。
	2430	DP0		113012	中級簿記演習B ＊工業簿記	2	1･2	1 =星が丘	1 =星が丘			1			

※1 名古屋大原学園

●健康医療科学部 言語聴覚学専攻は、卒業に必要な単位に算入しない。
●健康医療科学部 視覚科学専攻は、卒業に必要な単位に算入しない。
●健康医療科学部 理学療法学専攻は、卒業に必要な単位に算入しない。
●健康医療科学部 臨床検査学専攻は、卒業に必要な単位に算入しない。
●健康医療科学部 救急救命学専攻は、卒業に必要な単位に算入しない。

Ⅸ 開放科目・単位互換科目

AICHI SHUKUTOKU UNIVERSITY

1 他学部・他学科開放科目

他学部・他学科開放科目とは、所属学部・学科（専攻）以外の専門教育科目で、受講することができる科目のことであり、学部・学科（専攻）の枠を超えて、多様な学修意欲に応える制度である。他学部・他学科開放科目として修得した単位は、一定の範囲で卒業に必要な単位（学部認定科目）に算入する（大学学則第32条）。

履修上の注意

○ 『時間割表』で開講年組の欄に指定があり、通常の履修登録の方法では、エラーとなり登録できない場合は、教務事務室・教学事務室にて別途申し出の上、登録手続きを行う。なお、この方法で登録した場合は、各自で取り消しできないので、やむを得ず取り消しを希望する場合は、教務事務室・教学事務室に申し出る。

○ 受講希望者が多い場合は、開設している学科・専攻の学生の履修を優先する。履修を希望しても認められないことがあるため、履修登録の結果は各自必ずCampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で確認する。

○ 追加登録は１次登録の結果、空席がある科目に限り登録を認める。空席状況はCampusSquareのリンク「履修登録の注意事項」で発表する。

○ 他学部・他学科開放科目の概要は、CampusSquareの「シラバス」より参照する。

○ 異なるキャンパスの科目を履修する際は、キャンパス間の移動に要する時間を考慮する。

他学部・他学科開放科目の中には、所属学部・学科（専攻）の読替科目も一部含まれている。その科目の単位を履修した場合は、所属学部・学科（専攻）の専門科目の中の単位に算入する。詳細は所属学部のカリキュラム表で確認する。

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
国文学科	033002	古典基礎	2	1	1	1	外山敦子	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	033004	漢文基礎	2	1		2	住谷孝之	定員あり	10	
	032986	漢字文化	2	1	2		住谷孝之	定員あり	10	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	031181	古典文法基礎	2	1	1	1	内藤英子	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	032994	くずし字読解Ⅰa	2	1	2 2		松波伸浩 篠田将樹	定員あり	5	2017年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「国文学」対象科目 総合英語学科の学生は履修不可
	032995	くずし字読解Ⅰb	2	1		2 2	松波伸浩 篠田将樹	定員あり	5	2017年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	032993	評論読解基礎	2	1	2	2	松波伸浩 篠田将樹	定員あり	5	
	030981	国文学と情報技術	2	1		2	松原久子	定員あり	5	履修希望者多数の場合は、教室定員により抽選を行う場合がある。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	031182	作品講読（古典文学)a	2	2	2		内藤英子	定員あり	10	創作表現専攻との合併授業。詳細は「履修登録の注意事項」を参照すること。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	031183	作品講読（古典文学)b	2	2		2	内藤英子	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	031184	作品講読（近・現代文学)a	2	2	1		市川遥	定員あり	10	
	031185	作品講読（近・現代文学)b	2	2		1	市川遥	定員あり	10	
	030391	国文学概論a	2	2	2		久保朝孝	定員あり	10	
	030392	国文学概論b	2	2		2	久保朝孝	定員あり	10	
	030021	国文学史（1)a	2	3	2 1		篠田将樹 深谷大	定員あり	10	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科３年生は、教育学科用のコマを履修する。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030022	国文学史（1)b	2	3		2	篠田将樹	定員あり	10	創作表現専攻との合併授業。詳細は「履修登録の注意事項」を参照すること。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030031	国文学史（2)a	2	2	1	1	小倉斉	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030032	国文学史（2)b	2	2	1	1	橋本あゆみ	定員あり	10	
	030501	国語概説（音声言語及び文章表現を含む)a	2	1	2 1		増井典夫 吉田健二	定員あり	10	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科１年生は吉田先生のコマを履修する。
	030502	国語概説（音声言語及び文章表現を含む)b	2	1		2 1	増井典夫 吉田健二	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030131	文章表現a	2	3	4 1		佐々木亜紀子 安田正典	定員あり	10	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科３年生は安田先生の指定されたコマを履修する。
	030132	文章表現b	2	3		4 1	佐々木亜紀子 安田正典	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
国文学科	030281	国文学講義（1）上代a	2	2	2		中野謙一	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030282	国文学講義（1）上代b	2	2		2	中野謙一	定員あり	10	
	030291	国文学講義（2）中古a	2	2	2		外山敦子	定員あり	10	
	030292	国文学講義（2）中古b	2	2		2	外山敦子	定員あり	10	
	030301	国文学講義（3）中世a	2	1	2		塩山貴奈	定員あり	10	
	030302	国文学講義（3）中世b	2	1		2	塩山貴奈	定員あり	10	
	030311	国文学講義（4）近世a	2	2	2		松波伸浩	定員あり	10	
	030312	国文学講義（4）近世b	2	2		2	松波伸浩	定員あり	10	
	030323	国文学講義（5）近代Ⅰa	2	1	2		吉田竜也	定員あり	10	
	030324	国文学講義（5）近代Ⅰb	2	1		2	吉田竜也	定員あり	10	
	030982	国文学講義（6）近代Ⅱa	2	1	2		竹内瑞穂	定員あり	10	
	030983	国文学講義（6）近代Ⅱb	2	1		2	竹内瑞穂	定員あり	10	
	030984	国文学講義（7）現代a	2	2	2		橋本あゆみ	定員あり	10	
	030985	国文学講義（7）現代b	2	2		2	橋本あゆみ	定員あり	10	
	030951	国語学講義a	2	2	1	1	吉田健二	定員あり	10	
	030952	国語学講義b	2	2	1	1	増井典夫	定員あり	10	
	030721	中国文学講義a	2	2	2 1		住谷孝之 河井昭乃	定員あり	10	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科２年生は河井先生のコマを履修する。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030722	中国文学講義b	2	2		2 1	住谷孝之 河井昭乃	定員あり	10	
	030986	国文学特殊講義　日本漢文学a	2	3	1		中野謙一	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030987	国文学特殊講義　日本漢文学b	2	3		1	中野謙一	定員あり	10	
	031151	国文学特殊講義　和歌文学a	2	2	1		日比野浩信	定員あり	10	
	031152	国文学特殊講義　和歌文学b	2	2		1	日比野浩信	定員あり	10	
	030931	国文学特殊講義　王朝物語a	2	3	1		勝亦志織	定員あり	10	
	030932	国文学特殊講義　王朝物語b	2	3		1	勝亦志織	定員あり	10	
	033005	国文学特殊講義　源氏物語a	2	3	1		亀田夕佳	定員あり	10	
	033006	国文学特殊講義　源氏物語b	2	3		1	亀田夕佳	定員あり	10	
	030481	国文学特殊講義　仏教文学a	2	3	1		箕浦尚美	定員あり	10	
	030482	国文学特殊講義　仏教文学b	2	3		1	箕浦尚美	定員あり	10	
	032996	国文学特殊講義　俳文学a	2	3	1		寺島徹	定員あり	10	
	032997	国文学特殊講義　俳文学b	2	3		1	寺島徹	定員あり	10	
	030941	国文学特殊講義　近代詩a	2	3	1		渡邉章夫	定員あり	10	
	030942	国文学特殊講義　近代詩b	2	3		1	渡邉章夫	定員あり	10	
	033011	国文学特殊講義　現代小説a	2	4	1		水川敬章	定員あり	10	
	033012	国文学特殊講義　現代小説b	2	4		1	水川敬章	定員あり	10	
	031171	国文学特殊講義　現代短歌a	2	4	1		加藤孝男	定員あり	10	創作表現専攻との合併授業。詳細は「履修登録の注意事項」を参照すること。 副専攻プログラム「国文学」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
国文学科	031172	国文学特殊講義　現代短歌b	2	4		1	加藤孝男	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	033013	国文学特殊講義　日本芸能史a	2	3	1		深谷大	定員あり	10	
	033014	国文学特殊講義　日本芸能史b	2	3		1	深谷大	定員あり	10	
	032987	国文学特殊講義　文献学a	2	3	1		日比野浩信	定員あり	10	
	032988	国文学特殊講義　文献学b	2	3		1	日比野浩信	定員あり	10	
	033009	国文学特殊講義　批評理論	2	2	1	1	竹内瑞穂	定員あり	10	「国文学特殊講義　批評理論a」と「国文学特殊講義　批評理論b」のどちらか一方でも単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	033015	国文学特殊講義　文学と映像表現a	2	3	1		小倉斉	定員あり	10	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	033016	国文学特殊講義　文学と映像表現b	2	3		1	小倉斉	定員あり	10	
	030970	国語学特殊講義　言語学a	2	2	1		森本俊之	定員あり	10	
	030980	国語学特殊講義　言語学b	2	2		1	森本俊之	定員あり	10	
	033017	国語学特殊講義 ことばの認知科学a	2	3	1		森本俊之	定員あり	10	
	033018	国語学特殊講義 ことばの認知科学b	2	3		1	森本俊之	定員あり	10	
	032989	くずし字読解Ⅱa	2	2	1		深谷大	定員あり	5	2017年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	032990	くずし字読解Ⅱb	2	2		1	深谷大	定員あり	5	
	030711	書道（書写を中心とする）a	2	3	2 1		小坂克子 高桑康	定員あり	5	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科３年生は高桑先生のコマを履修する。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030712	書道（書写を中心とする）b	2	3		2 1	小坂克子 高桑康	定員あり	5	
	030988	キャリアプランニング －国文学科での学びと社会で生きること－	1	3	1		吉田竜也	定員あり	1	成績は「合」「否」により評価 1/4期科目 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030989	実践国語教育演習Aa	2	2	1		武藤洋子	定員あり	5	副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030991	実践国語教育演習Ab	2	2		1	武藤洋子	定員あり	5	
	030992	実践国語教育演習Ba	2	3	1		武藤洋子	定員あり	5	
	030993	実践国語教育演習Bb	2	3		1	武藤洋子	定員あり	5	
	030994	実践国語表現a	2	3	1		安田正典	定員あり	5	
	030995	実践国語表現b	2	3		1	安田正典	定員あり	5	
	030996	実践国語文法	2	2	1		武藤洋子	定員あり	5	
	030997	実践古文読解	2	4		1	武藤洋子	定員あり	5	
	030998	実践漢文読解	2	4	1		武藤洋子	定員あり	5	
	030999	実践現代文読解	2	3		1	武藤洋子	定員あり	5	

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
国文学科	030741	国文学演習Ⅰ（1）上代a	2	3	1		中　野　謙　一	定員あり	1	事前に決定されている科目を履修する。 副専攻プログラム「国文学」対象科目
	030742	国文学演習Ⅰ（1）上代b	2	3		1	中　野　謙　一	定員あり	1	
	030751	国文学演習Ⅰ（2）中古a	2	3	1		外　山　敦　子	定員あり	1	
	030752	国文学演習Ⅰ（2）中古b	2	3		1	外　山　敦　子	定員あり	1	
	030761	国文学演習Ⅰ（3）中世a	2	3	1		塩　山　貴　奈	定員あり	1	
	030762	国文学演習Ⅰ（3）中世b	2	3		1	塩　山　貴　奈	定員あり	1	
	030771	国文学演習Ⅰ（4）近世a	2	3	1		早　川　由　美	定員あり	1	
	030772	国文学演習Ⅰ（4）近世b	2	3		1	早　川　由　美	定員あり	1	
	030781	国文学演習Ⅰ（5）近・現代Ⅰa	2	3	1		吉　田　竜　也	定員あり	1	
	030782	国文学演習Ⅰ（5）近・現代Ⅰb	2	3		1	吉　田　竜　也	定員あり	1	
	031041	国文学演習Ⅰ（6）近・現代Ⅱa	2	3	1		竹　内　瑞　穂	定員あり	1	
	031042	国文学演習Ⅰ（6）近・現代Ⅱb	2	3		1	竹　内　瑞　穂	定員あり	1	
	031201	国文学演習Ⅰ（7）近・現代Ⅲa	2	3	1		橋　本　あ　ゆ　み	定員あり	1	
	031202	国文学演習Ⅰ（7）近・現代Ⅲb	2	3		1	橋　本　あ　ゆ　み	定員あり	1	
	030801	国語学演習Ⅰ（1)a	2	3	1		増　井　典　夫	定員あり	1	
	030802	国語学演習Ⅰ（1)b	2	3		1	増　井　典　夫	定員あり	1	
	030101	国語学演習Ⅰ（2)a	2	3	1		吉　田　健　二	定員あり	1	
	030102	国語学演習Ⅰ（2)b	2	3		1	吉　田　健　二	定員あり	1	
	030821	中国文学演習Ⅰa	2	3	1		中　塚　　亮	定員あり	1	
	030822	中国文学演習Ⅰb	2	3		1	中　塚　　亮	定員あり	1	

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126101	Elementary English 1	2	1	2 3 1 1 1 1 2 1		DYCUS David C. WRINGER Paul DONAHUE Ray T. BAILEY Mark HARRIS Richard S. MARSHALL Michael JUNEJA Indu LEAF David H.	各10	1	2018年度以降入学者のみ履修可。 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126102	Elementary English 2	2	1	2 2 1 1		JUNEJA Indu CHEW Hui Yan MOLOTSI Prisca PRIMEAU Robert	各20	1	
	126103	Elementary English 3	2	1	4 2 3 1 2 1		RICART Michael CHEW Hui Yan PRIMEAU Robert MARSHALL Michael LEAF David H. DYCUS David C.	各10	1	2018年度以降入学者で、文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「英語・英文学」履修許可者のみ履修可。 文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科１年生は、教育学科用のコマを履修する。
	126104	Elementary English 4	2	1	2 1 2 1 1		RICART Michael MARSHALL Michael WRINGER Paul JUNEJA Indu PRIMEAU Robert	各20	1	
	126105	Elementary English 5	2	1	1 2 2 1		WRINGER Paul EDMUNDS Robert D. JUNEJA Indu CHEW Hui Yan	各20	1	英文学科の「Critical Reading」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。
	126106	Elementary English 6	2	1	1 1 6 2 2		EDMUNDS Robert D. PRIMEAU Robert MOLOTSI Prisca NOTESTINE Russell RICART Michael	各10	1	英文学科の「Critical Writing」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。
	126107	Intermediate English 1	2	1		1 1 1 1 2	RICART Michael MOLOTSI Prisca BALLESTEROS Marie D. PRIMEAU Robert WRINGER Paul	各20	1	2018年度以降入学者のみ履修可。 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。
	126108	Intermediate English 2	2	1		2 5 1 2 2	WRINGER Paul HARRIS Richard S. MARSHALL Michael BAILEY Mark SU Jia A.	各10	1	

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126109	Intermediate English 3	2	1		5 1 2 1 1 2	RICART Michael BALLESTEROS Marie D. MARSHALL Michael JUNEJA Indu WRINGER Paul PRIMEAU Robert	各10	1	2018年度以降入学者で、文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「英語・英文学」履修許可者のみ履修可。
	126110	Intermediate English 4	2	1		2 1 2 1	RICART Michael MARSHALL Michael JUNEJA Indu LEAF David H.	各20	1	
	126111	Intermediate English 5	2	1		3 1 2 6	DYCUS David C. WRINGER Paul JUNEJA Indu BALLESTEROS Marie D.	各10	1	2018年度以降入学者のみ履修可。 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。
	126112	Intermediate English 6	2	1		5 2 2 3	MOLOTSI Prisca EDMUNDS Robert D. LEAF David H. PRIMEAU Robert	各10	1	2018年度以降入学者のみ履修可。 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126113	Advanced English 1	2	2	1 4 1		WRINGER Paul EDMUNDS Robert D. PRIMEAU Robert	各20	1	
	126114	Advanced English 2	2	2	3 3		HARRIS Richard S. BAILEY Mark	各20	1	
	126115	Advanced English 3	2	2	1 5		LEAF David H. BALLESTEROS Marie D.	各20	1	英文学科の「JPN Culture & Society」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。
	126116	Advanced English 4	2	2	2 4		PUDWILL Larry A. HARRIS Richard S.	各20	1	総合英語学科の「Proficient English 4・5・6」あるいは英文学科の科目群British Cultureの全科目の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「USA Culture & Society Ⅰ（Lecture）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある。 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126117	Advanced English 5	2	2	6		DYCUS David C.	各20	1	総合英語学科の「Advanced English 4」あるいは英文学科の「USA Culture & Society Ⅰ（Lecture）」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「USA Culture & Society Ⅱ（Theme-based）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126118	Advanced English 6	2	2	2 3 1 6		MARSHALL Michael WILLIAMS Allen D. JUNEJA Indu PHILLIPS Tim	各10	1	総合英語学科の「Advanced English 4」あるいは英文学科の「USA Culture & Society Ⅰ(Lecture)」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「USA Culture & Society Ⅲ(Project-based)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126119	Proficient English 1	2	2		2 3 1	PUDWILL Larry A. HARRIS Richard S. JUNEJA Indu	各20	1	総合英語学科の「Advanced English 4・5・6」あるいは英文学科の科目群American Cultureの全科目の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Global Issues Ⅰ(Lecture)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126120	Proficient English 2	2	2		2 2 1 1	WRINGER Paul PRIMEAU Robert EDMUNDS Robert D. JUNEJA Indu	各20	1	総合英語学科の「Proficient English 1」あるいは英文学科の「Global Issues Ⅰ（Lecture)」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「Global Issues Ⅱ(Case study)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある
	126121	Proficient English 3	2	2		2 1 1 2 3 2 1	DONAHUE Ray T. LEAF David H. MOLOTSI Prisca NOTESTINE Russell EDMUNDS Robert D. BAILEY Mark SU Jia A.	各10	1	総合英語学科の「Proficient English 1」あるいは英文学科の「Global Issues Ⅰ（Lecture)」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「Global Issues Ⅲ(Interactive communication)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126122	Proficient English 4	2	2		6	CHEW Hui Yan	各20	1	総合英語学科の「Elementary English 1」あるいは英文学科の「English Collaboration Ⅰ (Integrated skills)」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「UK Culture & Society Ⅰ (Lecture)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126123	Proficient English 5	2	2		6	DYCUS David C.	各20	1	総合英語学科の「Proficient English 4」あるいは英文学科の「UK Culture & Society Ⅰ (Lecture)」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「UK Culture & Society Ⅱ (Theme-based)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126124	Proficient English 6	2	2		1 1 3 1 6	MARSHALL Michael JUNEJA Indu WILLIAMS Allen D. SU Jia A. PHILLIPS Tim	各10	1	総合英語学科の「Proficient English 4」あるいは英文学科の「UK Culture & Society Ⅰ (Lecture)」を同時履修または修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「UK Culture & Society Ⅲ (Project-based)」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126125	English Pronunciation Practice Ⅰ	2	1	2		丹　羽　都　美	各20	1	総合英語学科の「Basic English Grammar」および「Fundamentals of English Grammar」の単位を修得している場合のみ履修可。あるいは英文学科の「English Grammar Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「英語音声学Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126126	English Pronunciation Practice Ⅱ	2	1		1	丹　羽　都　美	20	1	総合英語学科の「Basic English Grammar」および「Fundamentals of English Grammar」の単位を修得している場合のみ履修可。あるいは英文学科の「English Grammar Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「英語音声学Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126127	Basic English Grammar	2	1	1 1 1		佐々木智美 太　田　晶　子 田　中　智　之	各40（抽選）	1	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科の１年生は、教育学科用のコマを履修する。 英文学科の「English Grammar Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126128	Fundamentals of English Grammar	2	1		1 1 1	佐々木智美 太　田　晶　子 田　中　智　之	各40（抽選）	1	文学部教員免許状取得プログラムに登録した教育学科の１年生は、教育学科用のコマを履修する。 英文学科の「English Grammar Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126129	Introduction to English Studies : Language	1	1		2	若　山　真　幸	各20	1	英文学科の「英語学概論A」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126130	Practicum in English Linguistics Ⅰ	2	2	1 2 3		若　山　真　幸 二　村　慎　一 樗　木　勇　作	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Language」あるいは英文学科の「英語学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126131	Practicum in English Linguistics Ⅱ	2	2		1 1 1 2	若　山　真　幸 二　村　慎　一 丹　羽　都　美 樗　木　勇　作	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Language」あるいは英文学科の「英語学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126132	Practicum in English Linguistics Ⅲ	2	2		1 2 1	若　山　真　幸 二　村　慎　一 樗　木　勇　作	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Language」あるいは英文学科の「英語学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅲ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126133	Corpus Linguistics	2	2	1		藤　原　康　弘	30（抽選）	5	総合英語学科あるいは英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」のいずれかの単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Corpus Linguistics」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126134	Sociolinguistics	2	2		1	DONAHUE Ray T.	20	10	総合英語学科あるいは英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」のいずれかの単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Sociolinguistics」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126137	Storytelling and Retelling Ⅰ	2	2	2 2 2		太　田　直　子 黒　澤　純　子 山　田　幸　代	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Reading & Interpretation Ⅰ」あるいは「翻訳基礎Ⅰ（小説）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126138	Storytelling and Retelling Ⅱ	2	2	2 2 2		平 林 美 都 子 小　沢　　茂 山 田 久 美 子	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Reading & Interpretation Ⅱ」あるいは「翻訳基礎Ⅱ（詩・演劇）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126139	Storytelling and Retelling Ⅲ	2	2		2 1	太　田　直　子 山　田　幸　代	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Reading & Interpretation Ⅲ」あるいは「翻訳応用Ⅰ（小説）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126140	Storytelling and Retelling Ⅳ	2	2		1 2 1	小沢茂 山田久美子 平林美都子	各20	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Reading & Interpretation Ⅳ」あるいは「翻訳応用Ⅱ（詩・演劇）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126142	Tell your Story ! Ⅱ	2	2		1	EDMUNDS Robert D.	20	5	副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目 副専攻プログラム「英語・英文学」履修者のみ履修可
	126143	Famous Stories for Use	2	2	1 1	1 1 1	佐々木裕美 山田幸代 小沢茂	各20	10	英文学科の「クラシック英語圏文学」の単位を修得済み学生は履修不可
	126146	Research Writing Ⅰ	2	4	1 1		WILLIAMS Allen D. BILODEAU Isabelle	各10（抽選）	5	英文学科の「Research Writing Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可
	126147	Research Writing Ⅱ	2	4		1 2	WILLIAMS Allen D. BILODEAU Isabelle	各10（抽選）	5	英文学科の「Research Writing Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可
	126201	Introduction to English Studies : Literature	1	1		2	太田直子	各20	1	英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126202	英語文化の歴史Ⅰ	2	2	1 1 1		小沢茂 太田直子 佐々木裕美	各40	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「文学史Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126203	英語文化の歴史Ⅱ	2	2		1 1	小沢茂 太田直子	各40	1	総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「文学史Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126204	Film Studies Ⅰ	2	1	1		玉崎紫	20	5	英文学科の「映画研究Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可
	126205	Film Studies Ⅱ	2	1		1	玉崎紫	20	5	英文学科の「映画研究Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126206	Film Studies Ⅲ（イギリス文化探訪）	2	2	2	2	WILLIAMS Allen D.	各20	1	2018年度以降入学者のみ履修可。総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126207	Film Studies Ⅳ（アメリカ文化探訪）	2	2	1	1	今　井　加　寿	各20	1	2018年度以降入学者のみ履修可。総合英語学科の「Introduction to English Studies : Literature」あるいは英文学科の「英米文学概論A」の単位を修得している場合のみ履修可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126208	English Media	2	2	2		若　山　真　幸	教室の席数による（抽選）	10	総合英語学科あるいは英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」のいずれかの単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Media English」の単位を修得済み学生は履修不可
	126209	Culturomics	2	2		1	若　山　真　幸	20	10	
	126210	Language & Culture	2	2	1		DONAHUE Ray T.	20	10	総合英語学科あるいは英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」のいずれかの単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Language & Culture」の単位を修得済み学生は履修不可
	126211	History of English	2	2	1	1	田　中　智　之	各20	10	
	126212	Topics in International Culture and Society 1	2	2	2 2		清水ベアトリックス 中　川　亜　紀　子	各20	5	
	126213	Topics in International Culture and Society 2	2	2		2 2	清水ベアトリックス 中　川　亜　紀　子	各20	5	
	126214	Topics in International Culture and Society 3	2	2	1	1	NOTESTINE Russell	各20	5	
	126216	Topics in Japanese Culture and Society	2	3	1 1	1	三　島　恵　理　子 篶　田　将　樹 佐　々　木　智　美	各20	5	国文学科の学生は履修不可
	126217	欧米思想	2	1		1	竹　村　朋　子	20（抽選）	10	2018年度以降入学者のみ履修可。

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
総合英語学科	126307	長期海外セミナー１（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5	英文学科の「長期海外セミナー1~8（前期）（後期）」の単位を修得済み学生は履修不可 【履修条件】 長期海外セミナーの履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・長久手キャンパス所属学生は、「IELTS Preparation Ⅰ」「IELTS Preparation Ⅱ」「TOEFL Preparation Ⅰ」「TOEFL Preparation Ⅱ」「TOEFL Preparation Ⅲ」「TOEFL Preparation Ⅳ」のいずれかの単位を修得済あるいは履修中である。 ・長久手キャンパス所属学生は、「Critical Reading」あるいは「Elementary English 5」、および「Critical Writing」あるいは「Elementary English 6」の単位を修得済あるいは履修中である。 ・星が丘キャンパス所属学生は、「ECS1（インタラクション①）」「ECS2（インタラクション②）」「ECS3（ウェブ・イングリッシュ①）←2015年度以前入学者のみ対象」「ECS4（ウェブ・イングリッシュ②）←2015年度以前入学者のみ対象」の単位を修得済あるいは履修中である。 ・GPA2.3以上。 ・要求されるTOEIC IPテストのスコアは、行き先大学によって異なるので、別途掲示などを参照する。 【修得した単位の扱い】 長期海外セミナーの単位を修得した学生は、対応する右の科目の単位を未修得の場合、単位を満たしたこととみなす。つまり、対応科目を再度履修することはできない。 また、未修得の対応科目に該当する長期海外セミナーのみに単位が与えられる。つまり、既修得の対応科目に該当する長期海外セミナーの単位は与えられない。	「Storytelling and Retelling Ⅰ」（科目番号126137）または「Reading & Interpretation Ⅰ」（科目番号122237）または「翻訳基礎Ⅰ（小説）」（科目番号122230）
	126308	長期海外セミナー２（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Storytelling and Retelling Ⅱ」（科目番号126138）または「Reading & Interpretation Ⅱ」（科目番号122238）または「翻訳基礎Ⅱ（詩・演劇）」（科目番号122231）
	126309	長期海外セミナー３（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		〈2018年度以降入学者〉「Advanced English 2」（科目番号126114） 〈2014年度～2017年度入学者〉「Communication Strategy Ⅱ（Academic English）」（科目番号122228）
	126310	長期海外セミナー４（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		〈2018年度入学者〉「Sociolinguistics」（科目番号126134）または「Sociolinguistics」（科目番号122128） 〈2019年度以降入学者〉「Language & Culture」（科目番号126210）
	126311	長期海外セミナー５（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「専門演習Ⅰ」（科目番号126301）または「専門演習Ⅰ」（科目番号122073）
	126312	長期海外セミナー６（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Business Communication Ⅲ（Project-based）」（科目番号126413）またはBusiness English Ⅲ（Socializing and Business Current Affairs）（科目番号122224）
	126313	長期海外セミナー７（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Business Communication Ⅰ（General Discussion）」（科目番号126411）または「Business English Ⅰ（Basic Business Communication）」（科目番号122222）
	126314	長期海外セミナー８（前期）	2	2-4	集1		樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Business Communication Ⅱ（Theme-based）」（科目番号126412）または「Business English Ⅱ（Negotiation Strategies）」（科目番号122223）

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
総合英語学科	126315	長期海外セミナー１（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5	英文学科の「長期海外セミナー1~8（前期）（後期）」の単位を修得済み学生は履修不可 【履修条件】 長期海外セミナーの履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・長久手キャンパス所属学生は、「IELTS Preparation Ⅰ」「IELTS Preparation Ⅱ」「TOEFL Preparation Ⅰ」「TOEFL Preparation Ⅱ」「TOEFL Preparation Ⅲ」「TOEFL Preparation Ⅳ」のいずれかの単位を修得済あるいは履修中である。 ・長久手キャンパス所属学生は、「Critical Reading」あるいは「Elementary English 5」、および「Critical Writing」あるいは「Elementary English 6」の単位を修得済あるいは履修中である。 ・星が丘キャンパス所属学生は、「ECS1（インタラクション①）」「ECS2（インタラクション②）」「ECS3（ウェブ・イングリッシュ①）←2015年度以前入学者のみ対象」「ECS4（ウェブ・イングリッシュ②）←2015年度以前入学者のみ対象」の単位を修得済あるいは履修中である。 ・GPA2.3以上。 ・要求されるTOEIC IPテストのスコアは、行き先大学によって異なるので、別途掲示などを参照する。 【修得した単位の扱い】 長期海外セミナーの単位を修得した学生は、対応する右の科目の単位を未修得の場合、単位を満たしたこととみなす。つまり、対応科目を再度履修することはできない。 また、未修得の対応科目に該当する長期海外セミナーのみに単位が与えられる。つまり、既修得の対応科目に該当する長期海外セミナーの単位は与えられない。	「Proficient English 1」（科目番号126119）または「Global Issues Ⅰ（Lecture）」（科目番号122219）
	126316	長期海外セミナー２（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Proficient English 2」（科目番号126120）または「Global Issues Ⅱ（Case study）」（科目番号122220）
	126317	長期海外セミナー３（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Proficient English 3」（科目番号126121）または「Global Issues Ⅲ（Interactive communication）」（科目番号122221）
	126318	長期海外セミナー４（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Intermediate English 3」（科目番号126109）
	126319	長期海外セミナー５（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Intermediate English 4」（科目番号126110）
	126320	長期海外セミナー６（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「専門演習Ⅱ」（科目番号126302）または「専門演習Ⅱ」（科目番号122074）
	126321	長期海外セミナー７（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Storytelling and Retelling Ⅲ」（科目番号126139）または「Reading & Interpretation Ⅲ」（科目番号122239）または「翻訳応用Ⅰ（小説）」（科目番号122232）
	126322	長期海外セミナー８（後期）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作 佐　々　木　智　美		5		「Storytelling and Retelling Ⅳ」（科目番号126140）または「Reading & Interpretation Ⅳ」（科目番号122240）または「翻訳応用Ⅱ（詩・演劇）」（科目番号122233）
	126401	TOEIC Training Ⅰ	2	3	1 1		藤　本　恭　子 太　田　晶　子	各20（抽選）	5	受入人数は若干名	
	126402	TOEIC Training Ⅱ	2	3		1 1	藤　本　恭　子 太　田　晶　子	各20（抽選）	5		

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126403	IELTS Preparation Ⅰ	2	1	1		三島恵理子	20（抽選）	5	英文学科の「TOEFL Preparation Ⅲ（Reading & Writing）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126404	IELTS Preparation Ⅱ	2	1		1	三島恵理子	20（抽選）	5	英文学科の「TOEFL Preparation Ⅳ（Listening & Speaking）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126405	TOEFL Preparation Ⅰ	2	1	1		三島恵理子	30（抽選）	10	英文学科の「TOEFL Preparation Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126406	TOEFL Preparation Ⅱ	2	1		1	三島恵理子	20	10	英文学科の「TOEFL Preparation Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126407	Simultaneous Interpretation Ⅰ	2	2	1		藤本恭子	25（抽選）	5	英文学科の「Simultaneous Interpretation Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126408	Simultaneous Interpretation Ⅱ	2	2		1	藤本恭子	25（抽選）	5	英文学科の「Simultaneous Interpretation Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名
	126411	Business Communication Ⅰ（General Discussion）	2	3	3 1 1 1		BALLESTEROS Marie D. WRINGER Paul LEAF David H. MOLOTSI Prisca	各20	1	総合英語学科の「Proficient English 1,2,3」あるいは英文学科のカリキュラム科目群Global Issuesの全科目の単位を修得している場合のみ可 英文学科の「Business English Ⅰ（Basic Business Communication）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126412	Business Communication Ⅱ（Theme-based）	2	3	1 4 1		CHEW Hui Yan SU Jia A. DONAHUE Ray T.	各20	1	総合英語学科の「Intermediate English 5」あるいは英文学科の「Business English Ⅰ（Basic Business Communication）」を同時履修あるいは修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「Business English Ⅱ（Negotiation Strategies）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
総合英語学科	126413	Business Communication Ⅲ（Project-based）	2	3	6		CHEW Hui Yan	各20	1	総合英語学科の「Intermediate English 5」あるいは英文学科の「Business English Ⅰ（Basic Business Communication）」を同時履修あるいは修得済みの場合のみ履修可 英文学科の「Business English Ⅲ（Socializing and Business Current Affairs）」の単位を修得済み学生は履修不可 受入人数は若干名 習熟度によっては履修が認められない場合がある
	126417	Introduction to Hospitality Business	2	2		1	嘉　悦　祐　子	20（抽選）	5	
	126418	ホスピタリティ英語Ⅰ	2	3	1		嘉　悦　祐　子	20	5	
	126419	ホスピタリティ英語Ⅱ	2	3		1	MOLOTSI Prisca	20	5	
	126420	海外セミナー（Cabin Crew Course）	2	1-4		集1	樗　木　勇　作		5	英文学科の「海外セミナー（Cabin Crew Course）」の単位を修得済み学生は履修不可 【履修条件】 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し手続きを行う（各自での履修登録は不要）。
	126421	Language Acquisition	2	2	1	1	三島恵理子 佐々木智美	各30（抽選）	5	総合英語学科あるいは英文学科の「Practicum in English Linguistics Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」のいずれかの単位を修得している場合のみ履修可 英文学科の「Language Acquisition」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「英語・英文学」対象科目
	126422	日英対照言語学	2	2		1	内　田　脩　平	20	10	
	126433	子ども概論Ⅰ	2	1	1	1	本山ひふみ	各20	10	福祉貢献学部の学生は履修不可
	126434	子ども概論Ⅱ	2	1	1	1	本山ひふみ	各20	10	
	126424	子ども英語Ⅰ	2	1	1		三島恵理子	20	5	英文学科の「小学校英語実践」の単位を修得済み学生は履修不可
	126426	小学校英語教育実践演習Ⅱ	2	1	1		樗　木　勇　作	20	5	英文学科の「英語教育フィールド演習」の単位を修得済み学生は履修不可
	126428	子ども英語Ⅱ	2	2		1	三島恵理子	20	5	
	126430	教員採用試験対策講座Ⅰ	2	3		1	江　坂　栄　子	20	10	教員免許状取得（教科は問わず）を希望する学生のみ履修可 英文学科の「教員採用試験対策講座」の単位を修得済み学生は履修不可
	126431	教員採用試験対策講座Ⅱ	2	4	1		江　坂　栄　子	20	10	教員免許状取得（教科は問わず）を希望する学生のみ履修可 英文学科の「英語教材研究Ⅱ（総合）」の単位を修得済み学生は履修不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
教育学科	124003	教育原理	2	1	2		佐　藤　実　芳	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目 副専攻プログラム「教育」履修者のみ履修可
	124004	教育心理学	2	1		2	野　井　未　加	定員あり	1	
	124005	特別支援教育論	2	1	2		吉　田　伸　一	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目
	124032	初等国語	2	1	2		中　嶋　真　弓	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124033	初等社会	2	2	1		平　子　晶　規	定員あり	1	
	124034	初等算数	2	1	2		星　野　将　直	定員あり	1	
	124035	初等理科	2	1		1	佐　藤　成　哉	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生は佐藤先生のコマを履修する。
	124036	初等生活	2	1	1		加　藤　　智	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124037	初等音楽	2	2	2		白　石　朝　子	定員あり	1	
	124038	初等図画工作	2	1		1	山　本　和　久	定員あり	1	
	124039	初等家庭	2	2	1		加　藤　厚　子	定員あり	1	
	124040	初等体育	2	1		3	松　田　秀　子	定員あり	1	
	124111	児童英語	2	1		2	松　井　千　代	定員あり	1	2019年度以降入学者対象科目 留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124099	児童英語	2	1				定員あり	1	廃止 2018年度以前入学者対象科目 留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目 副専攻プログラム「教育」履修者のみ履修可
	124042	教職入門	2	1	2		山　本　和　久	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目 副専攻プログラム「教育」履修者のみ履修可
	124043	発達心理学	2	2	1		野　井　未　加	定員あり	1	
	124044	教育制度	2	1		2	佐　藤　実　芳	定員あり	1	
	124045	教育課程	2	1		2	小　川　裕　之	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124046	国語科教育法Ⅰ	2	1		2	中　嶋　真　弓	定員あり	1	
	124048	社会科教育法Ⅰ	2	2		2	平　子　晶　規	定員あり	1	
	124050	算数科教育法Ⅰ	2	1		2	星　野　将　直	定員あり	1	
	124052	理科教育法Ⅰ	2	2	1		佐　藤　成　哉	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。 文学部教員免許状取得プログラムまたは副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生は佐藤先生のコマを履修する。

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
教育学科	124054	生活科教育法Ⅰ	2	1		2	加　藤　　智	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124056	音楽科教育法Ⅰ	2	2		3	白　石　朝　子	定員あり	1	
	124058	図画工作科教育法Ⅰ	2	2		3	山　本　和　久	定員あり	1	
	124060	家庭科教育法Ⅰ	2	2		2	加　藤　厚　子	定員あり	1	
	124062	体育科教育法Ⅰ	2	2	3		松　田　秀　子	定員あり	1	
	124112	児童英語教育法Ⅰ	2	2	2		松　井　千　代	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 2019年度以降入学者対象科目 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124100	児童英語教育法Ⅰ	2	2				定員あり	1	廃止 2018年度以前入学者対象科目
	124101	児童英語教育法Ⅱ	2	2				定員あり	1	
	124064	道徳指導法	2	2		2	中　嶋　真　弓	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124065	特別活動指導法	2	2	2		太 田 敬 一 郎	定員あり	1	
	124109	総合的な学習の時間の指導法	1	1		2	加　藤　　智	定員あり	1	2019年度以降入学者対象科目 1/4期科目 留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124066	教育方法	2	2		2	星　野　将　直	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124067	生徒・進路指導	2	2		2	太 田 敬 一 郎	定員あり	1	
	124068	教育相談	2	2	2		今　本　利　一	定員あり	1	
	124110	特別支援と児童理解	1	1		2	吉　田　伸　一 野　井　未　加 猶　原　秀　明	定員あり	1	2019年度以降入学者対象科目 1/4期科目 オムニバス科目 留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124114	教育とICT活用	1	3		4	星　野　将　直	定員あり	1	2022年度以降入学者対象科目 1/4期科目 留学生は履修不可。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生のみ履修可。
	124069	カウンセリング	2	3	1		野　井　未　加	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目 副専攻プログラム「教育」履修者のみ履修可
	124008	介護実践演習	1	3	1		吉　田　伸　一	定員あり	1	
	124070	教育実習（小）	5	3	1		加　藤　　智	定員あり	1	留学生は履修不可。 副専攻プログラム「教育」対象科目。 文学部教員免許状取得プログラム または副専攻プログラム「教育」履修許可者のうち小学校教員免許状の取得を目指す学生で、履修条件を満たした場合のみ履修可。

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
教育学科	124071	教職実践演習（小）	2	4	1		猶原秀明 海老崎功 加藤智 白石朝子 中嶋真弓 野井未加 星野将直 松井千代 松田秀子 山本和久 吉田伸一 平子晶規	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目 副専攻プログラム「教育」履修者のみ履修可
	124073	児童保健	2	2	1		高橋昌久	定員あり	1	
	124075	障害者の心理・生理・病理	2	2	1		猶原秀明	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目
	124076	知的障害者の心理・生理・病理	2	3	1		猶原秀明	定員あり	1	
	124077	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	3	1		野井未加	定員あり	1	
	124078	病弱者の心理・生理・病理	2	3	1		松井通記	定員あり	1	
	124079	言語障害者の心理・生理・病理	2	3	1		板倉寿明	定員あり	1	
	124080	情緒障害者の心理・生理・病理	2	3	1		平野銘子	定員あり	1	
	124081	重複障害者の心理・生理・病理	2	3	1		濱田照男	定員あり	1	
	124082	軽度発達障害者の心理・生理・病理	2	3	1		二宮昭	定員あり	1	
	124084	視覚障害者の指導	1	2	2		棚橋義則	定員あり	1	1/4期科目 「聴覚障害者の指導」を同時に履修する
	124085	聴覚障害者の指導	1	2	2		濱田照男	定員あり	1	1/4期科目 「視覚障害者の指導」を同時に履修する
	124086	知的障害者の指導	2	2		1	猶原秀明	定員あり	1	
	124087	肢体不自由者の指導	2	2	1		猶原秀明	定員あり	1	
	124088	重複障害者の指導	2	2		1	吉田伸一	定員あり	1	
	124089	言語障害者・情緒障害者の指導	2	2		1	板倉寿明	定員あり	1	
	124090	発達障害者の指導	2	2		1	野井未加	定員あり	1	
	124091	知的障害者の教育課程及び指導法	2	3		1	猶原秀明	定員あり	1	
	124092	肢体不自由者の教育課程及び指導法	2	3		1	野井未加	定員あり	1	
	124093	病弱者の教育課程及び指導法	2	3		1	松井通記	定員あり	1	
	124094	言語障害者の教育課程及び指導法	2	3		1	板倉寿明	定員あり	1	
	124095	情緒障害者の教育課程及び指導法	2	3		1	平野銘子	定員あり	1	
	124096	重複障害者の教育課程及び指導法	2	3		1	濱田照男	定員あり	1	
	124097	軽度発達障害者の教育課程及び指導法	2	3		1	二宮昭	定員あり	1	
	124098	教育実習（特）	3	4	1		吉田伸一	定員あり	1	教育実習実施の条件を満たしていない場合は履修不可。 （愛知県立の特別支援学校での教育実習に関しては、希望者が多数の場合、本学教職課程委員会において各実習生の実習可否について審議する。）

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
教育学科	124028	教育文化史	2	3	1		渡 辺 か よ 子	定員あり	1	副専攻プログラム「教育」対象科目
	124029	比較教育論	2	2		1	渡 辺 か よ 子	定員あり	1	
	124030	生涯発達支援論	2	3	1		渡 辺 か よ 子	定員あり	1	
	124031	国際理解教育論	2	3		1	渡 辺 か よ 子	定員あり	1	
	124015	ポルトガル語Ⅰ	2	1		2	瀧 藤 千 恵 美	定員あり	10	
	124016	ポルトガル語Ⅱ	2	2	1		瀧 藤 千 恵 美	定員あり	10	
	124017	環境教育	2	3	1		加 藤 智	定員あり	10	副専攻プログラム「教育」対象科目
	124019	幼児教育論	2	2		1	佐 藤 実 芳	定員あり	10	
	124020	スポーツ指導法	2	2	1		松 田 秀 子	50（抽選）	10	
	124022	児童福祉論	2	3	1		柴 田 瞳	定員あり	10	副専攻プログラム「教育」対象科目
	124025	キャリア発達論	2	2		1	三 和 義 武	定員あり	10	
	124107	外国人児童生徒教育概論Ⅰ	2	3	1		松 井 千 代	定員あり	10	
	124108	外国人児童生徒教育概論Ⅱ	2	3		集1	松 井 千 代	定員あり	10	
	124115	学校教育と情報リテラシー	2	2	1		伊 藤 真 理	定員あり	5	2023年度以降入学者対象科目
	124116	学校経営と学校図書館	2	1		1	伊 藤 真 理	定員あり	1	
	124117	読書と豊かな人間性	2	1	1		伊 藤 真 理	定員あり	1	
	124118	学校図書館メディアの構成	2	2		1	伊 藤 真 理	定員あり	1	

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	212108	感性工学	2	1 2		1	國分三輝	定員あり	1	2023年度以降入学者の履修年次は１年生 2022年度以前入学者の履修年次は２年生 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目
	211021	情報処理論	2	1		1 1 1 1	佐藤朝美 浦尾彰 加藤央昌 佐藤好幸	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 ただし、副専攻プログラム「データサイエンス」履修者は佐藤朝美先生のコマは履修不可
	215202	IoT・ロボティクス	2	1		1	浦尾彰	定員あり	1	2023年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「感性工学」対象科目
	215100	データサイエンス入門	2	1	4 1		小山貴士 行松慎二	教室の席数による（抽選）	1	2020年度以降入学者対象科目 人間情報学部の「データサイエンスⅠ（心理基礎）」または「基礎心理学演習」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報（2020年度以降入学者）」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報（2020年度以降入学者）」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「感性工学」履修者は感性工学専攻の指定クラスのコマを履修する 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者はデータサイエンス専攻の指定クラスのコマを履修する
	215002	AI（人工知能）入門	2	1 2	1		牧勝弘	定員あり	1	2023年度以降入学者の履修年次は１年生 2022年度以前入学者の履修年次は２年生 人間情報学部の「人工知能」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	215112	代数学Ⅰ	2	1	2	1 2	長谷川貴之 日比孝之	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215113	代数学Ⅱ	2	1		1	日比孝之	50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可 「代数学Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可。

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215114	基礎解析学	2	1		1	満倉英一	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
					2	2	日比孝之			
	215115	応用解析学	2	1		1	日比孝之	50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可 「基礎解析学」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可。
	215124	データサイエンス基礎演習	2	1		1	佐藤好幸	30（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215103	数理科学入門Ⅰ（ベクトル・行列）	2	2	2		親松和浩	教室の席数による（抽選）	1	人間情報学部の「CGゲームAI数学入門」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	215104	数理科学入門Ⅱ（微分・積分）	2	2		2	親松和浩	教室の席数による（抽選）	1	人間情報学部の「数理科学入門」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	215117	幾何学Ⅰ	2	2	1	1	日比孝之	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215120	確率論	2	2	1		満倉英一	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
					2	2	長谷川貴之			
	215121	統計学	2	2		2	長谷川貴之	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可 「確率論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可。
	215123	情報数学Ⅰ	2	2	3	2	長谷川貴之	各50（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215126	AIプログラミング演習	2	2	1 1	1 1	浦尾　彰 加藤央昌 佐藤朝美	各30（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「感性工学」履修者は、「プログラミング演習２(Python)」を履修した学生のみ履修可。 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者は、「DSプログラミング演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。 ただし、いずれも「失格」の場合は不可
	215106	Practical English	2	1		1	PUDWILL Larry A.	教室の席数による（抽選）	5	2020年度以降入学者対象科目 人間情報学部の「Technical English for Information Services」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報(2020年度以降)」対象科目
	211014	デザイン概論	2	1		1	高原美和	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	215200	デザインと芸術の研究史	2	1	1		鈴木清重	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「感性工学」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」履修者のみ履修可
	215201	心理統計学	2	1	1	2	鈴木清重	各30（抽選）	10	副専攻プログラム「感性工学」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」履修者のみ履修可
	211005	情報検索演習	2	1		1 2 1	池田光雪 神田久恵 中西由香里	各35または教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	214006	コンピュータ計算入門	2	1	1 3		親松和浩 奥村文徳	教室の席数による（抽選）	5	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	211023	情報セキュリティ論	2	1	1		牧　勝弘	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	211022	ネットワーク論	2	1	2 1	1 2	三和義秀 小笠原多紀 神田久恵	各30（抽選）	1	全学共通履修科目の「ネットワークリテラシー」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	211026	プログラミング論	2	1	1 2 1		三和義秀 大嶽麻里子 神田久恵	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	211027	プログラミング演習 1（C）	2	1 2	1 1	1 1	三　和　義　秀 大　嶽　麻　里　子 神　田　久　恵	各30（抽選）	1	2023年度以降入学者の履修年次は 1 年生 2022年度以前入学者の履修年次は 2 年生 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「人間情報」履修者については、「プログラミング論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215004	プログラミング演習 2（Python）	2	1 2	1 1	1 1 2	加　藤　央　昌 大　嶽　麻　里　子 神　田　久　恵	各30（抽選）	5	2023年度以降入学者の履修年次は 1 年生 2022年度以前入学者の履修年次は 2 年生 人間情報学部の「プログラミング演習 4（Python）」からの科目名変更 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「人間情報」履修者については、「プログラミング論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	211029	プログラミング演習 3（Java）	2	1 2	2	1	三　和　義　秀 神　田　久　恵	各30（抽選）	1	2023年度以降入学者の履修年次は 1 年生 2022年度以前入学者の履修年次は 2 年生 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「人間情報」履修者については、「プログラミング論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215107	海外フィールドスタディ	2	2	集1		森　　博　子	40	20	人間情報学部の「海外フィールドスタディⅠ」または「海外フィールドスタディⅡ」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 成績は「合」「否」により評価
	211018	調査法演習	2	2	1 1	2	國　分　三　輝 鈴　木　清　重	各40または教室の席数による（抽選）	5	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215206	測定法演習	2	2	1	1	鈴　木　清　重	各20（抽選）	5	人間情報学部の「実験計測演習」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	215207	ユーザ評価演習	2	2	2	1	國　分　三　輝 鈴　木　清　重	各40または教室の席数による（抽選）	5	人間情報学部の「評価法演習」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	215208	データ解析演習	2	2	1	1	森　　博　子	各25（抽選）	5	人間情報学部の「データアナリティクス」または「データ解析演習（2021年度以前入学者対象科目）」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可 「コンピュータ計算入門」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	212202	マルチメディアデザイン論	2	2	1		國　分　三　輝	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	212201	ヒューマンインタフェース	2	2		1	國　分　三　輝	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目
	215203	ユニバーサルデザイン	2	2		1	森　　博　子	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「ユニバーサルデザイン論」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	214002	デザイン心理学	2	1 2		1	高　原　美　和	教室の席数による（抽選）	10	2023年度以降入学者の履修年次は２年生 2022年度以前入学者の履修年次は１年生 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	212106	色彩学	2	2	1		高　原　美　和	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目
	215204	VR制作演習	2	2		1	國　分　三　輝	30（抽選）	5	副専攻プログラム「感性工学」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」履修者のみ履修可
	215205	Webデザイン・プログラミング演習	2	2	1 1	1 1 1	佐　藤　朝　美 大　嶽　麻　里　子 吉　川　　遼	各30（抽選）	5	人間情報学部の「Web・アニメ制作演習」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	212210	CG制作演習Ⅰ	2	2	3	1 1	鈴木清重 吉川　遼	各35（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	212207	データベース論	2	2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	215101	オープンデータ活用基礎	2	2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
	212305	情報利用論	2	1 2		1	池田光雪	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者の履修年次のみ１年生
	211030	コンピュータネットワーク演習	2	2	1	2	神田久恵	各30（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 全学共通履修科目の「ネットワークリテラシー」を修得済みの学生または人間情報学部の「ネットワーク論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215210	メタデータ	2	2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215211	感性情報システム論	2	2		1	三和義秀	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「認知情報システム論」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目
	212208	システム設計・開発論	2	2	1		浦尾彰	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「感性工学」「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	212216	データベース設計演習	2	2	1	1	大嶽麻里子	各30（抽選）	5	副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報」履修者のみ履修可
	215102	IT人材入門	2	2	1		佐藤朝美 浦尾彰 三和義秀	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「SE入門」の単位を修得済みの学生は履修不可 オムニバス科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215212	子どもとAI	2	2		1	佐藤朝美	教室の席数による（抽選）	10	2020年度以降入学者対象科目 人間情報学部の「子どもシステム論」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「感性工学」「人間情報（2020年度以降）」対象科目
	215300	実験設計演習	2	1	1 1		牧勝弘 佐藤好幸	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215306	データ分析演習Ⅰ	2	1		1 3	牧勝弘 小山貴士	教室の席数による（抽選）	1	人間情報学部の「心理統計学」または「データサイエンスⅡ（心理実験設計）」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	215301	DSプログラミング演習Ⅰ	2	1	2 1	 1	瀬谷安弘 佐藤好幸 岸田拓也	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215302	DSプログラミング演習Ⅱ	2	1		1 1 1	瀬谷安弘 岸田拓也 佐藤好幸	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215304	生理・運動計測演習	2	1		1 1 1	瀬谷安弘 佐藤好幸 満倉英一	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可
	215307	データ分析演習Ⅱ	2	2	1 1 1		天野成昭 明石法子 小山貴士	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可 「データ分析演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215308	データ分析演習Ⅲ	2	2		1 2	天野成昭 明石法子	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可 「データ分析演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215309	データサイエンス演習Ⅰ	4	2	1		天野成昭 明石法子 小山貴士 岸田拓也 行松慎二	定員あり	1	人間情報学部の「心理実験演習Ⅰ」の単位を修得済みの学生は履修不可。 ２時限連続授業 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 「データ分析演習Ⅰ」または「データサイエンスⅡ（心理実験設計）」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215310	データサイエンス演習Ⅱ	4	2		1	天野成昭 明石法子 小山貴士 岸田拓也 行松慎二	定員あり	1	人間情報学部の「心理実験演習Ⅱ」の単位を修得済みの学生は履修不可 ２時限連続授業 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可 「データサイエンス演習Ⅰ」または「心理実験演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215311	データ活用演習Ⅰ	2	2	1 1 1		牧勝弘 岸田拓也 佐藤好幸	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可 「DSプログラミング演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215312	データ活用演習Ⅱ	2	2		1 2	牧勝弘 岸田拓也	定員あり	1	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」履修者のみ履修可 「DSプログラミング演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215303	認知科学	2	1		1	小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「認知心理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215016	知覚情報処理	2	1 ― 3		1	小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	2020年度以降入学者対象科目 2023年度以降入学者の履修年次は１年生 2022年度以前入学者の履修年次は３年生 人間情報学部の「知覚情報処理（214019）」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報（2020年度以降）」対象科目
	214017	心理学史	2	1 ― 2	1		小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	2023年度以降入学者の履修年次は１年生 2022年度以前入学者の履修年次は２年生 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	211011	実験心理学	2	1		1	小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	214004	心理学概論	2	1	1		小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	215127	サウンドデータ制作演習	2	2	集1	集1	大久保雅基	教室の席数による（抽選）	5	人間情報学部の「サウンド制作演習」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」履修者のみ履修可
	212119	音響学	2	2		1	牧　勝弘	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215316	視覚情報処理	2	2	1		瀬谷安弘	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「視覚心理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215317	脳・生体情報処理	2	2		1	小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「脳情報処理」または「神経生理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215318	スポーツ認知行動学	2	2		1	瀬谷安弘	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目
	211017	消費者行動論	2	2	1		関川　靖	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215315	マーケティング論	2	2	1		新井　亨	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「データサイエンス」対象科目
	215008	聴覚・言語心理学	2	2		1	天野成昭	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「聴覚心理学」または「言語心理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215313	生理・比較心理学	2	2	1		小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「比較心理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	215314	発達心理学	2	2	1		明石法子	教室の席数による（抽選）	10	人間情報学部の「こども心理学」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	214020	教育心理学	2	2 3		1	小山貴士	教室の席数による（抽選）	10	2023年度以降入学者の履修年次は2年生 2022年度以前入学者の履修年次は3年生 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目
	214022	社会心理学	2	2 3		1	瀬谷安弘	教室の席数による（抽選）	10	2023年度以降入学者の履修年次は2年生 2022年度以前入学者の履修年次は3年生 副専攻プログラム「データサイエンス」「人間情報」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	211003	人間情報入門	2	1	集1		森　博子 天野成昭 浦尾　彰 國分三輝 佐藤朝美 瀬谷安弘 高原美和 牧　勝弘	定員あり	1	2022年度以前入学者対象科目 留学生は履修不可 オムニバス科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	211031	基礎ゼミ	2	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		明石法子 天野成昭 池田光雪 浦尾　彰 親松和浩 國分三輝 佐藤朝美 瀬谷安弘 高原美和 牧　勝弘 満倉英一 三和義秀 森　博子	定員あり	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 成績は「合」「否」により評価
	211008	キャリアデザイン（人間情報）	2	3	集1		高原美和 沖山夏子 岸田拓也 満倉英一 三和義秀	定員あり	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 成績は「合」「否」により評価
	211016	コミュニケーション論	2	2		1	谷口紀仁	教室の席数による（抽選）	10	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	212302	情報コミュニケーション史	2	2		1	村主千賀	教室の席数による（抽選）	1	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	215005	学術情報メディア論	2	3		集1	菅野　育子	20（抽選）	1	2022年度以前入学者対象科目 人間情報学部の「学術情報メディア論２(学術雑誌)」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	211040	対人行動学演習	2	3	2	1	高原美和	各40（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	211002	情報関係法	2	3	集1		太田　信	教室の席数による（抽選）	1	留学生は履修不可 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	212221	フィジカルコンピューティング演習	2	3	1		國分三輝	25（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	214012	制御プログラミング演習	2	3	1	1	森　博子	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	212309	科学コミュニケーション論	2	3	集1		山科直子	教室の席数による（抽選）	10	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	212206	学習メディア論	2	3·4	1		浦尾　彰	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	212215	マルチメディアデザイン演習	2	2	1 1	1 1	石丸みどり 土屋花琳	教室の席数による（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	212218	モデリング・シミュレーション演習	2	3		2	親松和浩	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	214011	デジタルファブリケーション演習	2	3		1 3	高原美和 鈴木清重	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	212214	ロボット製作演習	2	3	1	1	森　博子	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	212211	CG制作演習Ⅱ	2	3	3	2	松島俊介	各20（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 「CG制作演習Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	212212	映像制作演習	2	3	2	2	鈴木清重	各38（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	212205	プロダクトデザイン論	2	3	2		岡田　心 奥山泰助 中村友紀	教室の席数による（抽選）	10	オムニバス科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	214023	児童サービス論	2	2		1	中西由香里	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	214024	情報サービス論Ⅱ	2	2	1		家禰淳一	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 「情報サービス論Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	212318	学術情報検索演習	2	2	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	214026	リソースアクセス管理論	2	2	1		伊藤真理	教室の席数による（抽選）	1	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	214027	リソースアクセス管理演習	2	2		1	服部繁彦	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 「リソースアクセス管理論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	214028	主題分析論	2	2	1		家禰淳一	教室の席数による（抽選）	1	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	214029	主題分析演習	2	2		1	服部繁彦	50 または 教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 「主題分析論」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	212323	デジタルアーカイブズ論	2	3	集1		菅野育子	教室の席数による（抽選）	10	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	212313	学術情報システム論	2	3	1		池田光雪	教室の席数による（抽選）	10	2022年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	215010	学習環境論	2	3·4		1	木幡智子	教室の席数による（抽選）	10	2022年度以前入学者対象科目 司書教諭科目または人間情報学部の「学校経営と学校図書館」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「人間情報」対象科目
	214031	音楽情報サービス入門	2	3		1	伊藤真理	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可
	215011	情報サービス論Ⅲ	2	3		1	中西由香里	教室の席数による（抽選）	10	2020～2022年度入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目（2020年度以降） 「情報サービス論Ⅰ」を履修した学生のみ履修可。ただし「失格」の場合は不可
	215012	読書とコミュニケーション	2	3	1		中西由香里	教室の席数による（抽選）	10	2020～2022年度入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目（2020年度以降）
	215013	学習支援論	2	3·4	集1		小林達也	教室の席数による（抽選）	10	2020～2022年度入学者対象科目 副専攻プログラム「人間情報」対象科目（2020年度以降）
	215014	ビッグデータ演習	2	3		1	池田光雪	教室の席数による（抽選）	5	人間情報学部の「データマイニング演習（212321）」の単位を修得済みの学生は履修不可 副専攻プログラム「人間情報」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
人間情報学科	211036	システム開発演習 1（Webアプリ）	2	3	1	1	加　藤　央　昌	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「人間情報」対象科目 副専攻プログラム「人間情報」履修者のみ履修可 「プログラミング演習 1（C）」「プログラミング演習 2（Python）」「プログラミング演習 3（Java）」「プログラミング演習 4（VB）」のいずれか 1 科目以上を履修した学生のみ履修可。ただし、「失格」の場合は不可
	211037	システム開発演習 2（マクロ）	2	3		1	浦　尾　　彰	教室の席数による（抽選）	5	
	211038	システム開発演習 3（Android）	2	3	1 1	 1	佐　藤　朝　美 加　藤　央　昌	各25（抽選）	5	
	212217	システム設計演習	2	3	1		浦　尾　　彰	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「人間情報」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
心理学科	221001	心理学概論Ⅰ	2	1	1		松尾貴司 丹藤克也 成澤元 吉崎一人	定員あり	1	オムニバス科目 1/4期科目 ２限連続（Ⅰを前半・Ⅱを後半） １年次講義科目 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221002	心理学概論Ⅱ	2	1	1		髙野恵代 大崎園生 清瀧裕子 斎藤和志 坂田陽子 西出隆紀	定員あり	1	
	221030	生理心理学概論	2	1		1	成澤元	定員あり	10	１年次講義科目 心理学部の「生理心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221031	認知心理学概論	2	1		1	丹藤克也	定員あり	10	１年次講義科目 心理学部の「認知心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221032	社会心理学概論	2	1		1	平島太郎	定員あり	10	１年次講義科目 心理学部の「社会心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221033	発達心理学概論	2	1		1	蒲谷槙介	定員あり	1	１年次講義科目 心理学部の「発達心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221034	臨床心理学概論	2	1		1	石川佳奈	定員あり	1	１年次講義科目 心理学部の「臨床心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221008	心理学研究法概論	2	1		1	蒲谷槙介 加藤公子 平島太郎	定員あり	1	オムニバス科目 １年次講義科目 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221039	心理学統計法	2	1	1		丹藤克也	定員あり	1	１年次講義科目 心理学部の「心理統計基礎」の単位を修得済みの場合は履修不可 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	221040	心理的アセスメントⅠ	2	2		1	浦邉綾子	定員あり	1	副専攻プログラム「心理学」対象科目 副専攻プログラム「心理学」履修者のみ履修可
	222001	精神生理学	2	2	1		成澤元	定員あり	10	本学科１年次講義科目またはそれに相当する心理学関連の科目を、本学または他大学において８単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222002	脳と認知	2	2		1	加藤公子	定員あり	10	
	222003	意識と認知	2	2		1	吉崎一人	定員あり	10	
	222005	日常行動の認知心理学	2	2	1		丹藤克也	定員あり	10	
	222101	対人コミュニケーションの社会心理学	2	2	1		小川一美	定員あり	10	
	222102	社会的行動の心理学	2	2		1	斎藤和志	定員あり	10	
	222105	ネットワークの社会心理学	2	2	1		平島太郎	定員あり	10	
	222004	ノンバーバル行動	2	2		1	松尾貴司	定員あり	10	
	222201	認知の生涯発達心理学	2	2		1	坂田陽子	定員あり	10	
	222202	老年心理学	2	2	1		久保南海子	定員あり	10	
	222203	社会性の発達	2	2	1		蒲谷槙介	定員あり	10	

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
心理学科	222205	青年期の発達と心理	2	2		1	髙　野　恵　代	定員あり	10	2016年度以降入学者用 本学科１年次講義科目またはそれに相当する心理学関連の科目を、本学または他大学において８単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222302	心理療法	2	2	1		西　出　隆　紀	定員あり	10	本学科１年次講義科目またはそれに相当する心理学関連の科目を、本学または他大学において８単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222305	子どもの心理臨床	2	2		1	清　瀧　裕　子	定員あり	10	
	222306	地域支援と臨床心理学	2	2	1		大　崎　園　生	定員あり	10	
	222308	医療の心理臨床	2	2		1	髙　橋　　昇	定員あり	10	2016年度以降入学者用 本学科１年次講義科目またはそれに相当する心理学関連の科目を、本学または他大学において８単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222307	発達障がいの心理臨床	2	2		1	浜 本 真 規 子	定員あり	10	2019年度以降入学者用 本学科１年次講義科目またはそれに相当する心理学関連の科目を、本学または他大学において８単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222420	障害者・障害児心理学	2	3·4		1	田 倉 さ や か	定員あり	1	2018年度以降入学者用 本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222421	知覚・認知心理学	2	3·4	1		吉　崎　一　人	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目 心理学部の「感覚・知覚心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可
	222422	学習・言語心理学	2	3·4	1		藤 田 知 加 子	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目 心理学部の「言語心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可
	222404	比較心理学	2	3·4	1		松　尾　貴　司	定員あり	10	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222423	神経・生理心理学	2	3·4	1		加　藤　公　子	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目 心理学部の「神経心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
心理学科	222424	感情・人格心理学	2	3･4		1	成　澤　　元	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目 心理学部の「人格心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可
	222425	健康・医療心理学	2	3･4		1	伊　藤　真　理	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目 心理学部の「健康心理学」の単位を修得済みの場合は履修不可
	222426	社会・集団・家族心理学	2	3･4		1	吉　澤　寛　之	定員あり	1	2018年度以降入学者用 本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222410	産業・組織心理学	2	3･4	1		石　川　佳　奈	定員あり	1	本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222414	環境の社会心理学	2	3･4		1	坂　本　　剛	定員あり	10	2016年度以降入学者用 本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222427	教育・学校心理学	2	3･4		1	浦　邉　綾　子	定員あり	1	2018年度以降入学者用 本学科・専門講義科目８単位以上を含む心理学関連の科目を、本学または他大学において16単位以上修得していること 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	222428	司法・犯罪心理学	2	3･4		1	丹　藤　克　也	定員あり	1	
	222429	福祉心理学	2	3･4	1		石　川　佳　奈	定員あり	1	
	224001	異文化コミュニケーション	2	1-4		1	半　井　尚　美	定員あり	10	副専攻プログラム「心理学」対象科目
	224004	社会学概論	2	1-4	1	1	堀　田　裕　子	定員あり	10	
	224005	哲学概論	2	1-4		1	長　滝　祥　司	定員あり	10	
	224006	倫理学概論	2	1-4	1		小　林　　智	定員あり	10	
	224007	宗教学概論	2	1-4	1	1	伊　藤　秀　真	定員あり	10	
	224008	法律学概論	2	1-4	1		小　林　　智	定員あり	10	
	224009	国際法概論	2	1-4		1	イスマトフアジズ	定員あり	10	
	224010	経済学概論	2	1-4	1	1	鶴　田　利　恵	定員あり	10	
	224014	文化人類学概論	2	1-4	1	1	三　木　　誠	定員あり	10	2024年度以降入学者用 副専攻プログラム「心理学」対象科目
	224015	メンタルヘルス	2	1-4		1	石　川　佳　奈	定員あり	10	
					1		浦　邉　綾　子	定員あり	10	
	224016	データサイエンス	2	1-4	1	1	内 田 美 紀 子	定員あり	10	
	224017	障がい者コミュニケーション	2	1-4		1	河　口　尚　子	定員あり	10	

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学部共通科目	271104	アートマネジメント	2	1·2	1	1	藤　井　　克	各100（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271105	知的財産権	2	1	2	1 2	日比野穂高 鈴木恵美	定員あり	10	前期：メデプロ 後期：創作・建築 副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン（2020年度以前）」対象科目 副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン（2020年度以前）」履修者のみ履修可
	271106	マーケティング	2	1·2		1	太田幸治	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271107	社会調査法	2	1·2	1	1	新城優子	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271108	社会学概論	2	1·2	1	1	堀田裕子	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271109	宗教学概論	2	1·2		1	北垣　　創	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271110	文化人類学	2	1·2	1	1	三木　　誠	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271111	社会心理学	2	1·2		1	吉澤寛之	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271112	心理学	2	1·2	1		蔵冨　　恵	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271113	考現学	2	1·2	1	1	貝沼明華	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン」対象科目
	271114	メディアリテラシー	2	1·2	1	1	森田明日香	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271115	コミュニケーション論	2	1·2		1	谷口紀仁	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271116	サブカルチャー論	2	1·2	集1		岡本　　健	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271117	ジャーナリズム論	2	1·2	1	1	藤田良治	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271118	出版文化論a	2	1·2	1		劉　　永昇	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271119	出版文化論b	2	1·2		1	山本直子	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271120	写真論	2	1·2	1	1	坂倉　　守	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271121	広告論	2	1·2	1	1	石川正裕	各150（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学部共通科目	271122	映画論	2	1･2	1		小　倉　　史	134（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現、メディアプロデュース」対象科目
	271123	イベントプランニング入門	2	2･3	1	1	金　子　岳　司	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271124	広告表現入門	2	2･3	1	1	浅　井　芳　樹	各20（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目 15週の授業のうち、７週は学外施設で開講。履修希望者は初回授業に必ず出席すること。
	271130	近現代の美術a(西洋美術)	2	1･2	1	1	藤　井　健　仁	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン」対象科目
	271131	近現代の美術b(日本美術)	2	1･2	1	1	藤　井　健　仁	教室の座席による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン」対象科目
	271132	近現代の音楽	2	1･2	1	1	野　田　雅　巳	各63（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	271133	モダンデザイン文化史	2	1･2	1	1	河　辺　泰　宏	教室定員による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース、建築・インテリアデザイン」対象科目

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 創作表現専攻	272101	日本文学史a	2	1·2		2	篷　田　将　樹	定員あり	10	国文学科科目との合併科目。詳細は「履修登録の注意事項」を参照する事 副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272102	日本文学史b	2	1·2	1		佐々木亜紀子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272103	言語学a	2	1·2	1		森　本　俊　之	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272104	言語学b	2	1·2		1	森　本　俊　之	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272105	漢文学概説	2	1·2	1		角　田　達　朗	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272106	古典文学概説	2	1·2	1		篷　田　将　樹	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272107	児童文化論	2	1·2		1	酒　井　晶　代	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272108	言語表現史a(小説)	2	1·2		1	永　井　聖　剛	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272109	言語表現史b(詩歌)	2	1·2		1	渡　邉　章　夫	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272110	言語表現入門a	2	1·2	1	1	佐々木亜紀子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272111	言語表現入門b	2	1·2	1	1	松　田　　樹	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272112	批評理論入門	2	1·2		1	押山美知子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272113	演劇a(西洋)	2	1·2	1		海　上　宏　美	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272114	演劇b(日本)	2	1·2		1	角　田　達　朗	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272116	マンガ・アニメ史	2	1·2	1		押山美知子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272119	クリエイティブライティングa	2	2·3	1		清　水　良　典	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272120	クリエイティブライティングb	2	2·3	2	1	佐々木亜紀子	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272121	クリエイティブライティングc	2	2·3		1	柳　井　貴　士	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272167	クリエイティブライティングe	2	2·3		1	小　倉　　史	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272184	クリエイティブライティングf	2	2·3	1		松　田　　樹	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272123	エディターシップa（企画・プレゼンテーション）	2	2·3	1		山　本　直　子	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272124	エディターシップb（取材・インタビュー）	2	2·3		1	小　出　朝　生	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272194	エディターシップc（本づくり・DTP）	2	2·3	1	1	永　尾　嘉　章	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272191	身体表現法a	2	1·2	2		山　田　珠　実	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272192	身体表現法b	2	1·2		2	小熊ヒデジ	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 創作表現専攻	272125	ドローイング基礎	2	1·2	2	1	山田卓司	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272169	マンガ表現	2	1·2	1	1	シミズヒトミ	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272193	絵本・イラスト	2	1·2		2	梅本洋子	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272126	基礎演習Ⅱa	2	1		1 1 1 1 1 1 1 1	小倉史 押山美知子 酒井晶代 角田達朗 永井聖剛 松田樹 柳井貴士 吉田朝香	定員あり	1	副専攻プログラム「創作表現」対象科目 副専攻プログラム「創作表現」履修者のみ履修可
	272127	基礎演習Ⅱb	2	2	1 1 1 1 1 1 1 1		小倉史 押山美知子 酒井晶代 清水良典 角田達朗 永井聖剛 柳井貴士 吉田朝香	定員あり	1	副専攻プログラム「創作表現」対象科目 副専攻プログラム「創作表現」履修者のみ履修可
	272128	文芸理論a	2	2·3		1	松田樹	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272129	文芸理論b	2	2·3	集1		中澤忠之	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272130	批評理論a	2	2·3	集1		西野厚志	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272131	批評理論b	2	2·3	1		伏木啓	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272132	文化研究a	2	2·3		1	押山美知子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272133	文化研究b	2	2·3		1	林緑子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272134	現代小説a	2	2·3	1		松田樹	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272135	現代小説b	2	2·3		1	柳井貴士	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272136	近代小説a	2	2·3	1		永井聖剛	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272137	近代小説b	2	2·3	1		市川遥	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272138	現代詩a	2	2·3		集1	加島正浩	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272139	現代詩b	2	2·3		1	渡邉章夫	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 創作表現専攻	272140	現代短歌	2	2·3	1		加藤孝男	定員あり	10	国文学科科目との合併科目。詳細は「履修登録の注意事項」を参照する事 副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272141	戯曲a	2	2·3	1	1	刈馬カオス	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272170	戯曲b	2	2·3	2	2	渡山博崇	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272142	児童文学	2	2·3	1		酒井晶代	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272143	古典文学a（散文）	2	2·3	2		内藤英子	定員あり	10	国文学科科目との合併科目。詳細は「履修登録の注意事項」を参照する事 副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272144	古典文学b（詩歌）	2	2·3		1	人見恭司	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272145	漢文学	2	2·3		1	角田達朗	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272195	エンターテインメント文芸a	2	2·3		集1	嵯峨景子	20（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272196	エンターテインメント文芸b	2	2·3	集1		芦辺拓	20（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272147	ノンフィクション	2	1·2	1		藤井誠二	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272148	伝統芸能	2	2·3		1	深谷大	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272149	パフォーミングアーツ	2	2·3	1		海上宏美	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272168	ステージデザイン	2	2·3	1		藤井克	30（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272150	物語論	2	2·3		1	鈴木彩	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272274	映像表現論	2	2·3		1	小倉史	134（抽選）	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272151	マンガ論	2	2·3	1		押山美知子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272152	アニメ論	2	2·3	1	1	林緑子	定員あり	10	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272153	コミックデザイン	2	2·3	1 1	2	山田卓司 吉田朝香	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272154	講読演習a	2	3·4	1		永井聖剛	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272155	講読演習b	2	3·4		1	酒井晶代	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272156	講読演習c	2	3·4		1	松田樹	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272157	講読演習d	2	3·4	1		角田達朗	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272158	講読演習e	2	3·4		1	押山美知子	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272159	講読演習f	2	3·4	1		柳井貴士	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目
	272160	講読演習g	2	3·4	1		小倉史	25（抽選）	5	副専攻プログラム「創作表現」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 メディアプロデュース専攻	273156	造形基礎	2	1	1 1 1 1	1 1 1 1	阿部卓也 坂倉守 宮田雅子 村上泰介	定員あり	1	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 副専攻プログラム「メディアプロデュース」履修者のみ履修可
	273157	文献講読	2	1	1 1 1 1	1 1 1 1	藤田良治 政倉祐子 松井広志 貝沼明華	定員あり	1	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 副専攻プログラム「メディアプロデュース」履修者のみ履修可
	273158	映像論	2	1·2	1	1	荒川徹	各100（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅰ（映像論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273160	コミュニケーションデザイン論	2	1·2	1		宮田雅子		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅶ（情報デザイン）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273161	デザイン史	2	1·2		1	阿部卓也		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目
	273162	シナリオ	2	1·2	1	1	高橋洋		10	創造表現学部の「メディア表現論Ⅱ（シナリオ）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273167	オーディエンス論	2	1·2		1	貝沼明華		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅱ（マスメディア論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273168	メディア論	2	1·2	1		松井広志		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅰ（コミュニケーション）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273170	ビジネスモデル論	2	1·2	集1		舟津昌平		10	「副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディアビジネス論Ⅰ（プロデュース論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273171	映画評論a	2	2-4	1	1	坪井篤史	各134（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディアビジネス論Ⅵ（映画）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273172	映画評論b	2	2-4		1	溝渕久美子	教室定員による（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディアビジネス論Ⅱ（映像メディア）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273176	現代デザイン論	2	2·3		1	宮田雅子		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅳ（ヴィジュアルデザイン）」の単位を修得済みの学生は履修不可

他学部·他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科メディアプロデュース専攻	273180	ヴィジュアルメディア	2	2·3	1		阿　部　卓　也		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅲ（ヴィジュアルメディア）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273181	現代アート論	2	2·3		1	荒　川　　徹		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅵ（現代アート論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273182	メディアアート論	2	2·3	1		村　上　泰　介		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅳ（コミュニティメディア論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273188	インターネット社会論	2	2·3		1	松　井　広　志		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅲ（ソーシャルメディア論）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273189	ポップカルチャー	2	2·3	1		広　瀬　正　浩		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア表現論Ⅴ（ポップカルチャー）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273192	メディアと心理学	2	2·3		1	政　倉　祐　子		10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅴ（メディア心理）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273193	広告コミュニケーション論	2	2-4	1	1	吉　田　光　弥	各70（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディアビジネス論Ⅳ（広告・広報）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	273195	メディアプロジェクト	2	2·3	1	1	山　田　　亘	各70（抽選）	10	副専攻プログラム「メディアプロデュース」対象科目 創造表現学部の「メディア社会論Ⅵ（メディアプロジェクト）」の単位を修得済みの学生は履修不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 建築･インテリアデザイン専攻	274159	建築のための数学	2	1	1		淺田秀男	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可
	274103	建築・インテリア概論	2	1	1		清水裕二 淺田秀男 河辺泰宏 久保井聡 田島祐之 廣谷純子 松本佳津 諸江一紀 吉元学 VECCHI Pietro	定員あり	10	オムニバス科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274108	建築構造力学Ⅰ	2	1	1	2	田島祐之	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可 「基礎数学」で合格若しくは「建築のための数学」を履修済みであること
	274109	建築構造力学Ⅱ	2	2	1		田島祐之	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可 「建築構造力学Ⅰ」を修得済みであること
	274110	建築構法	2	2	1		今岡克也	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274111	建築構造設計法A	2	3	1		田島祐之	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可 「建築構造力学Ⅰ」を修得済みであること
	274112	建築構造設計法B	2	3		1	田島祐之	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可 「建築構造力学Ⅰ」を修得済みであること
	274113	建築基礎の構造	2	3	集1		花里利一	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274114	建築材料	2	2	1		山本貴正	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 建築･インテリアデザイン専攻	274116	建築環境学A(熱・空気)	2	2	1		淺田秀男	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274160	建築環境学B(光・色彩・音)	2	2		1	淺田秀男	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 創造表現学部の「建築環境学B(音・光)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	274120	建築設備	2	3		1	河路友也	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274121	住まいの文化史	2	1	1	1	鈴木千里	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274123	建築の歴史A(西洋)	2	1	1	1	河辺泰宏	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274124	建築の歴史B(日本・東洋)	2	2	1	1	溝口正人	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274125	都市の歴史	2	1	1	1	河辺泰宏	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274126	建築法規	2	2	1	1	日比野好幸	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274127	住まいと生活	2	1	1		廣谷純子	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274128	建築計画Ⅰ	2	1		2	諸江一紀	定員あり	5	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274129	建築計画Ⅱ	2	2		2	諸江一紀	定員あり	5	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274130	建築デザインと構造	2	2		1	武藤厚	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274131	インテリアデザイン論	2	1 2	 1	1 	吉元学	定員あり	5	1年生は後期コマ、2年生以上は前期コマで履修する事。 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274132	商業スペースデザイン	2	2		1	加藤和雄	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274133	人の行動と空間	2	3		1	橋本雅好	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274134	まちづくり	2	1	1	1	藤澤徹	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274136	都市の景観	2	2	1	1	清水裕二	定員あり	5	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274137	都市計画論	2	2	1	1	永柳宏	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274138	ランドスケープデザイン	2	2	1		岡田憲久 田井洋子	定員あり	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274139	建築と都市の防災	2	3		1	倉橋奨	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274140	ハウジング論	2	3	1	1	尾﨑智央	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274141	ファシリティマネジメント論	2	3		1	柳父行二	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274142	建築生産システム	2	3		1	岩佐真吾	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目
	274143	建築と経済	2	3	1		岩佐真吾	定員あり	1	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
創造表現学科 建築･インテリアデザイン専攻	274164	インテリアデザイン基礎	2	1	1		松　本　佳　津	定員あり	10	副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可
	274158	基礎数学	2	1	1		鈴　木　敏　志	定員あり	1	卒業に必要な単位に算入されない科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」対象科目 副専攻プログラム「建築・インテリアデザイン」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
健康医療科学部共通科目	241005	統計の基礎	2	1	1		奥村文徳		10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可
				1		1	加藤みわ子		1	
				1	2		坪田彩乃	定員あり	1	
				3	1		松浦康之		1	
医療貢献学科共通科目	241503	認知・学習心理学	2	1	1		丹藤克也		1	５名まで 健康医療科学部の「認知・学習心理学（241012）」の単位を修得済みの学生は履修不可 スポーツ・健康医科学科の「認知・学習心理学（244137）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	241505	生涯発達心理学	2	1	1		小林まおり		1	健康医療科学部の「生涯発達心理学（241014）」の単位を修得済みの学生は履修不可
					集1		森和彦			
	241508	臨床医学入門１ （内科学・精神医学・小児科学）	2	1		1	泉雅之 東慶輝 江口春華 奥村彰久 倉橋宏和		1	2023年度以前入学者対象科目 オムニバス科目
	241512	脳波学・画像診断学	2	2		1	竹内茂雄		10	2023年度以前入学者対象科目
			2	1		1	前野信久			
	241521	内科学・精神医学・小児科学概論	2	1		1	泉雅之 東慶輝 江口春華 奥村彰久 倉橋宏和		1	2024年度以降入学者対象科目 オムニバス科目
	241525	脳波学・画像診断学概論	2	1		1	前野信久		10	2024年度以降入学者対象科目
医療貢献学科言語聴覚学専攻	242301	言語学	2	1		1	小林まおり 吉田敬		1	３名まで オムニバス科目 健康医療科学部の「言語学（242102）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	242304	心理言語学	2	3		1	小林まおり 吉田敬		10	2023年度以前入学者対象科目 オムニバス科目 健康医療科学部の「心理言語学（242105）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	242305	言語発達学	2	1		1	筒井聡子		1	３名まで 健康医療科学部の「言語発達学（242106）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	242308	形態論・統語論	2	2	1		出嶋真由美		10	2023年度以前入学者対象科目 健康医療科学部の「形態論・統語論（242203）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	242338	心理アセスメント演習	2	3	1		原田亜希		10	健康医療科学部の「心理アセスメント演習（241008）」の単位を修得済みの学生は履修不可
医療貢献学科視覚科学専攻	243401	実験心理学	2	1		1	高橋伸子		1	５名まで 健康医療科学部の「実験心理学（241011）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243406	視覚の基礎	2	1	1		平野耕治 鬢櫛一夫		10	オムニバス科目 健康医療科学部の「視覚の基礎（243305）」または「視能矯正学Ⅰ（243204）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243407	視覚生理学	2	1	1		柏井聡		1	健康医療科学部の「視覚生理学（243306）」または「視覚生理学（243109）」の単位を修得済みの学生は履修不可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
医療貢献学科 視覚科学専攻	243409	色彩心理学	2	2		集1	坂　田　勝　亮		1	５名まで 健康医療科学部の「色彩心理学（243308）」または「色彩心理学（243106）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243410	生理光学	2	1		1	田　中　芳　樹		1	健康医療科学部の「生理光学（243309）」または「生理光学（243107）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243412	視覚心理学１	2	2		1	高　橋　啓　介		10	健康医療科学部の「視覚心理学１（243311）」または「視覚心理学Ⅰ（243201）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243413	視覚心理学２	2	2	1		高　橋　伸　子		10	健康医療科学部の「視覚心理学２（243312）」または「視覚心理学Ⅱ（243202）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243414	視覚心理学３	2	2		1	行　松　慎　二		10	健康医療科学部の「視覚心理学３（243313）」または「視覚心理学Ⅲ（243203）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243415	頭頸部機構学	2	1		1	柏　井　　聡		10	健康医療科学部の「頭頸部機構学（243314）」または「頭頸部機構学（243119）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243416	神経眼科学	2	2	1		柏　井　　聡		1	健康医療科学部の「神経眼科学（243315）」または「神経眼科学（243111）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243417	眼科薬理学	2	2		1	柏　井　　聡		1	健康医療科学部の「眼科薬理学（243316）」または「眼科薬理学（243113）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243418	神経眼科学演習	2	4	1		柏　井　　聡		1	健康医療科学部の「神経眼科学演習（243317）」または「神経眼科学（243112）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243419	眼疾病学	2	3	1		佐　藤　彰　子		1	健康医療科学部の「眼疾病学（243318）」または「眼疾病学（243118）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243420	ロービジョン医学演習	2	4	1		川　嶋　英　嗣 田　中　恵　津　子		5	健康医療科学部の「ロービジョン医学演習（243319）」または「ロービジョン医学演習（243116）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243423	視能矯正学	2	3	1		稲　垣　尚　恵		1	健康医療科学部の「視能矯正学（243322）」または「視能矯正学Ⅲ（243206）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243426	視能検査学１	2	1		1	佐　藤　彰　子		1	健康医療科学部の「視能検査学１（243326）」または「視能検査学Ⅰ（243208）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243427	視能検査学２	2	2	1		田　邊　宗　子		1	健康医療科学部の「視能検査学２（243327）」または「視能検査学Ⅱ（243209）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243428	視能検査学演習１	2	2	1		稲　垣　尚　恵 田　中　健　司 玉　置　明　野 野　上　豪　志		1	オムニバス科目 健康医療科学部の「視能検査学演習１（243328）」または「視能検査学Ⅲ（243210）」の単位を修得済みの学生は履修不可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
医療貢献学科視覚科学専攻	243429	視能検査学演習２	2	2		1	稲垣尚恵 杉岡勇希 玉置明野 野上豪志		1	オムニバス科目 健康医療科学部の「視能検査学演習２(243329)」または「視能検査学Ⅳ（243211)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243430	視能検査学演習３	2	3		1	柏井聡		1	健康医療科学部の「視能検査学演習３(243330)」または「視能矯正学Ⅳ（243207)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243431	視能障害学１	2	1		1	杉田二郎		1	健康医療科学部の「視能障害学１(243331)」または「視能障害学Ⅰ（243213)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243432	視能障害学２	2	2	1		川嶋英嗣		1	健康医療科学部の「視能障害学３(243333)」または「視能障害学Ⅲ（243215)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243433	視能障害学３	2	2		1	田中恵津子		1	２時限連続 健康医療科学部の「視能障害学２(243332)」または「視能障害学Ⅱ（243214)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243434	視能訓練学１	2	1		1	田邊宗子		1	健康医療科学部の「視能訓練学１(243334)」または「視能訓練学Ⅰ（243216)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243435	視能訓練学２	2	2		1	望月浩志		1	健康医療科学部の「視能訓練学３(243336)」または「視能訓練学Ⅲ（243218)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243436	視能訓練学３	2	3	1		川嶋英嗣 高橋啓介 高橋伸子		1	オムニバス科目 健康医療科学部の「視能訓練学２(243335)」または「視能訓練学Ⅱ（243217)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	243437	視能訓練学４	2	3		1	梅田千賀子 佐藤彰子		1	オムニバス科目 健康医療科学部の「視能訓練学４(243337)」または「視能訓練学Ⅳ（243219)」の単位を修得済みの学生は履修不可
スポーツ・健康医科学科共通科目	246101	健康医学総論	2	1	1		渡邉健太郎 粟谷健礼 安藤富士子 加藤憲 柴田知行 担当者未定 藤沢知里	教室の席数による（抽選）	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 健康医療科学部の「健康医科学概論（244102)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	246102	生涯スポーツ論	2	1	1		矢野裕介 笠井信一	教室の席数による（抽選）	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 健康医療科学部の「健康スポーツ概論（244103)」の単位を修得済みの学生は履修不可
	244123	健康栄養学	2	1	1		松島佳子	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244133	解剖学	2	1	1		大塚嘉久	教室の席数による（抽選）	1	
	244110	生理学	2	1		1	大塚嘉久	教室の席数による（抽選）	1	
	246103	心理学基礎論	2	1		1	坪田祐基	教室の席数による（抽選）	1	2021年度以降入学者対象 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象）

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
スポーツ・健康医科学科共通科目	244119	スポーツ生理学	2	1		1	平野雅巳	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244279	野外教育概論	2	1		1	平田裕一	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は1年生 2020年度以前入学者の履修年次は2年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修希望者のみ履修可
	244130	基礎身体運動	1	1		1	矢野裕介 八代政彦 笠井信一	105（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修希望者のみ履修可
	244118	スポーツ心理学	2	2	1		吉澤洋二	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244117	体育学概論（原理・学史・文化史含む）	2	2	1		矢野裕介	教室の席数による（抽選）	10	
	244134	公衆衛生学（衛生学含む）	2	2		1	加藤憲	教室の席数による（抽選）	1	2021年度以降入学者の履修年次は2年生 2020年度以前入学者の履修年次は1年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 医療貢献学科の学生は履修不可
	244218	スポーツ社会学	2	2		1	矢野裕介	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244132	保健体育教育概論	2	2		1	八代政彦	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象） 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可
	244232	体育実技A　水泳	1	2	1 1	1	平野雅巳 松田有司 村松愛梨奈	各21（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「基礎身体運動」の単位を修得している場合のみ履修可 2020年度以前入学者は「公衆衛生学（衛生学含む）」および「運動解剖学」·「基礎身体運動」の単位を修得している場合のみ履修可
	244233	体育実技B　陸上競技	1	2	3		中田有紀	各32（抽選）	10	
	244234	体育実技C　体づくり・器械運動	1	2	3		岡本敦	各24（抽選）	10	
	244235	体育実技D　体操・ダンス	1	2		2	森奈緒美	各32（抽選）	10	
	244236	体育実技E　武道1（剣道）	1	2	1		矢野裕介	24（抽選）	10	
	244237	体育実技F　武道2（柔道）	1	2		2	坂田利弘	各24（抽選）	10	
	244238	スポーツ実技G　バレーボール	1	2	1	2	本多広国	各32（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「基礎身体運動」、「運動解剖学」および「バイオメカニクス」の単位を修得している場合のみ履修可
	244239	スポーツ実技H　バスケットボール	1	2		2	神谷知里	各32（抽選）	10	
	244240	スポーツ実技I　ハンドボール	1	3	1		浅野幹也	36（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は3年生 2020年度以前入学者の履修年次は1年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「基礎身体運動」、「運動解剖学」および「バイオメカニクス」の単位を修得している場合のみ履修可
	244241	スポーツ実技J　サッカー	1	3		2	中川貴光	各32（抽選）	10	

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
スポーツ・健康医科学科共通科目	244242	スポーツ実技K　ラグビー	1	3	1		小柳竜太	32（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は3年生 2020年度以前入学者の履修年次は2年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「基礎身体運動」、「運動解剖学」および「バイオメカニクス」の単位を修得している場合のみ履修可
	244243	スポーツ実技L　ソフトボール	1	3	1		島典広	40（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「基礎身体運動」、「運動解剖学」および「バイオメカニクス」の単位を修得している場合のみ履修可
	244244	スポーツ実技M　テニス	1	3	1		鶴原香代子	32（抽選）	10	
	244245	スポーツ実技N　卓球	1	3		1	海津富美代	32（抽選）	10	
	244246	スポーツ実技O　バドミントン	1	3		1	佐藤荘二	32（抽選）	10	
	244249	野外実習1（キャンプ）	1	2	集1		鶴原香代子 櫻木規美子 豊嶋陵司 永山寛 長谷川望 平田裕一 平野雅巳 水崎佑毅	42（抽選）	15	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可 2021年度以降入学者は「野外教育概論」の単位を修得している場合のみ履修可 2020年度以前入学者は「公衆衛生学（衛生学含む）」および「運動解剖学」·「基礎身体運動」の単位を修得している場合のみ履修可
	244248	野外実習2（スキー）	1	2		集1	鶴原香代子 担当者未定 笠井信一 佐野真也 長崎大 本多広国 山本周史	40（抽選）	15	
	244219	運動方法学	2	2		1	豊嶋陵司	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244217	スポーツ経営管理学	2	3	1		矢野裕介	教室の席数による（抽選）	10	
	244229	学校保健 （小児保健、精神保健、学校安全）	2	2		1	坂田利弘	70（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可
スポーツ・健康医科学科スポーツ・健康学科専攻	244135	レクリエーション概論	2	1	1		鶴原香代子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244250	ライフステージと栄養	2	1		1	松島佳子	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は1年生 2020年度以前入学者の履修年次は2年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象）
	244138	臨床心理学	2	2		1	坪田祐基	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は2年生 2020年度以前入学者の履修年次は1年生
	244129	運動解剖学	2	1		1	粟谷健礼	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244136	生涯発達心理学	2	2	1		坪田祐基	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は2年生 2020年度以前入学者の履修年次は1年生

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康学科専攻	244221	バイオメカニクス	2	2	1		豊嶋陵司	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象）
	244115	体力測定・評価	2	2	1		平野雅巳 亀谷良介	教室の席数による（抽選）	10	オムニバス科目
	244107	ストレスマネジメント	2	3		1	坪田祐基	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は3年生 2020年度以前入学者の履修年次は1年生 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244120	障がい者スポーツ論	2	3		2	荒賀博志	各60（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」履修者のみ履修可
	247101	内科学各論1	2	2	1		安藤富士子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象） 健康医療科学部の「臨床医学（内科）（244292）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	244220	スポーツ栄養学	2	2	1		松島佳子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244222	スポーツトレーニング論	2	2	1		山本周史	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	247102	内科学各論2	2	2		1	安藤富士子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 健康医療科学部の「生活習慣病（244212）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	244267	学校のメンタルヘルス	2	2		1	坪田祐基	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244214	健康スポーツ医学	2	3	1		渡邉健太郎	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	247104	運動療法	2	3		1	平野雅巳 橋本渉 森山善文	教室の席数による（抽選）	10	オムニバス科目 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目 健康医療科学部の「リハビリテーション医学（244284）」、「リハビリテーション（247104）」および「運動療法」（244116）の単位を修得済みの学生は履修不可
	244256	心理査定理論	2	3	1		坪田祐基	教室の席数による（抽選）	10	2021年度以降入学者の履修年次は3年生 2020年度以前入学者の履修年次は2年生
	244224	スポーツ指導方法論	2	3	1		山本周史	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	247106	健康マネジメント学	2	3		1	山上潤一	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象） 健康医療科学部の「医療経営学概論（244114）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	247107	ケア学	2	3		1	山口弘子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2021年度以降入学者対象） 健康医療科学部の「看護学・介護学（244210）」の単位を修得済みの学生は履修不可
	244276	食事療法学	2	3		1	松島佳子	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
	244227	スポーツ情報論	2	3		1	矢野裕介	40（抽選）	10	副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目
健康栄養学科	245164	食品加工学	2	2	1		担当者未定		10	2023年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「健康医療科学」対象科目（2020年度以前入学者対象）

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
食創造科学科	292003	食物の科学	2	1	1		三　宅　義　明		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292004	化学概論	2	1	1		田　中　晶　善		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可
	292005	食品加工学	2	1	1		菅　野　友　美		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可
	292006	食品学Ⅰ	2	1		1	三　宅　義　明		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可
	292007	食品分析学	2	1		1	吉　田　久　美		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292010	食品衛生学	2	1		1	安　藤　　聡		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可
	292013	基礎調理科学	2	1	1		西　澤　早　紀　子		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292015	応用調理科学	2	1		1	菅　野　友　美		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292018	生体の化学	2	1	1		吉　田　久　美		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292019	人体の構造と機能（解剖生理学）	2	1	1		前　野　信　久		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292020	健康の科学	2	1		1	小　松　　一		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292023	健康栄養学	2	1		1	加　藤　友　紀		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292024	栄養化学	2	1		1	玉　田　葉　月		10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	292029	社会と健康	2	1		1	加　藤　　憲		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目
	290006	基礎化学	2	1	1		井　澤　　誠		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 副専攻プログラム「食健康科学」履修者のみ履修可 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可
	290007	基礎生物学	2	1	1		西　郷　　孝		1	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「食健康科学」対象科目 副専攻プログラム「食健康科学」履修者のみ履修可 食健康科学部健康栄養学科の学生は履修不可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科	251002	人間と倫理	2	1		1	舩尾日出志	130	1	副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 若干名
	251108	医学概論	2	1	1		金森寛幸	100	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251009	発達心理学	2	3	1		西和久	70	1	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
				1	1		小野美和	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251109	心理学と心理的支援	2	1		1	西和久	100	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
				3		1	岩田昌子	60	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251110	社会学と社会システム	2	1	1		安藤純子	140	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251111	社会福祉調査の基礎	2	3	1		西和久	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251112	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	1 2	1		瀧誠	100	1	2021年度以降入学者対象科目 2021年度・2024年度入学者の履修年次は1年生 2022年度・2023年度入学者の履修年次は2年生 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251113	児童・家庭福祉Ⅰ	2	1	1		谷口純世	150	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	252205	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	2		1	原幸一	30	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	252208	高齢者福祉Ⅰ	2	1	1		黒川文子	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科	252210	障害者福祉Ⅰ	2	1	1		田　中　　勝	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	252212	児童・家庭福祉Ⅱ	2	1		1	谷　口　純　世	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	253070	福祉サービスの組織と経営	2	2 3		1	久　野　寿　枝 谷　川　陽　美 坪　井　美　佳	85	1	オムニバス科目 2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「社会福祉」履修者の履修年次は２年生 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者の履修年次は３年生
	255064	社会的養護Ⅰ	2	2	1		徳　田　優　太	120	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255065	社会的養護Ⅱ	1	2		1	柴　田　　瞳	80	1	副専攻プログラム「社会福祉(2021年度以降入学者)」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉(2021年度以降入学者)」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	252120	障害児福祉	2	2		1	加　藤　　淳	50	1	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	251101	人体の構造と機能及び疾病	2	1				100	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251102	心理学理論と心理的支援	2	1				100	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	251103	心理学理論と心理的支援	2	3				60	10	廃止 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251104	社会理論と社会システム	2	1				140	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	251105	社会調査の基礎	2	3				85	1	
	251106	精神保健の課題と支援Ⅰ	2	1				100	1	
	251107	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	2	1				150	1	
	252105	精神保健の課題と支援Ⅱ	2	2		1	原　　幸　一	30	1	2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科	252110	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2	1				85	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可
	252112	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	2	1				85	1	
	252114	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	2	1				85	1	
	253015	福祉サービスの組織と経営	2	2 3				85	1	今年度開講せず オムニバス科目 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」「子ども福祉」履修者のみ履修可 副専攻プログラム「社会福祉」履修者の履修年次は２年生 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者の履修年次は３年生
福祉貢献学科 社会福祉専攻	252201	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	3	1		田中　勝 小野孝嘉 森　純一	85	1	オムニバス科目 2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252202	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	3		1	田中　勝 小野孝嘉 森　純一	85	1	オムニバス科目 2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252108	介護技術	2	2	集1	集2	火口弥生	各15（抽選）	1	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253101	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1	1		末田邦子	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253102	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	1		1	末田邦子	85	1	
	252206	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	1		1	瀧　誠	85	1	
	253103	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2	1		田中　勝	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253104	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2		1	西本彩香	85	1	
	253105	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	2	3	1		末田邦子	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253106	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	2	3		1	末田邦子	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252209	高齢者福祉Ⅱ	2	1		1	黒川文子	85	10	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252211	障害者福祉Ⅱ	2	1		集1	谷川陽美 久野寿枝	85	10	オムニバス科目 2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科 社会福祉専攻	252213	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	1	1		中村弘佳	85	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252214	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	1		1	中村弘佳	85	1	
	252215	社会保障Ⅰ	2	2	1		髙城大	85	1	
	252216	社会保障Ⅱ	2	2		1	髙城大	85	1	
	252217	貧困に対する支援	2	2	1		髙城大	85	1	
	253107	保健医療と福祉	2	2	1		浅野正嗣	100	1	
	253108	権利擁護を支える法制度	2	2	集1		瀧誠 伊藤秀司 杉山苑子	85	1	オムニバス科目 2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253109	刑事司法と福祉	2	2	集1		野中光夫 宇津木朗	85	1	
	252222	ソーシャルワーク演習	2	1		1 2 1 1 1 1	髙城大 黒田由衣 田中勝 中村弘佳 吉川公章 火口弥生	各20	1	2021年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252223	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	2	1 1 2 1 1		谷口純世 黒川文子 黒田由衣 吉川公章 火口弥生	各20	1	
	252224	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	2	2		1 1 2 1 1	谷口純世 黒川文子 黒田由衣 吉川公章 火口弥生	各20	1	
	252149	災害時活動支援論	2	2	1		外部講師　※1	70	10	
	252151	現代時事問題論	2	3	1		神田すみれ	50	10	
	253044	社会心理学	2	2	1		西和久	85	10	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目
	253045	コミュニティ心理学	2	3		1	西和久	85	10	
	253055	福祉環境論	2	3		1	池田園子	30 （抽選）	10	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 若干名
	253057	社会福祉発達史	2	2	1		山田敏恵	50	10	副専攻プログラム「社会福祉」対象科目
	253058	国際福祉論	2	2	集1		李省翰	50	10	
	253049	マイノリティと現代社会	2	2		1	西和久	85	10	
	252101	現代社会と福祉Ⅰ	2	3				85	1	今年度開講せず オムニバス科目 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252102	現代社会と福祉Ⅱ	2	3				85	1	
	252004	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2	1				85	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252005	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2	1				85	1	
	252109	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	2	1				85	1	

※1 レスキューストックヤード

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科 社会福祉専攻	253006	相談援助の理論と方法Ⅰ	2	2				85	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253007	相談援助の理論と方法Ⅱ	2	2				85	1	
	253008	相談援助の理論と方法Ⅲ	2	3				85	1	
	253009	相談援助の理論と方法Ⅳ	2	3				85	1	
	252111	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2	1				85	1	
	252113	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	2	1		集1	谷川陽美 久野寿枝	85	1	オムニバス科目 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252115	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	1				85	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252116	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	1				85	1	
	252117	社会保障Ⅰ	2	2				85	1	
	252118	社会保障Ⅱ	2	2				85	1	
	252119	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	2				85	1	
	253010	保健医療サービス	2	2	1		浅野正嗣	100	1	2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	253011	福祉行財政と福祉計画	2	2		集1	中村弘佳	85	1	
	253013	権利擁護と成年後見制度	2	2				85	1	今年度開講せず オムニバス科目 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252127	相談援助演習Ⅰ	2	1				20	1	今年度開講せず 2020年度以前入学者対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」対象科目 副専攻プログラム「社会福祉」履修者のみ履修可
	252128	相談援助演習Ⅱ	2	2				各20	1	
	252129	相談援助演習Ⅲ	2	2				各20	1	
福祉貢献学科 子ども福祉専攻	254101	社会福祉概論	2	2	1		火口弥生	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255062	子ども家庭支援論	2	2		1	古川洋子	60	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255063	子育て支援	2	3	1		古川洋子	60	1	
	255066	障害児福祉	2	3		1	加藤　淳	60	1	
	254128	教育心理学	2	1		1	小野美和	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255067	子ども家庭支援の心理学	2	3		1	小野美和	60	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科 子ども福祉専攻	254107	幼児理解の理論と方法	2	2	1		小野美和	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255037	教育相談	2	4		1	小野美和	60	1	
	255068	子どもの保健	2	2	1		黒谷万美子	60	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255069	子どもの健康と安全	1	2		2	黒谷万美子	各30	1	
	254108	子どもの食と栄養	2	1		2	森岡亜有	各30	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255031	教職入門	2	2	1		岡田泰枝	60	1	
	254014	教育原理	2	1		1	岡田泰枝	60	1	
	254003	保育原理Ⅰ	2	1	1		岡田泰枝	60	1	
	254004	保育原理Ⅱ	2	1		1	岡田泰枝 白石淑江	60	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255032	教育制度論	2	3	1		舩尾日出志	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255035	教育方法論	2	3	1		舩尾日出志	60	1	
	255075	子どもとデジタルメディア	1	3	集1		井上知香	60	1	2022年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	254109	教育課程論	2	3	1		岡田泰枝	60	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	254010	保育者論	2	3		1	大宮摂子	60	1	
	255054	教職実践演習（幼）	2	4		1 1	大宮摂子 古川洋子	各30	1	
	254125	保育内容総論Ⅰ	2	1	1		本山ひふみ	60	1	
	254126	保育内容総論Ⅱ	2	1		1	本山ひふみ	60	1	
	255013	保育内容指導法	2	2	1		古川洋子	60	1	
	255070	子どもと健康	1	2		1	本山ひふみ	60	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255071	保育内容　健康	2	2		2	藤巻裕昌	各30	1	
	255072	子どもと人間関係	1	2	2		井上知香	各30	1	
	255073	保育内容　人間関係	2	2		1	井上知香	60	1	
	255005	保育内容　環境Ⅰ	1	2	2		大宮摂子	各30	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255006	保育内容　環境Ⅱ	2	2		1	大宮摂子	60	1	
	255007	保育内容　言葉Ⅰ	1	2	2		青木文美	各30	1	
	255008	保育内容　言葉Ⅱ	2	2		1	青木文美	60	1	
	254112	保育内容　表現Ⅰ	1	2	2		松下伸也 安藤園子	各30	1	
	254113	保育内容　表現Ⅱ	2	2		2	松下伸也 安藤園子	各30	1	
	254114	乳児保育論	2	2	2		大宮摂子	各30	1	
	254115	乳児保育演習	2	2		2	大宮摂子	各30	1	
	255074	特別の支援を必要とする子どもの保育	2	2	1		小野美和	60	1	2019年度以降入学者対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
福祉貢献学科 子ども福祉専攻	255023	子どもと体育	2	2 4	1		藤　巻　裕　昌	60	1	2022年度以降入学者の履修年次は４年生 2021年度以前入学者の履修年次は２年生 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255022	子どもと言葉	2	3		2	青　木　文　美	各30	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255024	子どもと生活	2	3		1	岡　田　泰　枝	60	1	
	255020	子どもと音楽	2	3	2		松　下　伸　也	各30	1	
	255021	子どもと造形	2	3	2		山　本　和　久	各30	1	
	254116	子どもと数・図形	2	4	1		齊　藤　公　彦	20 （抽選）	1	
	255014	音楽基礎技能Ⅰ	1	1	2		松　下　伸　也 浅　田　美　穂 村　上　由　紀 村　瀬　　香	各30	1	
	255015	音楽基礎技能Ⅱ	1	1		2	松　下　伸　也 浅　田　美　穂 村　上　由　紀 村　瀬　　香	各30	1	
	254117	音楽基礎技能Ⅲ	1	3		1	松　下　伸　也	24 （抽選）	1	
	254118	音楽基礎技能Ⅳ	1	4	1		松　下　伸　也	24 （抽選）	1	
	254119	造形基礎技能Ⅰ	1	1	1	1	山　本　和　久 寺　田　鉄　平	各30	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	254120	造形基礎技能Ⅱ	1	1	1	1	山　本　和　久 寺　田　鉄　平	各30	1	
	254121	体育基礎技能Ⅰ	1	1	集2		巣　立　隆　宏	各30	1	副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	254122	体育基礎技能Ⅱ	1	1		集2	巣　立　隆　宏	各30	1	
	254127	教育実習指導Ⅰ	2	2	1		古　川　洋　子 大　宮　摂　子 杉　山　　和	60	1	
	255060	教育実習Ⅰ	2	2		1	青　木　文　美 古　川　洋　子 杉　山　　和	60	1	
	255048	教育実習Ⅱ	2	4	1		青　木　文　美 古　川　洋　子 杉　山　　和	60	1	
	255019	絵本論	2	1 3		1	青　木　文　美	30	1	2024年度以降入学者の履修年次は３年生 2023年度以前入学者の履修年次は１年生 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目 副専攻プログラム「子ども福祉」履修者のみ履修可
	255018	児童文学	2	4	1		青　木　文　美	60	1	受入人数10名まで 副専攻プログラム「子ども福祉」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
交流文化学科	267002	日本語教育入門	2	1	1	1	中林律子	各100（抽選）	1	全学共通履修科目の「日本語教育入門」の単位を修得済み学生は履修不可 交流文化学部の「日本語教育入門」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は[日本語教育科目]に単位が算入される 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認する
	267003	日本語学１	2	1･2	1		松岡みゆき	100（抽選）	1	全学共通履修科目の「日本語学Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 交流文化学部の「日本語学1」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は[日本語教育科目]に単位が算入される	
	267004	日本語学２	2	1･2		1	松岡みゆき	100（抽選）	1	全学共通履修科目の「日本語学Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 交流文化学部の「日本語学２」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は[日本語教育科目]に単位が算入される	
	267201	日本語教授法１	2	1･2		1	村瀬由佳	30（抽選）	1	2023年度以前入学者履修不可 １年次前期は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認する
	267203	言語学入門	2	1		1	太田浩司 大野清幸 中林律子 柳朱燕	100（抽選）	1	オムニバス科目 2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可	
	266014	言語文化１（英語学概論）	2	1	1	1	大野清幸	各100（抽選）	1	交流文化学部の「言語文化１（英語学概論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	266028	コミュニケーション論１ （コミュニケーション論入門）	2	1	1	1	太田浩司	各100（抽選）	1	交流文化学部の「コミュニケーション論１（コミュニケーション概論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267204	心理学	2	1	1	1	青柳眞紀子	各100（抽選）	10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267014	地域文化１（日本）	2	1･2	1		西川千雅 IRENE 香川絢子 竹内詩織 龍頭聡	100（抽選）	10	オムニバス科目 交流文化学部の「地域文化１（日本）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267015	地域文化２（東南アジア）	2	1･2		1	二文字屋脩	100（抽選）	10	交流文化学部の「地域文化２（東南アジア）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	261503	地域文化３（中国）	2	1･2	1	1	杜英起	各100（抽選）	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267016	地域文化４（韓国・朝鮮）	2	1･2	1 1	1 1	柳朱燕 金昂京	各100（抽選）	1	交流文化学部の「地域文化４（韓国･朝鮮）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	266045	地域文化７（北米）	2	1·2		1	太田浩司	100（抽選）	1	交流文化学部の「地域文化７（北米）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267205	地域文化10（アフリカ）	2	1·2		1	島津侑希	100（抽選）	10	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267021	地域文化12（文化と思想）	2	1·2	1	1	藤井真湖	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 交流文化学部の「地域文化12（文化と思想）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266048	歴史学１（日本史）	2	1·2	1	1	朝井佐智子	各100（抽選）	1	交流文化学部の「歴史学１（日本史）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266049	歴史学２（世界史）	2	1·2		1	藤井真湖	100（抽選）	1	交流文化学部の「歴史学２（世界史）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267206	交流文化１（国際交流入門）	2	1·2		1	杉本一直 江嵜那留穂 佐藤規祥 島津侑希 中村真里絵 二文字屋脩 藤井真湖	100（抽選）	10	オムニバス科目 2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	266070	交流文化２（国際関係入門）	2	1·2	1	1	若松孝司	各100（抽選）	10	交流文化学部の「交流文化１（国際関係入門）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267027	交流文化３（国際理解教育）	2	1·2	1	1	島津侑希	各100（抽選）	10	交流文化学部の「交流文化９（国際理解教育）」または「交流文化２（国際理解教育）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267207	交流文化９（文化人類学）	2	1·2	1		二文字屋脩	100（抽選）	10	2023年度以前入学者履修不可
	266056	地域理解１（くらしと法律）	2	1·2		1	小宮千歩	100（抽選）	10	交流文化学部の「地域理解１（くらしと法律）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266057	地域理解２（政治のしくみ）	2	1·2	1	1	西尾林太郎	各100（抽選）	10	交流文化学部の「地域理解２（政治のしくみ）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266058	地域理解３（人と社会）	2	1·2	1	1	石橋康正	各100（抽選）	10	交流文化学部の「地域理解３（人と社会）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267037	地域理解４（経済学）	2	1·2	1	1	土井康裕	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267208	観光産業１（観光学入門）	2	1·2		1	林大策 大堀一至 野口洋平 信川景子 前島訓子	100（抽選）	10	オムニバス科目 副専攻プログラム「交流文化」対象科目 2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267039	観光産業９（観光マネジメント論）	2	1·2	1	1	野口洋平	各100（抽選）	10	交流文化学部の「観光産業１（観光マネジメント）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266098	地理学	2	1·2	1	1	山本晴奈	各100（抽選）	1	交流文化学部の「地理学」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266091	観光文化１（観光文化論）	2	1·2	1	1	谷沢明	各100（抽選）	10	交流文化学部の「観光文化１（観光文化論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267047	観光文化２（観光交流論）	2	1･2	1	1	林　大策	各100（抽選）	10	交流文化学部の「観光産業２（観光交流論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266097	フィールドワーク論	2	1･2		1	二文字屋　脩	100（抽選）	10	交流文化学部の「フィールドワーク論」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267052	民俗学	2	1･2	1	1	谷沢　明	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267053	世界遺産論（初級）	2	1･2	1	1	外部講師　※3	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可
	267055	EBS1（Basic Grammar 1）	2	1	1 1 2 2		太田浩司 石河敦子 GOTOH Mie 城山良子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「EBS1（ベーシック･イングリッシュ①）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267056	EBS2（Basic Grammar 2）	2	1		1 2 2	石河敦子 GOTOH Mie 城山良子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「EBS2（ベーシック･イングリッシュ②）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267057	EBS3（Extensive Reading 1）	2	1	2		石河敦子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「EBS3（多読①）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267058	EBS4（Extensive Reading 2）	2	1		2	石河敦子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「EBS4（多読②）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267059	ELS1（Basic Writing）	2	1	2 2	 1 2	TOFF Mika 浅田秀子 太田浩司 杉浦エレナ	各20（抽選）	1	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267060	ELS2（Pronunciation）	2	1･2		1	中郷　慶	60（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267068	ECS1（Basic English Communication 1）	2	1	1 2 1 1 1		矢野　郁 杉浦エレナ BOWDEN Matthew HSU Linda MURRAY Aya	各20（抽選）	1	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267069	ECS2（Basic English Communication 2）	2	1		1 1 2 1	杉浦エレナ BOWDEN Matthew HSU Linda MURRAY Aya	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	262201	CLS1（中国語入門①）	4	1	1 3 1 1 3	 1 1 	馮　富榮 王　俊 高　飛 蘇　雪蓮 チョウ　ケイニ	各20（抽選）	5	週２回の授業 交流文化学部専門科目「長期海外セミナー中国語」のいずれかを単位修得している学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	262202	CLS2（中国語入門②）	4	1	1	1 3 1 1 3	馮　富榮 王　俊 高　飛 蘇　雪蓮 チョウ　ケイニ	各20（抽選）	5	週２回の授業 副専攻プログラム「交流文化」対象科目

※3 世界遺産アカデミー

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	262203	CLS3（中国語読解①）	2	1	1 1 1	 2 1 	何　龍 袁　莉　萍 徐　春　陽 中　塚　亮	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「中国語読解1A」単位取得者は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目（2024年度以降入学者のみ）
	262204	CLS4（中国語読解②）	2	1	 1 	1 1 1	何　龍 周　素　芬 徐　春　陽 張　静　萱	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目（2024年度以降入学者のみ） 全学共通履修科目の「中国語読解２」は履修不可（2018年度以前入学者）
	262205	CLS5（中国語読解③）	2	1･2	1 2	 1 	高　飛 蘇　雪　蓮 張　勤	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目（2019～2023年度入学者のみ）
	267085	CLS7（中国語作文）	2	1･2	2	2	杜　英　起	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目（2019～2023年度入学者のみ）
	262213	CCS1（中国語会話①）	2	1	1 3 1	 2 1 	高　飛 杜　英　起 周　素　芬 ＭＡＹＩＬＡ	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「中国語会話1A」単位取得者は履修不可
	262214	CCS2（中国語会話②）	2	1	 1	1 1 3	杜　英　起 高　飛 周　素　芬	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「中国語会話２」単位取得者は履修不可
	267090	CCS3（実践的中国語①）	4	1･2	2 1 2	 1 	高　飛 蘇　雪　蓮 チョウ　ケイニ 董　梅　香	各20（抽選）	5	交流文化学部の「CCS3（実践的中国語①）」単位取得者は履修不可 週２回の授業 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267092	CCS5（動画中国語①）	2	1･2	4	1	何　龍	各20（抽選）	5	交流文化学部の「CCS7（動画中国語①）」単位取得者は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267209	HSK２級対策講座	2	1-4	 1 	1 1 1 2	高　飛 張　静　萱 董　梅　香 ＭＡＹＩＬＡ	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK２級対策講座」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が半年以上の学生対象。
	267210	HSK３級対策講座	2	1-4	2 1	 1 	蘇　雪　蓮 張　静　萱 董　梅　香	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK３級対策講座」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が一年以上の学生対象。
	267211	HSK４級対策講座	2	1-4	1 	 1 1	蘇　雪　蓮 王　麗　英 馬　麗　梅	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK４級対策講座」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が一年以上の学生対象。
	267212	HSK４級実践トレーニング	2	1-4	1 	 1 1	蘇　雪　蓮 王　麗　英 馬　麗　梅	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK４級実践トレーニング」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が一年以上の学生対象。
	267213	HSK５級対策講座	2	1-4	1 1	1 	華　イ 馬　麗　梅	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK５級対策講座」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が一年以上の学生対象。
	267214	HSK５級実践トレーニング	2	1-4	1 1	1 	華　イ 馬　麗　梅	各20（抽選）	5	2018年以前入学者履修不可 全学共通科目の「HSK４級実践トレーニング」単位取得者は履修不可 中国語学習歴が一年以上の学生対象。

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備考	
交流文化学科	267239	長期海外セミナー中国語１（後期）	10	1		集1	馮　富　榮 何　龍	20	5	・履修登録は「長期海外セミナー中国語１（後期）」、「長期海外セミナー中国語２（後期）」同時に履修する。 ・最大半年の延長が可能。ただし、延長した場合は、同じレベルのクラスを再度履修することはできず、上（次）のクラスを履修しなければならない。	2024年度以降入学者対象 【履修条件】 長期海外セミナー中国語の履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し、手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・GPA（通算）2.3以上。 １年生の場合は面接試験の結果にゆだねる。 ・演習などの必修科目や資格関連の科目は本学で履修をしなければならない。 他学部他学科開放科目として履修をする学生は、特に注意を要する。 長期海外セミナーに参加することにより、単位修得不足で卒業不認定の可能性があることを留意して参加する。 詳しくはガイダンスで確認する。
	267240	長期海外セミナー中国語２（後期）	10	1		集1	馮　富　榮 何　龍	20	5		
	267243	長期海外セミナー韓国・朝鮮語１（後期）	10	1		集1	チョ　スルソップ	15	5	・履修登録は「長期海外セミナー韓国・朝鮮語１（後期）」、「長期海外セミナー韓国・朝鮮語２（後期）」同時に履修する。 ・最大半年の延長が可能。ただし、延長した場合は、梨花女子大学では同じレベルのクラスを再度履修することはできず、上（次）のクラスを履修しなければならない。	2024年度以降入学者対象 【履修条件】 長期海外セミナー韓国・朝鮮語の履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し、手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・GPA（通算）2.3以上。 １年生の場合は面接試験の結果にゆだねる。 ・演習などの必修科目や資格関連の科目は本学で履修をしなければならない。 他学部他学科開放科目として履修をする学生は、特に注意を要する。 長期海外セミナーに参加することにより、単位修得不足で卒業不認定の可能性があることを留意して参加する。 詳しくはガイダンスで確認する。
	267244	長期海外セミナー韓国・朝鮮語２（後期）	10	1		集1	チョ　スルソップ	15	5		
	267101	KBS1（韓国・朝鮮語入門A）	4	1	1 2 1 2 2	 1 1 1	チョ　スルソップ 金　恩　貞 金　昂　京 金　文　姫 柳　朱　燕	各20（抽選）	5	週２回の授業 全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語入門」の単位修得者は履修不可	
	267102	KBS2（韓国・朝鮮語入門B）	2	1	2 1	2 1	金　奈　淑 宮　本　桃　子	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267103	KBS3（映像と韓国語）	2	1	2 1	2 1	李　正　子 金　恩　貞	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目	

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
交流文化学科	267104	KLS1（韓国・朝鮮語読解①）	2	1	1 1	1 1 1 1	チョ　スルソップ 李　京　姫 姜　信　和 金　文　姫	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語読解１」の単位修得者は履修不可	
	267105	KLS2（韓国・朝鮮語読解②）	2	1・2	1 1 1	1 1	李　京　姫 金　文　姫 姜　信　和	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語読解２」の単位修得者は履修不可	
	267106	KLS3（韓国・朝鮮語読解③）	2	1・2	1	1 1	李　京　姫 金　文　姫 姜　信　和	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語読解３」の単位修得者は履修不可	
	267115	KCS1（韓国・朝鮮語会話①）	2	1	1 1	1 1 1 1	柳　朱　燕 李　芝　賢 金　三　淑 金　由　那	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語会話１」の単位修得者は履修不可	
	267116	KCS2（韓国・朝鮮語会話②）	2	1・2	1 1 1	1 1	柳　朱　燕 李　芝　賢 金　三　淑 金　由　那	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語会話２」の単位修得者は履修不可	
	267117	KCS3（韓国・朝鮮語会話③）	2	1・2	1	1 1	李　芝　賢 金　三　淑 金　由　那	各20（抽選）	5	全学共通履修科目の「韓国・朝鮮語会話３」の単位修得者は履修不可	
	267215	TOPIK Ⅰ対策１（読解）	2	1	1 1 1	1 1 1	金　文　姫 李　承　鉉 加藤麻衣子 宮本桃子	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 全学共通科目の「韓国語能力試験対策１」単位取得者は履修不可	
	267216	TOPIK Ⅰ対策２（聞取り）	2	1・2	1 1 1	1 1 1	金　文　姫 李　承　鉉 加藤麻衣子 宮本桃子	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 全学共通科目の「韓国語能力試験対策２単位取得者は履修不可	
	267126	TOPIKⅡ対策１（読解）	2	1・2	1 2	1 1	柳　朱　燕 金　文　姫 鄭　在　恩 キム　ソヨン	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可	
	267218	ロシア語A	2	1・2	1	1	水野晶子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「RBS（ロシア語入門）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	2023年度以前入学者週２回授業 267130「RBS（ロシア語入門）」読替（履修を希望する学生は、読替先科目とし「ロシア語A」、「ロシア語B」を同時履修する）
	267219	ロシア語B	2	1・2	1	1	水野晶子	各20（抽選）	5	交流文化学部の「RBS（ロシア語入門）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	2023年度以前入学者週２回授業 267130「RBS（ロシア語入門）」読替（履修を希望する学生は、読替先科目とし「ロシア語A」、「ロシア語B」を同時履修する）

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267137	タイ語A	2	1･2	1	1	村瀬ユワラック	各20（抽選）	5	交流文化学部の「タイ語入門」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267220	タイ語B	2	1･2	1	1	村瀬ユワラック	各20（抽選）	5	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267138	ベトナム語A	2	1･2	1	1	NGUYEN Thanh Tam	各20（抽選）	5	交流文化学部の「ベトナム語入門」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267221	ベトナム語B	2	1･2	1	1	NGUYEN Thanh Tam	各20（抽選）	5	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267139	モンゴル語A	2	1･2	1	1	KHORLOO Nyambayar	各20（抽選）	5	交流文化学部の「モンゴル語入門」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267222	モンゴル語B	2	1･2	1	1	KHORLOO Nyambayar	各20（抽選）	5	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267223	インドネシア語A	2	1･2	1	1	YULIA Windarti	各20（抽選）	5	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267224	インドネシア語B	2	1･2	1	1	YULIA Windarti	各20（抽選）	5	2023年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	263101	英語海外研修	4	1･2	集1		ＴＯＦＦ　Ｍｉｋａ	各15（抽選）	10	履修を認められた者の履修登録は教学事務室が行うので各自での登録は不要 原則取消不可
	263102	中国語海外研修	4	1･2	集1		杜　英　起 何　龍	30	10	履修を認められた者の履修登録は教学事務室が行うので各自での登録は不要 原則取消不可
	267140	英語国内研修	2	1･2		集1	矢　野　郁	15（抽選）	10	隔年開講:偶数の年 演習などの必修科目を履修中または修得済みであること。他学部他学科開放科目として履修をする学生は、特に注意を要する。
	264001	基礎演習	2	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		太　田　浩　司 大　野　清　幸 何　龍 チョ　スルソップ 杜　英　起 ＴＯＦＦ　Ｍｉｋａ 中　林　律　子 馮　富　榮 矢　野　郁 柳　朱　燕	定員あり	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		江　嵜　那　留　穂 大　堀　一　至 島　津　侑　希 杉　本　一　直 中　村　真　里　絵 二　文　字　屋　脩 野　口　洋　平 信　川　景　子 藤　井　真　湖 林　大　策 前　島　訓　子 若　松　孝　司			

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267185	交流文化概論	2	1	1		山本裕子 大野清幸 李正子 太田浩司 チョ スルソップ 杜英起 TOFF Mika 董梅香 馮富榮 矢野郁 柳朱燕	定員あり	1	オムニバス科目 副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
					1		杉本一直 江嵜那留穂 大堀一至 佐藤規祥 島津侑希 二文字屋脩 野口洋平 信川景子 林大策 藤井真湖 前島訓子 若松孝司			
	267001	ケーススタディ言語13 （英語教育実践）	2	2･3	集1		北原延晃	25	5	
	267005	日本語教材研究	2	2		1	梶川しのぶ	30 （抽選）	1	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267006	日本語教授法１	2	2	2	1	田中典子	各20 （抽選）	1	2024年度以降入学者履修不可 全学共通履修科目の「日本語教授法Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 交流文化学部の「日本語教授法１」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は［日本語教育科目］に単位が算入される 副専攻プログラム「交流文化」対象科目 日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認すること

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備考	
交流文化学科	267007	日本語教授法２	2	2・3	1	2	鈴木かおり	各20（抽選）	1	2024年度以降入学者履修不可 交流文化学部の「日本語教授法１」の単位を修得した学生のみ履修可 全学共通履修科目の「日本語教授法Ⅱ」の単位を修得済み学生は履修不可 交流文化学部の「日本語教授法２」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は［日本語教育科目］に単位が算入される 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認する
	267008	日本語教授法３	2	3	1 1	1	中林律子 山本裕子	各15（抽選）	1	2024年度以降入学者履修不可 「日本語教授法１」、「日本語教授法２」の単位を修得または「日本語教授法２」を同時履修の学生で選考を通った学生のみ履修可 全学共通履修科目の「日本語教授法Ⅲ」の単位を修得済み学生は履修不可 2010～2015年度入学者が単位修得した場合は［日本語教育科目］に単位が算入される 留学生別科生履修不可	日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認する
	266015	言語文化２（言語の形式）	2	2・3	1		中川直志	100（抽選）	10	交流文化学部の「言語文化２（言語の形式）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	266016	言語文化３（言語の意味）	2	2・3		1	中川直志	100（抽選）	10	交流文化学部の「言語文化３（言語の意味）」の単位を修得済み学生は履修不可	
	266017	言語文化４（言語の習得）	2	2・3	1	1	大野清幸	100（抽選）	10	交流文化学部の「言語文化４（言語の習得）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267009	言語文化５（第２言語習得論）	2	2・3	1		柳朱燕	100（抽選）	1	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	267186	言語文化６（言語と談話）	2	2・3	1		松繁弘之	100（抽選）	1	交流文化学部の「言語文化６（言語と談話）」の単位を修得済み学生は履修不可 2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	266021	英文学	2	2・3	1	1	子安惠子	各100（抽選）	1	交流文化学部の「英文学」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	266022	英文学史	2	2・3	1	1	子安惠子	各100（抽選）	10	交流文化学部の「英文学史」の単位を修得済み学生は履修不可	
	261211	中国現代文学	2	2・3	1	1	河井昭乃	各100（抽選）	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目	
	261212	中国文学史	2	2・3		1	チョ　スルソップ	100（抽選）	10		
	267010	韓国・朝鮮文学	2	2・3		1	チョ　スルソップ	100（抽選）	1	交流文化学部の「韓国・朝鮮文学」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目	

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267011	コミュニケーション論２（ことばとコミュニケーション）	2	2	1	1	野口朋香	各100（抽選）	10	交流文化学部の「コミュニケーション論２（ことばとコミュニケーション）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267012	コミュニケーション論３（ノンバーバル）	2	2	1		野口朋香	100（抽選）	10	交流文化学部の「コミュニケーション論３（ノンバーバル）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267013	コミュニケーション論４（インター・カルチャー）	2	3·4	1	1	半井尚美	各100（抽選）	10	交流文化学部の「コミュニケーション論６（インター・カルチャー）」の単位を修得済み学生は履修不可
	266046	地域文化８（オーストラリア）	2	2·3		1	KOBAYASHI Kenichiro	100（抽選）	1	交流文化学部の「地域文化８（オーストラリア）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267019	地域文化９（中東史）	2	2·3	1	1	古川桂	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267020	地域文化11（文化と宗教）	2	2·3		1	前島訓子	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267022	地域文化12（食文化）	2	2·3		1	野田雅子	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267023	歴史学３（アジア史）	2	2·3		1	二文字屋脩	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267024	歴史学４（欧米現代史）	2	2·3		1	若松孝司	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267026	歴史学５（日本政治外交史）	2	2·3		1	西尾林太郎	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267028	交流文化４（多文化共生）	2	2·3		1	江嵜那留穂	100（抽選）	10	交流文化学部の「交流文化５（多文化共生）」または「交流文化４（多文化共生）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267029	交流文化５（南北問題）	2	2·3	1		若松孝司	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267030	交流文化６（国際機構）	2	2·3		1	若松孝司	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267031	交流文化７（国際協力）	2	2·3		1	江嵜那留穂	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267032	交流文化７（国際法）	2	2·3	1	1	三枝有	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267033	交流文化８（エスニシティ論）	2	2·3	1	1	藤井真湖	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267034	交流文化９（東アジア国際関係論）	2	2·3	1	1	中村真里絵	各100（抽選）	1	2024年度以降入学者履修不可 交流文化学部の「東アジア国際関係論」の単位を修得済みの学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267035	交流文化10（国際政治経済事情）	2	2·3	1	1	伊藤カンナ	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267038	地域理解５（NPO/NGO）	2	2·3	1	1	中村真里絵	各100（抽選）	10	交流文化学部の「交流文化４（NPO/NGO）」または「交流文化３（NPO/NGO）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267040	観光産業２（観光ビジネス論）	2	2·3		1	信川景子	100（抽選）	10	交流文化学部の「観光文化３（観光ビジネス論）」または「観光産業３（観光ビジネス論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267041	観光産業３（ツーリズム論）	2	2·3	1	1	野口洋平	各100（抽選）	10	交流文化学部の「観光文化４（ツーリズム論）」または「観光産業４（ツーリズム論）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267042	観光産業４（観光産業論）	2	2･3	1		大　堀　一　至	100（抽選）	10	交流文化学部の「観光産業６（観光産業論）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267043	観光産業５（観光政策論）	2	2･3		1	内　田　克　哉	100（抽選）	10	交流文化学部の「観光文化６（観光政策論）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267044	観光産業６（観光マーケティング論）	2	2･3	1	1	野　口　洋　平	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可
	267045	観光産業７（旅行業務論）	2	2･3		1	大　堀　一　至	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可
	267046	観光産業８（リスクマネジメント論）	2	2･3	1	1	吉　村　伸　一	各100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可
	267048	観光文化３（観光社会学）	2	2･3	1	1	前　島　訓　子	各100（抽選）	10	交流文化学部の「観光文化４（観光社会学）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267049	観光文化４（ホスピタリティ論）	2	2･3	1	2	信　川　景　子	各100（抽選）	10	交流文化学部のは「観光文化３（ホスピタリティ論）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267050	観光文化５（コミュニティデザイン）	2	2･3	1		湊　谷　　彩 外部講師　※４	100（抽選）	10	オムニバス科目 2018年度以前入学者履修不可
	267051	観光文化６（観光まちづくり論）	2	2･3		1	林　　大　策	100（抽選）	10	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266090	通訳ガイド入門	2	2･3	1	1	村　田　久　美　子	各100（抽選）	10	交流文化学部の「通訳ガイド入門」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	266099	地誌学	2	2･3	1	1	山　本　晴　奈	各100（抽選）	1	交流文化学部の「地誌学」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267054	世界遺産論（中級）	2	2･3	1	1	外部講師　※３	各100（抽選）	10	2015年度以前入学者履修不可
	267061	ELS3（Current English 1）	2	2	2		大　門　樹　久　世	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267062	ELS4（Current English 2）	2	2		2	大　門　樹　久　世	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267063	ELS5（Creative Writing）	2	2	1		前　澤　大　樹	24（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267064	ELS6（Speed Reading）	2	2		2	日　沖　直　子	30（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267065	ケーススタディ言語４ （Life Writing）	2	2･3	1	1	ＴＯＦＦ　Ｍｉｋａ	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ライフライティング」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267066	ELS7（Business Writing）	2	3		1	ＴＯＦＦ　Ｍｉｋａ	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267070	ECS3（Content Based Communication 1）	2	2	1 1 2		GALLACHER Iain S. 杉　浦　エ　レ　ナ ROBINS Anthony C.	各20（抽選）	5	交流文化学部の「ECS3（インタラクション③　現代文化）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267071	ECS4（Content Based Communication 2）	2	2		2 2	GALLACHER Iain S. ROBINS Anthony C.	各20（抽選）	5	交流文化学部の「ECS4（インタラクション④　世界文化）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267072	ECS5（Oral Interpretation）	2	2	1		MURRAY Aya	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267073	ECS6（Readers Theater）	2	2		1	MURRAY Aya	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目

※３ 世界遺産アカデミー　※４ ナゴノダナバンク

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267074	ECS7（Presentation 1）	2	2	2		HSU Linda	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267075	ECS8（Presentation 2）	2	2		2	HSU Linda	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267076	ECS9（Dramatic Expression 1）	2	2･3	1		矢野　郁	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267077	ECS10（Dramatic Expression 2）	2	2･3		1	矢野　郁	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267078	ECS11（Interpretation 1）	2	3	1		松見誌野	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267079	ECS12（Interpretation 2）	2	3		1	松見誌野	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267080	ECS13（Translation 1）	2	3	1		亀山太一	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267081	ECS14（Translation 2）	2	3		1	亀山太一	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267084	ECS15（Script Writing）	2	3		1	矢野　郁	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	262206	CLS6（中国語読解④）	2	2		1 2	高　飛 張　勤	各20（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267086	CLS8（中国語翻訳）	2	2	1	1	董梅香 王　俊 チョウ ケイニ	各20（抽選）	5	オムニバス科目 2018年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267087	CLS8（ビジネス中国語）	2	3	2		金謙樹	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267088	CLS10（ビジネス中国語②）	2	3		1	金謙樹	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可
	267089	CLS11（中国語多読）	2	3	1	1	馮富榮 何　龍 高　飛	各20（抽選）	5	オムニバス科目 2018年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可
	267091	CCS4（実践的中国語②）	4	2		2 1 2	高　飛 チョウ ケイニ 董梅香	各20（抽選）	5	交流文化学部の「CCS4（実践的中国語②）」単位取得者は履修不可 週２回の授業 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267093	CCS6（動画中国語②）	2	2		4	何　龍	各20（抽選）	5	交流文化学部の「CCS8（動画中国語②）」単位取得者は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267094	CCS7（実践的中国語③）	4	2･3	2 1	 	何　龍 張静萱 青山愛	各20（抽選）	5	週２回の授業 2015年度以前入学者履修不可
	267095	CCS8（実践的中国語④）	4	3	 	2 1	何　龍 張静萱 青山愛	各20（抽選）	5	週２回の授業 2015年度以前入学者履修不可
	267096	CCS9（動画中国語③）	2	2･3	3		杜英起	各20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267097	CCS10（動画中国語④）	2	3		3	杜英起	各20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267098	CCS11（中国語プレゼンテーション）	2	2･3	1 2	 1	徐春陽 金謙樹	各20（抽選）	1	2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267099	CCS12（中国語プレゼンテーション②）	2	3		1	徐春陽	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可
	267100	CCS13（トピック中国語）	2	3	1	1	曹志偉	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 2024年度以降入学者履修不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267107	KLS4（韓国・朝鮮語作文①）	2	2	1 1		李　孝心 金　文姫	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS4（韓国･朝鮮語作文①）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267108	KLS5（韓国・朝鮮語作文②）	2	2		1 1	李　孝心 金　文姫	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS5（韓国･朝鮮語作文②）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267109	KLS6（韓国・朝鮮語翻訳①）	2	2･3	2		三重野聖愛	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS6（韓国･朝鮮語翻訳①）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可
	267110	KLS7（韓国・朝鮮語翻訳②）	2	2･3		2	三重野聖愛	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS7（韓国･朝鮮語翻訳②）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可
	267111	KLS8（韓国・朝鮮語作文③）	2	3	1		李　承鉉	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267112	KLS9（韓国・朝鮮語作文④）	2	3		1	李　承鉉	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267113	KLS10（韓国・朝鮮語通訳①）	2	3･4	1		金　美淑	20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS6（韓国･朝鮮語通訳①）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267114	KLS11（韓国・朝鮮語通訳②）	2	3･4		1	金　美淑	20（抽選）	5	交流文化学部の「KLS7（韓国･朝鮮語通訳②）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267118	KCS4（韓国・朝鮮語聴解①）	2	2	1 1		金　恩貞 金　芝恵	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KCS4（韓国･朝鮮語聴解①）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267119	KCS5（韓国・朝鮮語聴解②）	2	2		1 1	金　恩貞 金　芝恵	各20（抽選）	5	交流文化学部の「KCS5（韓国･朝鮮語聴解②）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267120	KCS6 （韓国･朝鮮語プレゼンテーション①）	2	2･3	1		金　芝恵	20（抽選）	5	交流文化学部の「KCS6（韓国･朝鮮語プレゼンテーション①）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267121	KCS7 （韓国･朝鮮語プレゼンテーション②）	2	2･3		1	金　芝恵	20（抽選）	5	交流文化学部の「KCS7（韓国･朝鮮語プレゼンテーション②）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267122	KCS8（韓国・朝鮮語聴解③）	2	3	1		金　美淑	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267123	KCS9（韓国・朝鮮語聴解④）	2	3		1	金　美淑	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267124	KCS10 （韓国･朝鮮語ディスカッション①）	2	3･4	1		李　孝心	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267125	KCS11 （韓国･朝鮮語ディスカッション②）	2	3･4		1	李　孝心	20（抽選）	5	2015年度以前入学者履修不可
	267127	TOPIKⅡ対策２（聞取り）	2	2	1	1	キム　ソヨン	各20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267217	TOPIKⅡ対策３（作文）	2	2	1	1	鄭　在恩	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267128	韓国・朝鮮語通訳案内士試験対策１	2	3	1		金　奈淑	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可
	267129	韓国・朝鮮語通訳案内士試験対策２	2	3		1	金　奈淑	20（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備考
交流文化学科	267131	RLS1（ロシア語読解）	2	1		1	佐藤規祥	20（抽選）	5	交流文化学部の「RLS1（ロシア語読解）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267132	RLS2（ロシア語作文）	2	2	1		水野晶子	20（抽選）	5	交流文化学部の「RLS2（ロシア語作文）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267133	RLS3（ロシア語翻訳）	2	2		1	杉本一直	20（抽選）	5	交流文化学部の「RLS3（ロシア語翻訳）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267134	RCS1（ロシア語会話）	2	1		1	水野晶子	20（抽選）	5	交流文化学部の「RCS1（ロシア語会話）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	263101	英語海外研修	4	1・2	集1		TOFF Mika	15	10	履修を認められた者の履修登録は教学事務室が行うので各自での登録は不要 原則取消不可
	267143	日本語教育実習	2	3・4	集1		中林律子 鈴木かおり	定員あり	1	2015年度以前入学者履修不可 留学生別科生履修不可 「日本語教授法４」の単位を修得または同時履修した学生で選考を通った学生のみ履修可選考を通った学生のみ履修可 日本語教師資格課程必修科目 詳細は交流文化学部履修要覧「履修上の注意」を確認する
						集1	中林律子 鈴木かおり			
					集1		山本裕子			
	267147	ケーススタディ言語１（コーパス言語学）	2	2・3	1	1	山内昇	各24（抽選）	5	交流文化学部の「コンピュータ応用５（コーパス言語学）」または「ケーススタディ言語１（コーパス言語学）の単位を修得済み学生は履修不可
	267148	ケーススタディ言語２（字幕翻訳）	2	2・3	1	1	亀山太一	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ12（字幕翻訳）」または「ケーススタディ言語２（字幕翻訳）」の単位を修得済み学生は履修不可
	267149	ケーススタディ言語３（英語学）	2	2・3		1	大野清幸	24（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ言語３（英語学）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可
	267151	ケーススタディ言語５（中国語メディア制作研究）	2	2・3	1	1	何龍	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ言語４（中国メディア制作研究）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267152	ケーススタディ言語６（中国語観光案内実践）	2	2・3	集1		馮富榮	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ言語５（中国観光案内実践）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
						集1	何龍			
	267153	ケーススタディ言語７（中国語文化翻訳）	2	2・3	1	1	董紅俊	各25（抽選）	5	2018年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267154	ケーススタディ言語８（韓国・朝鮮語と社会）	2	2・3	2	2	柳朱燕	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ言語６（韓国・朝鮮語と社会）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
					1	1	金昴京			
	267155	ケーススタディ言語９（韓国・朝鮮語文化翻訳）	2	2・3	1	1	三重野聖愛	各25（抽選）	5	交流文化学部の「文化翻訳３（韓国・朝鮮語）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「交流文化」対象科目
	267156	ケーススタディ言語11（日本語学）	2	2・3	1	1	杉村泰	各25（抽選）	5	交流文化学部の「ケーススタディ言語７（日本語）」の単位を修得済み学生は履修不可 2015年度以前入学者履修不可

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	267161	ケーススタディ交流２（アジア事情研究）	2	2･3	1	1	中村真里絵	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267162	ケーススタディ交流３（ヨーロッパ事情研究）	2	2･3	1	1	藤井たぎる	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267164	ケーススタディ交流５（社会調査法）	2	2･3	1	1	松本明日香	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267167	ケーススタディ交流８（イベントプランニング）	2	2･3	1	1	北村政智	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267177	ケーススタディ観光１（国内観光ツアープランニング）	2	2･3	1 2	 2	大堀一至 外部講師　※1	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267178	ケーススタディ観光２（海外観光ツアープランニング）	2	2･3	2	2	安田幹司	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267179	ケーススタディ観光３（観光資源研究）	2	2･3	1	1	前島訓子	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267180	ケーススタディ観光４（観光メディア）	2	2･3	1	1	林大策	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267181	ケーススタディ観光５（ブライダル）	2	2･3	1	1	加藤里奈	各25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	267184	ケーススタディ観光９（観光セールス）	2	2･3		1	大堀一至	25（抽選）	5	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可

※1 名鉄観光

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
交流文化学科	263108	長期海外セミナー韓国・朝鮮語１（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ	15	5	2019年度～2023年度入学者対象 【履修条件】 長期海外セミナー韓国・朝鮮語の履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し、手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・GPA（通算）2.3以上。１年生の場合は面接試験の結果にゆだねる。 ・「韓国・朝鮮語入門」、「韓国・朝鮮語読解１」、「韓国・朝鮮語会話１」のうち１科目以上を履修中または修得済みであるか「韓国語能力試験TOPIK１級以上」、「ハングル能力検定試験４級以上」のいずれかを取得済みである。 ・演習などの必修科目や資格関連の科目は本学で履修をしなければならない。他学部他学科開放科目として履修をする学生は、特に注意を要する。長期海外セミナーに参加することにより、単位修得不足で卒業不認定の可能性があることを留意して参加する。詳しくはガイダンスで確認する。 【修得した単位の扱い】 長期海外セミナーの単位を修得した学生は、対応する右の科目の単位を未修得の場合、単位を満たしたこととみなす。つまり、対応科目を再度履修することはできない。また、未修得の対応科目に該当する長期海外セミナーのみに単位が与えられる。つまり、既修得の対応科目に該当する長期海外セミナーの単位は与えられない。	KLS4（韓国・朝鮮語作文①）（科目番号267107）
	263109	長期海外セミナー韓国・朝鮮語２（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KCS4（韓国・朝鮮語聴解①）（科目番号267118）
	263110	長期海外セミナー韓国・朝鮮語３（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KLS6（韓国・朝鮮語翻訳①）（科目番号267109）
	263111	長期海外セミナー韓国・朝鮮語４（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KCS6（韓国・朝鮮語プレゼンテーション①）（科目番号267120）
	263112	長期海外セミナー韓国・朝鮮語５（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KLS8（韓国・朝鮮語作文③）（科目番号267111）
	263113	長期海外セミナー韓国・朝鮮語６（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KCS8（韓国・朝鮮語聴解③）（科目番号267122）
	263114	長期海外セミナー韓国・朝鮮語７（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KLS10（韓国・朝鮮語通訳①）（科目番号267113）
	263115	長期海外セミナー韓国・朝鮮語８（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		KCS10（韓国・朝鮮語ディスカッション①）（科目番号267124）
	263116	長期海外セミナー韓国・朝鮮語９（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		交流文化９（東アジア国際関係論）（科目番号267034）
	263117	長期海外セミナー韓国・朝鮮語10（前期）	2	2	集1		チョ　スルソップ		5		ケーススタディ言語８（韓国・朝鮮語と社会）（科目番号267154）
	263118	長期海外セミナー韓国・朝鮮語１（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ	15	5		KLS5（韓国・朝鮮語作文②）（科目番号267108）
	263119	長期海外セミナー韓国・朝鮮語２（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KCS5（韓国・朝鮮語聴解②）（科目番号267119）
	263120	長期海外セミナー韓国・朝鮮語３（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KLS7（韓国・朝鮮語翻訳②）（科目番号267110）
	263121	長期海外セミナー韓国・朝鮮語４（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KCS7（韓国・朝鮮語プレゼンテーション②）（科目番号267121）
	263122	長期海外セミナー韓国・朝鮮語５（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KLS9（韓国・朝鮮語作文④）（科目番号267112）
	263123	長期海外セミナー韓国・朝鮮語６（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KCS9（韓国・朝鮮語聴解④）（科目番号267123）
	263124	長期海外セミナー韓国・朝鮮語７（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KLS11（韓国・朝鮮語通訳②）（科目番号267114）
	263125	長期海外セミナー韓国・朝鮮語８（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		KCS11（韓国・朝鮮語ディスカッション②）（科目番号267125）
	263126	長期海外セミナー韓国・朝鮮語９（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		地域文化４（韓国・朝鮮）（科目番号267016）
	263127	長期海外セミナー韓国・朝鮮語10（後期）	2	1		集1	チョ　スルソップ		5		ケーススタディ言語９（韓国・朝鮮語文化翻訳）（科目番号267155）

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考	
交流文化学科	263128	長期海外セミナー中国語１（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍	20	5	2019年度～2023年度入学者対象 【履修条件】 長期海外セミナー中国語の履修については、以下の条件による。 ・登録を希望する場合は、掲示の指示に従ってガイダンスに参加し、手続きを行う（各自での履修登録は不要）。 ・GPA（通算）2.3以上。１年生の場合は面接試験の結果にゆだねる。 ・「中国語読解1A」、「中国語会話1A」のうち１科目以上を履修中または修得済みであるか「HSK１級以上」、「中国語能力検定４級以上」のいずれかを取得済みである。 ・演習などの必修科目や資格関連の科目は本学で履修をしなければならない。他学部他学科開放科目として履修をする学生は、特に注意を要する。長期海外セミナーに参加することにより、単位修得不足で卒業不認定の可能性があることを留意して参加する。詳しくはガイダンスで確認する。 ・「長期海外セミナー中国語」のいずれかを単位修得した場合、「CLS1（中国語入門①）」を履修することはできない。 【修得した単位の扱い】 長期海外セミナーの単位を修得した学生は、対応する右の科目の単位を未修得の場合、単位を満たしたこととみなす。つまり、対応科目を再度履修することはできない。また、未修得の対応科目に該当する長期海外セミナーのみに単位が与えられる。つまり、既修得の対応科目に該当する長期海外セミナーの単位は与えられない。	CCS3（実践的中国語①）（科目番号267090）
	263129	長期海外セミナー中国語２（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CCS3（実践的中国語①）（科目番号267090）
	263130	長期海外セミナー中国語３（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CCS5（動画中国語①）（科目番号267092）
	263131	長期海外セミナー中国語４（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CLS5（中国語読解③）（科目番号262205）
	263132	長期海外セミナー中国語５（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CLS7（中国語作文）（科目番号267085）
	263133	長期海外セミナー中国語６（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CLS9（ビジネス中国語①）（科目番号267087）
	263134	長期海外セミナー中国語７（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		CLS11（中国語多読）（科目番号267089）
	263135	長期海外セミナー中国語８（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		ケーススタディ言語６（中国観光案内実践）（科目番号267152）
	263136	長期海外セミナー中国語９（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		中国現代文学（科目番号261211）
	263137	長期海外セミナー中国語10（前期）	2	2	集1		馮　富　榮 何　　龍		5		地域文化３（中国）（科目番号261503）
	263138	長期海外セミナー中国語１（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍	20	5		CLS2（中国語入門②）（科目番号262202）
	263139	長期海外セミナー中国語２（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CLS2（中国語入門②）（科目番号262202）
	263140	長期海外セミナー中国語３（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CLS4（中国語読解②）（科目番号262204）
	263141	長期海外セミナー中国語４（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CCS2（中国語会話②）（科目番号262214）
	263142	長期海外セミナー中国語５（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CCS6（動画中国語②）（科目番号267093）
	263143	長期海外セミナー中国語６（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CLS8（中国語翻訳）（科目番号267086）
	263144	長期海外セミナー中国語７（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CLS10（ビジネス中国語②）（科目番号267088）
	263145	長期海外セミナー中国語８（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CCS13（トピック中国語）（科目番号267100）
	263146	長期海外セミナー中国語９（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		ケーススタディ言語７（中国語文化翻訳）（科目番号267153）
	263147	長期海外セミナー中国語10（後期）	2	1		集1	馮　富　榮 何　　龍		5		CLS6（中国語読解④）（科目番号262206）

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	264002	交流文化演習1a	2	2	1		李　正子	定員あり	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
					1		太田浩司			
					1		大野清幸			
					1		チョ スルソップ			
					1		杜　英起			
					1		TOFF Mika			
					1		董　梅香			
					1		馮　富榮			
					1		矢野　郁			
					1		山本裕子			
					1		柳　朱燕			
					1		江嵜那留穂			
					1		大堀一至			
					1		佐藤規祥			
					1		島津侑希			
					1		杉本一直			
					1		二文字屋　脩			
					1		野口洋平			
					1		信川景子			
					1		林　大策			
					1		藤井真湖			
					1		前島訓子			
					1		若松孝司			
	264003	交流文化演習1b	2	2		1	李　正子	定員あり	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
						1	太田浩司			
						1	大野清幸			
						1	チョ スルソップ			
						1	杜　英起			
						1	TOFF Mika			
						1	董　梅香			
						1	中林律子			
						1	馮　富榮			
						1	矢野　郁			
						1	柳　朱燕			
						1	江嵜那留穂			
						1	大堀一至			
						1	佐藤規祥			
						1	島津侑希			
						1	杉本一直			
						1	二文字屋　脩			
						1	野口洋平			
						1	信川景子			
						1	林　大策			
						1	藤井真湖			
						1	前島訓子			
						1	若松孝司			

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	264004	交流文化演習2a	2	3	1		李　正子	定員あり	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
					1		太田浩司			
					1		大野清幸			
					1		チョ スルソップ			
					1		杜　英起			
					1		TOFF Mika			
					1		董　梅香			
					1		馮　富榮			
					1		矢野　郁			
					1		山本裕子			
					1		柳　朱燕			
					1		江嵜那留穂			
					1		大堀一至			
					1		佐藤規祥			
					1		島津侑希			
					1		杉本一直			
					1		二文字屋　脩			
					1		野口洋平			
					1		信川景子			
					1		林　大策			
					1		藤井真湖			
					1		前島訓子			
					1		若松孝司			
	264005	交流文化演習2b	2	3		1	李　正子	定員あり	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
						1	太田浩司			
						1	大野清幸			
						1	チョ スルソップ			
						1	杜　英起			
						1	TOFF Mika			
						1	董　梅香			
						1	馮　富榮			
						1	本間　妙			
						1	矢野　郁			
						1	柳　朱燕			
						1	江嵜那留穂			
						1	大堀一至			
						1	佐藤規祥			
						1	島津侑希			
						1	杉本一直			
						1	二文字屋　脩			
						1	野口洋平			
						1	信川景子			
						1	林　大策			
						1	藤井真湖			
						1	前島訓子			
						1	若松孝司			

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
交流文化学科	265002	キャリアデザイン（交流文化）	1	2		集2	TOFF Mika 江嵜那留穂 大堀一至 太田浩司 大野清幸 島津侑希 杉本一直 チョ スルソップ 中村真里絵 中林律子 二文字屋脩 野口洋平 信川景子 林大策 馮富榮 藤井真湖 前島訓子 矢野郁 若松孝司	各200	1	副専攻プログラム「交流文化」対象科目 副専攻プログラム「交流文化」履修者のみ履修可
	266218	エアラインスクール	2	2･3	集1	集1	外部講師　※2 外部講師　※5	各10	8	事前説明会で詳しい講義内容を説明する。選考を通った学生のみ履修可 総合英語学科の学生は、以下の単位を修得済みまたは履修中の学生対象 ［総合英語学科］ 「First Year Seminar」 「Elementary English 1」 「Elementary English 2」 総合英語学科以外の学生はTOEIC L&Rテスト 500点以上の学生対象

※2 ANA　※5 JAL

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151328	シゴト学入門	2	1		2	大塚英揮 浅井敬一朗	定員あり	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151346	マーケティングⅠ	2	1	2		大塚英揮	定員あり	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151371	会計学入門	2	1		1 1 1	石川雅之 西崎賢治 前田篤	各120（抽選）	1	
	151438	ビジネス・エコノミクスⅠ	2	1	1 1		鈴木崇文 渡邉聡	定員あり	1	2020年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151326	ビジネスとマナー	2	1	3	4	外部講師　※1	各50（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151042	ビジネスプレゼンテーション	2	2	1 1 1	1 2	今井里香 菅野淑 茂籠英典	各24（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151231	クリティカルシンキング	2	3		1	宮崎新	24（抽選）	10	
	151329	マネジメント入門	2	1	2	2	藤井英明	各40（抽選）	10	
	151330	製造業の基礎知識	2	2･3	1		浅井敬一朗	120（抽選）	10	
	151331	小売・流通の基礎知識	2	2･3	1	1	フコウソウ 藤井英明	各120（抽選）	10	
	151310	中小企業を学ぶ	2	2･3	1		浅井敬一朗 外部講師　※2	70（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151333	ホスピタリティマネジメント	2	2･3	1		フコウソウ	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151334	会社学Ⅰ	2	2･3		1	浅井敬一朗	120（抽選）	10	
	151336	銀行ビジネスを学ぶ	2	2･3	1	1	奥田真之	各150（抽選）	10	
	151337	証券ビジネスを学ぶ	2	2･3	1	1	三矢幹根	各150（抽選）	10	
	151338	保険ビジネスを学ぶ	2	2･3	1	1	脇田邦裕	各150（抽選）	10	
	151431	リーダーシップ	2	2･3	2	1	丹羽幸美	各40（抽選）	10	2017年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151339	私のシゴト学	1	3	1		藤井英明	定員あり	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151115	職業指導論	2	3･4		1	野田隆洋	50（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151341	会社法を学ぶ	2	3･4	1		野田幸宏	教室の席数による（抽選）	1	
	151093	eビジネス	2	3･4	1		林誠	150（抽選）	10	
	151436	業界を学ぶ	1	3	1		外部講師　※3	150（抽選）	10	1/4期科目 2020年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目

※1 株式会社マザーリーフ　※2 愛知中小企業同好会　※3 Biz GMSK MASUDA

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151342	データ分析とレポート作成	2	2・3	1 2	 1	藤木美江 奥村文徳	各30（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151323	PowerPointスキルアップ	2	1	2	2	茂籠英典	教室の席数による（抽選）	10	
	151207	ビジネス統計基礎	2	2・3		1 1	藤木美江 奥村文徳	各30（抽選）	10	
	151052	コンピュータシミュレーション	2	2・3	2	1	上原衛	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151343	ビジネスプロセスとICT	2	2・3	1	1	林誠	各120（抽選）	10	
	151051	経営情報システム論	2	2・3		1	林誠	150（抽選）	10	
	151344	IT産業の動向とビジネス	2	2・3	1		林誠	120（抽選）	10	
	151345	ものづくりとICT	2	2・3		1	上原衛	80（抽選）	10	
	151242	セキュリティとリスクマネジメント	2	2・3		1	上原衛	80（抽選）	10	
	151347	マーケティングⅡ	2	1		2	大塚英揮	定員あり	1	マーケティングⅠの単位を修得していること 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151348	戦略設計Ⅰ（ポジショニングビュー）	2	2・3	2		日野恵美子	各60（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151349	戦略設計Ⅱ（リソースベースドビュー）	2	2・3		2	日野恵美子	各60（抽選）	10	
	151350	クチコミとネットワーク	2	2・3	1	2	原田穂高	教室の席数による（抽選）	10	
	151351	プロモーションストラテジー	2	2・3	1	1	新井亨	各100（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151264	ファッションマーケティング	2	2・3	1		山本奈央	140（抽選）	10	
	151440	広告制作	2	2・3		1	新井亨	30（抽選）	10	2020年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151352	企業間関係のマネジメント	2	3・4		1	フコウソウ	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151353	戦略設計Ⅲ（全社戦略）	2	3・4	1		日野恵美子	80（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151354	ケーススタディA（競争戦略）	2	3・4	1		東野礼	60（抽選）	5	
	151355	ケーススタディB（ヒット商品）	2	3・4		1	フコウソウ	教室の席数による（抽選）	5	
	151089	マーケティングリサーチ	2	3・4	1	1	藤木美江	各60（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151441	プロダクトデザイン	2	3・4	1	1	富田茂 脇田邦裕	教室の席数による（抽選）	10	2020年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 オムニバス科目
	151439	ビジネスプランニング入門	2	1		1 1 1 1	浅井怜衣 菅野淑 丹羽幸美 今井里香 藤井英明	各50（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可（2021年度以降入学者対象） 今井先生・藤井先生コマはオムニバス科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151356	ICPベーシック	2	2	3		藤井英明 外部講師 ※1 宮崎新	各60（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151358	イノベーションプログラムB（ものづくり）	2	2･3		1 1	浅井敬一朗 外部講師 ※7 大塚英揮 浅井敬一朗	35（抽選）	5	イノベーションプログラムB～Eのいずれか1つのみ履修･修得可。 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151359	イノベーションプログラムC（まちづくり）	2	2･3		1	藤井英明	35（抽選）	5	イノベーションプログラムB～Eのいずれか1つのみ履修･修得可。 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151360	イノベーションプログラムD（プロモーション）	2	2･3		1	藤木美江 柵木志 茂籠英典	35（抽選）	5	イノベーションプログラムB～Eのいずれか1つのみ履修･修得可。 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151361	イノベーションプログラムE（ホスピタリティ）	2	2･3		1	フ　コウソウ	35（抽選）	5	イノベーションプログラムB～Eのいずれか1つのみ履修･修得可。 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151363	チャレンジプログラムB（ものづくり）	2	3･4	1		浅井敬一朗 外部講師 ※7 菅野淑	35（抽選）	5	イノベーションプログラムB(ものづくり)の単位を修得していること 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151364	チャレンジプログラムC（まちづくり）	2	3･4	1		稲葉久之 大西未来	35（抽選）	5	イノベーションプログラムC(まちづくり)の単位を修得していること 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151365	チャレンジプログラムD（プロモーション）	2	3･4	1		藤木美江 外部講師 ※4 柵木志 茂籠英典	35（抽選）	5	イノベーションプログラムD(プロモーション)の単位を修得していること 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可 オムニバス科目
	151366	チャレンジプログラムE（ホスピタリティ）	2	3･4	1		外部講師 ※5	35（抽選）	5	イノベーションプログラムE(ホスピタリティ)の単位を修得していること 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151367	OverseasICP（アジア・欧米）	2	2･3	集1		フ　コウソウ	15（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151116	簿記論Ⅰ	4	1	1 1 1 1	1	石川雅之 前田篤 三浦克人 森洵太	各80（抽選）	10	週２回 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151117	簿記論Ⅱ	4	1	1	1 1	石川雅之 前田篤	各80（抽選）	10	

※1 株式会社マザーリーフ　※4 廣告社株式会社　※5 株式会社ベネッセi-キャリア　※7 株式会社高瀬金型

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151118	財務会計Ⅰ	2	2	1		森　　洵　太	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151119	財務会計Ⅱ	2	2		1	森　　洵　太	教室の席数による（抽選）	10	
	151007	管理会計Ⅰ	2	2	1		原　　慎之介	120（抽選）	10	
	151008	管理会計Ⅱ	2	2		1	原　　慎之介	120（抽選）	10	
	151212	原価計算Ⅰ	2	2	1		三　浦　克　人	教室の席数による（抽選）	10	
	151213	原価計算Ⅱ	2	2		1	三　浦　克　人	教室の席数による（抽選）	10	
	151143	租税法Ⅰ	2	2	1		糟　谷　　修	教室の席数による（抽選）	10	
	151144	租税法Ⅱ	2	2		1	糟　谷　　修	教室の席数による（抽選）	10	
	151369	日本の会計制度	2	3	1		中　山　重　穂	教室の席数による（抽選）	10	
	151010	監査論Ⅰ	2	3	1		前　田　　篤	教室の席数による（抽選）	10	
	151011	監査論Ⅱ	2	3･4		1	前　田　　篤	教室の席数による（抽選）	10	
	151120	法人税法Ⅰ	2	3	1		加　藤　久　也	教室の席数による（抽選）	10	
	151121	法人税法Ⅱ	2	3･4		1	加　藤　久　也	教室の席数による（抽選）	10	
	151370	国際会計論	2	3･4	1		田　代　樹　彦	教室の席数による（抽選）	10	
	151275	コンピュータ会計	2	2	2	2	木　野　宏　紀	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151012	経営分析Ⅰ	2	3	1		西　崎　賢　治	教室の席数による（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151013	経営分析Ⅱ	2	3		1	西　崎　賢　治	教室の席数による（抽選）	10	
	151018	会計実務Ⅰ	2	3	1		前　田　　篤	教室の席数による（抽選）	10	
	151019	会計実務Ⅱ	2	3		1	前　田　　篤	教室の席数による（抽選）	10	
	151442	英文会計Ⅰ	2	3	1		外部講師　※6	120（抽選）	10	
	151443	英文会計Ⅱ	2	3		1	外部講師　※6	120（抽選）	10	

※6　名古屋大原学園

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151373	企業分析プロジェクトA	2	3･4		1	三浦克人	35（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151374	企業分析プロジェクトB	2	3･4		1	森　洵太	35（抽選）	1	
	151433	企業分析プロジェクトC	2	3･4		1	西崎賢治	35（抽選）	1	
	151203	日本経済事情	2	1		1	真田幸光	100（抽選）	10	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151375	ビジネス・エコノミクスⅡ	2	1		1	鈴木崇文	100（抽選）	10	
	151210	国際政治経済事情	2	2		1	石坂綾子	150（抽選）	10	
	151084	国際ビジネストレンド	2	2･3	1		真田幸光	教室の席数による（抽選）	10	
	151376	金融システム	2	2･3	1		石坂綾子	150（抽選）	10	
	151037	ファイナンシャルプランニングⅠ	2	2･3	1		西部正巳	教室の席数による（抽選）	10	
	151038	ファイナンシャルプランニングⅡ	2	2･3		1	西部正巳	教室の席数による（抽選）	10	
	151377	外国為替	2	2･3	1		三矢幹根	150（抽選）	10	
	151378	アジアビジネス	2	3･4		1	潘　卉	教室の席数による（抽選）	10	
	151379	アメリカビジネス	2	3･4	1		真田幸光	教室の席数による（抽選）	10	
	151380	ヨーロッパビジネス	2	3･4		1	石坂綾子	150（抽選）	10	
	151381	国際金融	2	3･4		1	三矢幹根	教室の席数による（抽選）	10	
	151435	グローバル・マーケティング	2	3	1		潘　卉	教室の席数による（抽選）	10	2020年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「ビジネス」対象科目
	151437	サステイナブル・ビジネス	2	3	1		渡邉　聡	教室の席数による（抽選）	10	
	151382	ビジネス英語Ⅰ	2	1	3 1		宮崎尚一 MOORE Douglas	各24（抽選）	1	２時限連続 1/4期科目 「ビジネス英語Ⅰ」と「ビジネス英語Ⅱ」は同じ曜日･時限･担当者で受講すること副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151383	ビジネス英語Ⅱ	2	1	3 1		宮崎尚一 MOORE Douglas	各24（抽選）	1	
	151384	ビジネス英語Ⅲ	2	1		1 2 1	大門樹久世 宮崎尚一 MOORE Douglas	各24（抽選）	1	２時限連続 1/4期科目 「ビジネス英語Ⅲ」と「ビジネス英語Ⅳ」は同じ曜日･時限･担当者で受講すること副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151385	ビジネス英語Ⅳ	2	1		1 2 1	大門樹久世 宮崎尚一 MOORE Douglas	各24（抽選）	1	

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
ビジネス学科	151387	Global Economy Elementary	2	1･2		1 1	鈴木崇文 渡邉聡	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「ビジネス」対象科目 副専攻プログラム「ビジネス」履修者のみ履修可
	151386	Global Business Elementary	2	2		1 1	潘卉 渡邉聡	教室の席数による（抽選）	1	
	151388	Business Communication Elementary	2	2	2 2		THOMAS Gareth マギー　グレンアモン	各24（抽選）	1	
	151389	ビジネス文書英語Ⅰ	2	2･3	1 2 1		THOMAS Gareth NICKSICK Thomas MOORE Douglas	各24（抽選）	1	
	151390	ビジネス文書英語Ⅱ	2	2･3		1 2 1	THOMAS Gareth NICKSICK Thomas MOORE Douglas	各24（抽選）	1	
	151391	英語プレゼンテーションⅠ	2	2･3	1 1 1 1		福田薫 GALLACHER Iain S. THOMAS Gareth FLORES Ana Maria	各24（抽選）	1	
	151392	英語プレゼンテーションⅡ	2	2･3		1 1 1 1	福田薫 GALLACHER Iain S. THOMAS Gareth FLORES Ana Maria	各24（抽選）	1	
	151393	Global Business Ⅰ	2	3･4	1 1		石坂綾子 潘卉	教室の席数による（抽選）	1	
	151394	Global Economy Ⅰ	2	2･3		1 1	真田幸光 鈴木崇文	教室の席数による（抽選）	1	
	151395	Business Communication Ⅰ	2	2･3		4	FLORES Ana Maria	各24（抽選）	1	
	151396	Global Business Ⅱ	2	3･4		1	三矢幹根	教室の席数による（抽選）	1	
	151397	Global Economy Ⅱ	2	3･4	1		三矢幹根	教室の席数による（抽選）	1	
	151398	Business Communication Ⅱ	2	3･4		1	THOMAS Gareth	各24（抽選）	1	

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	281102	Interpersonal Communication	2	1		1	友　池　梨　紗	30（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284001	Introduction to Communication Studies	2	1		1	福　本　明　子	30（抽選）	1	2021年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284002	Introduction to Language Studies	2	1		1	中　郷　　慶	30（抽選）	1	2021年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281104	Nonverbal Communication	2	2		1	野　口　朋　香	30（抽選）	5	TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281107	Morphology	2	2		1	二　村　慎　一	30（抽選）	1	TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281205	Gender and Communication	2	2		1	McGEE Jennifer J.	30（抽選）	5	TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284003	Readings in Language and Communication	2	2･3		1	友　池　梨　紗	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Readings in Human Communication Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281108	Persuasion	2	3		1	MOLDEN Danny T.	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281112	Syntax	2	3	1		樗　木　勇　作	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281113	Semantics	2	3	1		若　山　真　幸	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281114	Language Acquisition	2	3		1	宮田Susanne	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281116	Sociolinguistics	2	3		1	吉　岡　明　子	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281317	Intercultural Communication	2	3	集1		高　井　次　郎	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284005	Organizational Communication	2	3		1	篠原さやか	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Organizational Behavior」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281117	Special Topics in Language and Communication Ⅰ	2	3	1		宮田Susanne	30（抽選）	10	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281201	Japanese Popular Culture	2	1	1	1	McGEE Jennifer J.	教室の席数による（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	284006	Introduction to Global Japan Studies	2	1	1		五島幸一	30（抽選）	1	2021年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281203	Japanese Performing Arts	2	2		1	西川千雅	教室の席数による（抽選）	5	TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284007	Readings in Global Japan Studies	2	2･3	1	1	赤星泰子	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Reading in Japanology I」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281206	Comparative Education	2	3	1		渡辺かよ子	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281209	Multiculturalism in Japan	2	3		1	福本明子	30（抽選）	5	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281312	Global Business	2	3	1		三矢幹根	教室の席数による（抽選）	5	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
						1	渡辺直登			
	281313	Gender and Society	2	3	1		篠原さやか	30（抽選）	5	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281318	Media and Society	2	3		1	担当者未定	30（抽選）	5	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284008	Modern Japan	2	3		1	担当者未定	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Japanese Culture」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281211	Special Topics in Global Japan Studies Ⅱ	2	3		1	大門ゴーフ裕子	30（抽選）	10	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281212	Special Topics in Global Japan Studies Ⅲ	2	3	1		熊澤友紀子	30（抽選）	10	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281303	American Studies	2	1		1	DRYDEN Laurence	30（抽選）	1	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281305	Australian Studies	2	1	1		KOBAYASHI Kenichiro	30（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281308	American Literature	1	2		1	藤本恭子	30（抽選）	1	1/4期科目 Q4：90分週１回授業 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281309	British Literature	1	2		1	藤本恭子	30（抽選）	1	1/4期科目 Q3：90分週１回授業 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	284010	World Englishes	2	2		1	KOBAYASHI Kenichiro	30（抽選）	10	2021年度以前入学者履修不可 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281310	Careers in the Global Age	1	2		1	篠原さやか 中郷慶 福本明子 McGEE Jennifer J. MOLDEN Danny T.	定員あり	1	オムニバス科目 1/4期科目 Q3：90分週1回授業 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282105	Readings in Global Communication	2	2	1 1 1		大門ゴーフ裕子 KOBAYASHI Kenichiro 篠原さやか	定員あり	1	1/4期科目 Q1：90分週2回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	283101	Intercultural Training	2	2	1		福本明子	定員あり	1	1/4期科目 Q1：90分2時限連続授業 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	281304	Asian Studies	2	3	1		POTTER David M.	30（抽選）	5	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281306	British Studies	2	3	1		大門ゴーフ裕子	30（抽選）	1	TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284011	Advertising	2	3	1		McGEE Jennifer J.	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Advertising and Communication」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284012	Social Media	2	3		1	McGEE Jennifer J.	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Introduction to Social Media」の単位を修得済み学生は履修不可 TOEICスコア600点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282101	English Skills Ⅰ（Grammar）	2	1	4		LELEITO Lois C.	定員あり	1	1/4期科目 Q1：60分週3回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282102	English Skills Ⅱ（Reading）	2	1	4		LELEITO Lois C.	定員あり	1	1/4期科目 Q2：60分週3回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282103	English Skills Ⅲ（Paragraph Writing）	2	1		4	LELEITO Lois C.	定員あり	1	1/4期科目 Q3：60分週3回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282104	English Skills Ⅳ（Academic Writing）	2	1		4	LELEITO Lois C.	定員あり	1	1/4期科目 Q4：60分週3回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可

他学部・他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	282121	Destination 500	2	1	1	1	大門ゴーフ裕子 篠原さやか	各20（抽選）	10	原則、TOEICスコア500点未満の取得者を対象とする 副専攻プログラム履修者のみ履修可（2022年度以降入学者対象）
				2	1		大門ゴーフ裕子			1/4期科目 Q1：90分週２回授業 原則、TOEICスコア500点未満の取得者を対象とする 副専攻プログラム履修者のみ履修可（2022年度以降入学者対象）
	284014	Intermediate English Proficiency Testing	2	1		1	担当者未定	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「TOEFL Ⅱ（Speaking and Writing）」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282112	Journal Writing	2	2	1 1 1		CAMPBELL Rob GROVES Alison LELEITO Lois C.	定員あり	1	1/4期科目 Q1：90分週２回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282113	Descriptive Writing	2	2		1	KOBAYASHI Kenichiro	20（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282206	Introduction to Translation and Interpretation	2	2	1	1	大庭彩子	30（抽選）	1	前期は1/4期科目 Q1：90分２時限連続授業 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284015	Advanced English Proficiency Testing	2	2		1	篠原さやか	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「English for Graduate Study」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282116	Business Writing	2	3	1		DICELLO Cheryl	20（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284016	Translation Practice	2	3		1	大庭彩子	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Translation Practice Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284017	Interpretation Practice	2	3	1		赤星泰子	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Interpretation Practice Ⅰ」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282201	Basic Pronunciation Training	2	1	1		中郷慶	定員あり	1	副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282202	Communication Skills Ⅰ（Interaction）	2	1	4		GROVES Alison	定員あり	1	1/4期科目 Q1：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282203	Communication Skills Ⅱ（Listening）	2	1	4		GROVES Alison	定員あり	1	1/4期科目 Q2：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282204	Communication Skills Ⅲ（Presentation）	2	1		4	GROVES Alison	定員あり	1	1/4期科目 Q3：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282205	Communication Skills Ⅳ（Debate）	2	1		4	GROVES Alison	定員あり	1	1/4期科目 Q4：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282207	Advanced Pronunciation Training	2	2		1	中郷慶	教室の席数による（抽選）	1	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	284018	Discussion and Debate	2	2		1	MOLDEN Danny T.	30（抽選）	1	2021年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284019	Academic Debate	2	3	1		MOLDEN Danny T.	30（抽選）	1	2021年度以前入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284020	Digital Presentation	2	3	1		ADRIANOWICZ Zbigniew	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Presentation I」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284021	Business Presentation	2	3	1		ADRIANOWICZ Zbigniew	20（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Presentation II」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282302	Academic Skills Ⅰ（Basic）	2	1	4		CAMPBELL Rob	定員あり	1	1/4期科目 Q1：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282303	Academic Skills Ⅱ（Research）	2	1	4		CAMPBELL Rob	定員あり	1	1/4期科目 Q2：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282304	Academic Skills Ⅲ（Thinking）	2	1		4	CAMPBELL Rob	定員あり	1	1/4期科目 Q3：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282305	Academic Skills Ⅳ（Reporting）	2	1		4	CAMPBELL Rob	定員あり	1	1/4期科目 Q4：60分週３回授業 クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	284022	Critical Thinking	2	2	1		MOLDEN Danny T.	30（抽選）	10	2021年度以前入学者履修不可 1/4期科目 Q1：90分週２回授業 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282117	Academic Writing	2	3		2 2	ADRIANOWICZ Zbigniew DICELLO Cheryl	定員あり	1	クラス指定 星が丘キャンパスモデル（ゼミ・アクティブ履修制度）によるグロウコムのSeminar履修者および副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282314	Data Analysis	2	3		1	篠原さやか	30（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282315	Text Analysis	2	3		1	MOLDEN Danny T.	30（抽選）	5	副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	284023	Research in Global Communication	2	3	1		KOBAYASHI Kenichiro	30（抽選）	10	グローバル・コミュニケーション学部の「Research Design」の単位を修得済み学生は履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281101	Introduction to Communication	2	1		1	福本明子	30（抽選）	1	2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281106	Introduction to Linguistics	2	2		1	中郷慶	30（抽選）	1	TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281208	Political Rhetoric	2	3	1		MOLDEN Danny T.	30（抽選）	5	2022年度以降入学者履修不可 TOEICスコア650点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目

他学部･他学科開放科目　カリキュラム

集…集中授業

開設学科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	開講最少履修者数（目安）	備　考
グローバル・コミュニケーション学科	281301	Introduction to Global Issues	2	1	1		五　島　幸　一	30（抽選）	1	2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281311	Global Economy	2	2		1	三　矢　幹　根	教室の席数による（抽選）	5	2022年度以降入学者履修不可 TOEICスコア500点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281314	Health and Education	2	3	集1		平　田　亜　紀	30（抽選）	5	2022年度以降入学者履修不可 TOEICスコア650点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	281315	Business Simulation	2	3	1		渡　辺　直　登	30（抽選）	5	2022年度以降入学者履修不可 TOEICスコア650点以上取得していることが望ましい 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282110	Readings in Global Awareness Ⅰ	2	2		1	篠　原　さ　や　か	30（抽選）	5	2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282118	Writing Lab Ⅰ	2	4	1 1 2 2		CAMPBELL Rob GROVES Alison TAKEUCHI Rebecca H. DRYDEN Laurence	定員あり	1	クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282119	Writing Lab Ⅱ	2	4		1 1 2 2	CAMPBELL Rob GROVES Alison TAKEUCHI Rebecca H. DRYDEN Laurence	定員あり	1	クラス指定 副専攻プログラム履修者のみ履修可
	282211	Debate Ⅰ	2	3		1	MOLDEN Danny T.	30（抽選）	1	2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目
	282212	Debate Ⅱ	2	3	1		MOLDEN Danny T.	30（抽選）	1	2022年度以降入学者履修不可 副専攻プログラム「グローバル・コミュニケーション」対象科目

2　研究科開放科目

研究科開放科目とは、本学の研究科が開放科目として指定した科目で、３年次終了時の全修得単位数が110単位以上の４年次の学生が大学院科目等履修生として履修することができる。

履修上の注意

○　大学院の授業科目の概要は、CampusSquareの「シラバス」より参照する。
○　履修登録の結果は、各自必ずCampusSquareの「履修（履修登録・登録状況照会）」で確認する。
○　異なるキャンパスの科目を履修する際は、キャンパス間の移動に要する時間を考慮して登録する。
○　修得した単位は、卒業要件単位には含まれない。ただし、科目を開設している研究科に入学した場合は、入学後、所定の手続きにより当該研究科の単位として認定することができる。単位認定に関する詳細は、大学院履修要覧を参照する。

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
文化創造研究科	321013	国文学特殊講義Ⅰa	2	1･2	1		中野謙一	定員あり	
	321014	国文学特殊講義Ⅰb	2	1･2		1	中野謙一	定員あり	
	321001	国文学特殊講義Ⅱa	2	1･2	1		外山敦子	定員あり	
	321002	国文学特殊講義Ⅱb	2	1･2		1	外山敦子	定員あり	
	321005	国文学特殊講義Ⅳa	2	1･2	1		早川由美	定員あり	
	321006	国文学特殊講義Ⅳb	2	1･2		1	早川由美	定員あり	
	321007	国文学特殊講義Ⅴa	2	1･2	1		水川敬章	定員あり	
	321008	国文学特殊講義Ⅴb	2	1･2		1	水川敬章	定員あり	
	321015	国文学特殊講義Ⅵa	2	1･2	1		竹内瑞穂	定員あり	
	321016	国文学特殊講義Ⅵb	2	1･2		1	竹内瑞穂	定員あり	
	321101	日本文化論特殊講義Ⅰ	2	1･2	1		久保田一充	定員あり	留学生は履修不可
	321102	日本文化論特殊講義Ⅱ	2	1･2		1	松原久子	定員あり	
	321103	日本文化論特殊講義Ⅲ	2	1･2	1		小倉斉	定員あり	
	321104	日本文化論特殊講義Ⅳ	2	1･2	1		藤井奈都子	定員あり	
	321105	日本文化論特殊講義Ⅴ	2	1･2		1	篭田将樹	定員あり	
	321106	日本文化論特殊講義Ⅵ	2	1･2		1	藤井奈都子	定員あり	
	321203	国文学特殊演習Ⅲa	2	1･2	1		森田貴之	定員あり	
	321204	国文学特殊演習Ⅲb	2	1･2		1	森田貴之	定員あり	
	321205	国文学特殊演習Ⅳa	2	1･2	1		寺島徹	定員あり	
	321206	国文学特殊演習Ⅳb	2	1･2		1	寺島徹	定員あり	
	321207	国文学特殊演習Ⅴa	2	1･2	1		水川敬章	定員あり	
	321208	国文学特殊演習Ⅴb	2	1･2		1	水川敬章	定員あり	
	321217	国文学特殊演習Ⅶa	2	1･2	1		吉田竜也	定員あり	
	321218	国文学特殊演習Ⅶb	2	1･2		1	吉田竜也	定員あり	
	321211	国語学特殊演習a	2	1･2	1		増井典夫	定員あり	
	321212	国語学特殊演習b	2	1･2		1	増井典夫	定員あり	
	323025	図書館情報学特殊講義Ⅲa	2	1･2	1		三和義秀	定員あり	
	323026	図書館情報学特殊講義Ⅲb	2	1･2		1	三和義秀	定員あり	
	323029	図書館情報学特殊講義Ⅴa	2	1･2	1		伊藤真理	定員あり	
	323030	図書館情報学特殊講義Ⅴb	2	1･2		1	伊藤真理	定員あり	
	323051	情報デザイン・システム特殊講義Ⅰa	2	1･2	1		親松和浩	定員あり	
	323052	情報デザイン・システム特殊講義Ⅰb	2	1･2		1	親松和浩	定員あり	
	323053	情報デザイン・システム特殊講義Ⅱa	2	1･2	1		國分三輝	定員あり	
	323054	情報デザイン・システム特殊講義Ⅱb	2	1･2		1	國分三輝	定員あり	
	323055	情報デザイン・システム特殊講義Ⅲa	2	1･2	1		森博子	定員あり	
	323056	情報デザイン・システム特殊講義Ⅲb	2	1･2		1	森博子	定員あり	
	323157	情報デザイン・システム特殊演習Ⅳa	2	1･2	1		佐藤朝美	定員あり	
	323158	情報デザイン・システム特殊演習Ⅳb	2	1･2		1	佐藤朝美	定員あり	
	323159	情報デザイン・システム特殊演習Ⅴa	2	1･2	1		高原美和	定員あり	
	323160	情報デザイン・システム特殊演習Ⅴb	2	1･2		1	高原美和	定員あり	
	323161	情報デザイン・システム特殊演習Ⅵa	2	1･2	1		浦尾彰	定員あり	
	323162	情報デザイン・システム特殊演習Ⅵb	2	1･2		1	浦尾彰	定員あり	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
文化創造研究科	322013	創作表現特殊講義Ⅱa	2	1･2	1		酒井晶代	定員あり	
	322014	創作表現特殊講義Ⅱb	2	1･2		1	酒井晶代	定員あり	
	322017	創作表現特殊講義Ⅳa	2	1･2	1		永井聖剛	定員あり	
	322018	創作表現特殊講義Ⅳb	2	1･2		1	永井聖剛	定員あり	
	322019	創作表現特殊講義Ⅴa	2	1･2	1		小倉史	定員あり	
	322020	創作表現特殊講義Ⅴb	2	1･2		1	小倉史	定員あり	
	322021	創作表現特殊講義Ⅵa	2	1･2	1		柳井貴士	定員あり	
	322022	創作表現特殊講義Ⅵb	2	1･2		1	柳井貴士	定員あり	
	322115	創作表現特殊演習Ⅲa	2	1･2	1		角田達朗	定員あり	
	322116	創作表現特殊演習Ⅲb	2	1･2		1	角田達朗	定員あり	
	324015	メディアプロデュース特殊講義Ⅰa	2	1･2	1		宮田雅子	定員あり	
	324016	メディアプロデュース特殊講義Ⅰb	2	1･2		1	宮田雅子	定員あり	
	324017	メディアプロデュース特殊講義Ⅱa	2	1･2	1		五島幸一	定員あり	
	324018	メディアプロデュース特殊講義Ⅱb	2	1･2		1	五島幸一	定員あり	
	324019	メディアプロデュース特殊講義Ⅲa	2	1･2	1		村上泰介	定員あり	
	324020	メディアプロデュース特殊講義Ⅲb	2	1･2		1	村上泰介	定員あり	
	324021	メディアプロデュース特殊講義Ⅳa	2	1･2	1		阿部卓也	定員あり	
	324022	メディアプロデュース特殊講義Ⅳb	2	1･2		1	阿部卓也	定員あり	
	324023	メディアプロデュース特殊講義Ⅴa	2	1･2	1		政倉祐子	定員あり	
	324024	メディアプロデュース特殊講義Ⅴb	2	1･2		1	政倉祐子	定員あり	
	324025	メディアプロデュース特殊講義Ⅵa	2	1･2	1		松井広志	定員あり	
	324026	メディアプロデュース特殊講義Ⅵb	2	1･2		1	松井広志	定員あり	
	325013	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅰa	2	1･2	1		垂井洋蔵	定員あり	
	325014	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅰb	2	1･2		1	垂井洋蔵	定員あり	
	325015	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅱa	2	1･2	1		田島祐之	定員あり	
	325016	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅱb	2	1･2		1	田島祐之	定員あり	
	325017	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅲa	2	1･2	1		清水裕二	定員あり	
	325018	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅲb	2	1･2		1	清水裕二	定員あり	
	325019	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅳa	2	1･2	1		河辺泰宏	定員あり	
	325020	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅳb	2	1･2		1	河辺泰宏	定員あり	
	325021	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅴa	2	1･2	1		淺田秀男	定員あり	
	325022	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅴb	2	1･2		1	淺田秀男	定員あり	
	325023	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅵa	2	1･2	1		諸江一紀	定員あり	
	325024	建築・インテリアデザイン特殊講義Ⅵb	2	1･2		1	諸江一紀	定員あり	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
教育学研究科	312001	教育学特講a	2	1·2	1		佐藤実芳	定員あり	
	312002	教育学特講b	2	1·2		1	佐藤実芳	定員あり	
	312003	教育心理学特講a	2	1·2	1		野井未加	定員あり	
	312004	教育心理学特講b	2	1·2		1	野井未加	定員あり	
	312007	生涯学習特講a	2	1·2	1		渡辺かよ子	定員あり	
	312008	生涯学習特講b	2	1·2		1	渡辺かよ子	定員あり	
	312009	キャリア教育特講a	2	1·2	1		三和義武	定員あり	
	312010	キャリア教育特講b	2	1·2		1	三和義武	定員あり	
	313001	国語教育特講a	2	1·2	1		中嶋真弓	定員あり	
	313002	国語教育特講b	2	1·2		1	中嶋真弓	定員あり	
	313003	算数科教育特講a	2	1·2	1		星野将直	定員あり	
	313004	算数科教育特講b	2	1·2		1	星野将直	定員あり	
	313005	科学教育特講a	2	1·2	1		佐藤成哉	定員あり	
	313006	科学教育特講b	2	1·2		1	佐藤成哉	定員あり	
	313007	社会科教育特講a	2	1·2	1		楠元町子	定員あり	
	313008	社会科教育特講b	2	1·2		1	楠元町子	定員あり	
	313009	スポーツ教育特講a	2	1·2	1		松田秀子	定員あり	
	313010	スポーツ教育特講b	2	1·2		1	松田秀子	定員あり	
	313013	生活科教育特講a	2	1·2	1		加藤智	定員あり	
	313014	生活科教育特講b	2	1·2		1	加藤智	定員あり	
	315001	発達心理学特講a	2	1·2	1		二宮昭	定員あり	
	315002	発達心理学特講b	2	1·2		1	二宮昭	定員あり	
	315003	幼児教育特講a	2	1·2	1		白石淑江	定員あり	
	315004	幼児教育特講b	2	1·2		1	白石淑江	定員あり	
	315005	運動発達学特講a	2	1·2	1		山本周史	定員あり	
	315006	運動発達学特講b	2	1·2		1	山本周史	定員あり	
	315007	創造性教育特講a	2	1·2		1	白石朝子	定員あり	
	315008	創造性教育特講b	2	1·2	1		山本和久	定員あり	
	314001	特別支援教育特講a	2	1·2	1		猶原秀明	定員あり	
	314002	特別支援教育特講b	2	1·2		1	猶原秀明	定員あり	
	314006	教育メディア論	2	1·2	1		海老崎功	定員あり	
	314010	国際理解教育	2	1·2		1	松井千代	定員あり	
	314011	生涯学習指導者論	2	1·2		集1	阿部耕也	定員あり	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
心理医療科学研究科	332112	精神保健福祉特論	2	1･2	1		瀧　誠	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	331105	発達心理学特論	2	1･2		集1	森　和　彦	教室の席数による（抽選）	
	332116	生涯発達心理学特論	2	1･2	集1		平　石　賢　二	教室の席数による（抽選）	
	331109	教育心理学特論 （教育分野に関する理論と支援の展開B）	2	1･2	1		髙　野　恵　代	教室の席数による（抽選）	
	331113	臨床心理学研究法特論	2	1･2	1		石　川　佳　奈	教室の席数による（抽選）	
	331202	心理アセスメント演習	4	1･2	1		小　林　ま　お　り	教室の席数による（抽選）	2時限授業 履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	331205	心理医療科学統計演習1	2	1･2	1		行　松　慎　二	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	331206	心理医療科学統計演習2	2	1･2		1	伊　藤　君　男	教室の席数による（抽選）	
	332120	神経心理学特論	2	1･2		1	加　藤　公　子	教室の席数による（抽選）	
	332103	比較心理学特論	2	1･2	1		松　尾　貴　司	教室の席数による（抽選）	
	332105	認知発達心理学特論	2	1･2	1		坂　田　陽　子	教室の席数による（抽選）	
	332117	応用認知心理学特論	2	1･2		1	丹　藤　克　也	教室の席数による（抽選）	
	332118	比較発達行動学特論	2	1･2		1	久　保　南　海　子	教室の席数による（抽選）	
	332123	精神生理学特論	2	1･2	1		成　澤　元	教室の席数による（抽選）	
	332124	乳幼児発達科学特論	2	1･2		1	蒲　谷　槙　介	教室の席数による（抽選）	2024年度以降入学者対象科目 履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	332125	社会的ネットワーク特論	2	1･2	1		平　島　太　郎	教室の席数による（抽選）	
	331104	社会福祉方法特論	2	1･2		1	担当者未定	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	332201	言語心理学特論	2	1･2	1		天　野　成　昭	教室の席数による（抽選）	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
心理医療科学研究科	332202	言語聴覚病理学特論 1	2	1･2		集1	井脇貴子 本多留美	教室の席数による（抽選）	オムニバス科目 履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	332205	言語発達障害学演習	2	1･2		1	船崎康広	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	332206	発声発語障害学演習	2	1･2	1		志村栄二 牧野日和	教室の席数による（抽選）	オムニバス科目 履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	332208	聴覚障害学演習	2	1･2		1	井脇貴子 米本清	教室の席数による（抽選）	
	332209	摂食嚥下障害学演習	2	1･2		1	志村栄二 牧野日和	教室の席数による（抽選）	
	332231	聴覚生理学特論	2	1･2		1	牧勝弘	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	333101	心理学研究 1	2	1	1 1 1 1 1 1 1 1		小川一美 加藤公子 久保南海子 斎藤和志 坂田陽子 丹藤克也 松尾貴司 吉崎一人	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、1次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は3名まで。
	333102	心理学研究 2	2	1		1 1 1 1 1 1 1 1	小川一美 加藤公子 久保南海子 斎藤和志 坂田陽子 丹藤克也 松尾貴司 吉崎一人	教室の席数による（抽選）	
	333105	社会福祉研究 1	2	1	1 1 1		末田邦子 瀧誠 谷口純世	教室の席数による（抽選）	
	333106	社会福祉研究 2	2	1		1 1 1	末田邦子 瀧誠 谷口純世	教室の席数による（抽選）	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
心理医療科学研究科	333201	言語聴覚学研究１	2	1	1 1 1 1 1		天野成昭 井脇貴子 志村栄二 船崎康広 牧　勝弘	教室の席数による（抽選）	履修を希望する学生は、１次履修登録期間または追加履修登録期間に教務事務室に申し出ること。 各科目の受入人数は３名まで。
	333202	言語聴覚学研究２	2	1		1 1 1 1 1	天野成昭 井脇貴子 志村栄二 船崎康広 牧　勝弘	教室の席数による（抽選）	
	333205	視覚科学研究１	2	1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	稲垣尚恵 川嶋英嗣 高橋啓介 高橋伸子 田邊宗子 望月浩志	教室の席数による（抽選）	
	333206	視覚科学研究２	2	1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	稲垣尚恵 川嶋英嗣 高橋啓介 高橋伸子 田邊宗子 望月浩志	教室の席数による（抽選）	
	333213	スポーツ・健康医科学研究１	2	1	1 1 1 1 1 1 1		加藤　憲 加藤友紀 瀬谷安弘 坪田祐基 林　久恵 前野信久 矢野裕介	教室の席数による（抽選）	
	333214	スポーツ・健康医科学研究２	2	1		1 1 1 1 1 1 1	加藤　憲 加藤友紀 瀬谷安弘 坪田祐基 林　久恵 前野信久 矢野裕介	教室の席数による（抽選）	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（長久手キャンパス開講）	195016	英語意味論特講	2	1･2	1		若　山　真　幸	定員あり	
	195018	英語形態論特講	2	1･2	1		二　村　慎　一	定員あり	
	195020	アメリカ文学特講	2	1･2	1		太　田　直　子	定員あり	
	195022	表象文化特講	2	1･2	1		平 林 美 都 子	定員あり	
	195023	アイルランド文学特講	2	1･2	1		小　沢　　茂	定員あり	
	195025	英語意味論演習	2	1･2		1	若　山　真　幸	定員あり	
	195027	英語形態論演習	2	1･2		1	二　村　慎　一	定員あり	
	195029	アメリカ文学演習	2	1･2		1	太　田　直　子	定員あり	
	195031	表象文化演習	2	1･2		1	平 林 美 都 子	定員あり	
	195032	アイルランド文学演習	2	1･2		1	小　沢　　茂	定員あり	
	195035	英語統語論課題実践c	2	1･2	1		樗　木　勇　作	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195036	英語統語論課題実践d	2	1･2		1	樗　木　勇　作	定員あり	
	195039	英語意味論課題実践c	2	1･2	1		若　山　真　幸	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195040	英語意味論課題実践d	2	1･2		1	若　山　真　幸	定員あり	
	195047	英語形態論課題実践c	2	1･2	1		二　村　慎　一	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195048	英語形態論課題実践d	2	1･2		1	二　村　慎　一	定員あり	
	195055	アメリカ文学課題実践c	2	1･2	1		太　田　直　子	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195056	アメリカ文学課題実践d	2	1･2		1	太　田　直　子	定員あり	

長久手キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（長久手キャンパス開講）	195067	アイルランド文学課題実践c	2	1･2	1		小　沢　　茂	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195068	アイルランド文学課題実践d	2	1･2		1	小　沢　　茂	定員あり	
	195402	外国語教育実践演習Ⅰ（長期）	6	1･2	集1		樗　木　勇　作	定員あり	
	195405	外国語教育実践演習Ⅱ（長期）	6	1･2		集1	樗　木　勇　作	定員あり	
	195627	英語教授法	2	1･2	1		江　坂　栄　子	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（星が丘キャンパス開講）	195005	日本語教育特講	2	1･2	1		山本裕子	定員あり	
	195006	日本語学特講	2	1･2	1		広瀬英史	定員あり	
	195007	日本語文法特講	2	1･2	1		杉村泰	定員あり	
	195087	日本語音声学特講	2	1･2	1		中林律子	定員あり	
	195009	日本語学演習	2	1･2		1	広瀬英史	定員あり	
	195088	日本語音声学演習	2	1･2		1	中林律子	定員あり	
	195013	日本語教育課題実践c	2	1･2	1		山本裕子	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195014	日本語教育課題実践d	2	1･2		1	杉村泰	定員あり	
	195015	英語統語論特講	2	1･2	1		樗木勇作	定員あり	
	195017	英語音声学特講	2	1･2	1		中郷慶	定員あり	
	195019	英語教育特講	2	1･2	1		大野清幸	定員あり	
	195761	言語獲得論特講	2	1･2	1		宮田Susanne	定員あり	
	195024	英語統語論演習	2	1･2		1	樗木勇作	定員あり	
	195026	英語音声学演習	2	1･2		1	中郷慶	定員あり	
	195028	英語教育演習	2	1･2		1	大野清幸	定員あり	
	195762	言語獲得論演習	2	1･2		1	宮田Susanne	定員あり	
	195043	英語音声学課題実践c	2	1･2	1		中郷慶	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195044	英語音声学課題実践d	2	1･2		1	中郷慶	定員あり	
	195051	英語教育課題実践c	2	1･2	1		大野清幸	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195052	英語教育課題実践d	2	1･2		1	大野清幸	定員あり	
	195765	言語獲得論課題実践c	2	1･2	1		宮田Susanne	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195766	言語獲得論課題実践d	2	1･2		1	宮田Susanne	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（星が丘キャンパス開講）	195069	中国語教育特講	2	1･2	1		杜　英　起	定員あり	
	195070	日中比較言語学特講	2	1･2	1		馮　富　榮	定員あり	
	195071	アジア比較文化特講	2	1･2	1		チョスルソップ	定員あり	
	195072	中国語教育演習	2	1･2		1	杜　英　起	定員あり	
	195073	日中比較言語学演習	2	1･2		1	馮　富　榮	定員あり	
	195074	アジア比較文化演習	2	1･2		1	チョスルソップ	定員あり	
	195077	中国語教育課題実践c	2	1･2	1		杜　英　起	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195078	中国語教育課題実践d	2	1･2		1	杜　英　起	定員あり	
	195081	日中比較言語学課題実践c	2	1･2	1		馮　富　榮	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195082	日中比較言語学課題実践d	2	1･2		1	馮　富　榮	定員あり	
	195085	アジア比較文化課題実践c	2	1･2	1		チョスルソップ	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195086	アジア比較文化課題実践d	2	1･2		1	チョスルソップ	定員あり	
	195401	外国語教育実践演習（短期）	4	1･2	集1 集1	集1	MOLDEN Danny T. 山　本　裕　子	定員あり	
	195402	外国語教育実践演習Ⅰ（長期）	6	1･2	集1		山　本　裕　子	定員あり	
	195501	言語文化研修（短期）	4	1･2	集1	集1	中　郷　　慶	定員あり	
	195502	言語文化研修（長期）	6	1･2	集1	集1	馮　富　榮 杜　英　起	定員あり	
	195501	言語文化研修（短期）	4	1･2	集1	集1	中　郷　　慶	定員あり	
	195502	言語文化研修（長期）	6	1･2	集1	集1	馮　富　榮 杜　英　起	定員あり	
	195628	文芸翻訳	2	1･2	集1		宮　澤　淳　一	定員あり	隔年開講
	195003	調査技法	2	1･2	集1		安　田　恭　子	定員あり	
	195408	国際関係論特講	2	1･2	1		若　松　孝　司	定員あり	
	195409	ディアスポラ論特講	2	1･2	1		杉　本　一　直	定員あり	
	195410	エスニシティ論特講	2	1･2	1		藤　井　真　湖	定員あり	
	195411	歴史遺産論特講	2	1･2	1		西尾林太郎	定員あり	
	195412	観光文化論特講	2	1･2	1		林　　大　策	定員あり	
	195413	観光マネジメント論特講	2	1･2	1		加　納　和　彦	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（星が丘キャンパス開講）	195493	国際学特講	2	1･2	1		江 嵜 那 留 穂	定員あり	
	195494	社会人類学特講	2	1･2	1		二 文 字 屋　脩	定員あり	
	195416	国際関係論演習	2	1･2		1	若　松　孝　司	定員あり	
	195417	ディアスポラ論演習	2	1･2		1	杉　本　一　直	定員あり	
	195418	エスニシティ論演習	2	1･2		1	藤　井　真　湖	定員あり	
	195419	歴史遺産論演習	2	1･2		1	西 尾 林 太 郎	定員あり	
	195420	観光文化論演習	2	1･2		1	林　　大　策	定員あり	
	195421	観光マネジメント論演習	2	1･2		1	加　納　和　彦	定員あり	
	195495	国際学演習	2	1･2		1	江 嵜 那 留 穂	定員あり	
	195496	社会人類学演習	2	1･2		1	二 文 字 屋　脩	定員あり	
	195432	国際関係論課題実践c	2	1･2	1		若　松　孝　司	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195433	国際関係論課題実践d	2	1･2		1	若　松　孝　司	定員あり	
	195436	ディアスポラ論課題実践c	2	1･2	1		杉　本　一　直	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195437	ディアスポラ論課題実践d	2	1･2		1	杉　本　一　直	定員あり	
	195440	エスニシティ論課題実践c	2	1･2	1		藤　井　真　湖	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195441	エスニシティ論課題実践d	2	1･2		1	藤　井　真　湖	定員あり	
	195448	観光文化論課題実践c	2	1･2	1		林　　大　策	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195449	観光文化論課題実践d	2	1･2		1	林　　大　策	定員あり	
	195452	観光マネジメント論課題実践c	2	1･2	1		前　島　訓　子	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195453	観光マネジメント論課題実践d	2	1･2		1	前　島　訓　子	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科（星が丘キャンパス開講）	195454	レトリック特講	2	1･2	1		MOLDEN Danny T.	定員あり	
	195455	言語とコミュニケーション特講	2	1･2	1		太　田　浩　司	定員あり	
	195456	メディア理論特講	2	1･2	1		McGEE Jennifer J.	定員あり	
	195457	異文化コミュニケーション論特講	2	1･2	1		福　本　明　子	定員あり	
	195460	レトリック演習	2	1･2		1	MOLDEN Danny T.	定員あり	
	195461	言語とコミュニケーション演習	2	1･2		1	太　田　浩　司	定員あり	
	195462	メディア理論演習	2	1･2		1	McGEE Jennifer J.	定員あり	
	195463	異文化コミュニケーション論演習	2	1･2		1	福　本　明　子	定員あり	
	195468	レトリック課題実践c	2	1･2	1		MOLDEN Danny T.	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195469	レトリック課題実践d	2	1･2		1	MOLDEN Danny T.	定員あり	
	195472	言語とコミュニケーション課題実践c	2	1･2	1		太　田　浩　司	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195473	言語とコミュニケーション課題実践d	2	1･2		1	太　田　浩　司	定員あり	
	195476	メディア理論課題実践c	2	1･2	1		McGEE Jennifer J.	定員あり	本来は○だが開講しないため× 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195477	メディア理論課題実践d	2	1･2		1	McGEE Jennifer J.	定員あり	
	195480	異文化コミュニケーション論課題実践c	2	1･2	1		福　本　明　子	定員あり	隔年開講 本科目は修士論文または実践研究レポートの執筆を前提としているため、本科目の履修者は修士論文・課題実践計画（構想・中間）発表会への出席と発表の義務がある。 また、本科目の学部生の履修は、学部・大学院５年修了プログラムを利用し、学部を卒業後直ちに大学院に進学し、大学院博士前期課程を１年間で修了することを目指している者に限定される。
	195481	異文化コミュニケーション論課題実践d	2	1･2		1	福　本　明　子	定員あり	
	195403	国際社会貢献実践演習（短期）	4	1･2	集1	集1	担当者未定	定員あり	
	195404	国際社会貢献実践演習（長期）	6	1･2	集1	集1	担当者未定	定員あり	
	195503	地域文化交流研修（短期）	4	1･2	集1 集1	集1 集1	杉　本　一　直 藤　井　真　湖	定員あり	
	195504	地域文化交流研修（長期）	6	1･2	集1	集1	若　松　孝　司	定員あり	
	195608	ジェンダーと開発	2	1･2		1	梅　津　綾　子	定員あり	
	195490	地域文化交流	2	1･2		1	前　島　訓　子	定員あり	
	195003	調査技法	2	1･2	集1		安　田　恭　子	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
ビジネス研究科	099360	ビジネススタディベーシック	2	1·2	1		森　泡　太 藤　木　美　江	定員あり	オムニバス科目
	099315	財務会計特講Ⅰ	2	1·2	1		石　川　雅　之	定員あり	
	099329	財務会計特講Ⅱ	2	1·2		1	石　川　雅　之	定員あり	
	099354	財務諸表分析特講Ⅰ	2	1·2	1		西　崎　賢　治	定員あり	
	099355	財務諸表分析特講Ⅱ	2	1·2		1	西　崎　賢　治	定員あり	
	099356	国際会計特講Ⅰ	2	1·2	1		森　泡　太	定員あり	
	099357	国際会計特講Ⅱ	2	1·2		1	森　泡　太	定員あり	
	099317	原価計算特講Ⅰ	2	1·2	1		三　浦　克　人	定員あり	
	099330	原価計算特講Ⅱ	2	1·2		1	三　浦　克　人	定員あり	
	099318	管理会計特講Ⅰ	2	1·2	1		窪　田　祐　一	定員あり	
	099331	管理会計特講Ⅱ	2	1·2		1	窪　田　祐　一	定員あり	
	099358	監査論特講Ⅰ	2	1·2	1		前　田　　篤	定員あり	
	099359	監査論特講Ⅱ	2	1·2		1	前　田　　篤	定員あり	
	099333	租税法特講Ⅰ	2	1·2	1		糟　谷　　修	定員あり	
	099334	租税法特講Ⅱ	2	1·2		1	糟　谷　　修	定員あり	
	099383	アカウンティング演習ＡⅠ	2	1·2	1		石　川　雅　之	定員あり	
	099384	アカウンティング演習ＡⅡ	2	1·2		1	石　川　雅　之	定員あり	
	099387	アカウンティング演習ＢⅠ	2	1·2	1		西　崎　賢　治	定員あり	
	099388	アカウンティング演習ＢⅡ	2	1·2		1	西　崎　賢　治	定員あり	
	099391	アカウンティング演習ＣⅠ	2	1·2	1		三　浦　克　人	定員あり	
	099392	アカウンティング演習ＣⅡ	2	1·2		1	三　浦　克　人	定員あり	
	099448	アカウンティング演習ＤⅠ	2	1·2	1		森　泡　太	定員あり	
	099449	アカウンティング演習ＤⅡ	2	1·2		1	森　泡　太	定員あり	
	099361	マーケティング戦略特講Ⅰ	2	1·2	1		大　塚　英　揮	定員あり	
	099362	マーケティング戦略特講Ⅱ	2	1·2		1	大　塚　英　揮	定員あり	
	099363	サービスマーケティング特講Ⅰ	2	1·2	1		フ　コウソウ	定員あり	
	099364	サービスマーケティング特講Ⅱ	2	1·2		1	フ　コウソウ	定員あり	
	099452	データサイエンス特講Ⅰ	2	1·2	1		藤　木　美　江	定員あり	
	099453	データサイエンス特講Ⅱ	2	1·2		1	藤　木　美　江	定員あり	
	099454	マーケティングコミュニケーション特講Ⅰ	2	1·2	1		新　井　　亨	定員あり	
	099455	マーケティングコミュニケーション特講Ⅱ	2	1·2		1	新　井　　亨	定員あり	
	099365	経営戦略特講Ⅰ	2	1·2	1		日野恵美子	定員あり	
	099366	経営戦略特講Ⅱ	2	1·2		1	日野恵美子	定員あり	
	099367	ビジネスモデル特講Ⅰ	2	1·2	1		林　　誠	定員あり	
	099368	ビジネスモデル特講Ⅱ	2	1·2		1	林　　誠	定員あり	
	099352	リスクマネジメント特講Ⅰ	2	1·2	1		上　原　　衛	定員あり	
	099353	リスクマネジメント特講Ⅱ	2	1·2		1	上　原　　衛	定員あり	
	099369	ものづくり経営特講Ⅰ	2	1·2	1		浅井敬一朗	定員あり	
	099370	ものづくり経営特講Ⅱ	2	1·2		1	浅井敬一朗	定員あり	
	099343	人的資源管理特講	2	1·2		1	渡　辺　直　登	定員あり	
	099397	コーポレートファイナンス特講Ⅰ	2	1·2	1		三　矢　幹　根	定員あり	
	099398	コーポレートファイナンス特講Ⅱ	2	1·2		1	三　矢　幹　根	定員あり	
	099005	国際ビジネス特講Ⅰ	2	1·2	1		石　坂　綾　子	定員あり	
	099064	国際ビジネス特講Ⅱ	2	1·2		1	石　坂　綾　子	定員あり	

星が丘キャンパス開講

集…集中授業

開設研究科	科目番号	科　目	単位	履修年次	開講コマ数 前	開講コマ数 後	担当者	定員等	備　考
ビジネス研究科	099442	ビジネスエコノミクス特講Ⅰ	2	1･2	1		渡　邉　　聡	定員あり	
	099443	ビジネスエコノミクス特講Ⅱ	2	1･2		1	渡　邉　　聡	定員あり	
	099460	経済政策特講Ⅰ	2	1･2	1		鈴　木　崇　文	定員あり	
	099461	経済政策特講Ⅱ	2	1･2		1	鈴　木　崇　文	定員あり	
	099418	マネジメント＆エコノミー演習ＡⅠ	2	1･2	1		浅　井　敬　一　朗	定員あり	
	099419	マネジメント＆エコノミー演習ＡⅡ	2	1･2		1	浅　井　敬　一　朗	定員あり	
	099422	マネジメント＆エコノミー演習ＢⅠ	2	1･2	1		石　坂　綾　子	定員あり	
	099423	マネジメント＆エコノミー演習ＢⅡ	2	1･2		1	石　坂　綾　子	定員あり	
	099426	マネジメント＆エコノミー演習ＣⅠ	2	1･2	1		上　原　　衛	定員あり	
	099427	マネジメント＆エコノミー演習ＣⅡ	2	1･2		1	上　原　　衛	定員あり	
	099430	マネジメント＆エコノミー演習ＤⅠ	2	1･2	1		大　塚　英　揮	定員あり	
	099431	マネジメント＆エコノミー演習ＤⅡ	2	1･2		1	大　塚　英　揮	定員あり	
	099434	マネジメント＆エコノミー演習ＥⅠ	2	1･2	1		真　田　幸　光	定員あり	
	099435	マネジメント＆エコノミー演習ＥⅡ	2	1･2		1	真　田　幸　光	定員あり	
	099438	マネジメント＆エコノミー演習ＦⅠ	2	1･2	1		三　矢　幹　根	定員あり	
	099439	マネジメント＆エコノミー演習ＦⅡ	2	1･2		1	三　矢　幹　根	定員あり	
	099444	マネジメント＆エコノミー演習ＧⅠ	2	1･2	1		渡　邉　　聡	定員あり	
	099445	マネジメント＆エコノミー演習ＧⅡ	2	1･2		1	渡　邉　　聡	定員あり	
	099456	マネジメント＆エコノミー演習ＨⅠ	2	1･2	1		藤　木　美　江	定員あり	
	099457	マネジメント＆エコノミー演習ＨⅡ	2	1･2		1	藤　木　美　江	定員あり	
	099462	マネジメント＆エコノミー演習ＩⅠ	2	1･2	1		新　井　　亨	定員あり	
	099463	マネジメント＆エコノミー演習ＩⅡ	2	1･2		1	新　井　　亨	定員あり	
	099414	ビジネスプランニングⅠ	2	1･2	1		真　田　幸　光	定員あり	
	099415	ビジネスプランニングⅡ	2	1･2		1	真　田　幸　光	定員あり	

3　愛知学長懇話会単位互換科目

愛知県内の国公私立大学相互の単位互換協定に基づき、各大学が一部の科目を他大学の学生に無料で開講（ただし、選考あり）し、履修することを認めている。修得した単位は学生の所属する大学の定めに従って、所属する大学の単位として認定する。

（1）手続きは下記のとおり。

① 申込方法
開講大学名・開講科目名など、詳しくは愛知学長懇話会ホームページで確認する。
受講する場合は所定の期日までに教務事務室・教学事務室に申し出る。期日等はCampusSquare、掲示で発表する。
不明な点は、教務事務室・教学事務室に問い合わせる。
なお、本学で卒業要件単位を満たすことを前提として申し込む。
本学の授業を優先する。従って、他大学での受講は余暇時間を利用する。
途中で開講科目の受講を放棄することのないように、交通経路・ダイヤ・生活スケジュール等を十分に検討したうえで申し込む。
申込は全学年可能であるが、1年生は後期開講科目、4年生は前期開講科目のみ申し込み可とする。ただし、9月卒業を予定している4年生は前期開講科目の申し込みは不可。
また、過去に同一の開講大学で受講した同一科目を、再度、受講することはできないので注意すること。

② 履修方法
開講する大学の定めたとおりとする。

③ 単位認定試験
開講する大学の定めたとおりとする。

④ 学　　費
受講料は無料とする。ただし、交通費・教科書代金・教材費等の受講に関わる諸費用はすべて個人が負担する。

⑤ 問い合わせ
受講に関する問い合わせは、必ず、教務事務室・教学事務室に相談する。学生本人が、直接、開講大学あるいは愛知学長懇話会事務局へ問い合わせない。

（2）開講大学で修得した単位は、学部認定科目として卒業に必要な単位に算入する。ただし、司書課程科目（生涯学習概論は除く）に該当する科目については、修得しても卒業に必要な単位に算入しない。また、開講大学の開設科目の単位修得の可否によって、卒業に支障をきたすことのないように注意する。

（3）修得単位数の上限は、在籍中に10単位とする。なお、2017年度までに10単位以上を修得した者については、経過措置として当該修得単位を認定する。

（4）成績評価は、開講大学の成績評価（原則として素点評価）に基づき、本学の成績評価に読み替え、単位を認定する。単位数は、1科目につき半期2単位として認定する。ただし、開講大学で半期1単位として認定する場合は1単位とする。また、通年で4単位履修した場合は4単位とする。

4　放送大学単位互換科目

本学と放送大学との単位互換協定に基づき、本学の学生が特別聴講学生として放送大学の授業を履修することを認め、修得した単位を本学の単位として認定する。

（1）手続きは下記のとおり。

① 申込方法

単位互換科目は、放送大学で開講している全科目が対象である。開講科目・授業内容など詳しくは学生募集要項で確認する(教務事務室・教学事務室にて配付)。

受講を希望する場合は、所定の期日までに教務事務室・教学事務室に申し出る。

前期履修申込は前年度の12月頃、後期履修申込は６月頃になるが、詳しくはCampusSquare、掲示で発表する。

不明な点は、教務事務室・教学事務室に問い合わせる。

途中で開講科目の受講を放棄することのないように、十分に検討したうえで申し込む。

申込は全学年可能であるが、1年生は後期開講科目、4年生は前期開講科目のみ申し込み可とする。

ただし、9月卒業を予定している4年生は前期開講科目の申し込みは不可。

既に放送大学で単位を修得した科目は、再び登録することはできない。

② 履修方法

「放送授業」は、学期始めに放送大学より直接本人に印刷教材(テキスト)が送付されるので、自宅において印刷教材を見ながらBS放送、ケーブルテレビ、ラジオ等を受信することにより視聴して学習する。その場合はBS放送の受信機器等の設置をするか、放送大学の番組を放送しているケーブルテレビ局に加入する必要がある。また、本学マルチメディア・オンライン資料室において、テレビ科目はDVD、ラジオ講座はCDを視聴して学習できる。

「オンライン授業」は、全ての学習をインターネットで行う。教材もインターネットで配信するため、印刷教材はない。受講にはインターネットに接続されたパソコンとブラウザー、PDFファイルが閲覧できるソフトウエアが必要。詳細は、教務事務室・教学事務室に問い合わせること。

通信指導は、決められた課題についてレポートを提出し、授業担当者の通信添削を受ける。

③ 単位認定試験

単位認定試験は、各学期末にWeb受験方式にて実施され(郵送受験方式の科目を除く)、試験の結果60点以上の者が合格となり、単位が認定される。

④ 学　　費

授業料として、放送授業１科目(２単位)につき12,000円、オンライン授業１科目(１単位)6,000円を納入する。

⑤ 問い合わせ

放送大学単位互換科目に関する問い合わせは、必ず、教務事務室・教学事務室に相談する。学生本人が、直接、放送大学事務局へ問い合わせない。

（2）放送大学で修得した単位は、学部認定科目として卒業に必要な単位に算入する(上限10単位)。ただし、司書課程科目(生涯学習概論は除く)に該当する科目については、修得しても卒業に必要な単位に算入しない。また、放送大学の開設科目の単位修得の可否によって、卒業に支障をきたすことのないように注意する。

（3）成績評価は、放送大学の成績評価に基づき、本学の成績評価に読み替え、単位を認定する。単位数は、１科目につき半期２単位とする。

（4）通信指導が不合格（未提出）の場合、または単位認定試験が不合格だった場合は、次学期において必ず再度受験等を行わなければならない（授業料の再納付は不要)。ただし、オンライン授業科目（「教育課程の意義及び編成の方法（'15)」、「幼児理解の理論及び方法（'15)」、「小学校外国語教育教授基礎論（'17)」を除く。）は、単位認定試験の対象ではないため、再試験は行わない。該当する学生は、速やかに教務事務室・教学事務室へ申し出る。

参考資料

2024年度入学者　愛知淑徳大学 アドミッション・ポリシー

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

〈一般選抜〉

一般入試

多様な教科型入試。

一般入試は人文科学、社会科学、自然科学、語学など広い範囲に関する学力を基盤とし、その中の特定分野の知識やスキルを入学後の専門教育での学修に有効に活かしたいと考えている者を対象とした入試。入試方式（前期３教科型、前期２教科型、共通テストプラス型、後期）に従って、学科・専攻での学修に関係の深い科目や自らが得意とする科目を選択（一部の入試方式、学科・専攻では必須もあり）して受験する入試である。

共通テスト利用入試

大学入学共通テストの教科（科目）のうち、本学が指定した教科（科目）を利用する入試（前期３教科型、前期４教科型、後期）。

様々な分野において培った基礎学力を活かし、大学入試センターが実施する大学入学共通テストを利用して入学を希望する者を対象とした入試である。

〈学校推薦型選抜〉

公募制推薦入試

高等学校で身につけた基礎学力や思考力を問う入試。

日本語や英語の知識と運用能力、分析的認識力、論理的思考力を持ち、それらを大学での専門的学修に活かしていこうと考えている者を対象とした入試である。所属学校長による推薦を受けた者を対象とする。

指定校制推薦入試（一般）

本学が教育的連携を強化している高等学校に所属する者を対象とした入試。

本学での学修を第一希望とし、高等学校での学習において優秀な成績を収め、所属学校長による推薦を受けた者を対象とする。高等学校と大学との教育的連携を重視し、全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

指定校制推薦入試（クラブ）

所属高等学校のクラブ活動において傑出した成績を残し、本学でのクラブ活動において中心的な存在として貢献することが期待される人材を対象とした入試。本学での学修を第一希望とし、所属学校長による推薦を受けた者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

〈総合型選抜〉

本学での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志す者を対象とした専願制入試。大学の理念を理解し、その理念を促進、発展させることに貢献できる能力や個性を持つ者の入学を期待する。

大学理念・違いを共に生きる入試

本学の理念である「違いを共に生きる」に共感し、その理念のもとで学修する強い意欲を持つ者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

活動実績入試

高等学校でのバランスのとれた学習成果を背景に課外活動や資格取得、検定試験などで優れた実績を挙げた者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

学科・専攻適性入試

本学入学後の専門教育に対する適性と学修意欲を持つ者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前指導（フォローアップ）を実施する。

特別選抜入試

社会人、外国人留学生及び帰国生徒を対象とした入試。

実社会や異なる文化的背景をもつ国で獲得した豊かな経験を基にして、本学において専門性の高い知識や技術を身につけようと考えている者を対象としている。

編入学試験

他大学などで培った基礎的学力に加え、各専門分野の基礎的技術、基本的知識をすでに十分修得しており、本学において一層高い専門知識と技術の習得をめざしている者を対象とした入試である。

□　履修希望時間割表　□　　【前期】

履修要覧・シラバスと時間割を参照し、各自の履修計画に使用してください。

【前期】

		月	火	水	木	金
1限	時間割コード 科目名 担当教員名					
2限	時間割コード 科目名 担当教員名					
3限	時間割コード 科目名 担当教員名					
4限	時間割コード 科目名 担当教員名					
5限	時間割コード 科目名 担当教員名					
6限	時間割コード 科目名 担当教員名					

集中授業・卒業論文・学外実習など

時間割コード	科目名	担当教員名	備考（集中日程など）

□　履修希望時間割表　□　　【後期】

履修要覧・シラバスと時間割を参照し、各自の履修計画に使用してください。

【後期】

		月	火	水	木	金
1限	時間割コード 科目名 担当教員名					
2限	時間割コード 科目名 担当教員名					
3限	時間割コード 科目名 担当教員名					
4限	時間割コード 科目名 担当教員名					
5限	時間割コード 科目名 担当教員名					
6限	時間割コード 科目名 担当教員名					

集中授業・卒業論文・学外実習など

時間割コード	科目名	担当教員名	備考（集中日程など）

履修要覧2024
食健康科学部
2024年４月１日発行
編集・発行　愛知淑徳大学

長久手キャンパス
〒480-1197
愛知県長久手市片平二丁目９
TEL(0561)62-4111(代)　FAX(0561)63-1844

星が丘キャンパス
〒464-8671
愛知県名古屋市千種区桜が丘23番地
TEL(052)781-1151(代)　FAX(052)783-1614

URL https://www.aasa.ac.jp/

履修要覧 2024　食健康科学部

UNIVERSITY 愛知淑徳大学